

板橋区高齢者ニーズ調査

シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についてのアンケート調査  
報告書

令和6年3月

板 橋 区



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査期間 .....	1
4. 調査方法 .....	1
5. 調査項目 .....	1
6. 回収結果 .....	1
7. 前回調査について .....	2
8. 調査結果を見る上での注意事項 .....	2
<b>第2章 調査結果の概要</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者の属性、現在の暮らし向きについて .....	3
2. 仕事、働くことについて.....	3
3. 健康について .....	4
4. 外出・人とのつきあいについて .....	4
5. インターネットなどの利用について.....	5
6. 地域活動などへの参加状況について.....	5
7. 区の事業について .....	6
8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて.....	6
<b>第3章 調査結果の詳細</b> .....	<b>7</b>
1. 回答者の属性、現在の暮らし向きについて .....	7
（1）調査票の記入者 .....	7
（2）現在の居住地 .....	7
（3）性別・年齢.....	8
（4）居住地区.....	9
（5）現在の地区での居住年数.....	12
（6）世帯構成.....	15

(7) 家族の介護状況 .....	18
(8) 最後に卒業した学校 .....	21
(9) 年収 .....	23
(10) 定期的な収入源 .....	24
(11) 現在の暮らし向き .....	25
2. 仕事、働くことについて .....	31
(1) 現在の仕事 .....	31
(2) 今後の就業意向 .....	46
(3) 仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況 .....	63
3. 健康について .....	70
(1) 健康に対する自己認識 .....	70
(2) フレイルについて .....	71
(3) 心配ごとや悩みごとの状況 .....	75
(4) 日常の活動状況・ふだんの生活 .....	78
4. 外出・人とのつきあいについて .....	84
(1) 外出頻度・外出の主な目的 .....	84
(2) 現在やっていること・今後やりたいこと .....	91
(3) 近所づきあいの程度 .....	95
(4) 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度 .....	100
(5) 友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度 .....	103
(6) 予定がなくても気軽に行ける場所 .....	106
5. インターネットなどの利用について .....	110
(1) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況 .....	110
(2) インターネットの利用状況 .....	140
(3) インターネットで行っていること .....	145
(4) 今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと .....	147
(5) インターネットの利用に関する希望 .....	149

6. 地域活動などへの参加状況について.....	151
(1) 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動 .....	151
(2) 過去1年間に最も多く参加した活動.....	169
(3) 活動に参加していない理由・活動に参加するきっかけになると思うこと.....	175
(4) シニア（老人）クラブへの加入状況.....	177
7. 区の事業について .....	182
(1) 区の事業に対する認知度・利用または参加状況.....	182
(2) 区の事業を知った情報源.....	202
(3) 区の事業への参加による効果 .....	205
(4) 区の事業に参加しない理由 .....	207
(5) 区の事業に参加するときに重視すること .....	209
8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて.	211
(1) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による「社会参加」への影響 .....	211
(2) 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの .....	213
(3) 行政で行ってほしいと思う支援施策.....	217
(4) 生きがいについて .....	219
9. 自由意見 .....	226
<b>第4章 調査結果の分析 .....</b>	<b>233</b>
1. 現在の暮らし向きについて .....	233
2. 仕事、働くことについて.....	234
3. 健康について .....	236
4. 外出・人とのつきあいについて .....	237
5. インターネットなどの利用について.....	239
6. 地域活動などへの参加状況について.....	241
7. 区の事業について .....	242
8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて.	244
<b>第5章 資料編（調査票） .....</b>	<b>245</b>



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

板橋区では、介護を要しない元気高齢者の活躍促進に向け、地域活動や就労の支援、フレイル予防等からなる板橋区シニア世代活動支援プロジェクトを実施している。今後のプロジェクトの推進のため、元気高齢者の状況やニーズ等を把握する調査を行った。

### 2. 調査対象

60～84歳の板橋区民（要介護認定者を除く）3,000人

※日常生活圏域ごとの人口規模で、男女3,000人を無作為に案分抽出した。

### 3. 調査期間

令和5年12月7日（木）～12月22日（金）

### 4. 調査方法

調査票の配付は郵送方式、回収は郵送方式またはWeb回答方式

※調査期間中に1回、対象者全員に礼状兼協力依頼のはがきを送付した。

### 5. 調査項目

- （1）年齢、居住地区、世帯の状況などについて
- （2）仕事、働くことについて
- （3）健康について
- （4）外出、活動などについて
- （5）対象者自身のことについて

### 6. 回収結果

3,000票を配布し、回収数は1,655票（郵送：1,571票、Web：84票）、回収率は55.2%であった。

なお、本年度の調査においては無効回答票がなかったため、有効票数・有効回収数も上記と同数となっている。

## 7. 前回調査について

### (1) 調査対象

今回調査とは対象年齢が異なり、65～84歳の板橋区民（要介護認定者を除く）3,000人  
※調査ごとに改めて対象者を抽出しているため、前回と今回とで対象者は一致していない。

### (2) 調査期間

令和2年10月30日（金）～11月20日（金）

### (3) 調査方法

今回調査とは方法が異なり、調査票の郵送配布・回収（Web回答は行わず）

### (4) 調査項目

主な項目は今回調査と同様だが、一部の設問は変更している。

### (5) 回収結果

3,000票を配布し、回収数は1,721票、回収率は57.4%であった。

当年度の調査においては無効回答票がなかったため、有効票数・有効回収数も上記と同数となっている。

## 8. 調査結果を見る上での注意事項

(1) 図表中の「n」は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。

(2) 調査結果の比率は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての比率を合計しても100.0%にならないことがある。

(3) 複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

(4) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

(5) クロス集計による分析では、分析軸の項目のうち、件数が10以下の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中ではふれていない場合がある。



## 第2章 調査結果の概要

### 1. 回答者の属性、現在の暮らし向きについて

#### ①性別・年齢（問3）

回答者の性別は、男性が34.7%、女性が48.4%となっている。また、年齢は、60～64歳が2.5%、65～69歳が17.5%、70～74歳が29.2%、75～79歳が27.7%、80～84歳が21.4%となっている。（図表3-1-3・図表3-1-4）

#### ②現在の暮らし向き（問10）・1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由（問10-1）

「変わらない」が51.2%と最も高く、「とてもよくなった」の0.7%と「ややよくなった」の1.9%を合わせた『よくなった』が2.6%、「やや悪くなった」の32.9%と「とても悪くなった」の11.3%を合わせた『悪くなった』が44.2%となっている。（図表3-1-22）

また、1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由については、「物価上昇の影響等により、日常生活費が増えたため」が79.6%と最も高く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたため」が26.7%、「特別の事情による（病気、怪我など）」が20.3%の順となっている。（図表3-1-25）

### 2. 仕事、働くことについて

#### ①現在の職業（問11）

「その他」が6.1%、「会社・団体の役員、管理職」が4.9%、「清掃、配達」が4.1%の順となっている。また、「無職・仕事からは引退した」が36.8%、「主婦・主夫（専業）」が23.8%で、現在仕事についていない人は6割近くとなっている。（図表3-2-1）

#### ②雇用形態（問11-1）

3割半ばが「パート・アルバイト・契約社員（36.7%）」となっており、「自営業主、自由業」が16.5%、「正社員・正規職員・正規従業員」が8.3%と続いている。（図表3-2-3）

#### ③現在の仕事に「生きがい」を感じているか（問11-4）

「とても感じる」の14.3%と「まあまあ感じる」の55.0%を合わせた『感じる』が69.3%、「あまり感じない」の22.7%と「全く感じない」の2.9%を合わせた『感じない』が25.6%となっている。（図表3-2-10）

#### ④今後の就業意向（問12）

5割半ばが「今は働いておらず、今後も働く予定はない（54.5%）」、2割半ばが「今も働いており、今後も働き続けたい（27.1%）」となっており、「今は働いていないが、今後働きたい」が6.4%となっている。（図表3-2-14）

#### ⑤現在の働く場所の定年（問12-6）

「70歳以上」が62.5%と最も高く、次いで「65歳」が10.5%、「65～69歳」が7.1%の順となっている。（図表3-2-24）

### 3. 健康について

#### ①健康に対する自己認識（問14）

「とても健康」の10.0%と「まあまあ健康」の65.5%を合わせた『健康』が75.5%、「あまり健康でない」の16.6%と「健康でない」の5.7%を合わせた『不健康』が22.3%となっている。  
（図表3-3-1）

#### ②フレイルの認知度（問15）・フレイルになる心配（問15-1）

「内容まで知っている」の24.6%と「聞いたことはある」の29.7%を合わせた『知っている』が54.3%、「知らない」が43.2%となっている。（図表3-3-2）  
また、「非常に心配である」の8.9%と「心配である」の46.6%を合わせた『心配である』が55.5%、「あまり心配でない」の32.6%と「心配でない」の5.4%を合わせた『心配でない』が38.0%となっている。（図表3-3-4）

#### ③現在の心配ごとや悩みごと（問16）

6割強が「自分の健康のこと（62.6%）」、4割強が「家族・親族の健康のこと（43.6%）」、3割近くが「生活費など経済的なこと（28.9%）」となっている。（図表3-3-6）

### 4. 外出・人とのつきあいについて

#### ①外出頻度（問19）

去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、「毎日2回程度」が一貫して低下しているものの、大きな違いはみられない。（図表3-4-1）  
また、去年（2022年）・今年（2023年）ともに、「毎日1回（去年49.2%・今年49.8%）」が最も高く、次いで「毎日2回以上（21.8%・21.3%）」、「2～3日に1回程度（20.9%・20.1%）」の順となっている。（図表3-4-2・図表3-4-3）

#### ②外出の主な目的（問19）

去年（2022年）・今年（2023年）ともに、「買い物（去年87.9%・今年86.8%）」が最も高く、次いで「運動、散歩（53.2%・53.1%）」、「通院やリハビリ（35.0%・34.9%）」の順となっている。（図表3-4-6・図表3-4-7）

#### ③現在やっていること・今後やりたいこと（問20）

現在やっていることは、「散歩」が51.0%と最も高く、次いで「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」「読書」がともに36.7%、「旅行・ドライブ」が36.5%の順となっている。（図表3-4-8）  
今後やりたいことには、「旅行・ドライブ」が50.4%と最も高く、次いで「散歩」が36.0%、「読書」が24.0%の順となっている。（図表3-4-9）

#### ④近所づきあいの程度（問21）

つきあいがあると回答している人の中では、3割を超えているのが「立ち話をする程度の人がいる（37.4%）」「あいさつをする程度の人がいる（31.2%）」で、次いで「お互いに訪問しあう人がある」が10.6%となっている。一方、「つきあいはない」は12.0%となっている。（図表3-4-10）

## ⑤ 予定がなくても気軽に行ける場所の有無（問24）

「1か所ある（26.8%）」「2か所ある（18.4%）」「3か所以上ある（20.4%）」を合わせた『気軽に行ける場所がある』は65.6%、「ない」は27.0%となっている。（図表3-4-21）

## 5. インターネットなどの利用について

## ① 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況（問25）

「今年（2023年）から」「それより前から」を合わせた『使っている』は、「スマートフォン」が78.9%と最も高く、次いで「パソコン」が40.4%、「携帯電話」が29.6%の順となっている。（図表3-5-1）

前回調査と比較すると、『使っている』はスマートフォン・パソコンが上昇（スマートフォン21.4ポイント・パソコン6.9ポイント）、携帯電話が13.3ポイント低下しており、タブレットでは大きな違いがみられない。（図表3-5-2・図表3-5-9・図表3-5-16・図表3-5-23）

## ② インターネットの利用状況（問26）

去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年までは「全く利用しない」の方が「ほぼ毎日利用する」よりも高くなっていたのに対して、「ほぼ毎日利用する」は一貫して上昇しており、去年（2022年）には「ほぼ毎日利用する」の方が高い割合となっていた。（図表3-5-31）

また、去年（2022年）・今年（2023年）ともに、利用していると回答している人の中では「ほぼ毎日利用する（去年51.3%・今年52.7%）」が最も高く、次いで「2～3日おきに利用する（7.8%・7.5%）」、「週に1回程度利用する（5.1%・5.0%）」の順となっている。（図表3-5-32・図表3-5-34）

## ③ インターネットで行っていること（問26-1）

7割を超えているのが「インターネットのニュースを読むこと（75.6%）」「メールでやりとりすること（71.4%）」「ラインでやりとりすること（71.0%）」となっている。（図表3-5-36）

## ④ 今後、インターネットの利用が増えたこと・新しく始めたこと（問27）

2割を超えているのが「インターネットのニュースを読むこと（24.2%）」「ラインでやりとりすること（23.9%）」「メールでやりとりすること（22.1%）」となっている。（図表3-5-37）

## 6. 地域活動などへの参加状況について

## ① 今後新たに参加したい活動（問29）

「健康・スポーツの活動、習いごと」が17.8%と最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと」が15.2%、「大学やカルチャーセンターなどの講座」が13.8%の順となっている。（図表3-6-1）

## ② 過去1年間に最も多く参加した活動（問29-1①）

「健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）」が24.0%と最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）」が23.8%、「スポーツジム」が15.0%、「町会・自治会の役員、事務局活動」が7.5%、「ボランティア活動（上記以外の活動）」が4.1%の順となっている。（図表3-6-18）

③シニア（老人）クラブへの加入状況（問30）

「加入している」が9.3%、「加入していない」が83.4%となっている。（図表3-6-25）

④シニア（老人）クラブに加入していない理由（問30-1）

「シニア(老人)クラブ」を知らないから」が26.0%と最も高く、次いで「仕事などで忙しいから」が23.9%、「会員同士の間人間関係がわずらわしいから」が22.8%の順となっている。（図表3-6-27）

7. 区の事業について

①区の事業を知った情報源（問31-1）

5割強が「広報いたばし（51.9%）」となっており、「回覧板」が33.6%、「友人・知人から」が26.1%と続いている。（図表3-7-20）

②区の事業に参加するときに重視すること（問32）

「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が53.0%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が38.6%、「会場が近い」が34.7%の順となっている。（図表3-7-25）

8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて

①新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による「社会参加」への影響（問33）

3割半ばが「以前のように参加できるようになった（34.7%）」となっており、「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」が11.8%、「コロナ禍を機に参加しなくなり、活動・催し・イベント・会合などが以前のように再開している現在も、参加していない」が6.8%と続いている。（図表3-8-1）

②行政で行ってほしいと思う支援施策（問35）

3割強が「健康づくりの支援（34.3%）」となっており、「スマートフォンの操作教室・相談会」が16.7%、「活動に関する情報提供」が14.2%と続いている。（図表3-8-4）

③現在感じている生きがいの程度（問37）

「十分感じている」の33.5%と「多少感じている」の45.1%を合わせた『感じている』が78.6%、「あまり感じていない」の11.3%と「全く感じていない」の1.6%を合わせた『感じていない』が12.9%となっている。（図表3-8-5）

④生きがいを感じる時（問37-1）

6割強が「子や孫など家族・親族との団らんの時（62.3%）」となっており、「友人や知人と食事・雑談している時」が54.5%、「趣味やスポーツに熱中している時」が52.5%と続いている。（図表3-8-8）

**第3章 調査結果の詳細**

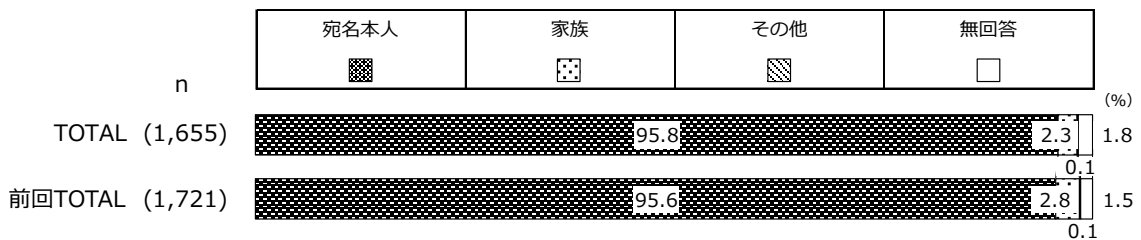
**1. 回答者の属性、現在の暮らし向きについて**

**(1) 調査票の記入者**

**問1 この調査票を記入するのはどなたですか。○をつけてください。(○は1つのみ)**

調査票の記入者は、「宛名本人」が95.8%、「家族」が2.3%、「その他」が0.1%となっている。

**図表3-1-1 調査票の記入者**



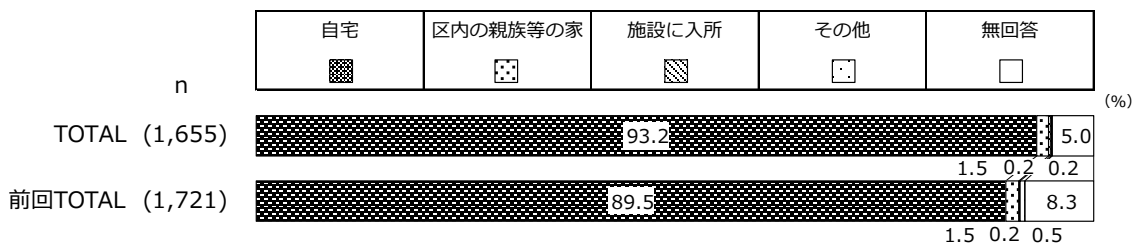
**(2) 現在の居住地**

**問2 あなた（宛名のご本人）は現在、どちらに住んでいますか。(○は1つのみ)**

調査対象者（宛名本人）の現在の居住地は、「自宅（ショートステイ利用を含む）」が93.2%、「区内の親族等の家」が1.5%、「施設に入所」が0.2%、「その他（入院中、区外転出、亡くなったなど）」が0.2%となっている。

「施設に入所」「その他」の回答者（計7人）は、問2で調査終了とした。

**図表3-1-2 現在の居住地**



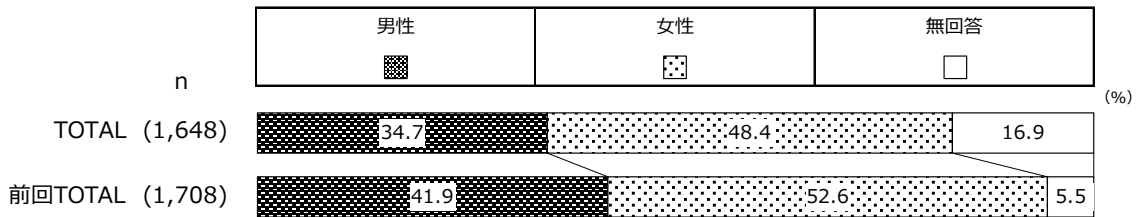
	n	自宅	区内の親族等の家	施設に入所	その他	無回答
TOTAL	1,655	1,542	24	3	4	82
		93.2	1.5	0.2	0.2	5.0
前回TOTAL	1,721	89.5	1.5	0.2	0.5	8.3

(3) 性別・年齢

問3 あなた（宛名のご本人）の性別と、令和5年12月1日現在の満年齢をお答えください。  
（それぞれ○は1つ）

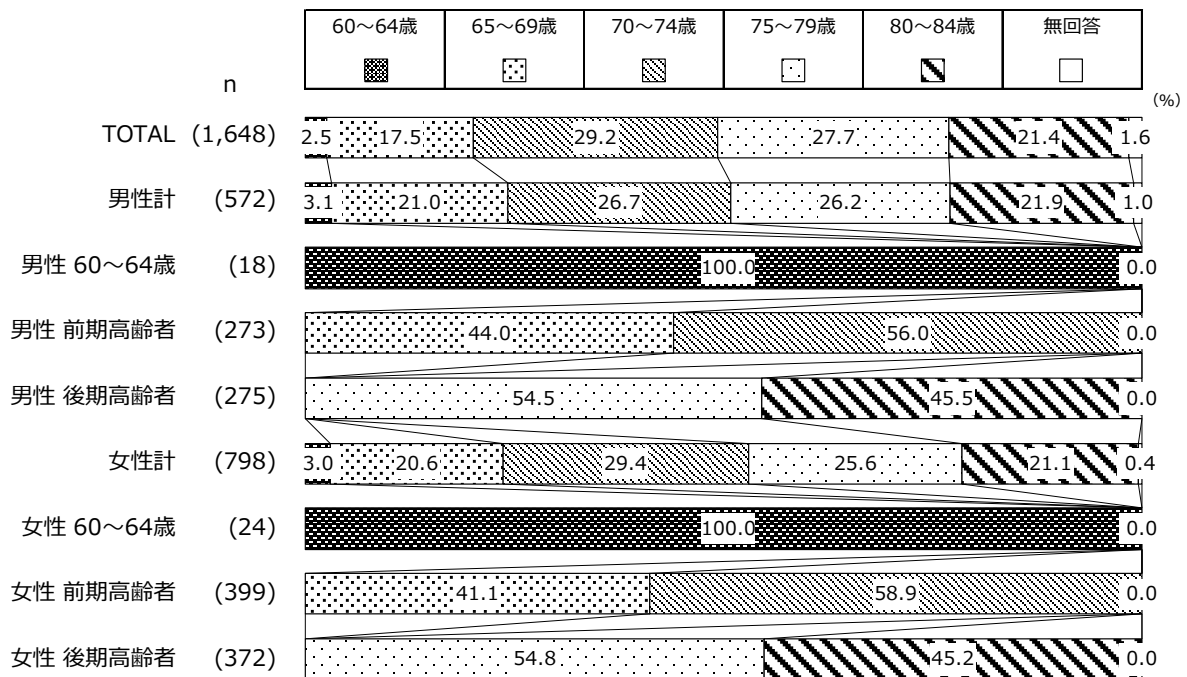
回答者の性別は、男性が34.7%、女性が48.4%となっている。

図表3-1-3 性別



回答者の年齢は、60～64歳が2.5%、65～69歳が17.5%、70～74歳が29.2%、75～79歳が27.7%、80～84歳が21.4%となっている。

図表3-1-4 年齢：性年代別



## (4) 居住地区

問4 あなた（宛名のご本人）のお住まいはどちらですか。あてはまる地区に○をつけてください。  
丁目がある場合は、あてはまる丁目にも○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

地区名及び丁目の回答内容より、居住地区をおとしより相談センター（地域包括支援センター）のエリア区分を参考に下記の19地区に分けて、集計を行った。

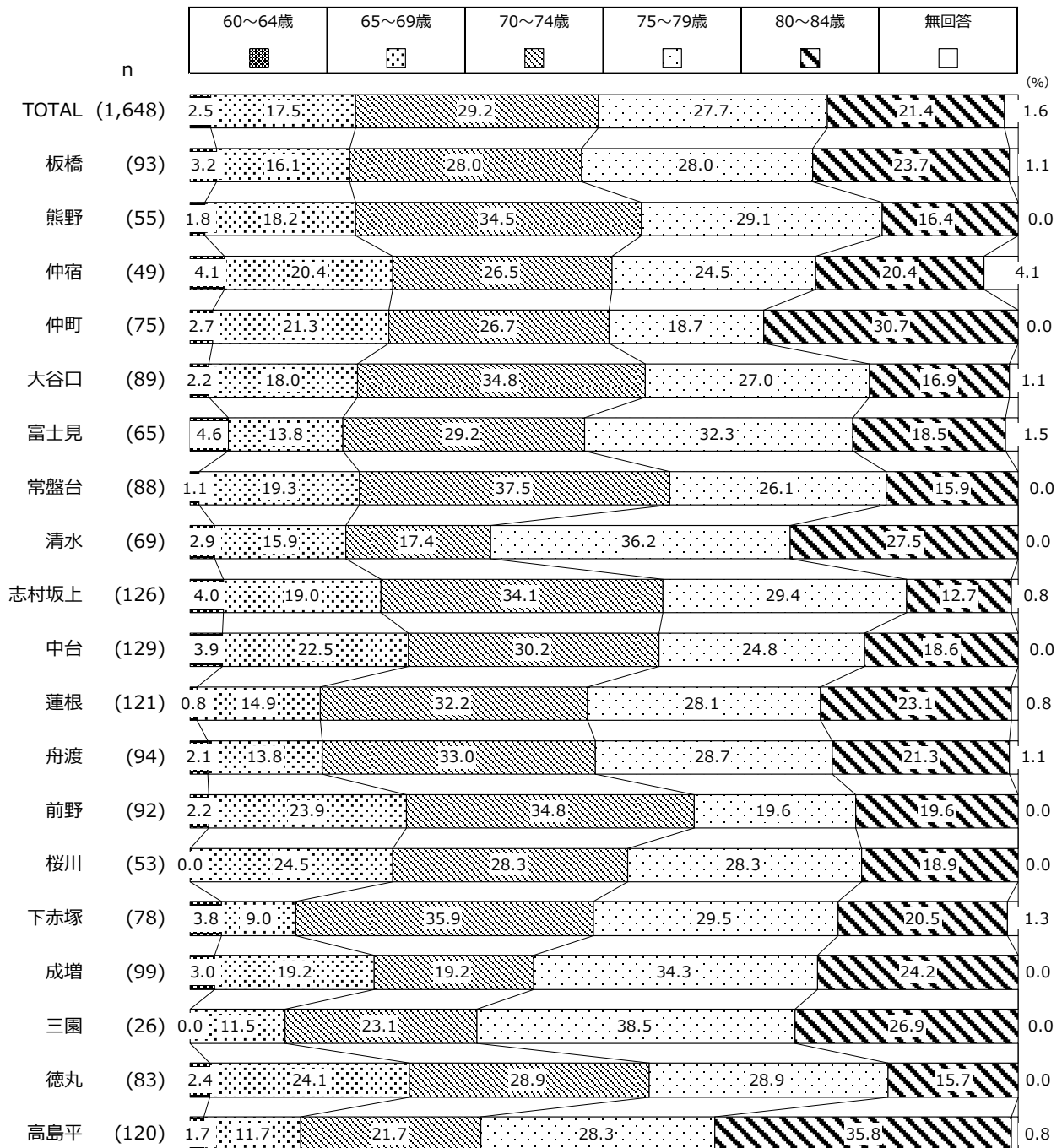
図表3-1-5 居住地区一覧

名称	該当エリア（おとしより相談センターの担当地区を元に作成）
板橋	加賀1・2丁目、板橋1～4丁目
熊野	大山金井町、大山東町、熊野町、中丸町、南町
仲宿	稲荷台、仲宿、氷川町、栄町
仲町	大山町、幸町、大山西町、弥生町、仲町、中板橋
大谷口	大谷口1・2丁目、大谷口上町、大谷口北町、向原1～3丁目、小茂根1・2丁目
富士見	本町、大和町、双葉町、富士見町
常盤台	上板橋1～3丁目、常盤台1～4丁目、南常盤台1・2丁目、東新町1丁目
清水	清水町、蓮沼町、大原町、泉町、宮本町
志村坂上	志村1～3丁目、小豆沢1～4丁目、坂下1丁目、東坂下1丁目、相生町
中台	若木1～3丁目、中台1～3丁目、西台1～4丁目
蓮根	蓮根1～3丁目、坂下2・3丁目、東坂下2丁目
舟渡	舟渡1～4丁目、新河岸1・2丁目、高島平7～9丁目
前野	前野町1～6丁目
桜川	小茂根3～5丁目、東山町、東新町2丁目、桜川1～3丁目
下赤塚	赤塚1・2丁目、6～8丁目、赤塚新町1～3丁目、大門、四葉1～2丁目
成増	赤塚3～5丁目、成増1～4丁目
三園	高島平4～6丁目、成増5丁目、三園1・2丁目、新河岸3丁目
徳丸	徳丸1～8丁目
高島平	高島平1～3丁目

### 第3章 調査結果の詳細

回答者の居住地区は、中台が129人と最も多く、三園が26人と最も少なくなっている。年代別にみると、他の地域と比べて60～64歳が多いのは富士見（4.6%）・仲宿（4.1%）・志村坂上（4.0%）、前期高齢者が多いのは前野（65～69歳が23.9%・70～74歳が34.8%で合わせて58.7%）・常盤台（19.3%・37.5%で56.8%）・志村坂上（19.0%・34.1%で53.1%）、後期高齢者が多いのは三園（75～79歳が38.5%・80～84歳が26.9%で合わせて65.4%）・高島平（28.3%・35.8%で64.1%）・清水（36.2%・27.5%で63.7%）となっている。

図表3-1-6 年代（詳細）：地区別





詳細な年齢区分別でみると、男性65～69歳は桜川（15.1%）で、男性70～74歳は蓮根（14.9%）・大谷口（14.6%）・仲宿（14.3%）で、男性75～79歳は徳丸（15.7%）で、男性80～84歳は三園（19.2%）で、それぞれ多くなっている。また、女性70～74歳は志村坂上（21.4%）で、女性75～79歳は清水（21.7%）・桜川（18.9%）・常盤台（18.2%）で、女性80～84歳は高島平（15.8%）で、それぞれ多くなっている。一方、女性65～69歳は三園（3.8%）で少なくなっている。なお、60～64歳では男女ともに大きな違いがみられない。

図表3-1-7 性年代（詳細）：地区別

n	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	無回答	
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳		
TOTAL	1,648	1.1	7.3	9.3	9.1	7.6	1.5	10.0	14.3	12.4	10.2	17.4
板橋	93	1.1	5.4	8.6	3.2	5.4	2.2	10.8	14.0	14.0	14.0	21.5
熊野	55	1.8	5.5	7.3	7.3	5.5	0.0	12.7	16.4	14.5	7.3	21.8
仲宿	49	2.0	8.2	14.3	10.2	8.2	2.0	12.2	12.2	10.2	10.2	10.2
仲町	75	1.3	12.0	9.3	6.7	9.3	1.3	9.3	10.7	9.3	14.7	16.0
大谷口	89	0.0	5.6	14.6	10.1	5.6	2.2	12.4	15.7	10.1	7.9	15.7
富士見	65	4.6	4.6	9.2	10.8	7.7	0.0	9.2	15.4	13.8	7.7	16.9
常盤台	88	0.0	11.4	11.4	5.7	6.8	1.1	8.0	17.0	18.2	8.0	12.5
清水	69	1.4	2.9	5.8	5.8	10.1	1.4	13.0	10.1	21.7	13.0	14.5
志村坂上	126	1.6	6.3	7.9	13.5	4.0	2.4	12.7	21.4	7.9	4.8	17.5
中台	129	1.6	11.6	6.2	11.6	6.2	2.3	10.9	18.6	10.1	10.1	10.9
蓮根	121	0.0	6.6	14.9	7.4	7.4	0.8	7.4	11.6	14.9	9.9	19.0
舟渡	94	1.1	5.3	8.5	9.6	8.5	1.1	8.5	18.1	13.8	10.6	14.9
前野	92	0.0	8.7	10.9	6.5	8.7	2.2	14.1	13.0	5.4	9.8	20.7
桜川	53	0.0	15.1	13.2	7.5	7.5	0.0	9.4	11.3	18.9	7.5	9.4
下赤塚	78	0.0	3.8	9.0	9.0	5.1	3.8	5.1	16.7	14.1	11.5	21.8
成増	99	2.0	9.1	4.0	12.1	11.1	1.0	10.1	13.1	10.1	11.1	16.2
三園	26	0.0	3.8	11.5	11.5	19.2	0.0	3.8	7.7	15.4	7.7	19.2
徳丸	83	1.2	8.4	12.0	15.7	6.0	1.2	13.3	10.8	8.4	7.2	15.7
高島平	120	0.8	5.8	5.8	8.3	12.5	0.8	5.8	11.7	15.8	15.8	16.7

(5) 現在の地区での居住年数

問5 あなた（宛名のご本人）は、問4でお答えの地区にどのくらい住んでいますか。

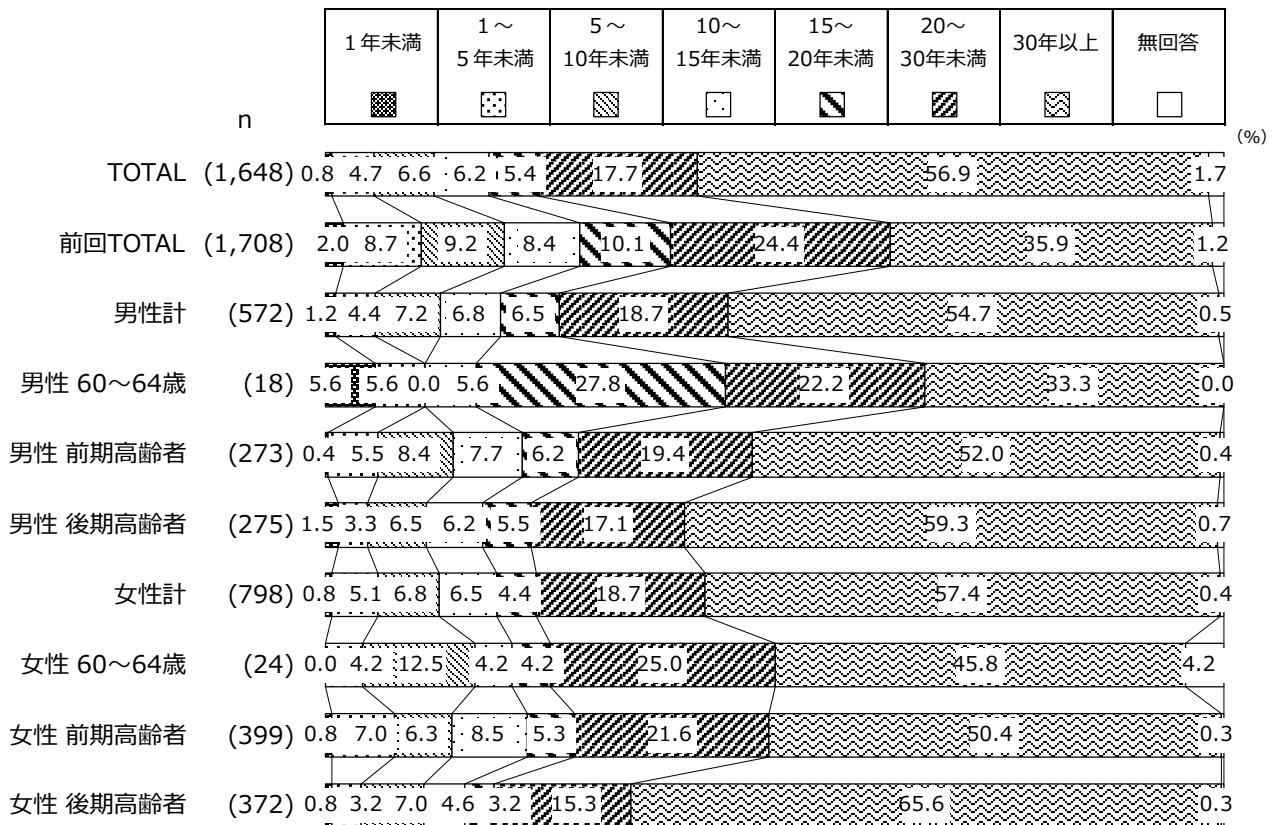
※同じ地区内で転居や増改築などをされた場合は、通算してお答えください。（○は1つのみ）

現在の地区での居住年数については、「30年以上」が56.9%と最も高く、次いで「20～30年未満」が17.7%、「5～10年未満」が6.6%の順となっている。

性別では、大きな違いがみられない。性年代別でみると、女性後期高齢者では「30年以上（65.6%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

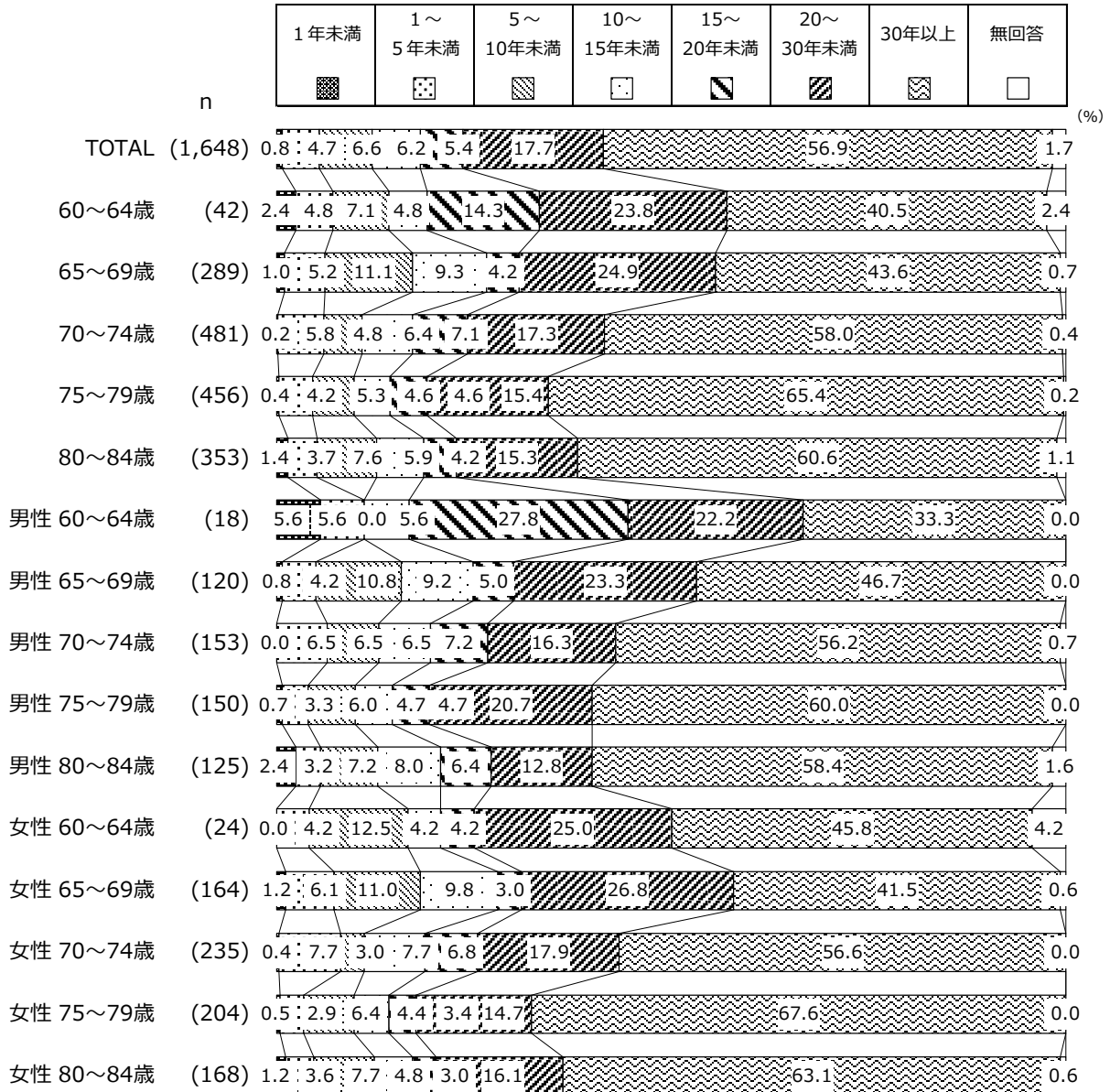
前回調査と比較すると、「30年以上」が35.9%から56.9%に21.0ポイント上昇している。前回調査の「20～30年未満」の該当者が繰り上がって「30年以上」に該当するようになったために、このような結果になったと考えられる。

図表3-1-8 現在の地区での居住年数：性年代別



詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「15～20年未満（14.3%）」が、65～69歳では「20～30年未満（24.9%）」が、75～79歳では「30年以上（65.4%）」が、男性60～64歳では「15～20年未満（27.8%）」が、男性65～69歳では「20～30年未満（23.3%）」が、女性60～64歳では「5～10年未満（12.5%）」が、女性65～69歳では「20～30年未満（26.8%）」が、女性75～79歳では「30年以上（67.6%）」が、女性80～84歳では「30年以上（63.1%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。

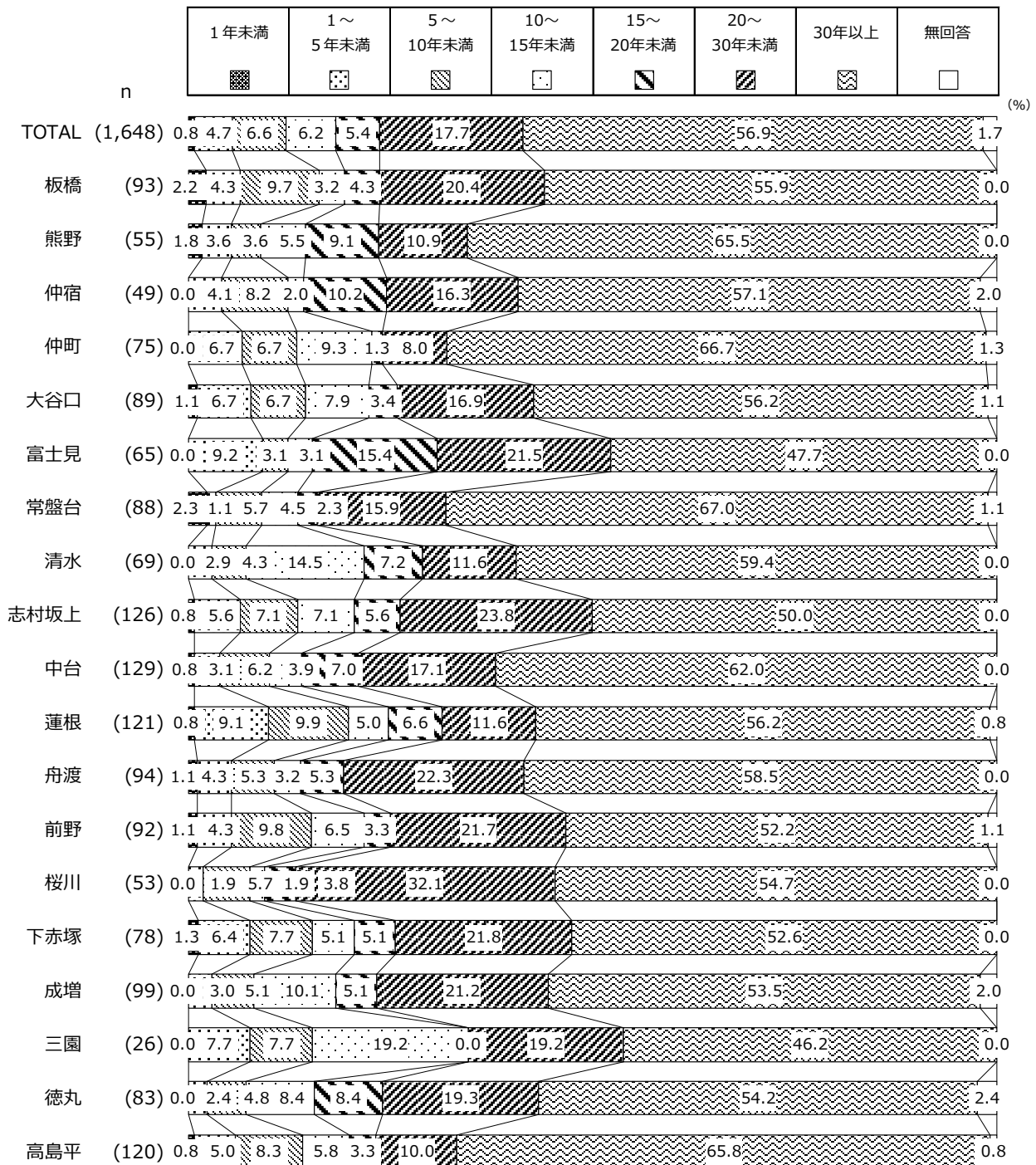
図表3-1-9 現在の地区での居住年数：性年代別（詳細）



### 第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、「10～15年未満」は三園（19.2%）・清水（14.5%）が、「15～20年未満」は富士見（15.4%）が、「20～30年未満」は桜川（32.1%）・志村坂上（23.8%）が、「30年以上」は常盤台（67.0%）・仲町（66.7%）・高島平（65.8%）・熊野（65.5%）・中台（62.0%）が、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-1-10 現在の地区での居住年数：地区別



(6) 世帯構成

問6 あなた（宛名のご本人）の世帯の状況をお選びください。（○は1つのみ）

世帯構成については、「配偶者と二人暮らし」が39.0%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が24.8%、「配偶者や子、孫など同居」が22.8%の順となっている。

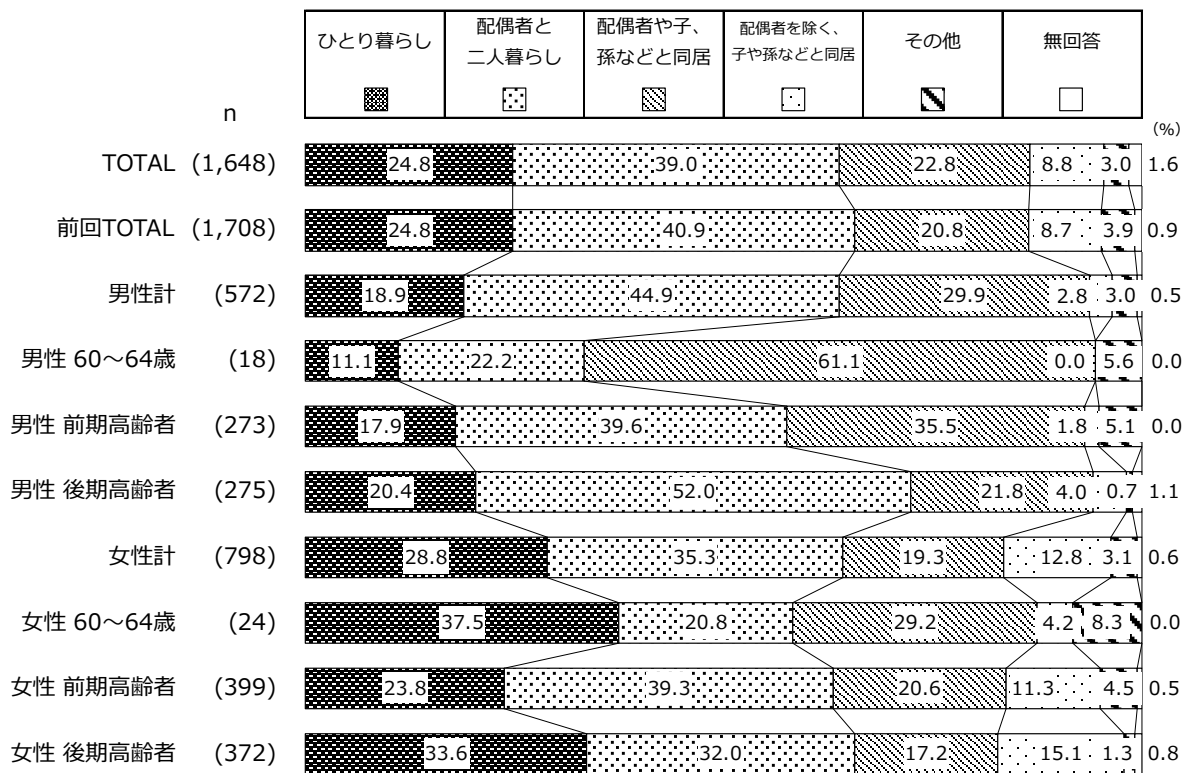
性別で見ると、男性では女性よりも「配偶者と二人暮らし（44.9%）」「配偶者や子、孫など同居（29.9%）」が高く、女性では男性よりも「ひとり暮らし（28.8%）」「配偶者を除く、子や孫など同居（12.8%）」が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「配偶者や子、孫など同居（男性60～64歳61.1%・男性前期35.5%）」が、男性後期高齢者では「配偶者と二人暮らし（52.0%）」が、女性60～64歳では「ひとり暮らし（37.5%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「配偶者と二人暮らし（22.2%）」「ひとり暮らし（11.1%）」が、女性60～64歳では「配偶者と二人暮らし（20.8%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

また、「配偶者を除く、子や孫など同居」は男女ともに加齢に伴い上昇、「配偶者や子、孫など同居」「その他」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、「ひとり暮らし」「配偶者を除く、子や孫など同居」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「配偶者と二人暮らし」「配偶者や子、孫など同居」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

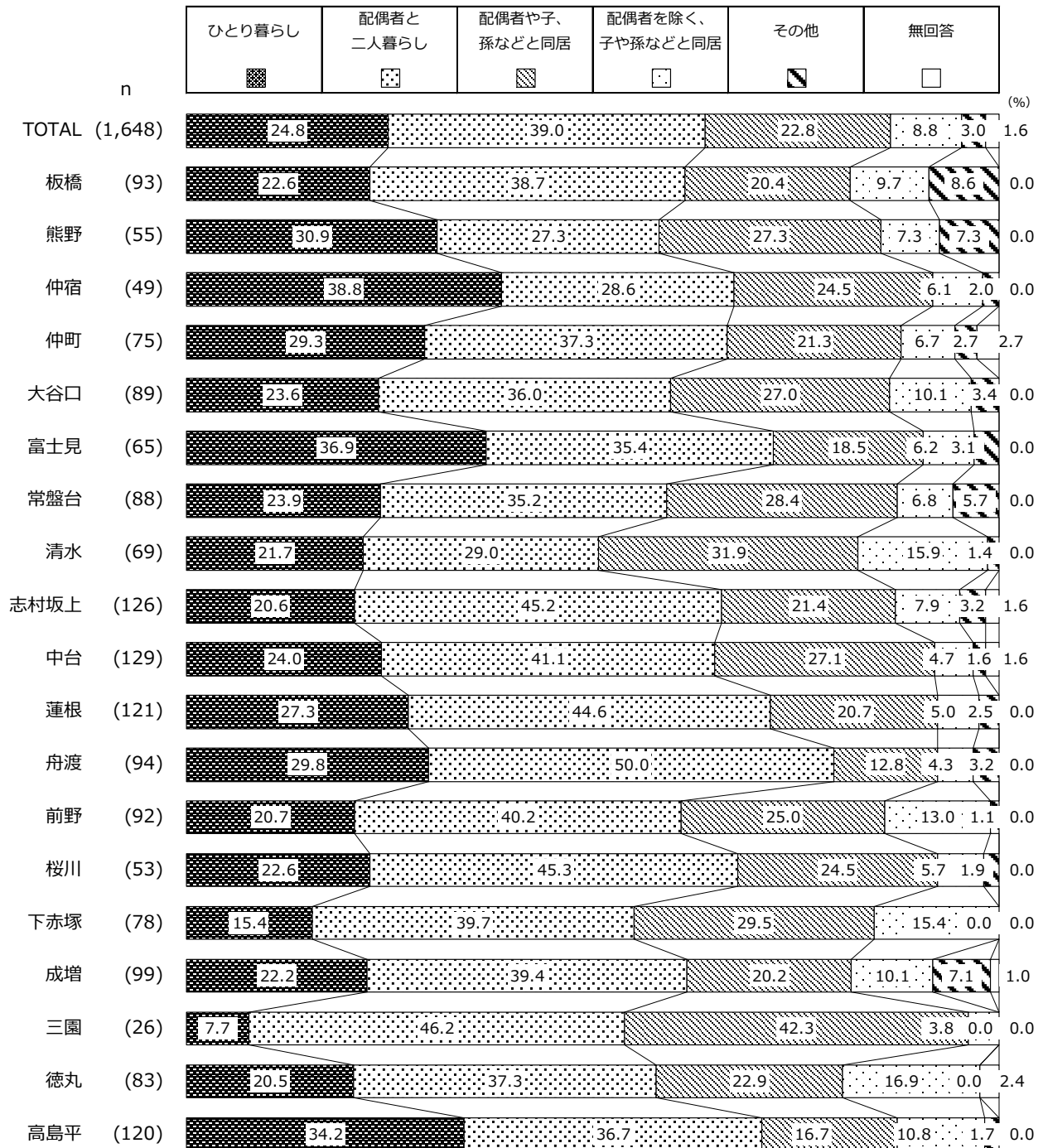
図表3-1-11 世帯構成：性年代別



第3章 調査結果の詳細

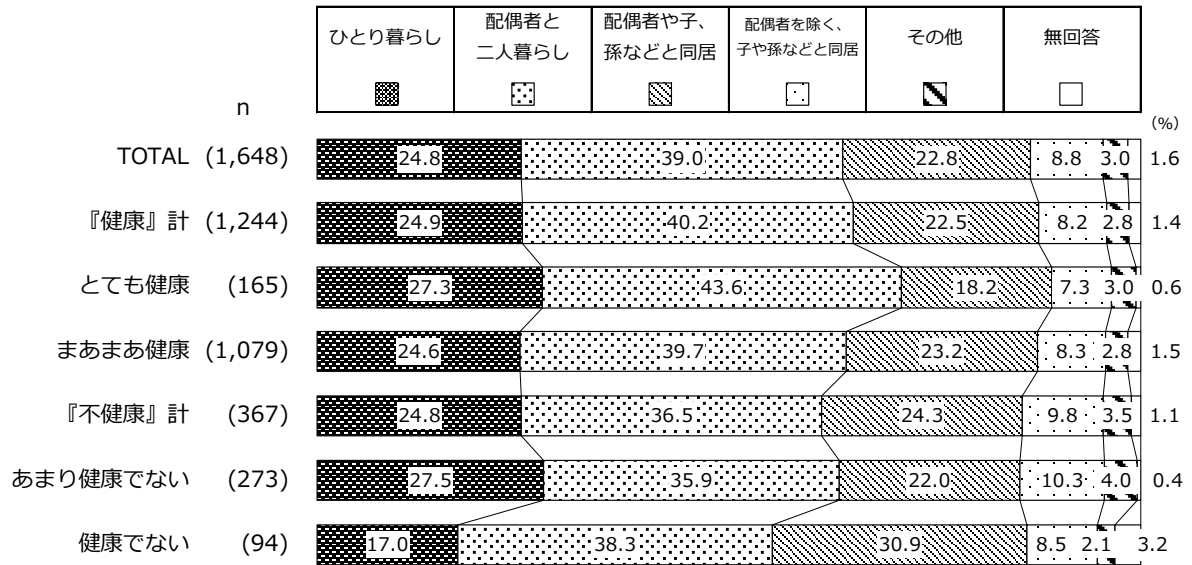
地区別でみると、「ひとり暮らし」は仲宿（38.8%）・富士見（36.9%）で、「配偶者と二人暮らし」は舟渡（50.0%）で、「配偶者や子、孫など同居」は三園（42.3%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-1-12 世帯構成：地区別



健康に対する自己認識別でみると、世帯構成による大きな違いはみられない。

図表3-1-13 世帯構成：健康に対する自己認識別



(7) 家族の介護状況

問7 あなた（宛名のご本人）は現在、ご家族などの介護をしていますか。（○は1つのみ）

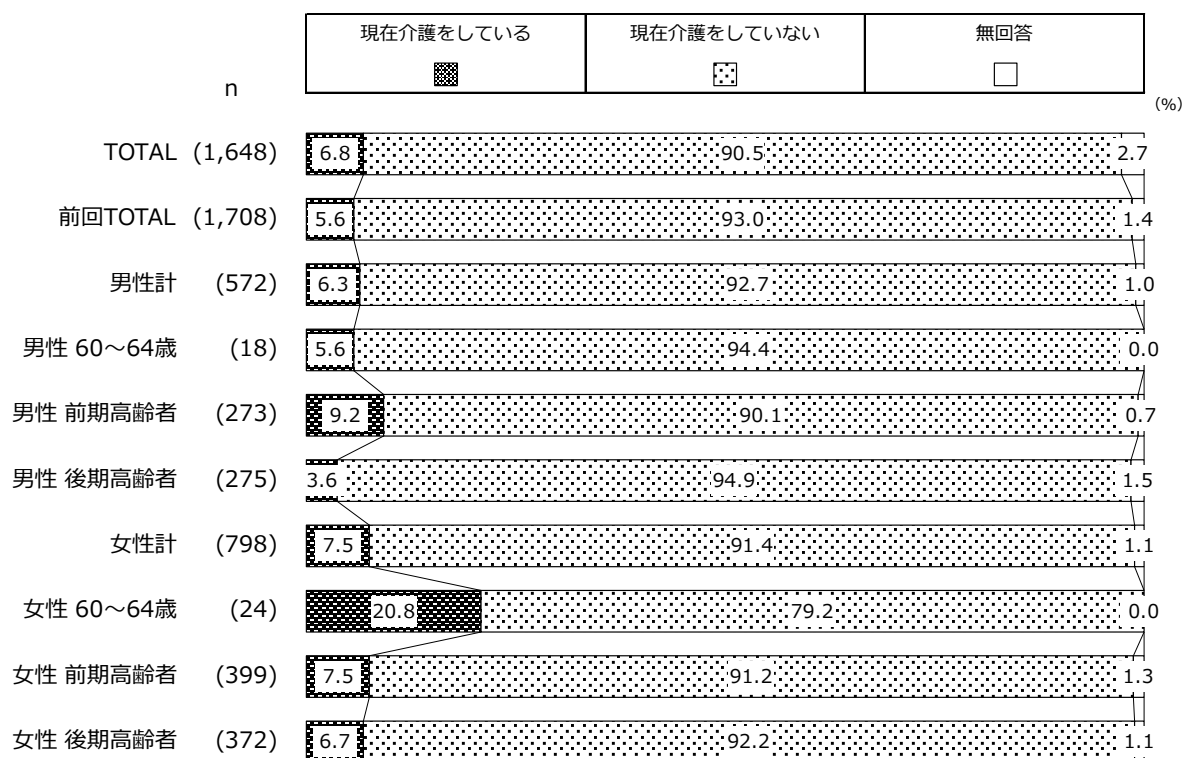
家族の介護状況については、「現在介護をしている」が6.8%、「現在介護をしていない」が90.5%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。

性年代別で見ると、女性60～64歳で「現在介護をしている（20.8%）」が全体の傾向よりも高くなっており、親や配偶者等の介護を担っていることが推測される。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

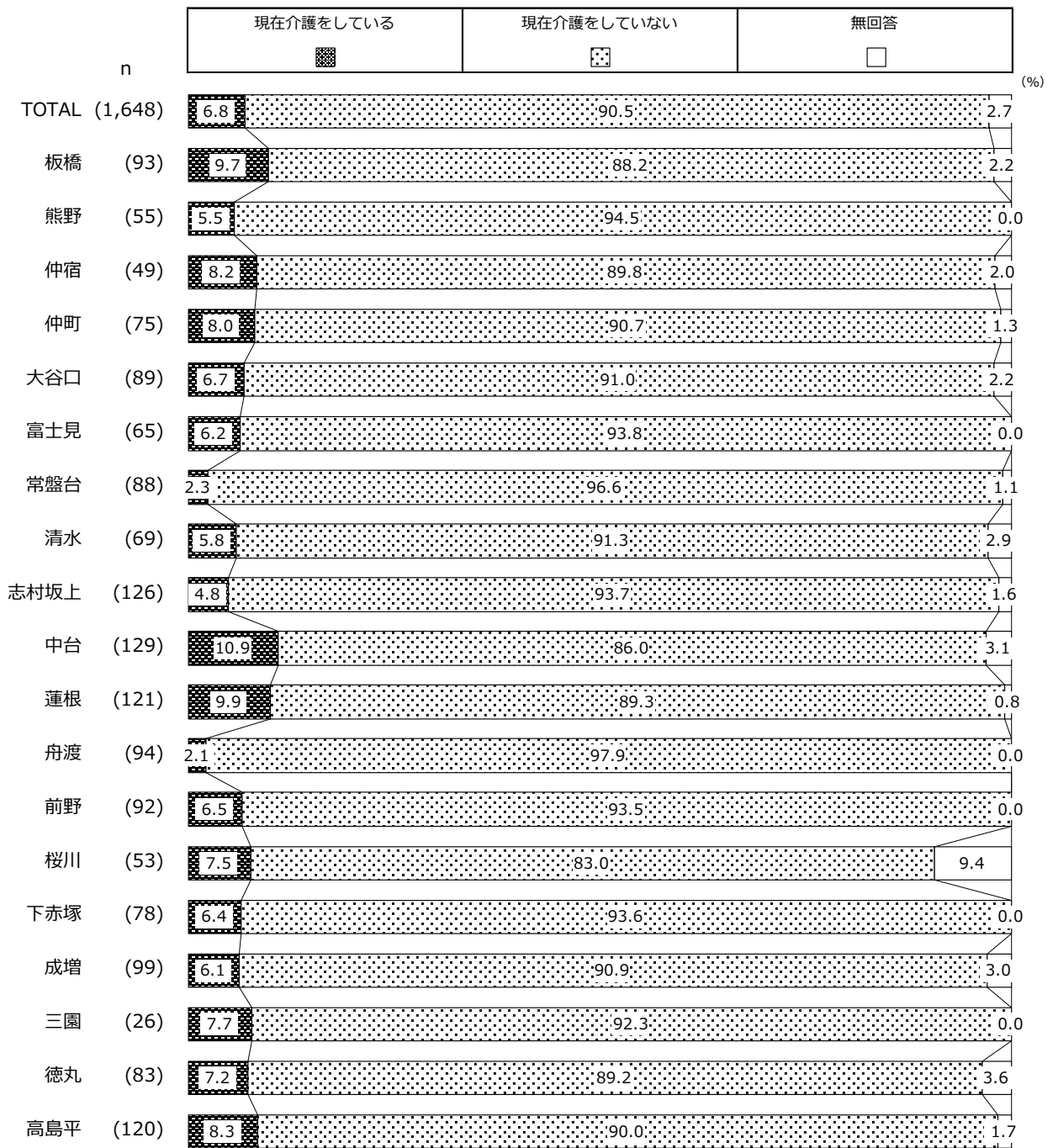
図表3-1-14 家族の介護状況：性年代別





地区別でみると、大きな違いは見られない。

図表3-1-15 家族の介護状況：地区別



### 第3章 調査結果の詳細

世帯構成別でみると、「現在介護をしている」は「その他（22.4%）」で顕著に高くなっている。これは、親・配偶者・家族を施設等に入居させている世帯等が世帯構成を「その他」と回答しているためかと考えられる。

図表3-1-16 家族の介護状況：世帯構成別



健康に対する自己認識別では、大きな違いがみられない。

図表3-1-17 家族の介護状況：健康に対する自己認識別



(8) 最後に卒業した学校

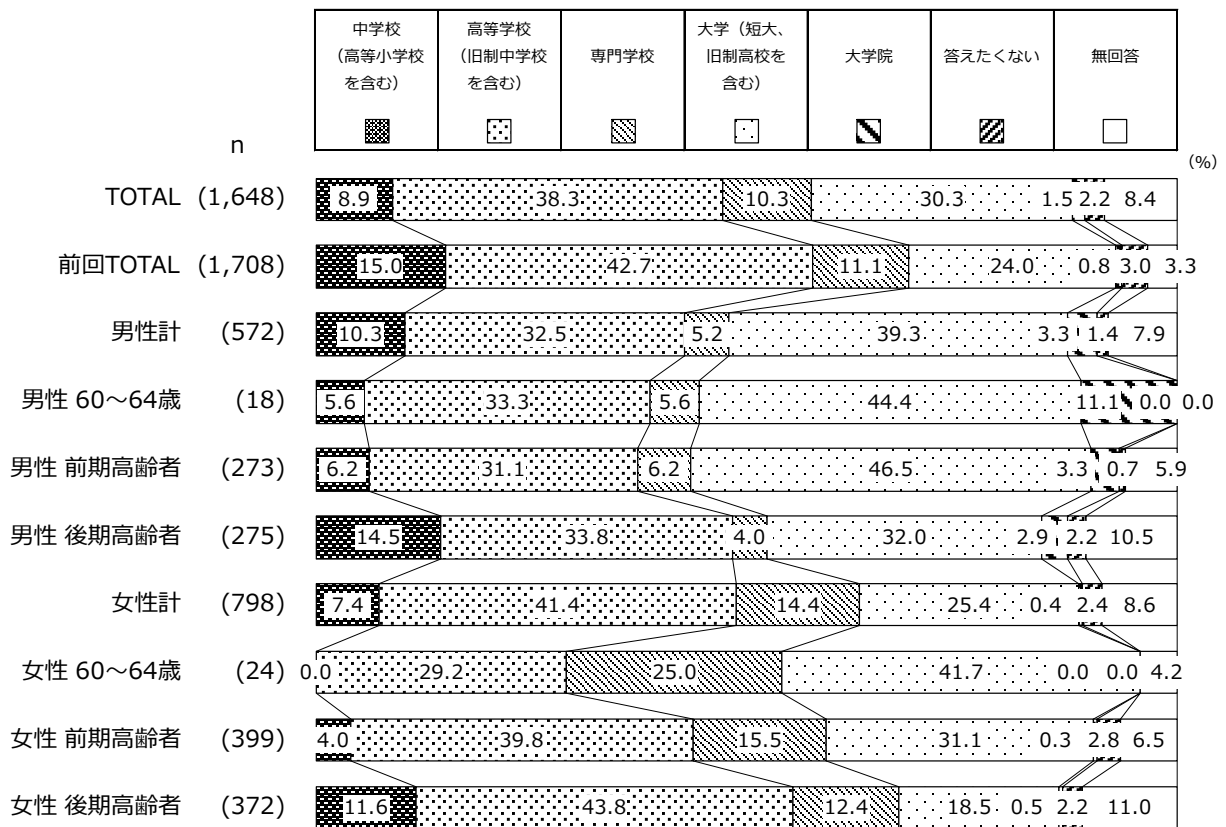
問36 あなた(宛名のご本人)が最後に卒業された学校をお答えください。(○は1つのみ)

最後に卒業した学校については、「高等学校(旧制中学校を含む)」が38.3%と最も高く、次いで「大学(短大、旧制高校を含む)」が30.3%、「専門学校」が10.3%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「大学(短大・旧制高校を含む)(39.3%)」が高く、女性では男性よりも「高等学校(旧制中学校を含む)(41.4%)」「専門学校(14.4%)」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「大学(短大・旧制高校を含む)(男性60～64歳44.4%・男性前期46.5%)」が、女性60～64歳では「大学(短大・旧制高校を含む)(41.7%)」「専門学校(25.0%)」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「大学(短大・旧制高校を含む)(18.5%)」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「中学校(高等小学校を含む)」が6.1ポイント低下、「大学(短大、旧制高校を含む)」が6.3ポイント上昇している。

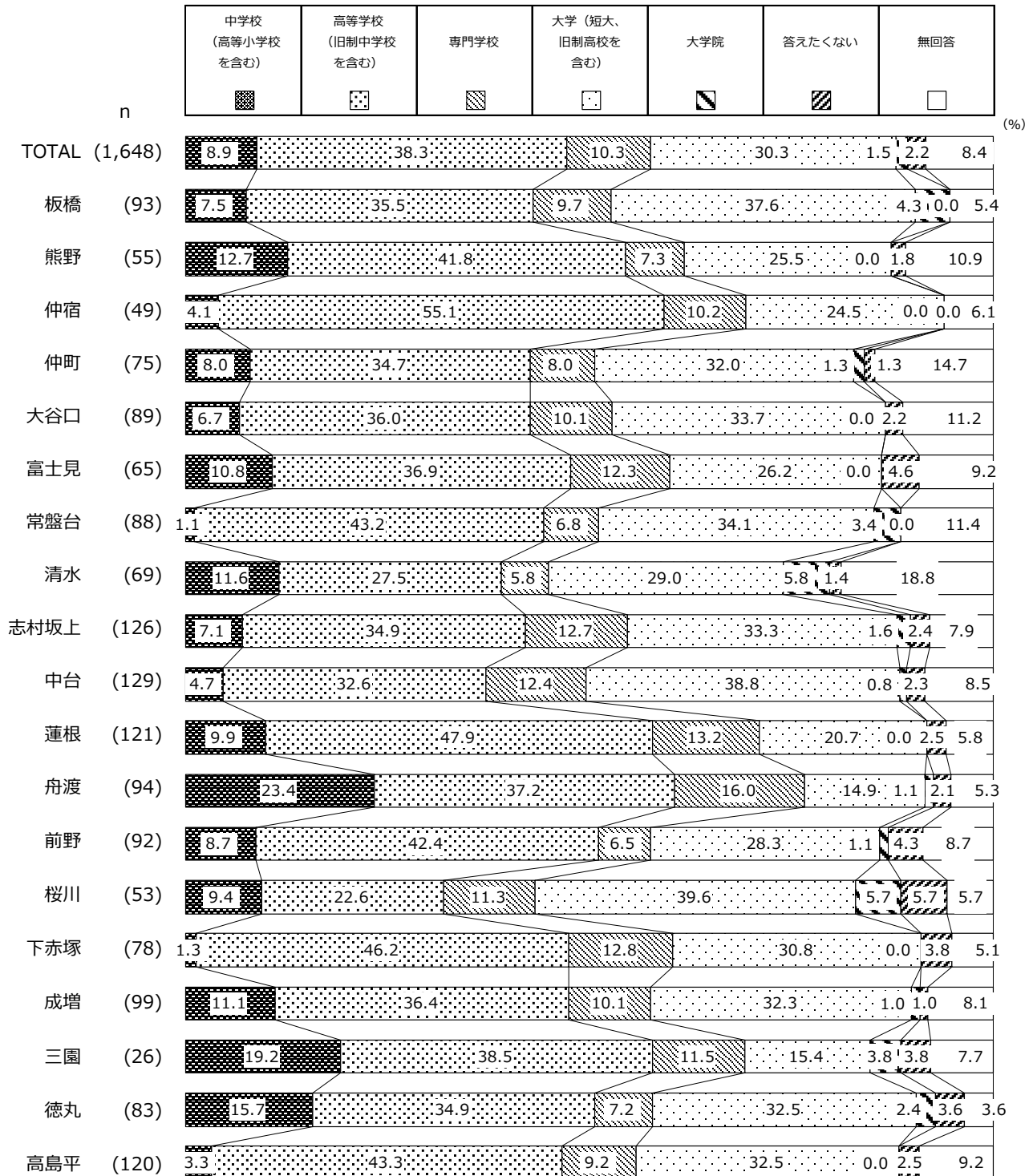
図表3-1-18 最終学歴：性年代別



第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、「中学校（高等小学校を含む）」は舟渡（23.4%）・三園（19.2%）で、「高等学校（旧制中学校を含む）」は仲宿（55.1%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-1-19 最終学歴：地区別



## (9) 年収

## 問8 あなた（宛名のご本人）の年収をお答えください。（○は1つのみ）

年収については、「120～200万円未満」が21.4%と最も高く、次いで「200～300万円未満」が20.0%、「80～120万円未満」が15.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「200～300万円未満（30.8%）」「300～400万円未満（14.3%）」「400～550万円未満（8.9%）」が高く、女性では男性よりも「80～120万円未満（24.8%）」「80万円未満（24.3%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「400～550万円未満（22.2%）」が、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「200～300万円未満（男性前期30.4%・男性後期32.7%）」が、女性60～64歳・女性後期高齢者では「80万円未満（女性60～64歳45.8%・女性後期27.4%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「80～120万円未満」「120～200万円未満」「200～300万円未満」（すべて5.6%）が、男性前期高齢者では「80～120万円未満（4.0%）」「80万円未満（2.6%）」が、女性60～64歳では「120～200万円未満」「200～300万円未満」（ともに8.3%）が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-1-20 年収：性年代別

	n	80万円未満	80～120万円未満	120～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～550万円未満	550～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	答えたくない	無回答
TOTAL	1,648	15.2	15.9	21.4	20.0	8.1	4.9	1.9	1.8	1.5	4.5	4.9
前回TOTAL	1,708	11.8	16.5	22.2	19.6	8.4	3.9	2.2	1.5	1.1	7.6	5.2
男性計	572	5.1	5.2	20.1	30.8	14.3	8.9	3.5	3.5	2.8	4.2	1.6
男性 60～64歳	18	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	22.2	5.6	11.1	5.6	11.1	5.6
男性 前期高齢者	273	2.6	4.0	20.9	30.4	13.9	11.7	5.9	2.9	2.6	4.8	0.4
男性 後期高齢者	275	7.6	6.2	20.4	32.7	14.5	5.5	1.1	3.6	2.9	2.9	2.5
女性計	798	24.3	24.8	21.2	12.4	4.4	2.3	0.6	0.9	0.4	4.3	4.5
女性 60～64歳	24	45.8	16.7	8.3	8.3	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
女性 前期高齢者	399	20.1	24.8	24.8	11.8	5.3	3.5	0.8	1.3	0.3	3.3	4.3
女性 後期高齢者	372	27.4	25.3	18.3	13.2	3.0	0.8	0.5	0.5	0.5	5.4	5.1

(10) 定期的な収入源

問9 あなた（宛名のご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。

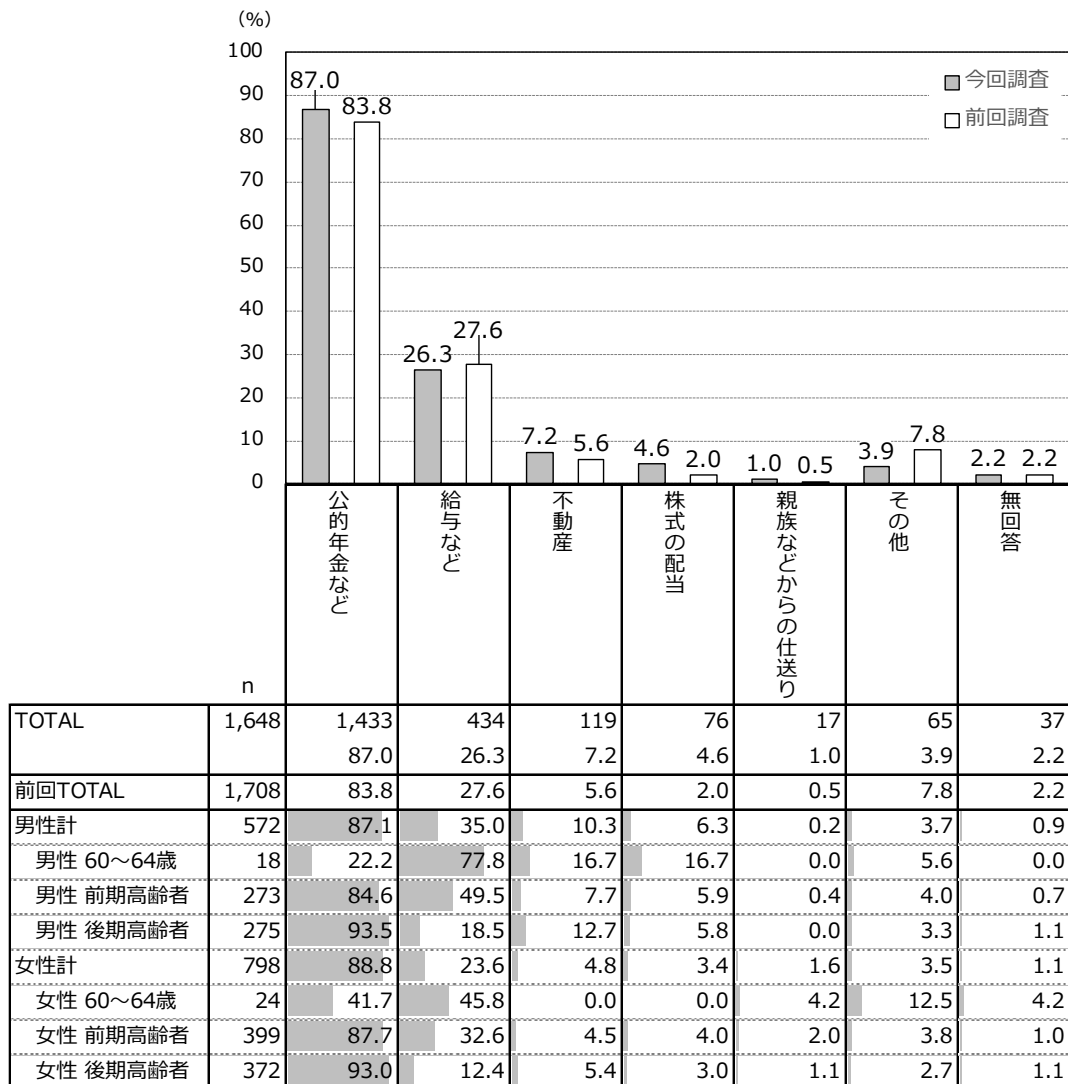
（あてはまるものすべてに○）

定期的な収入源については、「公的年金など」が87.0%と最も高く、次いで「給与など」が26.3%、「不動産」が7.2%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「給与など（35.0%）」「不動産（10.3%）」が高くなっている。性年代別でみると、男性60～64歳では「給与など（77.8%）」「株式の配当（16.7%）」が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「給与など（男性前期49.5%・女性60～64歳45.8%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「公的年金など（男性60～64歳22.2%・女性60～64歳41.7%）」が、女性後期高齢者では「給与など（12.4%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「公的年金など」は男女ともに加齢に伴い上昇、「給与など」「その他」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-1-21 定期的な収入源：性年代別



※前回調査では「公的年金や恩給」「土地・家屋の家賃収入」としていた選択肢を、今回調査では「公的年金など」「不動産」にそれぞれ変更している。

(11) 現在の暮らし向き

①現在の暮らし向き

問10 あなた（宛名のご本人）の世帯の現在の暮らし向きは、1年前と比べていかがですか。

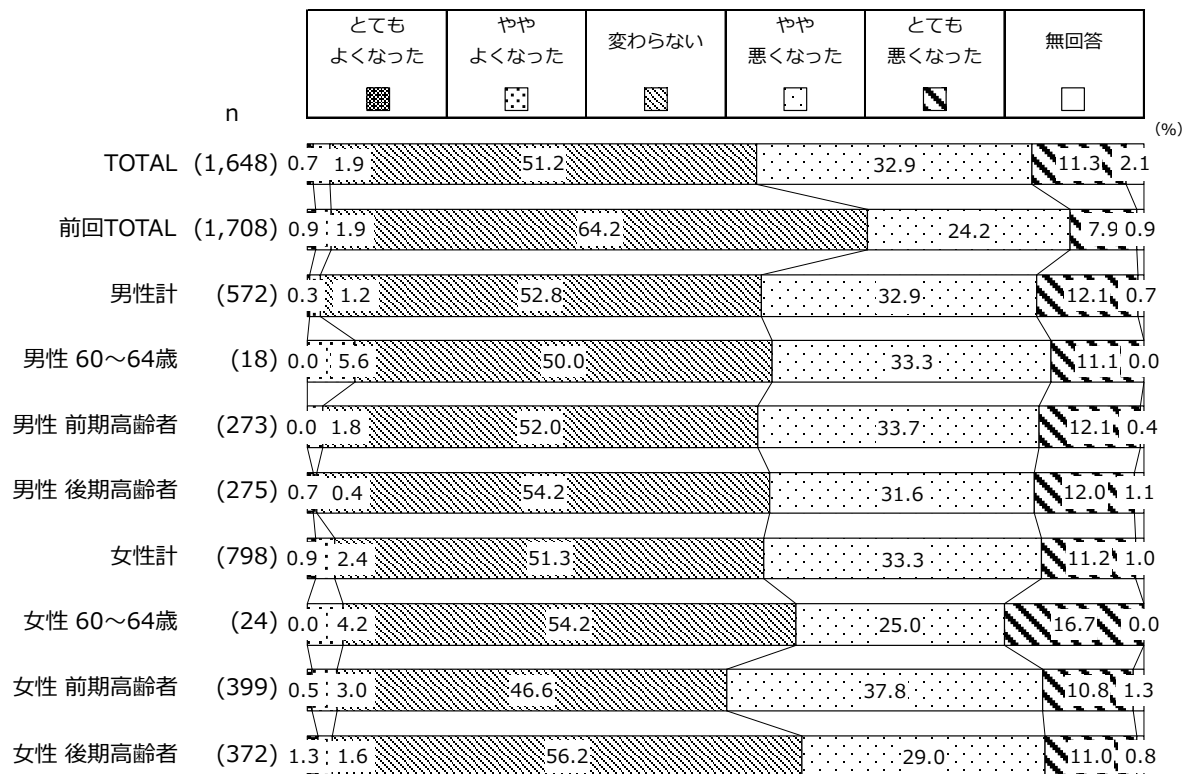
（○は1つのみ）

現在の暮らし向きについては、「変わらない」が51.2%と最も高く、「とてもよくなった」の0.7%と「ややよくなった」の1.9%を合わせた『よくなった』が2.6%、「やや悪くなった」の32.9%と「とても悪くなった」の11.3%を合わせた『悪くなった』が44.2%となっている。

性別では、大きな違いはみられない。性年代別でみると、『よくなった』は男女ともに加齢に伴い低下している。また、女性60～64歳で「とても悪くなった」が16.7%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、『よくなった』では大きな違いがみられないものの、「変わらない」が13.0ポイント低下、『悪くなった』が12.1ポイント上昇している。

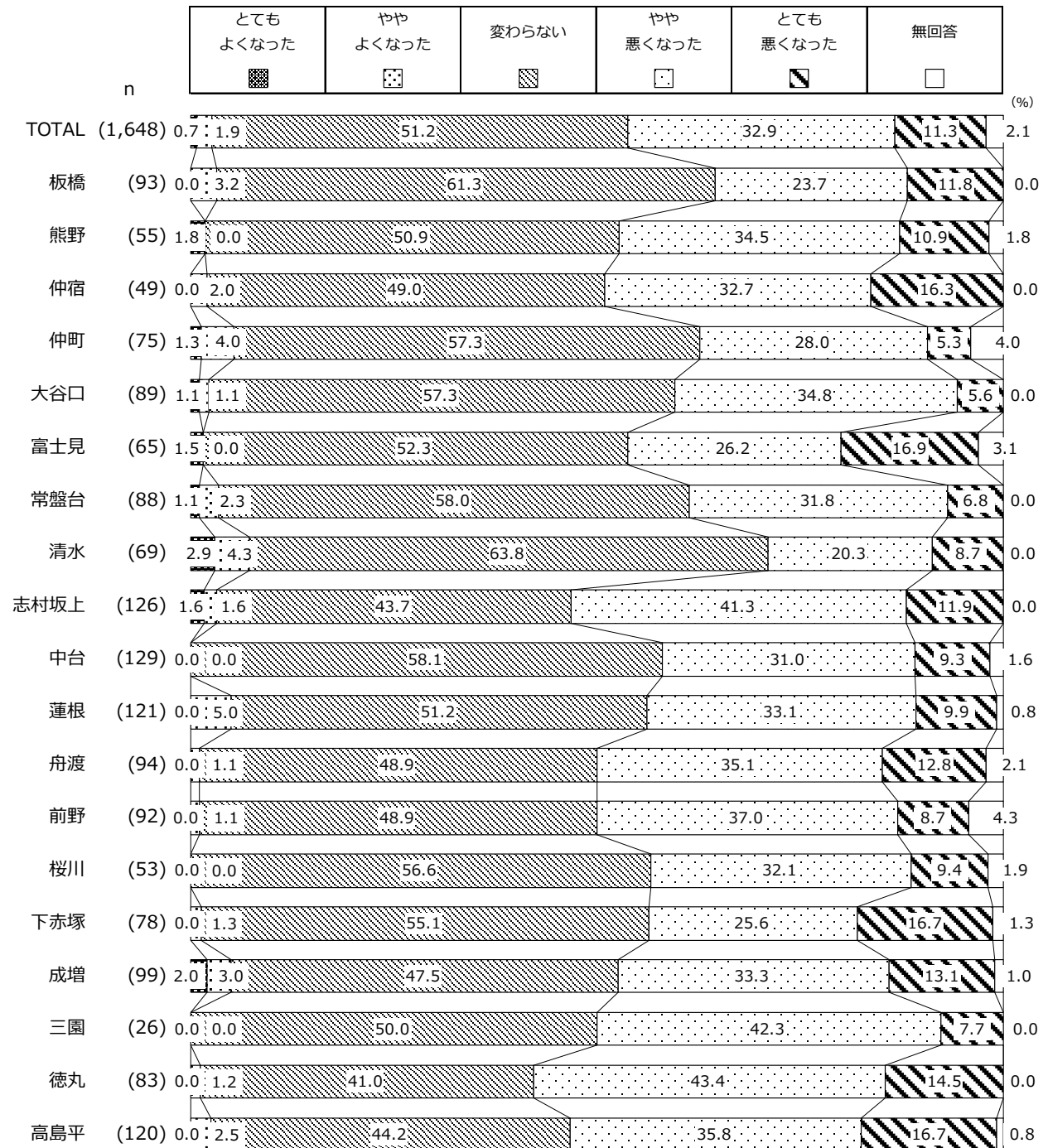
図表3-1-22 現在の暮らし向き：性年代別



第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、『悪くなった』は徳丸(57.9%)・志村坂上(53.2%)・高島平(52.5%)・三園(50.0%)で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

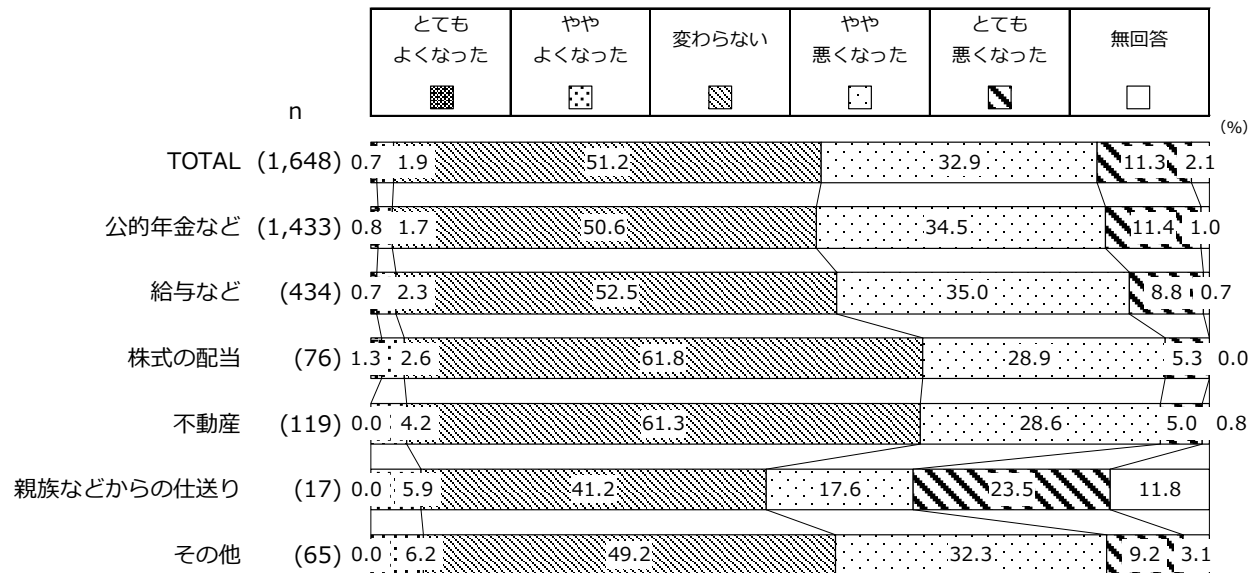
図表3-1-23 現在の暮らし向き：地区別





定期的な収入源別でみると、『よくなった』では大きな違いがみられないものの、「株式の配当」「不動産」では全体の傾向と比べて、「変わらない（株式の配当61.8%・不動産61.3%）」が高く、『悪くなった（34.2%・33.6%）』が低くなっている。

図表3-1-24 現在の暮らし向き：定期的な収入源別



② 1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由

【問10で「4. やや悪くなった」「5. とても悪くなった」とお答えの方にお伺いします。】

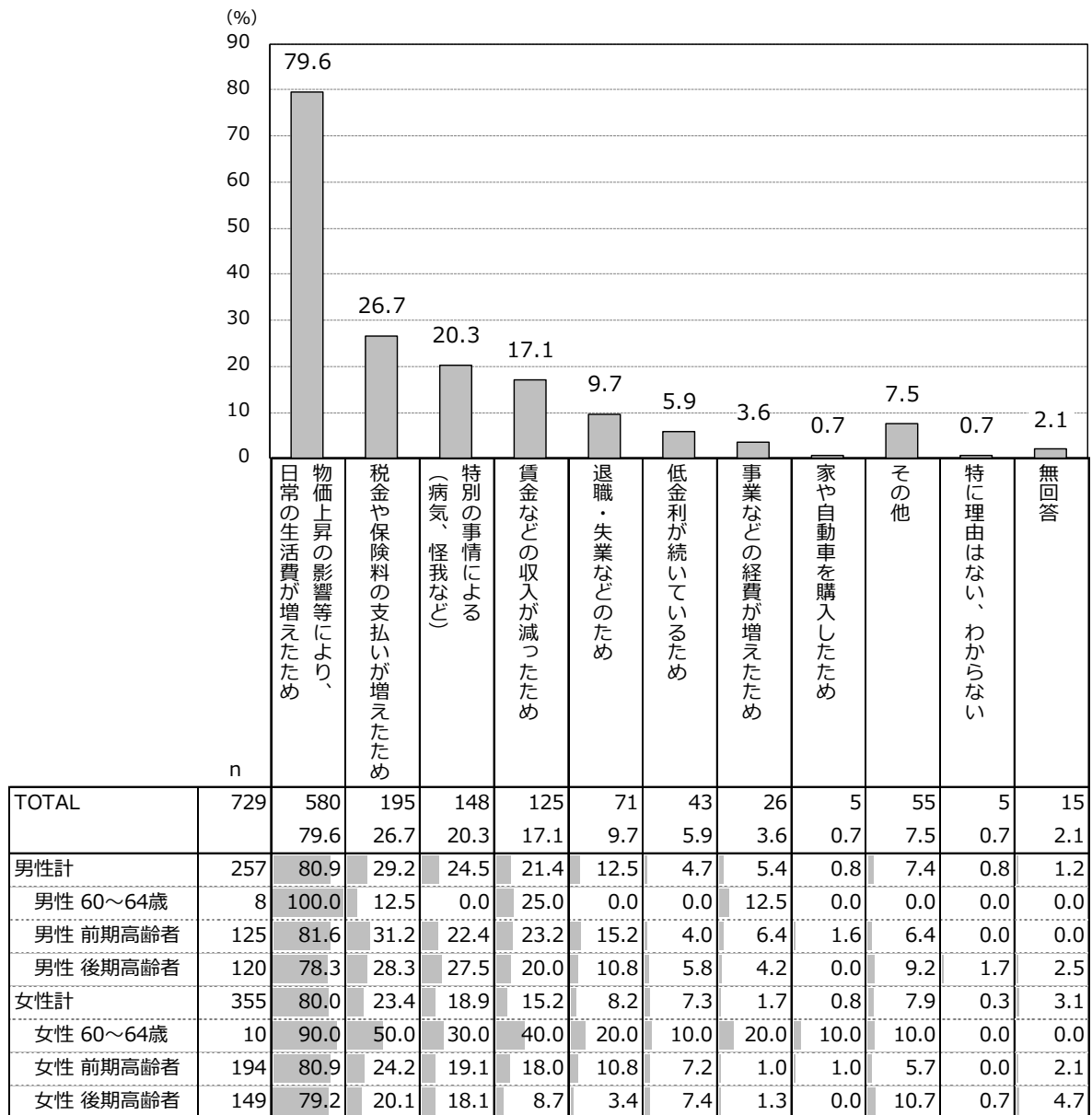
問10-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由については、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」が79.6%と最も高く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたため」が26.7%、「特別の事情による（病気、怪我など）」が20.3%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「税金や保険料の支払いが増えたため（29.2%）」「特別の事情による（病気、怪我など）（24.5%）」「賃金などの収入が減ったため（21.4%）」が高くなっている。

また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため（100.0%）」が、女性60～64歳では「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため（90.0%）」「税金や保険料の支払いが増えたため（50.0%）」「賃金などの収入が減ったため（40.0%）」「退職・失業などのため」「事業などの経費が増えたため」（左記2項目はともに20.0%）が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「税金や保険料の支払いが増えたため（12.5%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-1-25 1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」は三園（92.3%）・中台（90.4%）・清水（90.0%）で、「税金や保険料の支払いが増えたため」は清水（50.0%）・常盤台（41.2%）・板橋（39.4%）で、「特別の事情による（病気、怪我など）」は三園（30.8%）で、「事業などの経費が増えたため」は清水（15.0%）・常盤台（14.7%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

定期的な収入源別でみると、「給与など」では「賃金などの収入が減ったため（40.0%）」、「株式の配当」では「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため（100.0%）」「税金や保険料の支払いが増えたため（38.5%）」、「不動産」では「税金や保険料の支払いが増えたため（50.0%）」「事業などの経費が増えたため（22.5%）」、「親族などからの仕送り」では「特別の事情による（病気、怪我など）（42.9%）」「事業などの経費が増えたため（14.3%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-1-26 1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由：地区別・定期的な収入源別

	n	日常の生活費が増えたため	物価上昇の影響等により、税金や保険料の支払いが増えたため	特別の事情による（病気、怪我など）	賃金などの収入が減ったため	退職・失業などのため	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	家や自動車を購入したため	その他	特に理由はない、わからない	無回答
TOTAL	729	79.6	26.7	20.3	17.1	9.7	5.9	3.6	0.7	7.5	0.7	2.1
板橋	33	78.8	39.4	27.3	21.2	3.0	6.1	3.0	0.0	9.1	0.0	0.0
熊野	25	84.0	36.0	12.0	8.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
仲宿	24	87.5	29.2	25.0	12.5	8.3	12.5	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
仲町	25	76.0	16.0	20.0	16.0	8.0	12.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0
大谷口	36	77.8	30.6	19.4	16.7	11.1	8.3	2.8	2.8	2.8	0.0	2.8
富士見	28	82.1	17.9	10.7	14.3	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	7.1
常盤台	34	73.5	41.2	17.6	20.6	11.8	2.9	14.7	0.0	11.8	0.0	0.0
清水	20	90.0	50.0	20.0	20.0	0.0	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0
志村坂上	67	76.1	22.4	17.9	20.9	11.9	0.0	1.5	0.0	9.0	0.0	4.5
中台	52	90.4	34.6	17.3	15.4	15.4	7.7	5.8	1.9	3.8	0.0	1.9
蓮根	52	69.2	36.5	19.2	15.4	5.8	11.5	3.8	1.9	11.5	3.8	3.8
舟渡	45	77.8	13.3	22.2	22.2	8.9	2.2	2.2	0.0	8.9	2.2	2.2
前野	42	88.1	16.7	26.2	14.3	4.8	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4
桜川	22	86.4	22.7	22.7	13.6	18.2	13.6	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0
下赤塚	33	69.7	33.3	27.3	21.2	18.2	0.0	3.0	3.0	15.2	0.0	3.0
成増	46	84.8	13.0	15.2	13.0	17.4	8.7	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0
三園	13	92.3	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
徳丸	48	66.7	18.8	27.1	25.0	14.6	4.2	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0
高島平	63	85.7	25.4	19.0	12.7	3.2	3.2	4.8	1.6	9.5	1.6	3.2
公的年金など	658	80.5	26.3	20.4	14.3	9.3	6.4	3.2	0.3	7.8	0.6	2.1
給与など	190	81.1	31.6	21.1	40.0	8.9	5.8	6.8	2.6	7.4	1.1	0.0
株式の配当	26	100.0	38.5	23.1	19.2	11.5	11.5	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
不動産	40	57.5	50.0	20.0	20.0	7.5	5.0	22.5	0.0	12.5	0.0	0.0
親族などからの仕送り	7	71.4	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	27	66.7	25.9	18.5	25.9	3.7	11.1	7.4	0.0	11.1	0.0	3.7

## 2. 仕事、働くことについて

### (1) 現在の仕事

#### ①現在の職業

**問11 あなた（宛名のご本人）の現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合は、主な職業1つだけに○をつけてください。（○は1つのみ）**

現在の職業については、「無職・仕事からは引退した」が36.8%と最も高く、次いで「主婦・主夫（専業）」が23.8%、「その他」が6.1%、「会社・団体の役員、管理職」が4.9%、「清掃、配達」が4.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「無職・仕事からは引退した（47.0%）」「会社・団体の役員、管理職（9.3%）」が高く、女性では男性よりも「主婦・主夫（専業）（39.2%）」が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「事務（27.8%）」「会社・団体の役員、管理職（16.7%）」が、男性後期高齢者では「無職・仕事からは引退した（60.4%）」が、女性60～64歳では「事務（20.8%）」「専門技術者、教員、医療職（12.5%）」が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「主婦・主夫（専業）（女性前期34.3%・女性後期44.9%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「無職・仕事からは引退した（16.7%）」が、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「主婦・主夫（専業）（男性前期1.8%・男性後期4.4%）」が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「無職・仕事からは引退した（女性60～64歳12.5%・女性前期24.3%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「会社・団体の役員、管理職」は女性では加齢に伴って上昇しているのに対して、男性では低下、「主婦・主夫（専業）」「無職・仕事からは引退した」は男女ともに加齢に伴い上昇、「専門技術者、教員、医療職」「事務」「調理、洗い場」「介護職」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、「会社・団体の役員、管理職」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

### 第3章 調査結果の詳細

図表3-2-1 現在の職業：性年代別

n		会社・団体の 役員、管理職	専門技術者、 教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職、 理・美容、 その他サービス	介護職	理・美容、 その他サービス
TOTAL	1,648	4.9	2.4	3.3	2.1	1.5	1.5	0.7	2.7	1.5	1.2
前回TOTAL	1,708	4.6	2.0	2.6	2.0	1.6	2.2	1.0	2.3	-	-
男性計	572	9.3	2.4	2.6	2.6	1.0	3.0	1.9	1.6	0.9	0.7
男性 60～64歳	18	16.7	5.6	27.8	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
男性 前期高齢者	273	12.5	2.6	3.3	4.0	1.5	2.9	2.6	3.0	1.5	1.5
男性 後期高齢者	275	5.8	1.8	0.4	0.7	0.4	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0
女性計	798	2.3	2.6	4.9	1.9	2.3	0.5	0.0	3.4	1.9	1.5
女性 60～64歳	24	0.0	12.5	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0
女性 前期高齢者	399	2.3	3.8	6.8	3.0	3.5	0.5	0.0	5.1	2.8	2.3
女性 後期高齢者	372	2.4	0.8	1.9	0.8	0.8	0.5	0.0	1.6	0.8	0.8

n		農業	製造・加工、 機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、 土木	清掃、配達	その他	主婦・主夫 (専業)	学生	無職・仕事から は引退した	無回答
TOTAL	1,648	0.1	1.4	1.6	1.0	4.1	6.1	23.8	0.1	36.8	5.8
前回TOTAL	1,708	0.1	1.6	1.8	2.5	4.9	5.3	21.8	0.1	36.7	7.1
男性計	572	0.2	2.8	3.7	2.6	3.3	7.9	3.0	0.2	47.0	4.9
男性 60～64歳	18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	0.0
男性 前期高齢者	273	0.0	2.9	5.5	4.4	4.4	9.2	1.8	0.4	35.2	4.0
男性 後期高齢者	275	0.4	2.9	2.2	0.7	2.5	6.9	4.4	0.0	60.4	6.2
女性計	798	0.0	0.9	0.0	0.0	5.1	4.5	39.2	0.0	27.1	5.4
女性 60～64歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	29.2	0.0	12.5	4.2
女性 前期高齢者	399	0.0	1.5	0.0	0.0	5.0	5.5	34.3	0.0	24.3	4.5
女性 後期高齢者	372	0.0	0.3	0.0	0.0	5.1	3.5	44.9	0.0	30.9	6.5

※前回調査では「介護職、理・美容、その他サービス」としていた選択肢を、  
今回調査では「介護職」「理・美容、その他サービス」に変更している。

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「事務（23.8%）」、80～84歳では「無職・仕事からは引退した（48.4%）」、男性60～64歳では「事務（27.8%）」「会社・団体の役員、管理職（16.7%）」、男性65～69歳では「会社・団体の役員、管理職（15.0%）」、男性75～79歳・男性80～84歳では「無職・仕事からは引退した（男性75～79歳58.7%・男性80～84歳62.4%）」、女性60～64歳では「事務（20.8%）」「専門技術者、教員、医療職（12.5%）」、女性70～74歳・女性75～79歳・女性80～84歳では「主婦・主夫（専業）（女性70～74歳38.7%・女性75～79歳48.0%・女性80～84歳41.1%）」が、いずれも全体の傾向よりも高くなっている。また、「無職・仕事からは引退した」が加齢に伴って上昇、「会社・団体の役員、管理職」「専門技術者、教員、医療職」「事務」「販売、営業」が加齢に伴って低下している。一方、「無職・仕事からは引退した」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「主婦・主夫（専業）」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-2-2 現在の職業：性年代別（詳細）

n		会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、その他サービス
TOTAL	1,648	4.9	2.4	3.3	2.1	1.5	1.5	0.7	1.5	1.2
60～64歳	42	7.1	9.5	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0
65～69歳	289	6.9	4.8	7.6	3.8	2.4	1.0	1.0	2.1	2.8
70～74歳	481	5.8	2.3	2.9	2.5	2.3	1.7	0.8	2.3	1.5
75～79歳	456	3.9	1.8	1.5	1.8	0.2	1.5	0.7	0.4	0.7
80～84歳	353	3.4	0.6	0.6	0.3	0.8	1.1	0.6	0.8	0.3
男性 60～64歳	18	16.7	5.6	27.8	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0
男性 65～69歳	120	15.0	5.0	5.0	3.3	1.7	1.7	2.5	0.0	1.7
男性 70～74歳	153	10.5	0.7	2.0	4.6	1.3	3.9	2.6	2.6	1.3
男性 75～79歳	150	8.0	2.7	0.0	0.7	0.0	3.3	1.3	0.0	0.0
男性 80～84歳	125	3.2	0.8	0.8	0.8	0.8	2.4	1.6	0.0	0.0
女性 60～64歳	24	0.0	12.5	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0
女性 65～69歳	164	1.2	4.3	9.8	4.3	3.0	0.6	0.0	3.0	3.7
女性 70～74歳	235	3.0	3.4	4.7	2.1	3.8	0.4	0.0	2.6	1.3
女性 75～79歳	204	1.0	1.0	2.9	1.5	0.5	0.5	0.0	0.0	1.0
女性 80～84歳	168	4.2	0.6	0.6	0.0	1.2	0.6	0.0	1.8	0.6

n		農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	主婦・主夫（専業）	学生	無職・仕事からは引退した	無回答
TOTAL	1,648	0.1	1.4	1.6	1.0	4.1	6.1	23.8	0.1	36.8	5.8
60～64歳	42	0.0	0.0	0.0	2.4	4.8	4.8	16.7	0.0	14.3	2.4
65～69歳	289	0.0	4.5	2.8	1.7	4.8	7.6	16.6	0.0	26.6	2.8
70～74歳	481	0.2	0.2	2.1	1.7	4.4	6.9	25.2	0.2	31.8	5.4
75～79歳	456	0.0	1.1	1.8	0.7	4.8	5.5	26.8	0.0	41.4	5.5
80～84歳	353	0.3	1.1	0.0	0.0	2.5	5.4	25.2	0.0	48.4	8.5
男性 60～64歳	18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	0.0
男性 65～69歳	120	0.0	5.8	6.7	4.2	5.0	9.2	0.8	0.0	31.7	0.8
男性 70～74歳	153	0.0	0.7	4.6	4.6	3.9	9.2	2.6	0.7	37.9	6.5
男性 75～79歳	150	0.0	2.7	4.0	1.3	4.0	4.7	4.0	0.0	58.7	4.7
男性 80～84歳	125	0.8	3.2	0.0	0.0	0.8	9.6	4.8	0.0	62.4	8.0
女性 60～64歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	29.2	0.0	12.5	4.2
女性 65～69歳	164	0.0	3.7	0.0	0.0	4.9	6.1	28.0	0.0	23.2	4.3
女性 70～74歳	235	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	5.1	38.7	0.0	25.1	4.7
女性 75～79歳	204	0.0	0.5	0.0	0.0	5.9	4.9	48.0	0.0	27.0	5.4
女性 80～84歳	168	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	1.8	41.1	0.0	35.7	7.7

②現在の仕事の主な雇用形態

【問11で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問11-1 現在のお仕事の主な雇用形態は次のどれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

現在の仕事の主な雇用形態については、「パート・アルバイト・契約社員」が36.7%と最も高く、次いで「自営業主、自由業」が16.5%、「正社員・正規職員・正規従業員」が8.3%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自営業主、自由業 (21.4%)」「正社員・正規職員・正規従業員 (10.9%)」「会社や団体などの役員・管理職 (10.5%)」が高く、女性では男性よりも「パート・アルバイト・契約社員 (46.9%)」「家族従業 (家業などの手伝い) (6.6%)」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「正社員・正規職員・正規従業員 (46.7%)」、男性後期高齢者では「自営業主、自由業 (28.8%)」、女性60～64歳では「パート・アルバイト・契約社員 (53.8%)」「正社員・正規職員・正規従業員 (23.1%)」「人材派遣企業の派遣社員 (15.4%)」、女性前期高齢者では「パート・アルバイト・契約社員 (53.7%)」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性後期高齢者では「パート・アルバイト・契約社員 (男性60～64歳13.3%・男性後期25.0%)」、女性前期高齢者では「自営業主、自由業 (6.1%)」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-3 現在の仕事の主な雇用形態：性年代別

	n	自営業主、自由業	家族従業 (家業などの手伝い)	正社員・正規職員・正規従業員	パート・アルバイト・契約社員	嘱託社員・嘱託職員	人材派遣企業の派遣社員	その他の雇用者	会社や団体などの役員・管理職	家庭での内職	その他 (左記以外)	無回答
TOTAL	551	16.5	3.1	8.3	36.7	4.2	2.7	1.8	6.9	0.0	1.8	18.0
前回TOTAL	587	16.7	2.4	9.7	40.0	5.5	1.9	2.0	6.8	0.3	0.7	14.0
男性計	257	21.4	0.4	10.9	28.8	5.4	2.3	1.9	10.5	0.0	2.3	16.0
男性 60～64歳	15	6.7	0.0	46.7	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	20.0
男性 前期高齢者	160	18.8	0.0	9.4	32.5	7.5	1.3	1.9	10.6	0.0	1.3	16.9
男性 後期高齢者	80	28.8	1.3	7.5	25.0	2.5	3.8	1.3	11.3	0.0	5.0	13.8
女性計	226	8.4	6.6	5.8	46.9	3.1	3.1	1.8	4.0	0.0	0.9	19.5
女性 60～64歳	13	0.0	0.0	23.1	53.8	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 前期高齢者	147	6.1	7.5	4.8	53.7	2.7	2.7	0.7	2.7	0.0	0.0	19.0
女性 後期高齢者	66	15.2	6.1	4.5	30.3	3.0	1.5	4.5	7.6	0.0	3.0	24.2



③現在の働き方

【問11で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

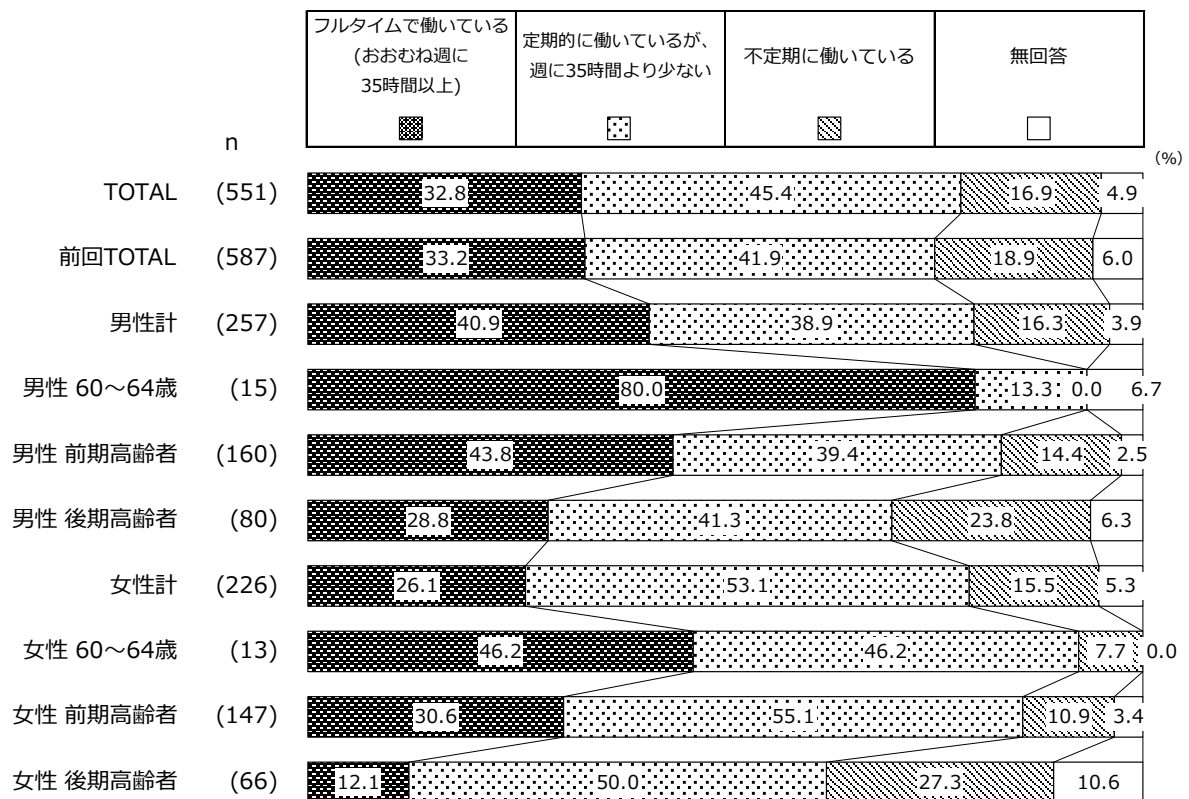
問11-2 あなた（宛名のご本人）の現在の働き方は、どれにあてはまりますか。（○は1つのみ）

現在の働き方については、「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」が45.4%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」が32.8%、「不定期に働いている」が16.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（40.9%）」が高く、女性では男性よりも「定期的に働いているが、週に35時間より少ない（53.1%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（男性60～64歳80.0%・男性前期43.8%・女性60～64歳46.2%）」が、女性後期高齢者では「不定期に働いている（27.3%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない（13.3%）」が、女性後期高齢者では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（12.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

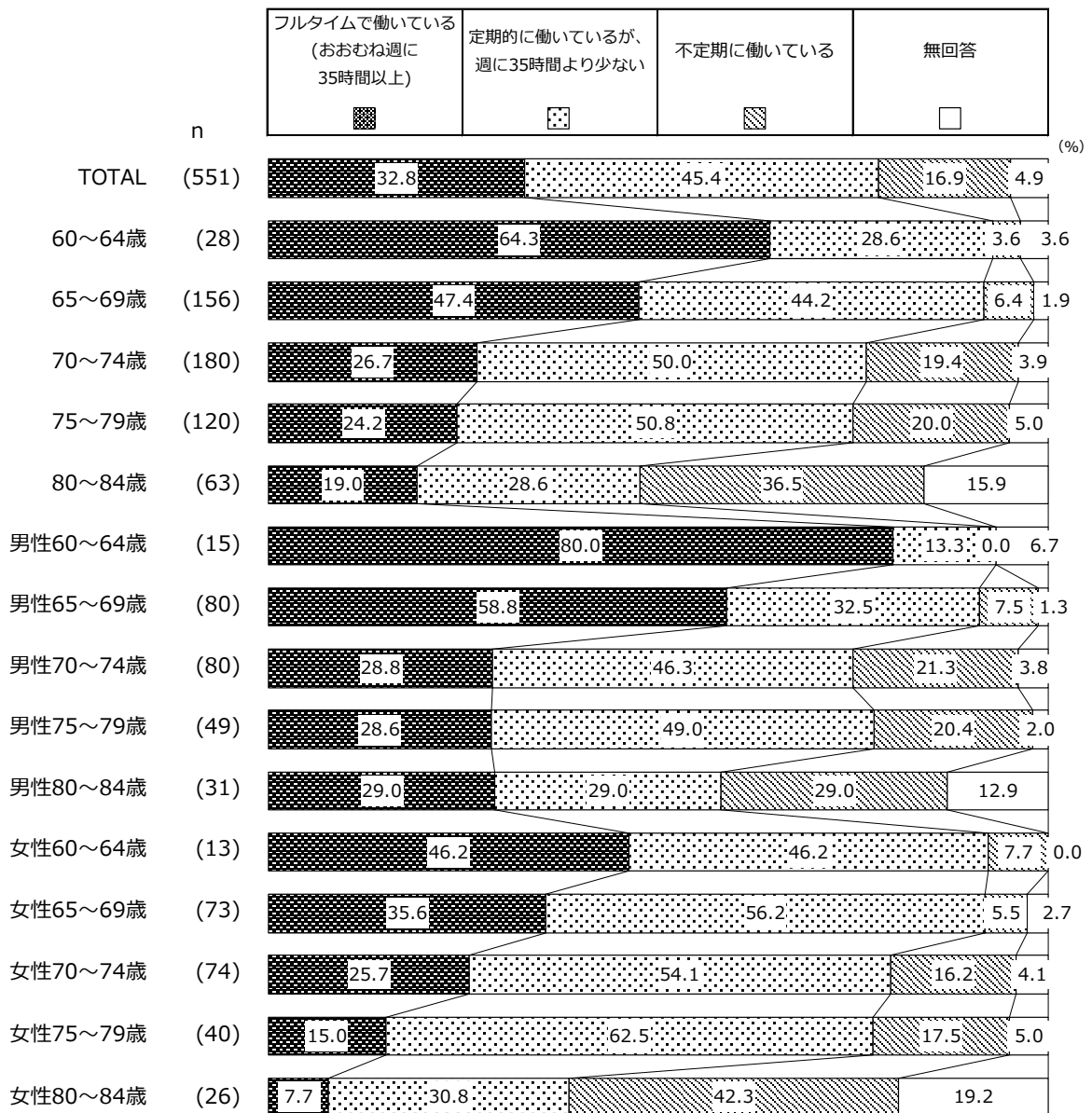
図表3-2-4 現在の働き方：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（60～64歳64.3%・65～69歳47.4%）」が、80～84歳では「不定期的に働いている（36.5%）」が、男性60～64歳・男性65～69歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（男性60～64歳80.0%・男性65～69歳58.8%）」が、男性80～84歳では「不定期的に働いている（29.0%）」が、女性60～64歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（46.2%）」が、女性65～69歳・女性75～79歳では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない（女性65～69歳56.2%・女性75～79歳62.5%）」が、女性80～84歳では「不定期的に働いている（42.3%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「不定期的に働いている」が加齢に伴って上昇、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」が加齢に伴って低下している。一方、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

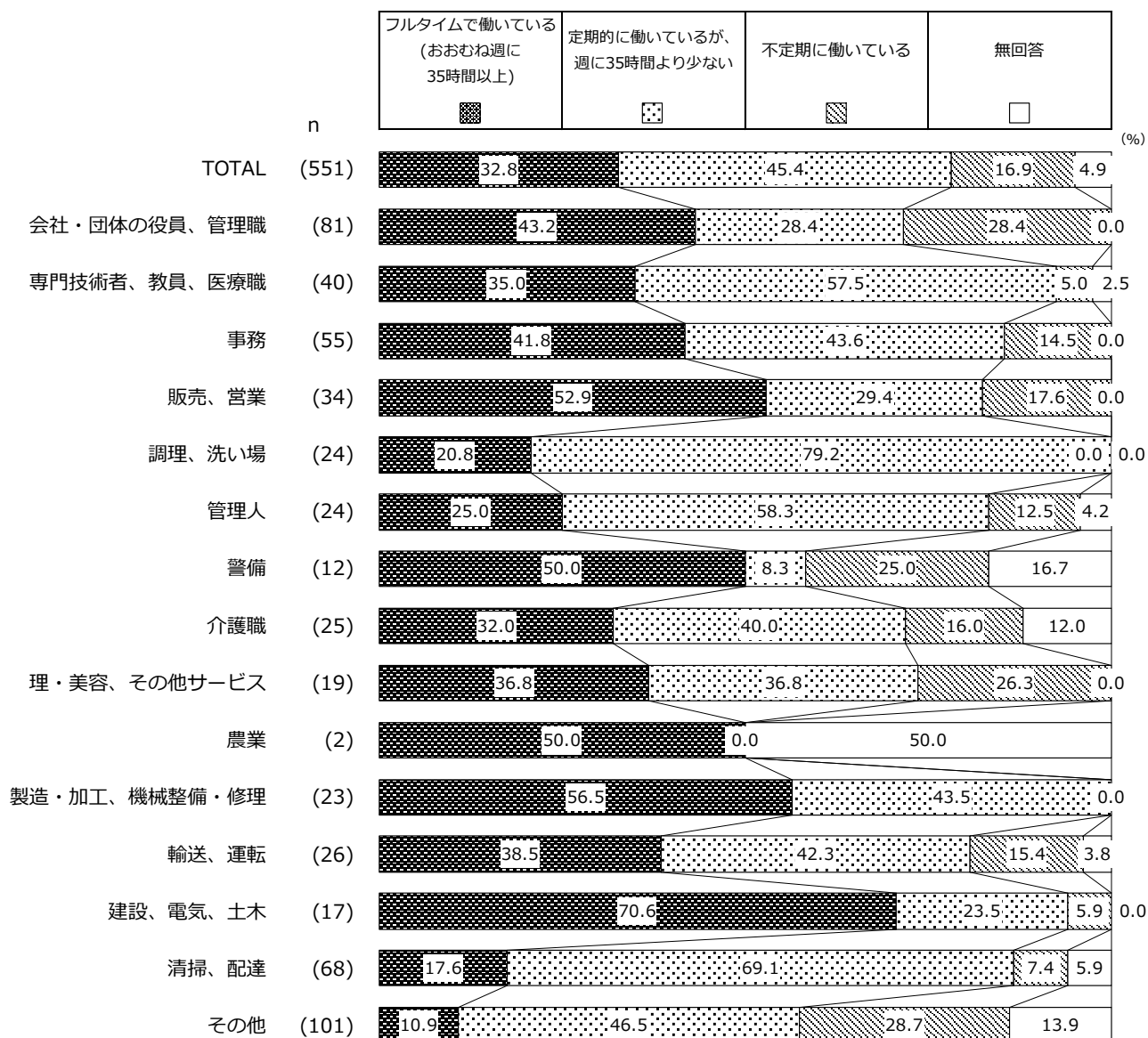
図表3-2-5 現在の働き方：性年代別（詳細）



### 第3章 調査結果の詳細

現在の職業別でみると、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」では「建設、電気、土木（70.6%）」「製造・加工、機械整備・修理（56.5%）」「販売、営業（52.9%）」の順に、「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」では「調理、洗い場（79.2%）」「清掃、配達（69.1%）」「管理人（58.3%）」の順に、「不定期に働いている」では「その他（28.7%）」「会社・団体の役員、管理職（28.4%）」「理・美容、その他サービス（26.3%）」「警備（25.0%）」の順に、それぞれ高くなっている。

図表3-2-6 現在の働き方：現在の職業別



④現在の仕事の量

【問11で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問11-3 あなた（宛名のご本人）の現在の仕事の量は、1年前と比べていかがですか。

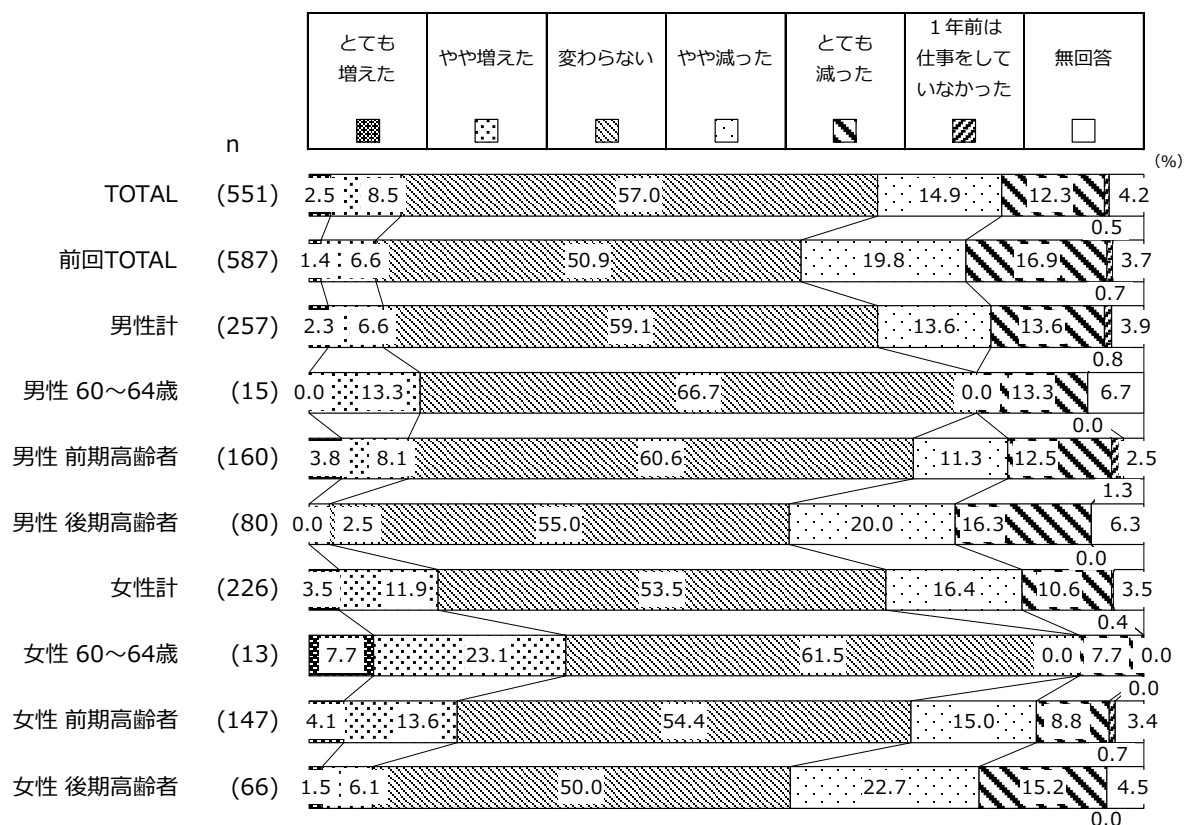
（○は1つのみ）

現在の仕事の量については、「変わらない」が57.0%と最も高く、「とても増えた」の2.5%と「やや増えた」の8.5%を合わせた『増えた』が11.0%、「やや減った」の14.9%と「とても減った」の12.3%を合わせた『減った』が27.2%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「変わらない（59.1%）」が高く、女性では男性よりも『増えた（15.4%）』が高くなっている。また、性年代別で見ると、女性60～64歳では『増えた（30.8%）』が、女性後期高齢者では『減った（37.9%）』が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では『減った（男性60～64歳13.3%・女性60～64歳7.7%）』が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「変わらない」が6.1ポイント上昇、『減った』が9.5ポイント低下している。

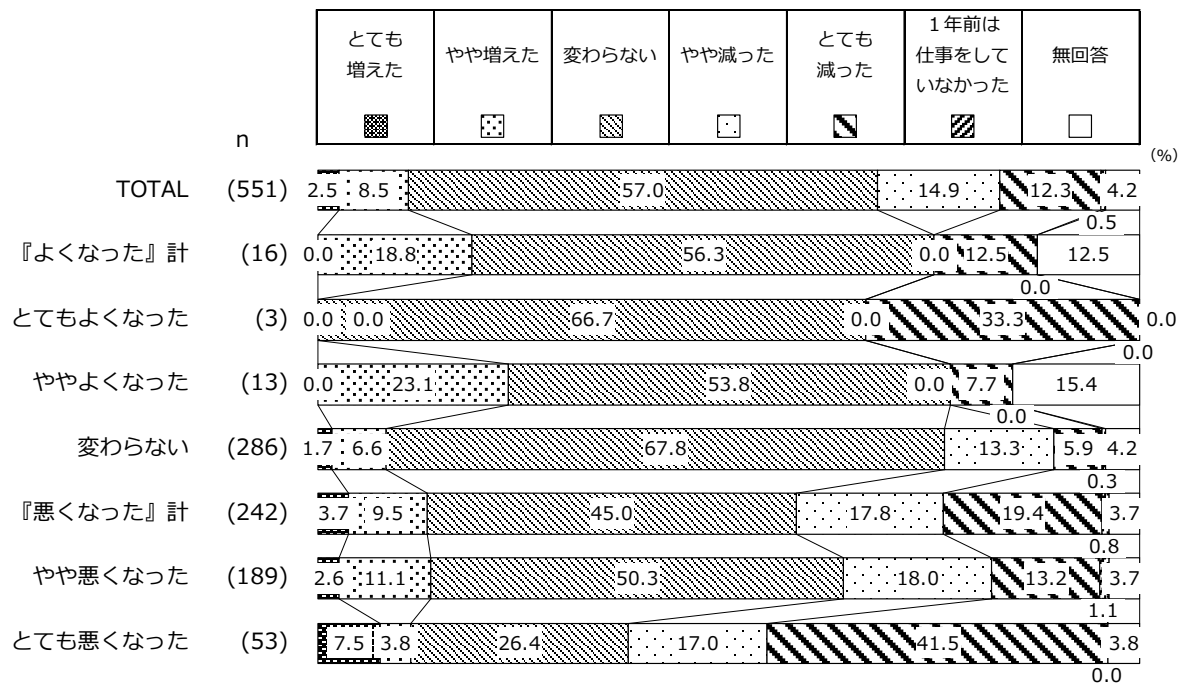
図表3-2-7 現在の仕事の量：性年代別



第3章 調査結果の詳細

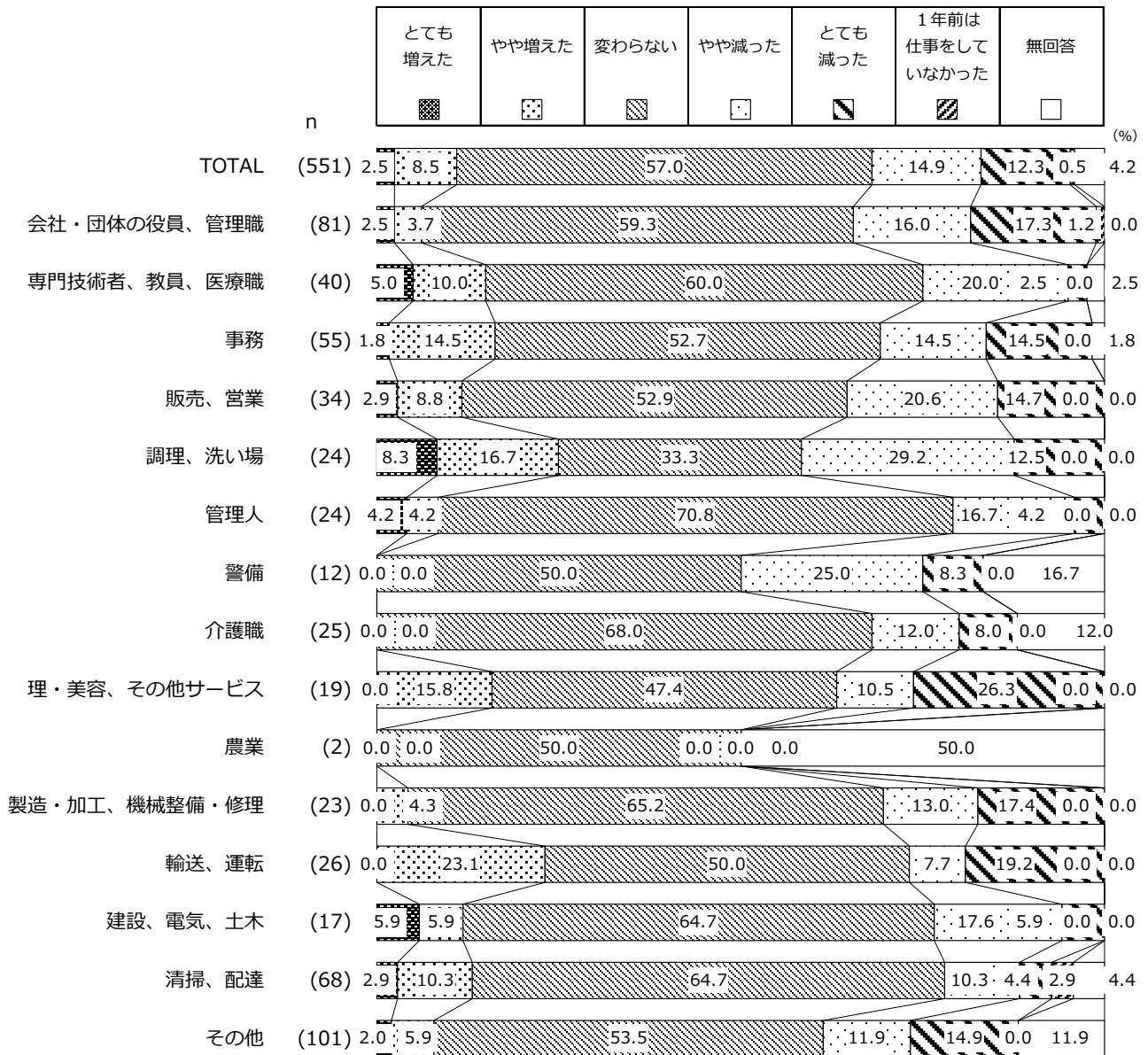
現在の暮らし向き別でみると、『よくなった』では『増えた』が18.8%、『悪くなった』では『減った』が37.2%となっており、暮らし向きの良し悪しと仕事量とに明確な相関関係があることがわかる。

図表3-2-8 現在の仕事の量：現在の暮らし向き別



現在の職業別でみると、仕事の量が『増えた』は「調理、洗い場 (25.0%)」「輸送、運転 (23.1%)」「事務 (16.3%)」で高く、仕事の量が『減った』は「調理、洗い場 (41.7%)」「理・美容、その他サービス (36.8%)」「販売、営業 (35.3%)」で高くなっている。

図表3-2-9 現在の仕事の量：現在の職業別



⑤現在の仕事に「生きがい」を感じているか

【問11で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

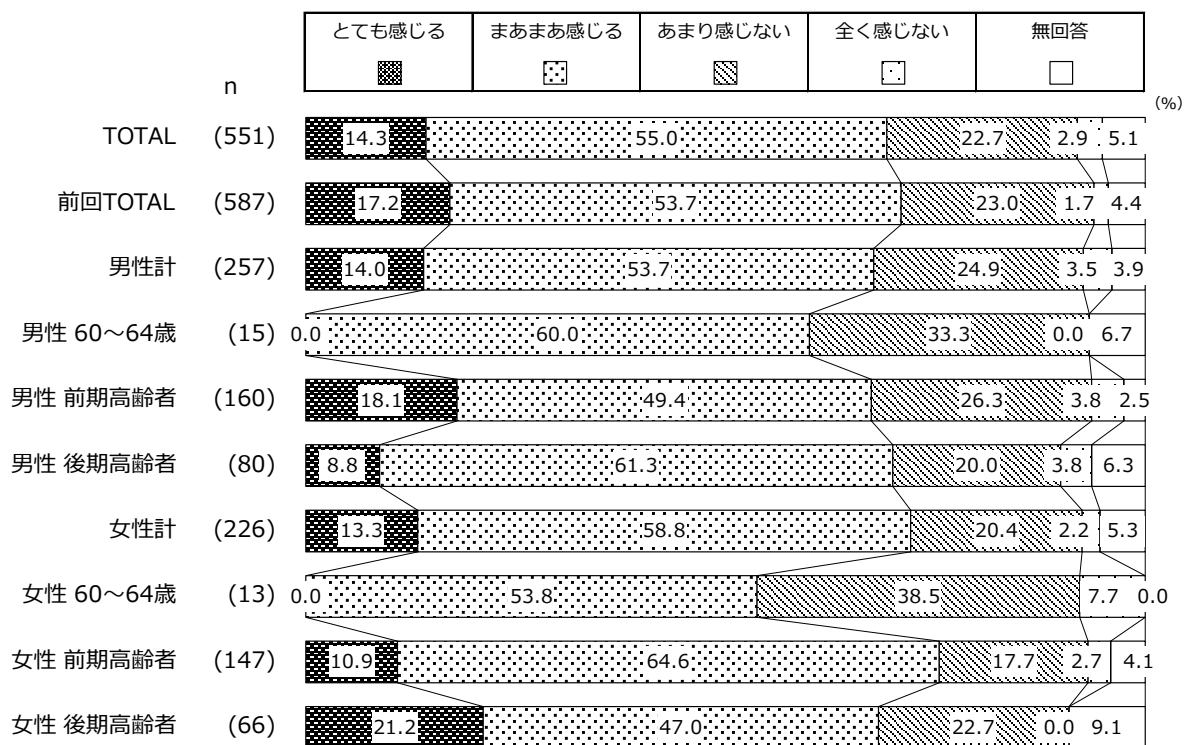
問11-4 現在の仕事に「生きがい」を感じていますか。(○は1つのみ)

現在の仕事に「生きがい」を感じているかについては、「とても感じる」の14.3%と「まあまあ感じる」の55.0%を合わせた『感じる』が69.3%、「あまり感じない」の22.7%と「全く感じない」の2.9%を合わせた『感じない』が25.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも『感じない (28.4%)』が高くなっている。また、性年代別で見ると、女性60～64歳では『感じない (46.2%)』が全体の傾向よりも高く、『感じる (53.8%)』が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

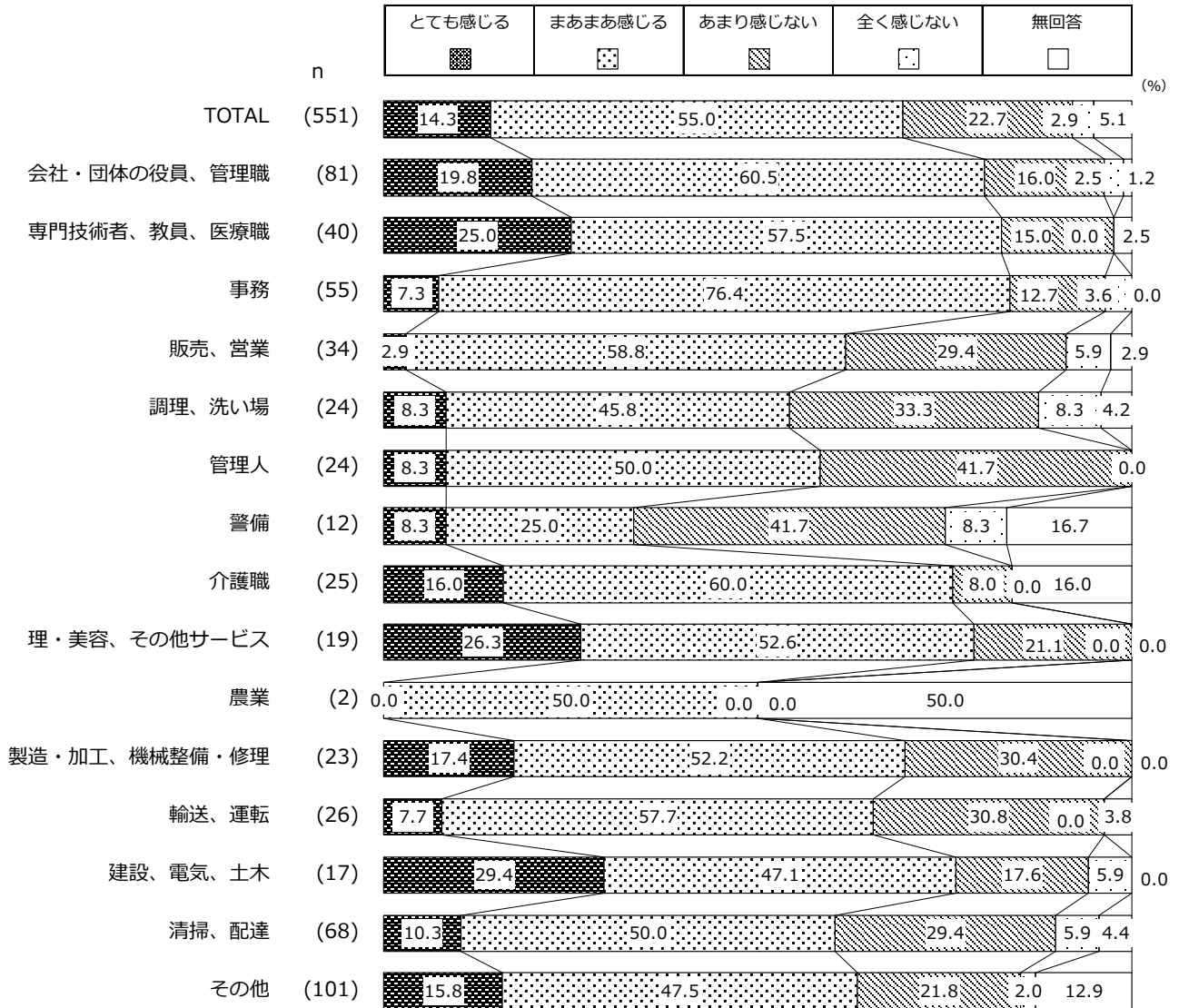
図表3-2-10 現在の仕事に「生きがい」を感じているか：性年代別





現在の職業別でみると、生きがいを『感じる』は「事務(83.7%)」「専門技術者、教員、医療職(82.5%)」「会社・団体の役員、管理職(80.3%)」で高く、生きがいを『感じない』は「警備(50.0%)」「管理人(41.7%)」「調理、洗い場(41.6%)」で高くなっている。

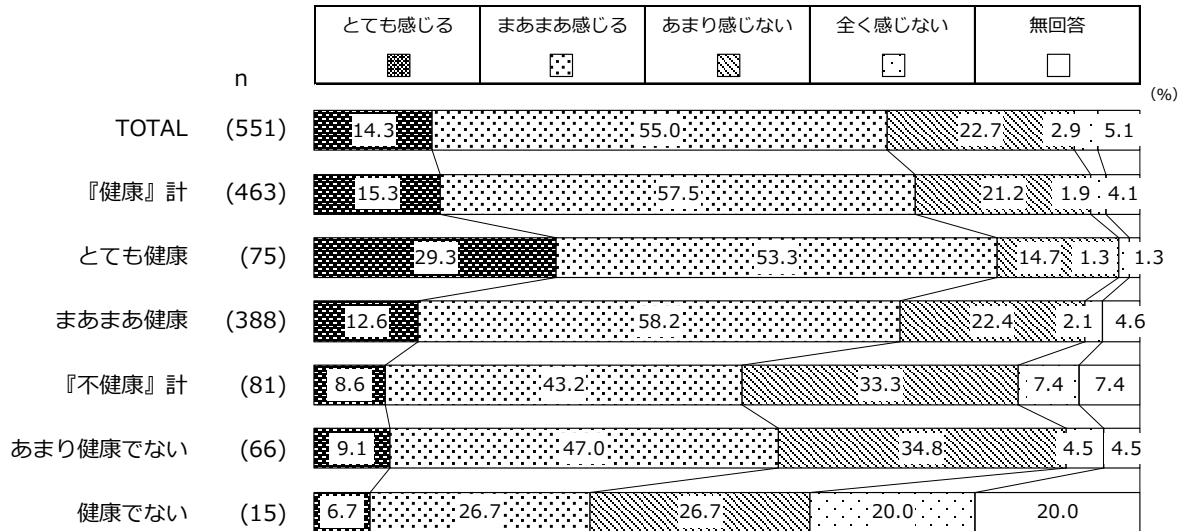
図表3-2-11 現在の仕事に「生きがい」を感じているか：現在の職業別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、生きがいを『感じる』は『健康(72.8%)』の方が『不健康(51.8%)』よりも21.0ポイント高くなっている。

図表3-2-12 現在の仕事に「生きがい」を感じているか：健康に対する自己認識別



⑥現在の仕事をどこで探したか

【問11で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

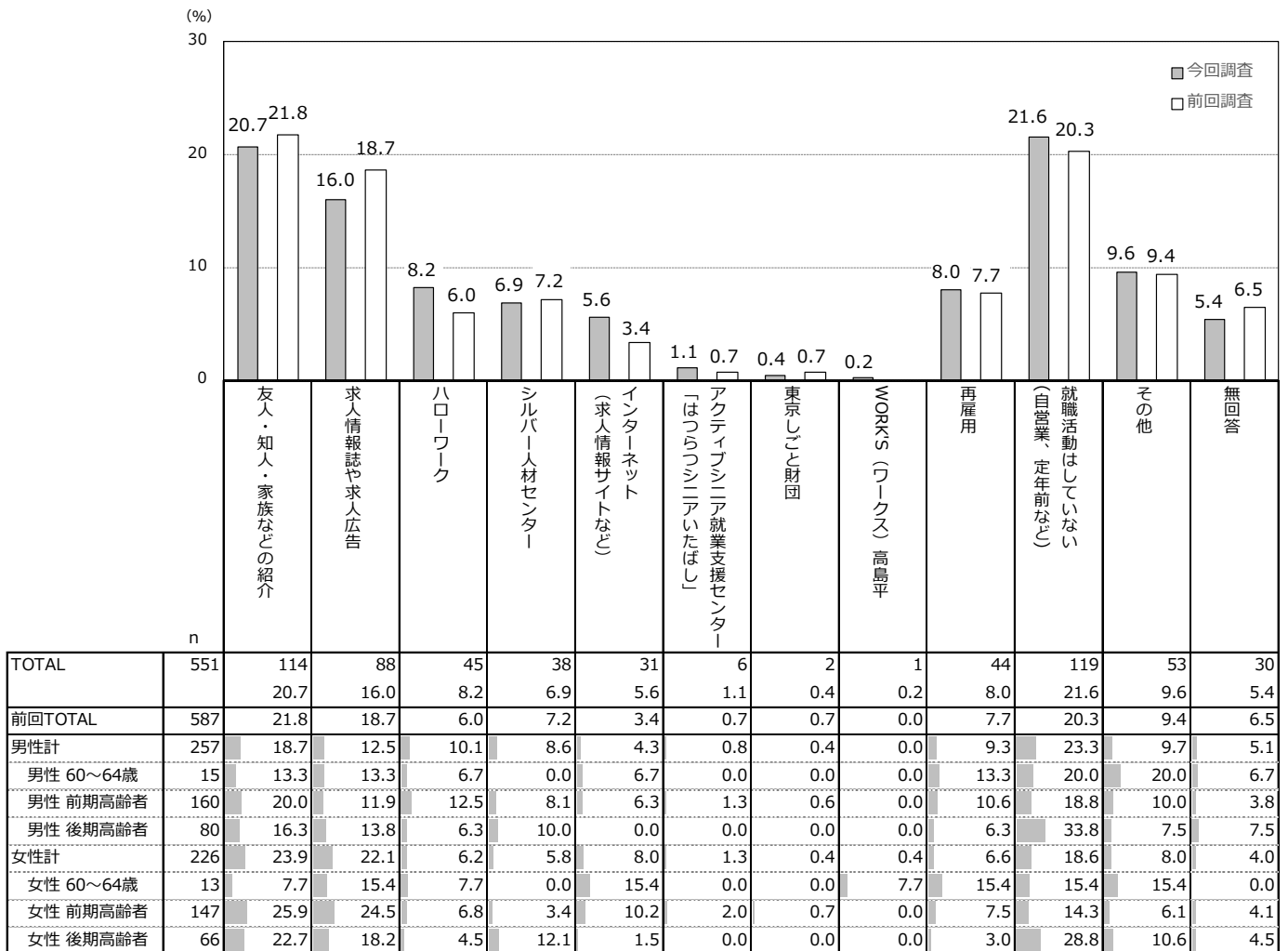
問11-5 現在の仕事は、どこで探しましたか。(○はいくつでも)

現在の仕事をどこで探したかについて、現在就業している人の中では、「友人・知人・家族などの紹介」が20.7%と最も高く、次いで「求人情報誌や求人広告」が16.0%、「その他」が9.6%、「ハローワーク」が8.2%の順となっている。一方、「再雇用」は8.0%、「就職活動はしていない（自営業、定年前など）」が21.6%となっている。

性別でみると、女性では男性よりも「友人・知人・家族などの紹介（23.9%）」「求人情報誌や求人広告（22.1%）」が高くなっている。また、性年代別でみると、男性60～64歳では「その他（20.0%）」が、男性後期高齢者では「就職活動はしていない（自営業、定年前など）（33.8%）」が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では「友人・知人・家族などの紹介（7.7%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-13 現在の仕事をどこで探したか：性年代別



## (2) 今後の就業意向

### ① 今後の就業意向

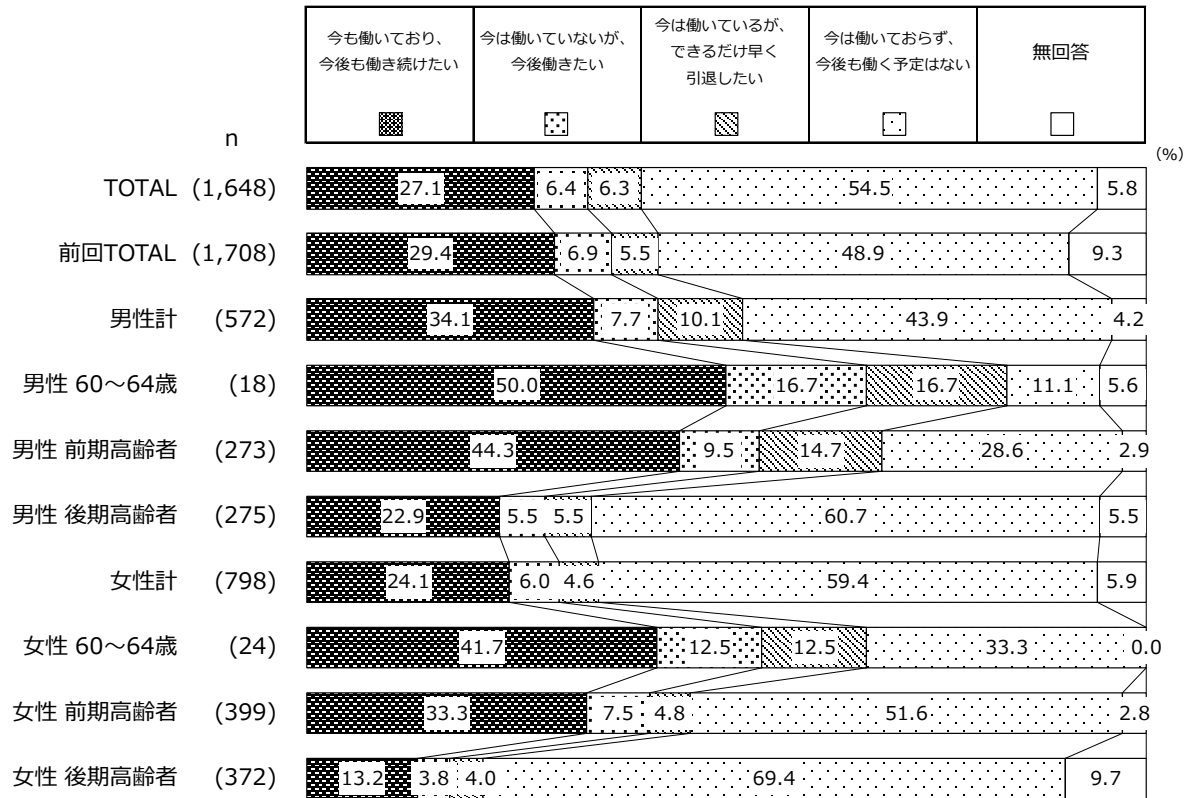
#### 問12 あなた（宛名のご本人）は今後、働こうと思っていますか。（○は1つのみ）

今後の就業意向については、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が54.5%と最も高く、次いで「今も働いており、今後も働き続けたい」が27.1%、「今は働いていないが、今後働きたい」が6.4%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「今も働いており、今後も働き続けたい（34.1%）」「今は働いているが、できるだけ早く引退したい（10.1%）」が高く、女性では男性よりも「今は働いておらず、今後も働く予定はない（59.4%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「今も働いており、今後も働き続けたい（50.0%）」「今は働いていないが、今後働きたい」「今は働いているが、できるだけ早く引退したい」（左記2項目はともに16.7%）が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「今も働いており、今後も働き続けたい（男性前期44.3%・女性60～64歳41.7%）」が、女性後期高齢者では「今は働いておらず、今後も働く予定はない（69.4%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「今は働いておらず、今後も働く予定はない（男性60～64歳11.1%・男性前期28.6%・女性60～64歳33.3%）」が、女性後期高齢者では「今も働いており、今後も働き続けたい（13.2%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「今も働いており、今後も働き続けたい」「今は働いていないが、今後働きたい」「今は働いているが、できるだけ早く引退したい」「今は働いておらず、今後も働く予定はない」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

前回調査と比較すると、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が5.6ポイント上昇している。

図表3-2-14 今後の就業意向：性年代別



②何歳まで働きたいか

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問12-1 何歳まで働きたいと思いますか。現在の仕事とは違う仕事をする場合を含みます。

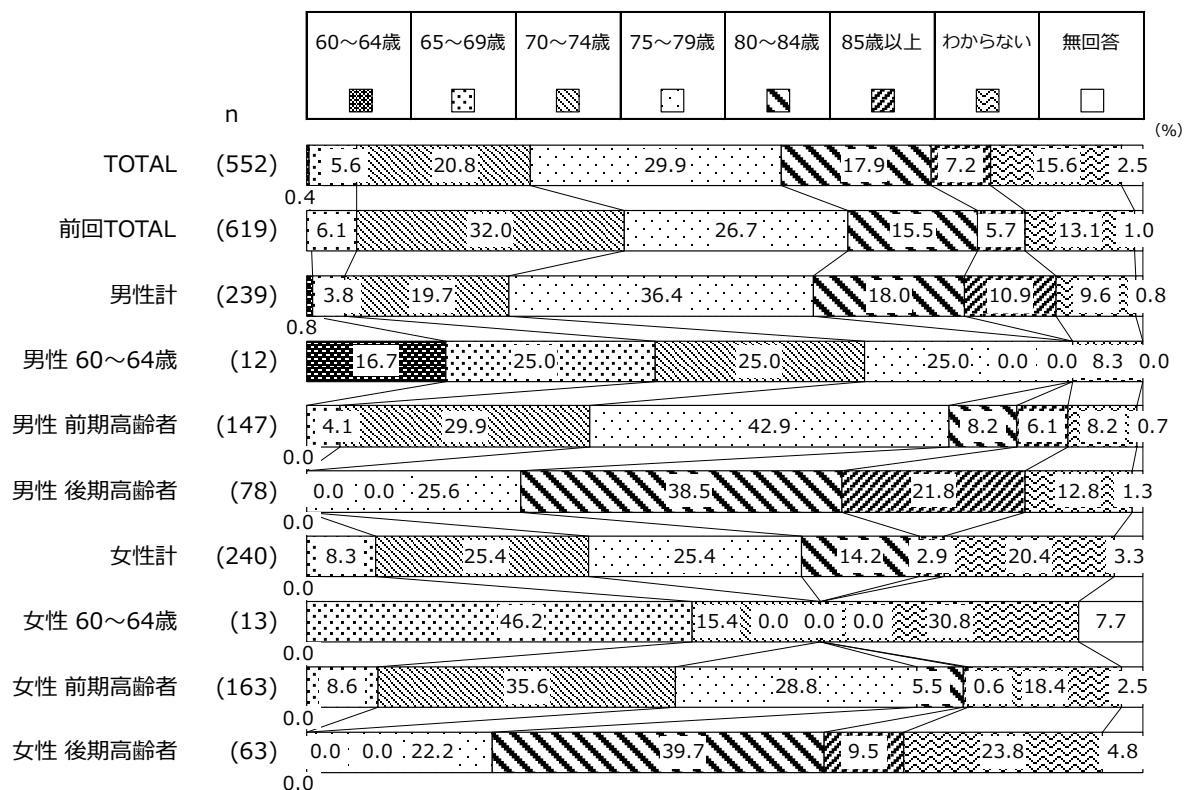
(○は1つのみ)

何歳まで働きたいかについては、「75～79歳」が29.9%と最も高く、次いで「70～74歳」が20.8%、「80～84歳」が17.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「75～79歳 (36.4%)」「85歳以上 (10.9%)」が高く、女性では男性よりも「70～74歳 (25.4%)」「わからない (20.4%)」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「65～69歳 (25.0%)」「60～64歳 (16.7%)」が、男性前期高齢者では「75～79歳 (42.9%)」が、男性後期高齢者では「80～84歳 (38.5%)」「85歳以上 (21.8%)」が、女性60～64歳では「65～69歳 (46.2%)」「わからない (30.8%)」が、女性前期高齢者では「70～74歳 (35.6%)」が、女性後期高齢者では「80～84歳 (39.7%)」が全体の傾向よりも高く、女性前期高齢者では「80～84歳 (5.5%)」が全体の傾向よりも低くなっている。また「75～79歳」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「70～74歳」が11.2ポイント低下している。

図表3-2-15 何歳まで働きたいか：性年代別



※今回調査から「60～64歳」の選択肢を追加している。

③現在仕事を探しているか

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

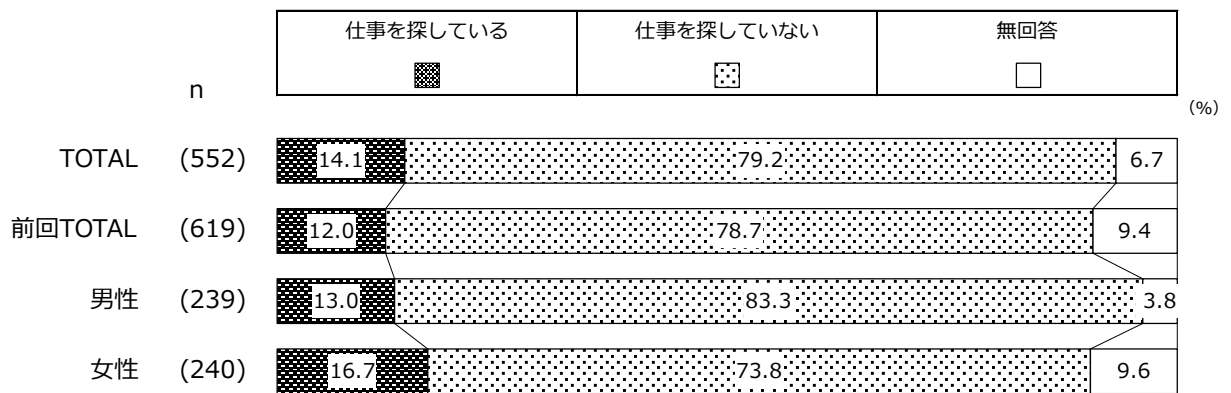
問12-2 あなた（宛名のご本人）は現在、仕事（就職・転職先）を探していますか。（○は1つのみ）

現在仕事を探しているかについては、「仕事を探している」が14.1%、「仕事を探していない」が79.2%となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「仕事を探していない（83.3%）」が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

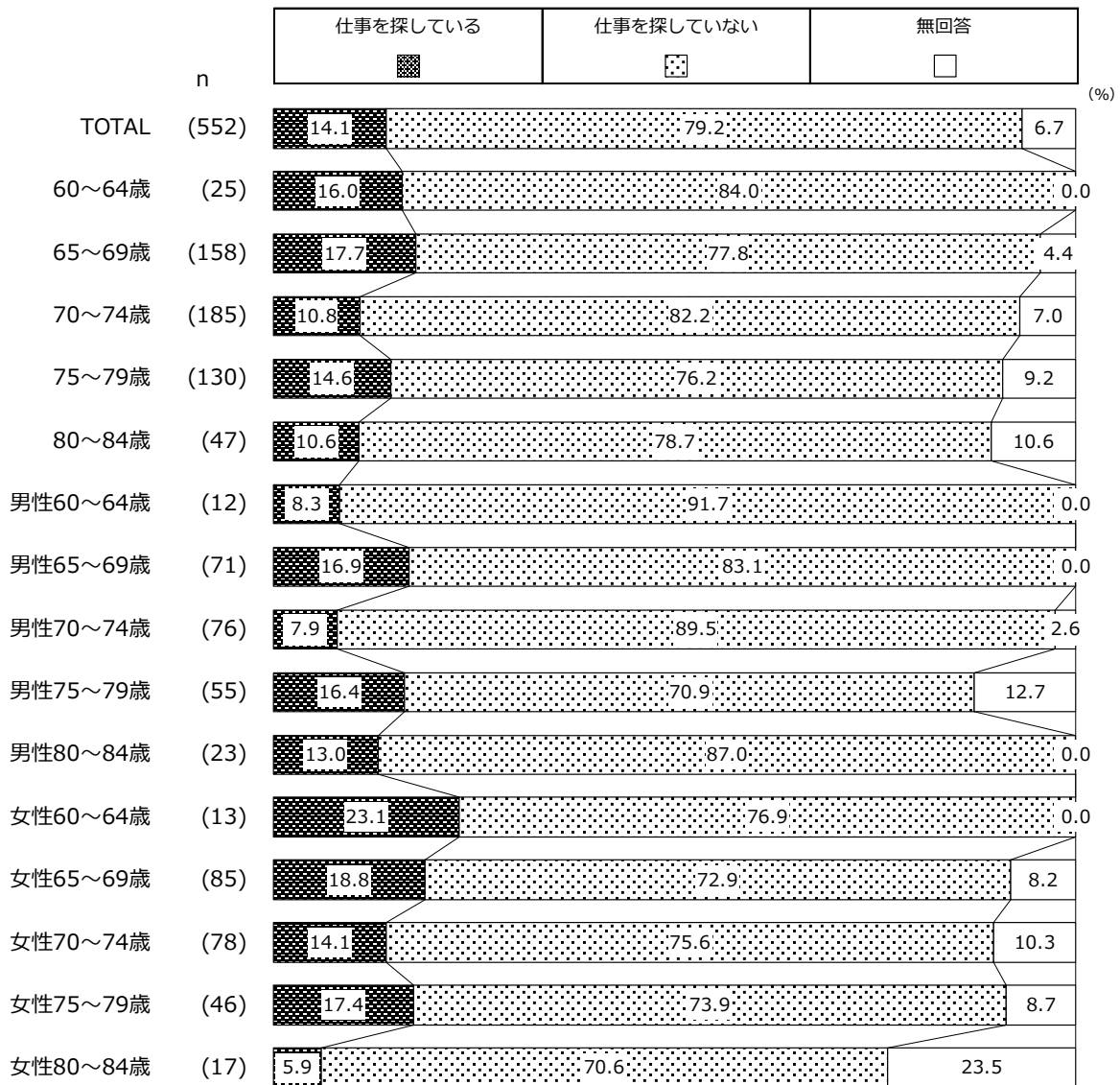
図表3-2-16 現在仕事を探しているか：性別



### 第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、男性60～64歳・男性70～74歳では「仕事を探していない（男性60～64歳91.7%・男性70～74歳89.5%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-2-17 現在仕事を探しているか：性年代別（詳細）





## ④働くことを決めるときに重視すること

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

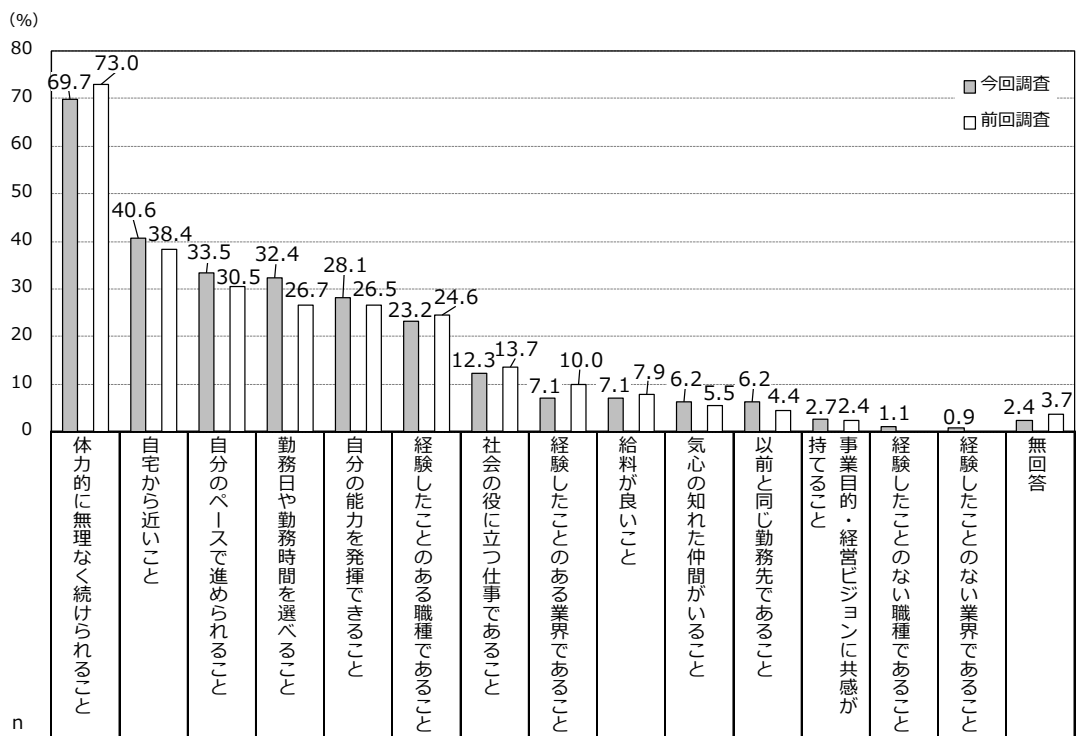
問12-3 あなた（宛名のご本人）は、働くことを決めるとき、どんなことを重視しますか。上位3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

働くことを決めるときに重視することについては、「体力的に無理なく続けられること」が69.7%と最も高く、次いで「自宅から近いこと」が40.6%、「自分のペースで進められること」が33.5%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自分のペースで進められること（36.8%）」「自分の能力を發揮できること（36.4%）」が高く、女性では男性よりも「自宅から近いこと（51.3%）」「勤務日や勤務時間を選べること（37.5%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「自分のペースで進められること（58.3%）」「給料が良いこと（25.0%）」が、女性60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること（53.8%）」「経験したことがある職種であること（46.2%）」が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「自宅から近いこと（女性前期50.9%・女性後期52.4%）」が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「自宅から近いこと（28.2%）」「勤務日や勤務時間を選べること（19.2%）」が、女性60～64歳では「自分のペースで進められること（23.1%）」「自分の能力を發揮できること（7.7%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「勤務日や勤務時間を選べること」が5.7ポイント上昇している。

図表3-2-18 働くことを決めるときに重視すること：性年代別



	n	体力的に無理なく続けられること	自宅から近いこと	自分のペースで進められること	勤務日や勤務時間を選べること	自分の能力を發揮できること	経験したことがある職種であること	社会の役に立つ仕事であること	経験したことがある業界であること	給料が良いこと	気心の知れた仲間がいること	以前と同じ勤務先であること	持っていること	事業目的・経営ビジョンに共感があること	経験したことがない職種であること	経験したことがない業界であること	無回答
TOTAL	552	385 69.7	224 40.6	185 33.5	179 32.4	155 28.1	128 23.2	68 12.3	39 7.1	39 7.1	34 6.2	34 6.2	15 2.7	6 1.1	5 0.9	13 2.4	
前回TOTAL	619	73.0	38.4	30.5	26.7	26.5	24.6	13.7	10.0	7.9	5.5	4.4	2.4	-	-	3.7	
男性計	239	72.8	31.0	36.8	28.9	36.4	23.4	13.0	9.2	6.3	6.3	5.4	4.2	2.1	1.7	2.1	
男性 60～64歳	12	66.7	33.3	58.3	25.0	33.3	25.0	0.0	16.7	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	
男性 前期高齢者	147	70.7	32.0	34.0	34.7	36.7	25.9	9.5	7.5	6.8	6.8	4.8	4.1	2.0	2.7	2.0	
男性 後期高齢者	78	78.2	28.2	38.5	19.2	35.9	17.9	21.8	11.5	2.6	6.4	5.1	3.8	2.6	0.0	2.6	
女性計	240	69.2	51.3	27.9	37.5	21.3	22.5	10.8	5.0	8.3	5.8	5.8	2.1	0.0	0.0	2.5	
女性 60～64歳	13	61.5	46.2	23.1	53.8	7.7	46.2	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性 前期高齢者	163	71.8	50.9	28.2	40.5	20.9	22.7	11.0	4.3	8.0	6.1	5.5	2.5	0.0	0.0	1.2	
女性 後期高齢者	63	63.5	52.4	28.6	27.0	25.4	15.9	12.7	6.3	7.9	4.8	6.3	1.6	0.0	0.0	6.3	

※今回調査から「経験したことがない職種であること」「経験したことがない業界であること」の選択肢を追加している。

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「経験したことがある職種であること（36.0%）」「給料が良いこと（20.0%）」が、男性60～64歳では「自分のペースで進められること（58.3%）」「給料が良いこと（25.0%）」が、男性65～69歳では「自分の能力を発揮できること（42.3%）」が、男性75～79歳では「体力的に無理なく続けられること（81.8%）」が、男性80～84歳では「自分のペースで進められること（43.5%）」「自分の能力を発揮できること（39.1%）」「社会の役に立つ仕事であること（26.1%）」が、女性60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること（53.8%）」「経験したことがある職種であること（46.2%）」が、女性65～69歳では「自宅から近いこと（50.6%）」「勤務日や勤務時間を選べること（42.4%）」が、女性70～74歳・女性75～79歳では「自宅から近いこと（女性70～74歳51.3%・女性75～79歳63.0%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「経験したことの無い職種であること」「社会の役に立つ仕事であること」が加齢に伴って上昇、「経験したことがある職種であること」が加齢に伴って低下している。一方、「自分のペースで進められること」「自分の能力を発揮できること」「経験したことがある業界であること」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-2-19 働くことを決めるときに重視すること：性年代別（詳細）

	n	体力的に無理なく続けられること	自宅から近いこと	自分のペースで進められること	勤務日や勤務時間を選べること	自分の能力を発揮できること	経験したことがある職種であること	社会の役に立つ仕事であること	経験したことがある業界であること	給料が良いこと	気心の知れた仲間がいること	以前と同じ勤務先であること	持てること 事業目的・経営ビジョンに共感が	経験したことの無い職種であること	経験したことの無い業界であること	無回答
TOTAL	552	69.7	40.6	33.5	32.4	28.1	23.2	12.3	7.1	7.1	6.2	6.2	2.7	1.1	0.9	2.4
60～64歳	25	64.0	40.0	40.0	40.0	20.0	36.0	0.0	12.0	20.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	158	71.5	41.8	31.0	36.7	30.4	25.3	10.1	5.1	7.0	5.7	5.1	1.3	0.6	1.3	1.3
70～74歳	185	69.7	41.6	31.9	37.8	23.8	23.8	10.8	6.5	8.1	6.5	5.4	4.3	1.1	1.1	2.2
75～79歳	130	72.3	40.8	37.7	22.3	31.5	20.8	17.7	10.8	3.1	6.9	8.5	0.8	1.5	0.0	0.8
80～84歳	47	59.6	25.5	34.0	23.4	29.8	10.6	19.1	4.3	8.5	6.4	4.3	6.4	2.1	2.1	12.8
男性60～64歳	12	66.7	33.3	58.3	25.0	33.3	25.0	0.0	16.7	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
男性65～69歳	71	70.4	32.4	36.6	31.0	42.3	28.2	9.9	7.0	7.0	5.6	4.2	0.0	1.4	2.8	2.8
男性70～74歳	76	71.1	31.6	31.6	38.2	31.6	23.7	9.2	7.9	6.6	7.9	5.3	7.9	2.6	2.6	1.3
男性75～79歳	55	81.8	29.1	36.4	16.4	34.5	18.2	20.0	12.7	1.8	7.3	7.3	1.8	3.6	0.0	1.8
男性80～84歳	23	69.6	26.1	43.5	26.1	39.1	17.4	26.1	8.7	4.3	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3
女性60～64歳	13	61.5	46.2	23.1	53.8	7.7	46.2	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
女性65～69歳	85	72.9	50.6	25.9	42.4	21.2	22.4	9.4	3.5	7.1	5.9	5.9	2.4	0.0	0.0	0.0
女性70～74歳	78	70.5	51.3	30.8	38.5	20.5	23.1	12.8	5.1	9.0	6.4	5.1	2.6	0.0	0.0	2.6
女性75～79歳	46	65.2	63.0	32.6	30.4	28.3	19.6	13.0	8.7	6.5	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女性80～84歳	17	58.8	23.5	17.6	17.6	17.6	5.9	11.8	0.0	11.8	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	23.5

⑤働きたい場所

【問12で「1. 今も働いており、今後も働き続けたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

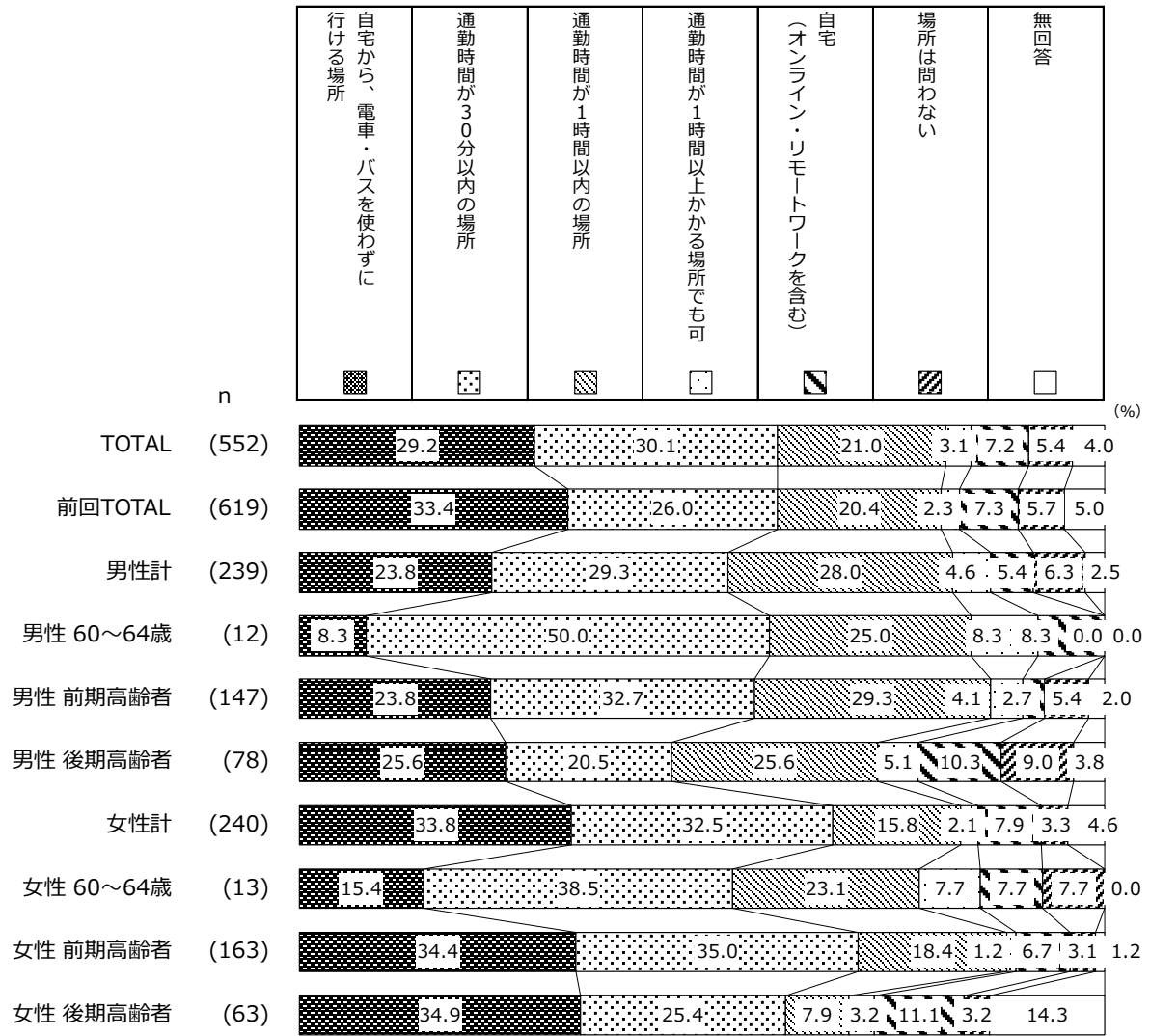
問12-4 あなた（宛名のご本人）は、働く場所として、次のどれを希望しますか。（○は1つのみ）

「通勤時間が30分以内の場所」が30.1%と最も高く、次いで「自宅から、電車・バスを使わずに行ける場所」が29.2%、「通勤時間が1時間以内の場所」が21.0%の順となっている。一方、「自宅（オンライン・リモートワークを含む）」は7.2%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「通勤時間が1時間以内の場所（28.0%）」が高く、女性では男性よりも「自宅から、電車・バスを使わずに行ける場所（33.8%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「通勤時間が30分以内の場所（50.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「自宅から、電車・バスを使わずに行ける場所（男性60～64歳8.3%・女性60～64歳15.4%）」が、女性後期高齢者では「通勤時間が1時間以内の場所（7.9%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-20 働きたい場所：性年代別



※前回調査では「通勤して行く場所（電車・バスを使わずに行ける、自宅近く）」「通勤して行く場所（通勤時間30分以内）」「通勤して行く場所（通勤時間1時間以内）」「通勤して行く場所（通勤時間1時間以上でも可）」としていた選択肢を、今回調査では「自宅から、電車・バスを使わずに行ける場所」「通勤時間が30分以内の場所」「通勤時間が1時間以内の場所」「通勤時間が1時間以上かかる場所でも可」にそれぞれ変更している。

⑥希望する職種

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問12-5 あなた（宛名のご本人）は、働く場合、どの職種を希望しますか。（○は1つのみ）

希望する職種については、「事務」が12.9%と最も高く、次いで「その他」が11.8%、「清掃、配達」が10.9%、「専門技術者、教育、医療職」が8.7%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「管理人（10.9%）」「輸送、運転（10.0%）」「会社・団体の役員、管理職（9.6%）」「建設、電気、土木（5.9%）」「警備（5.0%）」が高く、女性では男性よりも「事務（17.5%）」「清掃、配達（14.2%）」「調理、洗い場（10.0%）」「介護職（7.5%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「事務（41.7%）」「会社・団体の役員、管理職（25.0%）」が、女性60～64歳では「専門技術者、教員、医療職」「事務」（ともに30.8%）が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-21 希望する職種：性年代別

n	会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職、理・美容、その他サービス	介護職	理・美容、その他サービス	
TOTAL	552	6.3	8.7	12.9	6.9	6.2	6.7	2.4	7.2	4.3	2.9
前回TOTAL	619	5.2	7.9	12.0	6.5	5.8	6.8	1.9	5.5	-	-
男性計	239	9.6	6.7	10.9	7.1	3.8	10.9	5.0	2.9	0.8	2.1
男性 60～64歳	12	25.0	0.0	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 前期高齢者	147	8.2	7.5	9.5	8.2	4.1	10.9	5.4	4.1	0.7	3.4
男性 後期高齢者	78	10.3	5.1	9.0	6.4	2.6	10.3	5.1	1.3	1.3	0.0
女性計	240	3.8	9.2	17.5	7.1	10.0	2.5	0.0	10.8	7.5	3.3
女性 60～64歳	13	0.0	30.8	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0
女性 前期高齢者	163	2.5	8.6	20.2	8.0	8.6	2.5	0.0	13.5	9.2	4.3
女性 後期高齢者	63	7.9	4.8	7.9	6.3	12.7	3.2	0.0	4.8	3.2	1.6

n	農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	無回答	
TOTAL	552	0.5	3.6	5.4	2.9	10.9	11.8	7.6
前回TOTAL	619	0.8	4.4	4.8	6.1	12.8	9.5	10.0
男性計	239	0.4	5.4	10.0	5.9	7.1	10.0	4.2
男性 60～64歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
男性 前期高齢者	147	0.7	3.4	10.2	6.8	8.2	8.8	4.1
男性 後期高齢者	78	0.0	10.3	11.5	5.1	6.4	12.8	3.8
女性計	240	0.4	2.9	0.0	0.0	14.2	11.7	10.0
女性 60～64歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
女性 前期高齢者	163	0.6	3.1	0.0	0.0	12.3	12.9	7.4
女性 後期高齢者	63	0.0	3.2	0.0	0.0	20.6	11.1	17.5

※前回調査では「介護職、理・美容、その他サービス」としていた選択肢を、今回調査では「介護職」「理・美容、その他サービス」に変更している。

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「事務（36.0%）」「専門技術者、教員、医療職（16.0%）」「会社・団体の役員、管理職」「調理、洗い場」（左記2項目はともに12.0%）が、65～69歳では「事務（18.4%）」が、80～84歳では「清掃、配達（17.0%）」「会社・団体の役員、管理職（12.8%）」が、男性60～64歳では「事務（41.7%）」「会社・団体の役員、管理職（25.0%）」が、男性75～79歳では「輸送、運転（16.4%）」が、女性60～64歳では「専門技術者、教員、医療職」「事務」（ともに30.8%）が、女性80～84歳では「調理、洗い場」「清掃、配達」（左記2項目はともに23.5%）「会社・団体の役員、管理職（17.6%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「管理人」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「調理、洗い場」「清掃、配達」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-2-22 希望する職種：性年代別（詳細）

n	会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	
	TOTAL	552	6.3	8.7	12.9	6.9	6.2	6.7	2.4
60～64歳	25	12.0	16.0	36.0	0.0	12.0	4.0	0.0	4.0
65～69歳	158	4.4	10.1	18.4	7.6	5.1	5.1	2.5	4.4
70～74歳	185	6.5	7.6	9.7	7.0	7.0	8.1	2.2	5.4
75～79歳	130	5.4	7.7	6.9	8.5	3.8	8.5	3.1	3.1
80～84歳	47	12.8	4.3	10.6	4.3	10.6	2.1	2.1	2.1
男性 60～64歳	12	25.0	0.0	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
男性 65～69歳	71	8.5	11.3	14.1	7.0	2.8	7.0	5.6	0.0
男性 70～74歳	76	7.9	3.9	5.3	9.2	5.3	14.5	5.3	1.3
男性 75～79歳	55	9.1	5.5	7.3	5.5	1.8	12.7	5.5	0.0
男性 80～84歳	23	13.0	4.3	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3
女性 60～64歳	13	0.0	30.8	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7
女性 65～69歳	85	1.2	8.2	22.4	8.2	7.1	3.5	0.0	8.2
女性 70～74歳	78	3.8	9.0	17.9	7.7	10.3	1.3	0.0	10.3
女性 75～79歳	46	4.3	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3	0.0	4.3
女性 80～84歳	17	17.6	5.9	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	0.0

n	理・美容、その他サービス	農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	無回答	
	TOTAL	552	2.9	0.5	3.6	5.4	2.9	10.9	11.8
60～64歳	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0
65～69歳	158	3.2	0.6	6.3	6.3	2.5	7.0	11.4	5.1
70～74歳	185	4.9	1.1	0.0	4.9	3.8	13.5	10.8	7.6
75～79歳	130	1.5	0.0	6.2	7.7	3.8	11.5	13.8	8.5
80～84歳	47	0.0	0.0	4.3	2.1	0.0	17.0	14.9	12.8
男性 60～64歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
男性 65～69歳	71	1.4	0.0	7.0	14.1	5.6	5.6	7.0	2.8
男性 70～74歳	76	5.3	1.3	0.0	6.6	7.9	10.5	10.5	5.3
男性 75～79歳	55	0.0	0.0	10.9	16.4	7.3	5.5	9.1	3.6
男性 80～84歳	23	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	8.7	21.7	4.3
女性 60～64歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
女性 65～69歳	85	4.7	1.2	5.9	0.0	0.0	8.2	14.1	7.1
女性 70～74歳	78	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	11.5	7.7
女性 75～79歳	46	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0	19.6	15.2	15.2
女性 80～84歳	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	23.5

### 第3章 調査結果の詳細

現在の職業別でみると、「会社・団体の役員、管理職」「その他」以外の職業で、現在の職業をそのまま継続して続けたいという回答が6割以上となっている、という明確な傾向がみられる。また、現在は「主婦・主夫（専業）」であると回答している人では「その他（21.4%）」「調理、洗い場（17.9%）」が、「無職・仕事からは引退した」と回答している人では「事務（20.0%）」が、それぞれ他の職業に比べて高くなっている。

図表3-2-23 希望する職種：現在の職業別

	n	役員、 会社・団体の 管理職	会社・団体の 役員、 管理職	専門技術者、 教員、医療職	事務	販売、 営業	調理、 洗い場	管理 人	警備	介護職	理・美容、 その他サー ビス	農 業	機 械 整 備 ・ 修 理	製 造 ・ 加 工	輸 送 ・ 運 転	土 木	建 設 ・ 電 気	清 掃 ・ 配 達	そ の 他	無 回 答
TOTAL	552	6.3	8.7	12.9	6.9	6.2	6.7	2.4	4.3	2.9	0.5	3.6	5.4	2.9	10.9	11.8	7.6			
会社・団体の役員、 管理職	53	58.5	1.9	7.5	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	3.8	3.8	7.5	
専門技術者、教員、 医療職	34	2.9	91.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	
事務	41	2.4	2.4	85.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.9	
販売、営業	29	0.0	6.9	3.4	65.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	13.8	
調理、洗い場	23	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	
管理人	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	
警備	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護職	20	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	
理・美容、 その他サー ビス	15	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
農業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
製造・加工、 機械整備・修理	18	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	
輸送、運転	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	78.3	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3	
建設、電気、土木	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	
清掃、配達	57	0.0	1.8	3.5	0.0	1.8	3.5	0.0	3.5	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0	75.4	0.0	0.0	0.0	7.0	
その他	72	0.0	0.0	8.3	4.2	2.8	2.8	0.0	4.2	1.4	0.0	1.4	4.2	1.4	5.6	52.8	11.1			
主婦・主夫（専業）	28	0.0	10.7	10.7	10.7	17.9	7.1	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	21.4	10.7			
学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職・仕事からは 引退した	75	0.0	8.0	20.0	6.7	5.3	10.7	4.0	5.3	1.3	0.0	1.3	6.7	0.0	8.0	16.0	6.7			



## ⑦現在の働く場所の定年

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問12-6 現在あなた（宛名のご本人）の働く場所の定年は何歳ですか。再雇用の場合を含めた上限の年齢についてお答えください。（○は1つのみ）

現在の働く場所の定年については、「70歳以上」が62.5%と最も高く、次いで「65歳」が10.5%、「65～69歳」が7.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「65歳（13.8%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「65歳（58.3%）」「60歳（16.7%）」が、女性60～64歳では「65歳（38.5%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「70歳以上（男性60～64歳8.3%・女性60～64歳23.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-2-24 現在の働く場所の定年：性年代別

	n	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	65～69歳	70歳以上	無回答
TOTAL	552	3.4	0.2	0.0	0.4	0.4	10.5	7.1	62.5	15.6
男性計	239	5.9	0.4	0.0	0.4	0.0	13.8	6.7	61.5	11.3
男性 60～64歳	12	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	58.3	8.3	8.3	0.0
男性 前期高齢者	147	7.5	0.0	0.0	0.7	0.0	12.2	8.8	61.2	9.5
男性 後期高齢者	78	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	2.6	70.5	15.4
女性計	240	1.7	0.0	0.0	0.0	0.8	6.7	7.9	65.4	17.5
女性 60～64歳	13	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5	7.7	23.1	15.4
女性 前期高齢者	163	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	6.1	9.8	68.7	12.9
女性 後期高齢者	63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.2	65.1	30.2

### 第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「65歳（48.0%）」「60歳（12.0%）」が、65～69歳では「65～69歳（14.6%）」が、70～74歳・75～79歳では「70歳以上（70～74歳72.4%・75～79歳69.2%）」が、男性60～64歳では「65歳（58.3%）」「60歳（16.7%）」が、男性75～79歳では「70歳以上（76.4%）」が、女性60～64歳では「65歳（38.5%）」が、女性70～74歳では「70歳以上（78.2%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「60歳」が加齢に伴って低下している。一方、「65歳」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-2-25 現在の働く場所の定年：性年代別（詳細）

	n	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	65～69歳	70歳以上	無回答
TOTAL	552	3.4	0.2	0.0	0.4	0.4	10.5	7.1	62.5	15.6
60～64歳	25	12.0	4.0	0.0	0.0	4.0	48.0	8.0	16.0	8.0
65～69歳	158	6.3	0.0	0.0	0.6	0.6	10.8	14.6	55.7	11.4
70～74歳	185	2.2	0.0	0.0	0.5	0.0	8.1	3.2	72.4	13.5
75～79歳	130	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	3.8	69.2	18.5
80～84歳	47	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	4.3	55.3	31.9
男性60～64歳	12	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	58.3	8.3	8.3	0.0
男性65～69歳	71	11.3	0.0	0.0	1.4	0.0	15.5	12.7	50.7	8.5
男性70～74歳	76	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2	5.3	71.1	10.5
男性75～79歳	55	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	76.4	12.7
男性80～84歳	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	8.7	56.5	21.7
女性60～64歳	13	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5	7.7	23.1	15.4
女性65～69歳	85	2.4	0.0	0.0	0.0	1.2	5.9	16.5	60.0	14.1
女性70～74歳	78	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	2.6	78.2	11.5
女性75～79歳	46	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.3	69.6	23.9
女性80～84歳	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.9	47.1

現在の職業別で見ると、「販売、営業」では「60歳（17.2%）」、「専門技術者、教員、医療職」では「65歳（20.6%）」、「調理、洗い場」「管理人」「警備」「理・美容、その他サービス」「農業」「清掃、配達」などでは「70歳以上」が、それぞれ他の職業に比べて高くなっている。

図表3-2-26 現在の働く場所の定年：現在の職業別

	n	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	65～69歳	70歳以上	無回答
TOTAL	552	3.4	0.2	0.0	0.4	0.4	10.5	7.1	62.5	15.6
会社・団体の役員、 管理職	53	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.1	5.7	66.0	9.4
専門技術者、教員、 医療職	34	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6	14.7	52.9	8.8
事務	41	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	19.5	14.6	56.1	4.9
販売、営業	29	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	6.9	58.6	3.4
調理、洗い場	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	82.6	0.0
管理人	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	90.9	4.5
警備	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護職	20	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	10.0	70.0	5.0
理・美容、 その他サービス	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	73.3	6.7
農業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
製造・加工、 機械整備・修理	18	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	66.7	5.6
輸送、運転	23	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	13.0	0.0	65.2	13.0
建設、電気、土木	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	69.2	7.7
清掃、配達	57	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	7.0	78.9	10.5
その他	72	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	75.0	9.7
主婦・主夫（専業）	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	46.4	50.0
学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無職・仕事からは 引退した	75	5.3	0.0	0.0	0.0	1.3	14.7	8.0	25.3	45.3

⑧希望する雇用形態

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問12-7 あなた（宛名のご本人）は、働く場合、どの雇用形態を希望しますか。（○は1つのみ）

希望する雇用形態については、「パート・アルバイト・契約社員」が53.8%と最も高く、次いで「自営業主、自由業」が14.5%、「正社員・正規職員・正規従業員」が7.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自営業主、自由業（19.7%）」「正社員・正規職員・正規従業員（11.7%）」が高く、女性では男性よりも「パート・アルバイト・契約社員（65.4%）」「家族従業員（家業などの手伝い）（5.8%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「正社員・正規職員・正規従業員（50.0%）」が、男性後期高齢者では「自営業主、自由業（26.9%）」が、女性60～64歳では「パート・アルバイト・契約社員（69.2%）」「人材派遣企業の派遣社員（23.1%）」が、女性前期高齢者では「パート・アルバイト・契約社員（69.3%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性後期高齢者では「パート・アルバイト・契約社員（男性60～64歳41.7%・男性後期35.9%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-27 希望する雇用形態：性年代別

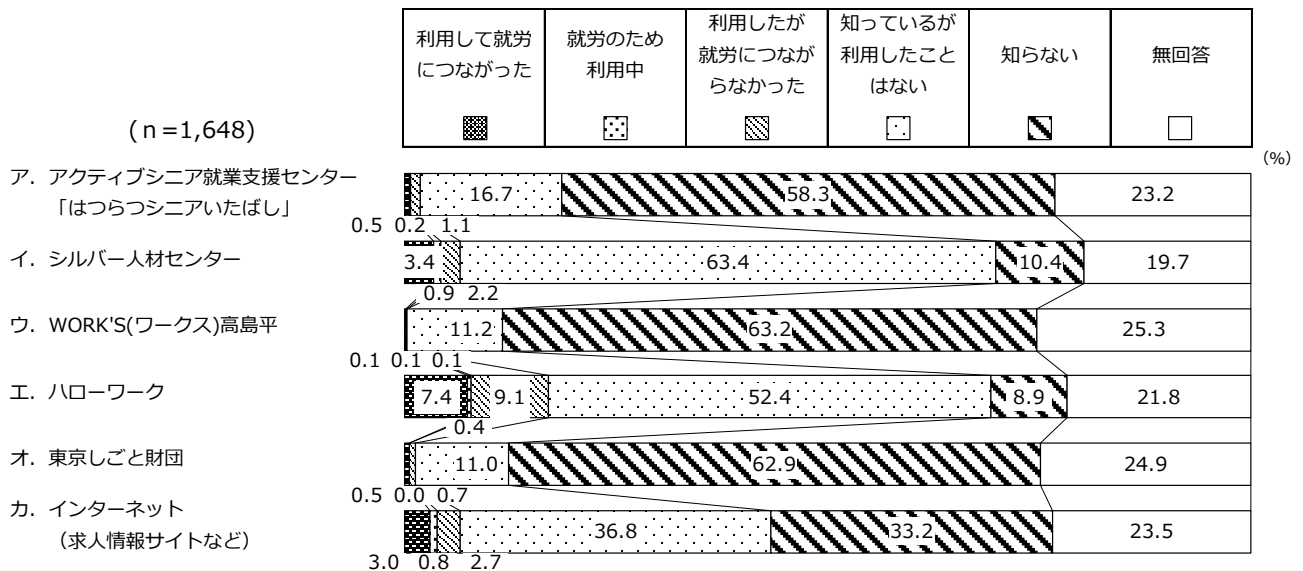
n	自営業主、自由業	家族従業員 (家業などの 手伝い)	正社員・ 正規職員・ 正規従業員	パート・ アルバイト・ 契約社員	嘱託社員・ 嘱託職員	人材派遣企業 の派遣社員	その他の 雇用者	会社や団体 などの役員・ 管理職	家庭での 内職	その他 (左記以外)	無回答	
TOTAL	552	14.5	3.3	7.6	53.8	5.4	2.4	2.9	3.1	0.5	0.9	5.6
前回TOTAL	619	15.5	2.9	8.1	51.7	4.5	1.9	2.3	2.7	0.6	1.5	8.2
男性計	239	19.7	0.8	11.7	43.9	7.9	1.7	3.8	4.6	0.4	2.1	3.3
男性 60～64歳	12	8.3	0.0	50.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 前期高齢者	147	17.0	0.0	10.2	48.3	8.2	1.4	5.4	4.1	0.0	2.0	3.4
男性 後期高齢者	78	26.9	2.6	9.0	35.9	9.0	1.3	1.3	6.4	1.3	2.6	3.8
女性計	240	8.3	5.8	3.3	65.4	3.3	3.3	1.7	1.7	0.8	0.0	6.3
女性 60～64歳	13	0.0	0.0	0.0	69.2	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
女性 前期高齢者	163	9.8	4.9	4.3	69.3	3.7	2.5	1.2	1.2	0.6	0.0	2.5
女性 後期高齢者	63	6.3	9.5	1.6	54.0	3.2	1.6	3.2	3.2	0.0	0.0	17.5

(3) 仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況

問13 仕事に関する情報を提供している施設などについてうかがいます。それぞれあてはまる番号をお選びください。(それぞれ○は1つ)

仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況について、「利用して就労につながった」「就労のため利用中」「利用したが就労につながらなかった」を合わせて『利用状況』、さらに「知っているが利用したことはない」を合わせて『認知度』とすると、『認知度』は「シルバー人材センター（認知度69.9%・利用状況6.5%・利用して就労につながった3.4%）」が最も高く、次いで「ハローワーク（69.3%・16.9%・7.4%）」、「インターネット（求人情報サイトなど）（43.3%・6.5%・3.0%）」の順となっている。

図表3-2-28 仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況

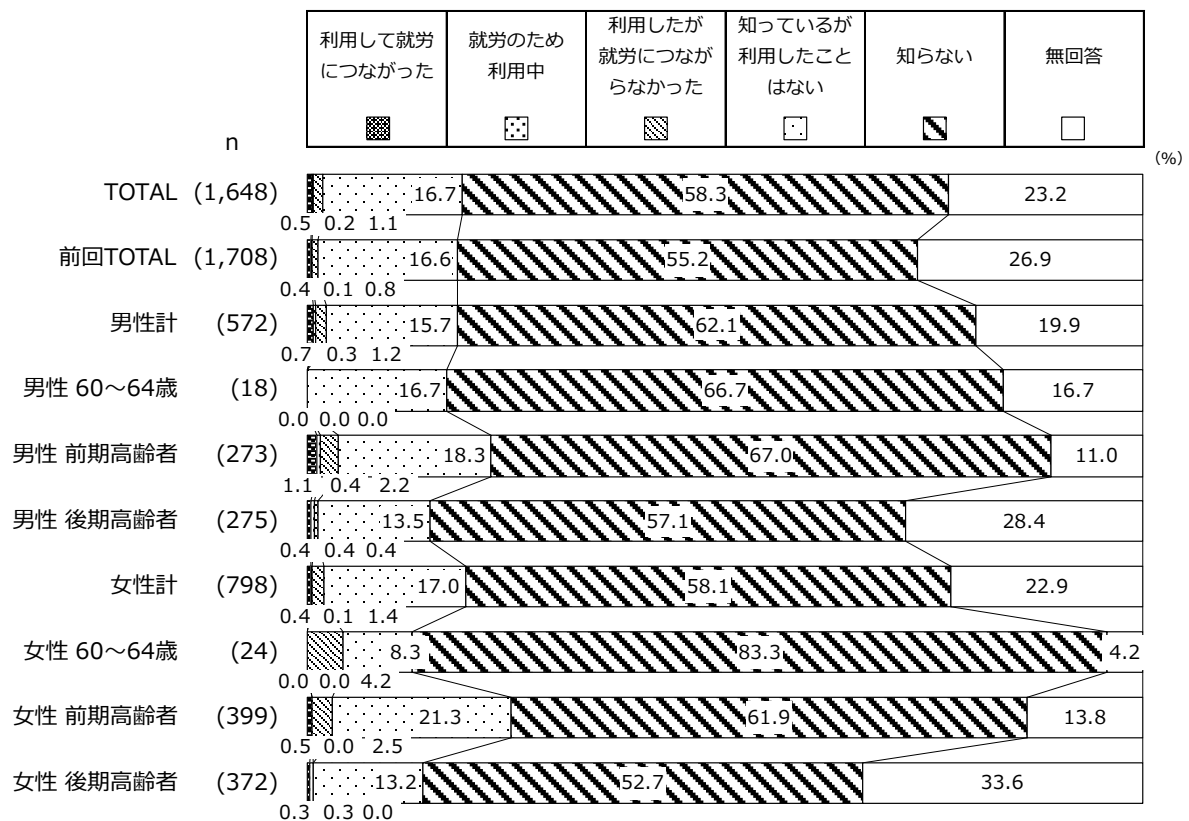


①アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」

アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」については、『認知度』が18.5%、『利用状況』が1.8%、「利用して就労につながった」が0.5%となっている。

性別では、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。性年代別でみると、『認知度』では女性前期高齢者（24.3%）、男性前期高齢者（22.0%）、男性60歳～64歳（16.7%）、男性後期高齢者（14.7%）、女性後期高齢者（13.8%）、女性60～64歳（12.5%）の順に高くなっている。また、『利用状況』では女性60歳～64歳（4.2%）、男性前期高齢者（3.7%）、女性前期高齢者（3.0%）、男性後期高齢者（1.2%）、女性後期高齢者（0.6%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳は0.0%となっている。一方、「利用して就労につながった」は男性前期高齢者（1.1%）、女性前期高齢者（0.5%）、男性後期高齢者（0.4%）、女性後期高齢者（0.3%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-29 アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」の認知度・利用状況：性年代別



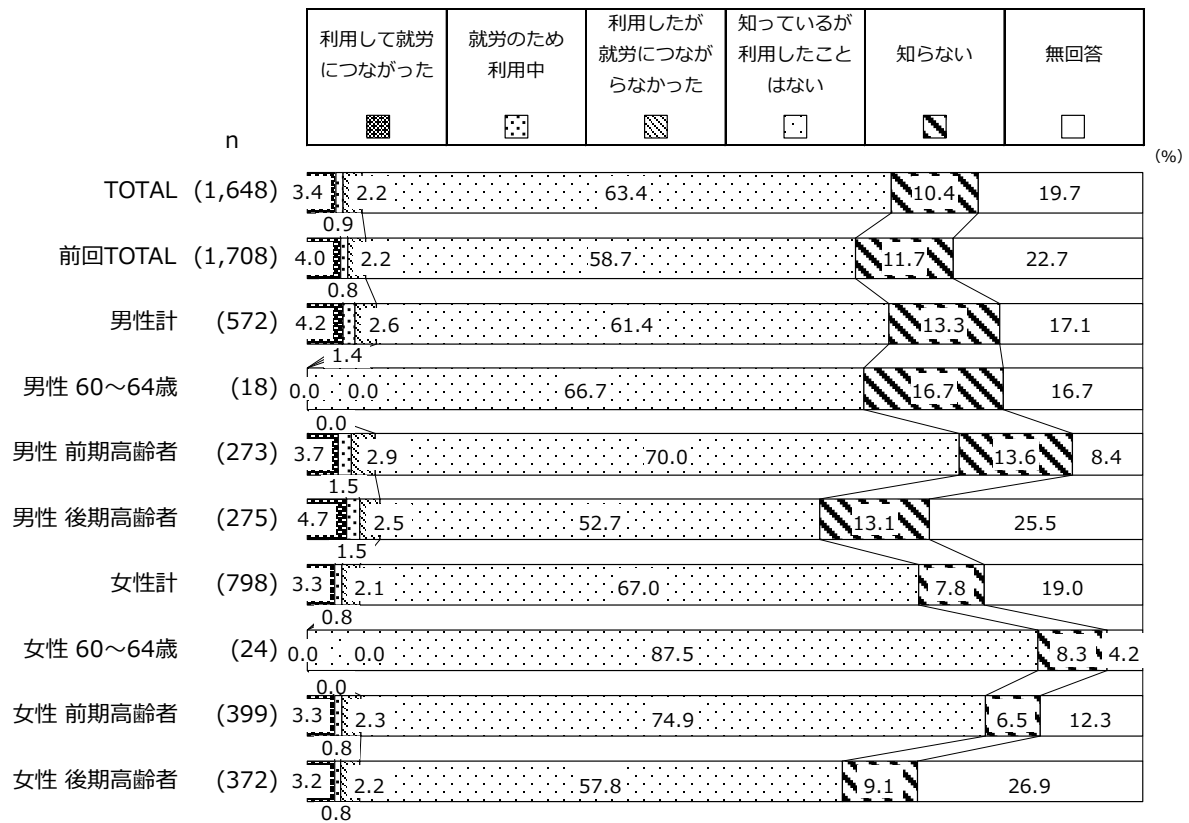
②シルバー人材センター

シルバー人材センターについては、『認知度』が69.9%、『利用状況』が6.5%、「利用して就労につながった」が3.4%となっている。

性別では、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性60歳～64歳（87.5%）、女性前期高齢者（81.3%）、男性前期高齢者（78.1%）、男性60歳～64歳（66.7%）、女性後期高齢者（64.0%）、男性後期高齢者（61.4%）の順に高くなっている。また、『利用状況』は男性後期高齢者（8.7%）、男性前期高齢者（8.1%）、女性前期高齢者（6.4%）、女性後期高齢者（6.2%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。一方、「利用して就労につながった」は男性後期高齢者（4.7%）、男性前期高齢者（3.7%）、女性前期高齢者（3.3%）、女性後期高齢者（3.2%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-30 シルバー人材センターの認知度・利用状況：性年代別







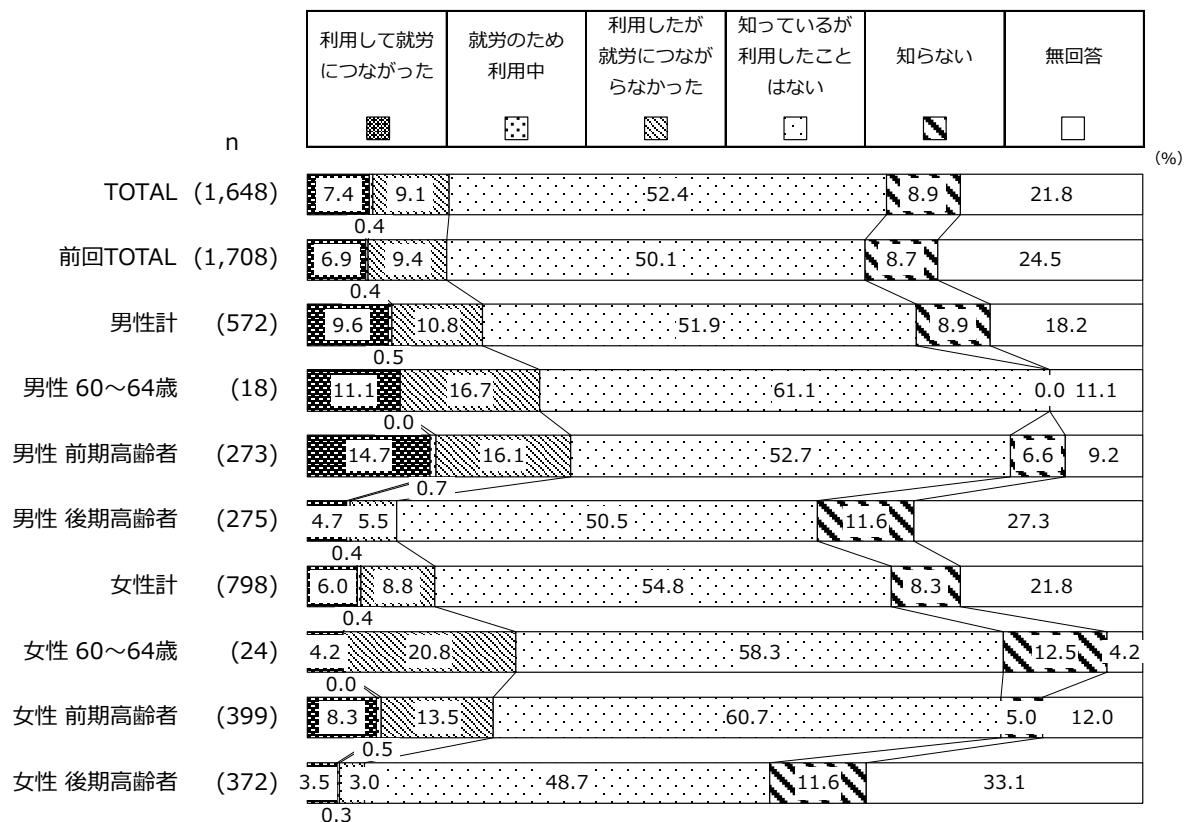
④ハローワーク

ハローワークについては、『認知度』が69.3%、『利用状況』が16.9%、「利用して就労につながった」が7.4%となっている。

性別でみると、『認知度』「利用して就労につながった」では男女で大きな違いがみられないものの、『利用状況』では男性（20.9%）の方が女性（15.2%）よりも5.7ポイント高くなっている。性年代別でみると、『認知度』は男性60～64歳（88.9%）、男性前期高齢者（84.2%）、女性60～64歳（83.3%）、女性前期高齢者（83.0%）、男性後期高齢者（61.1%）、女性後期高齢者（55.5%）の順に高くなっている。また、『利用状況』は男性前期高齢者（31.5%）、男性60～64歳（27.8%）、女性60～64歳（25.0%）、女性前期高齢者（22.3%）、男性後期高齢者（10.6%）、女性後期高齢者（6.8%）の順に高くなっている。一方、「利用して就労につながった」は男性前期高齢者（14.7%）、男性60～64歳（11.1%）、女性前期高齢者（8.3%）、男性後期高齢者（4.7%）、女性60～64歳（4.2%）、女性後期高齢者（3.5%）の順に高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-32 ハローワークの認知度・利用状況：性年代別



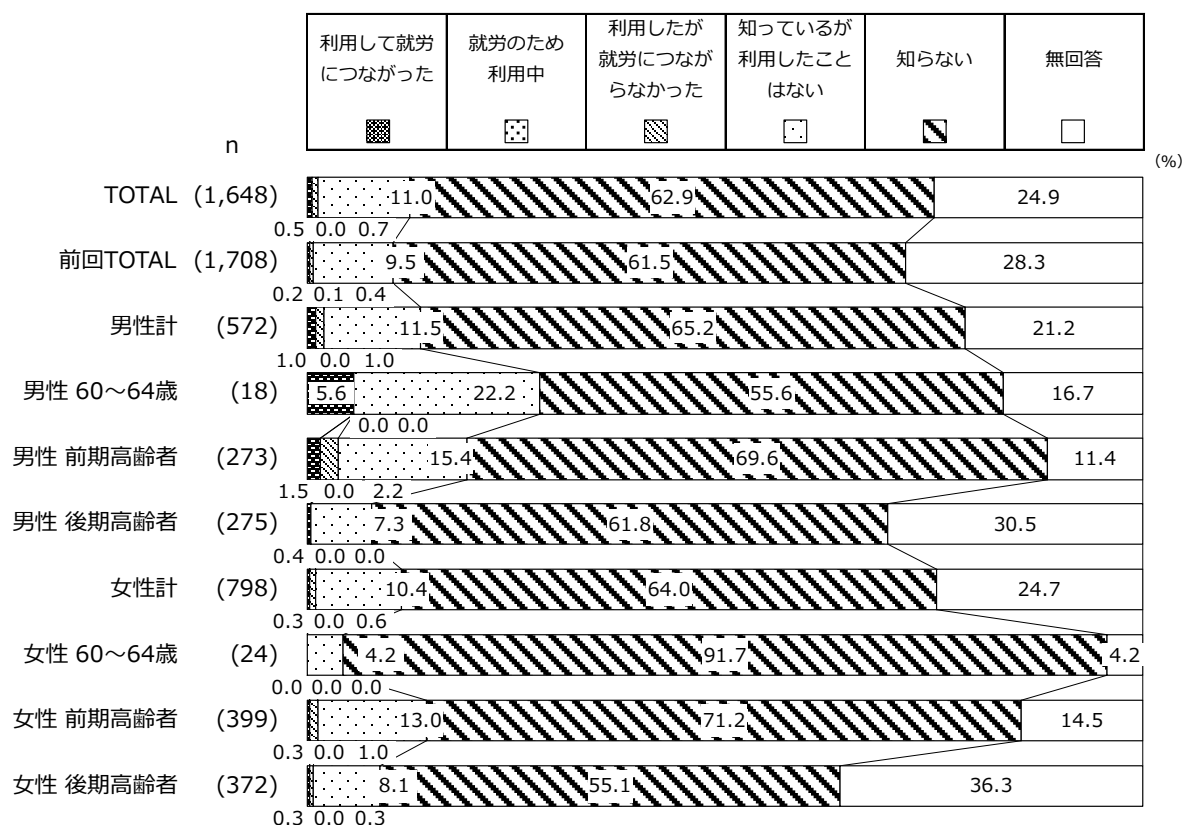
⑤東京しごと財団

東京しごと財団については、『認知度』が12.2%、『利用状況』が1.2%、「利用して就労につながった」が0.5%となっている。

性別では、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。性年代別でみると、『認知度』では男性60～64歳（27.8%）、男性前期高齢者（19.1%）、女性前期高齢者（14.3%）、女性後期高齢者（8.7%）、男性後期高齢者（7.7%）の順に高くなっているのに対して、女性60～64歳では0.0%となっている。また、『利用状況』では男性60～64歳（5.6%）、男性前期高齢者（3.7%）、女性前期高齢者（1.3%）、女性後期高齢者（0.6%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、女性60～64歳では0.0%となっている。一方、「利用して就労につながった」では男性60～64歳（5.6%）、男性前期高齢者（1.5%）、男性後期高齢者（0.4%）、女性前期高齢者・女性後期高齢者（ともに0.3%）の順に高くなっているのに対して、女性60～64歳では0.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-33 東京しごと財団の認知度・利用状況：性年代別



⑥インターネット（求人情報サイトなど）

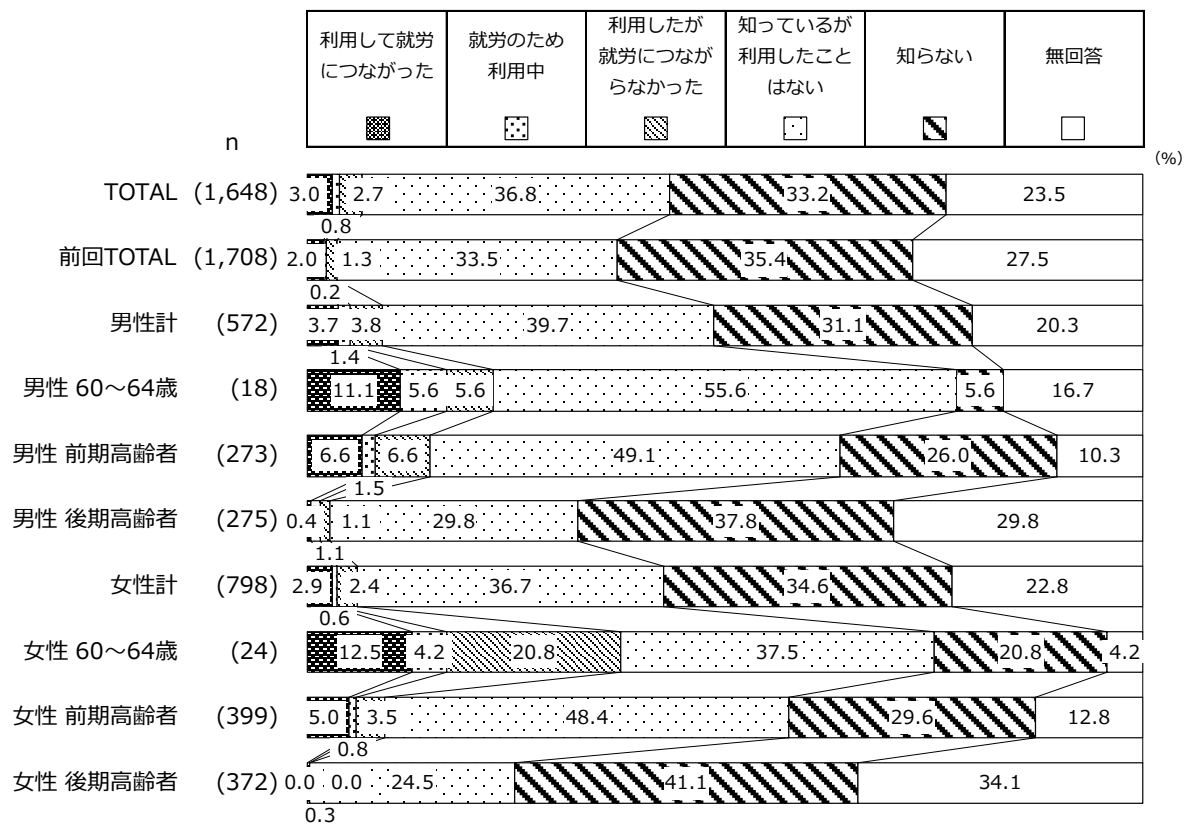
インターネット（求人情報サイトなど）については、『認知度』が43.3%、『利用状況』が6.5%、「利用して就労につながった」が3.0%となっている。

性別でみると、『利用状況』『利用して就労につながった』では男女で大きな違いがみられないものの、『認知度』では男性（48.6%）の方が女性（42.6%）よりも6.0ポイント高くなっている。

性年代別でみると、『認知度』は男性60～64歳（77.9%）、女性60～64歳（75.0%）、男性前期高齢者（63.8%）、女性前期高齢者（57.7%）、男性後期高齢者（32.4%）、女性後期高齢者（24.8%）の順に高くなっている。また、『利用状況』は女性60～64歳（37.5%）、男性60～64歳（22.3%）、男性前期高齢者（14.7%）、女性前期高齢者（9.3%）、男性後期高齢者（2.6%）、女性後期高齢者（0.3%）の順に高くなっている。一方、「利用して就労につながった」は女性60～64歳（12.5%）、男性60～64歳（11.1%）、男性前期高齢者（6.6%）、女性前期高齢者（5.0%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、女性後期高齢者では0.0%となっている。

前回調査と比較すると、『認知度』が6.3ポイント上昇している。

図表3-2-34 インターネット（求人情報サイトなど）の認知度・利用状況：性年代別



### 3. 健康について

#### (1) 健康に対する自己認識

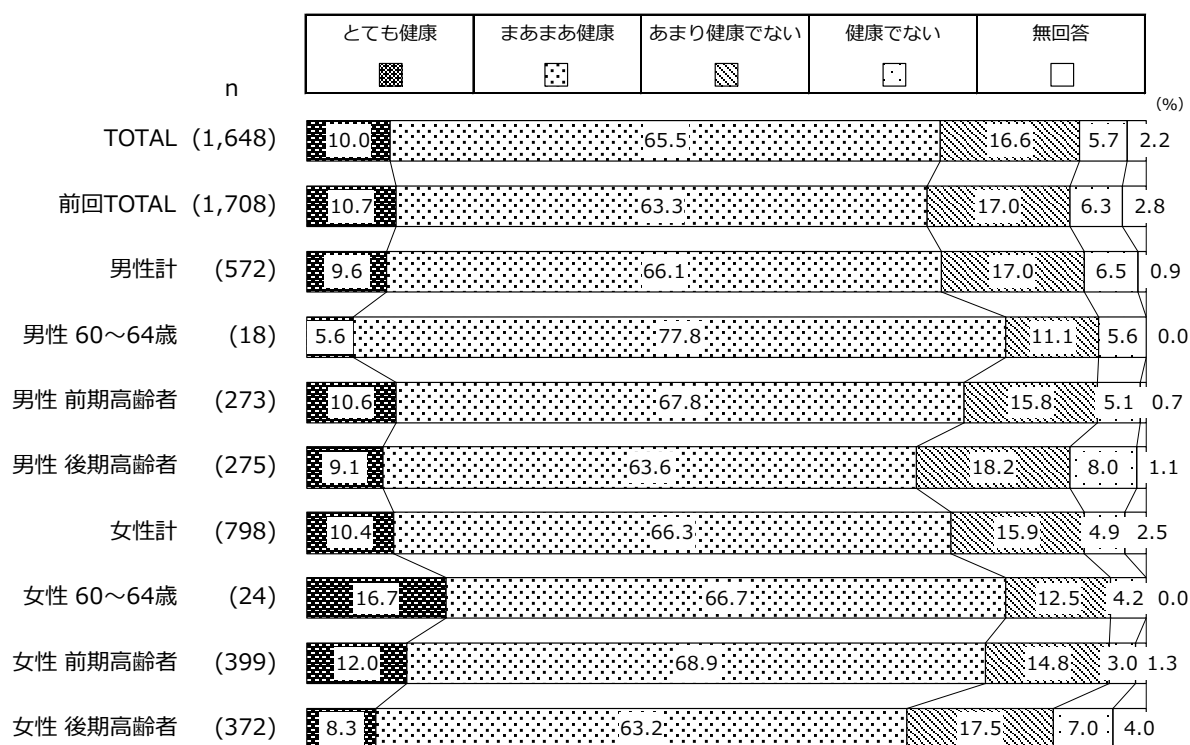
**問14 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、ご自分で健康だと思いますか。（○は1つのみ）**

健康に対する自己認識については、「とても健康」の10.0%と「まあまあ健康」の65.5%を合わせた『健康』が75.5%、「あまり健康でない」の16.6%と「健康でない」の5.7%を合わせた『不健康』が22.3%となっている。

性別では、大きな違いはみられない。性年代別でみると、『健康』は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

**図表3-3-1 健康に対する自己認識：性年代別**



(2) フレイルについて

①フレイルの認知度

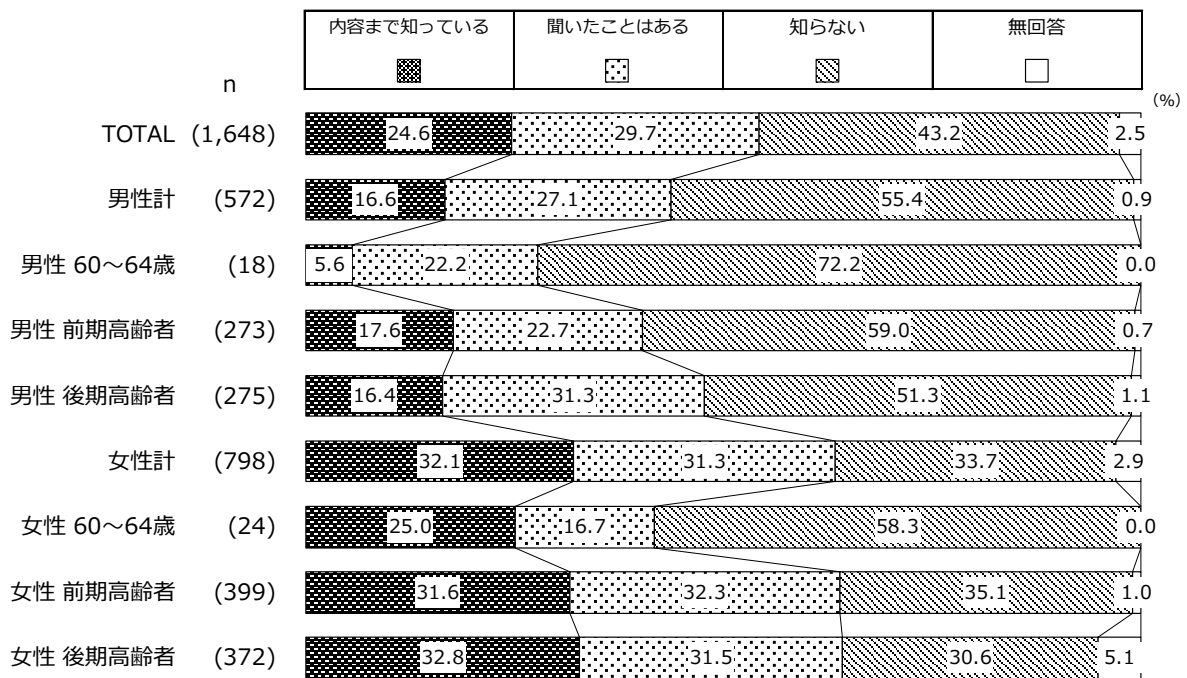
問15 あなた（宛名のご本人）は“フレイル”という言葉を知っていますか。（○は1つのみ）

※フレイル：年を取り、心身の活力が低下し、要介護状態に至る前段階の状態のこと。

フレイルの認知度については、「内容まで知っている」の24.6%と「聞いたことはある」の29.7%を合わせた『知っている』が54.3%、「知らない」が43.2%となっている。

性別で見ると、女性では男性よりも『知っている（63.4%）』が高くなっている。性年代別で見ると、『知っている』は男女ともに加齢に伴い上昇している。また、女性後期高齢者では『知っている（64.3%）』が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では『知っている（男性60～64歳27.8%・男性前期40.3%・女性60～64歳41.7%）』が全体の傾向よりも低くなっている。

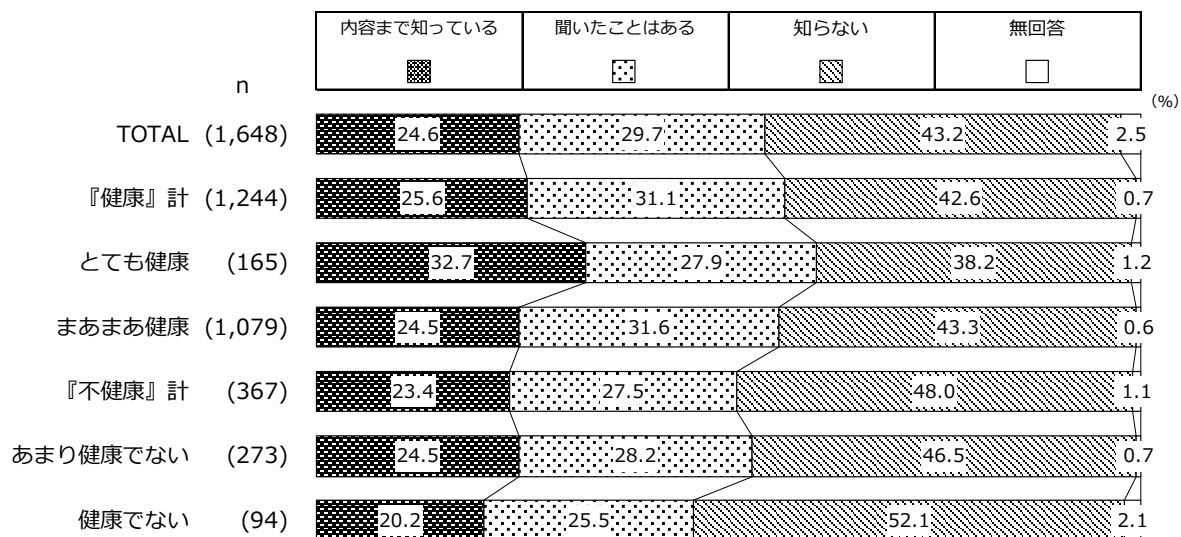
図表3-3-2 フレイルの認知度：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、『知っている』は『健康 (56.7%)』の方が『不健康 (50.9%)』よりも5.8ポイント高くなっている。

図表3-3-3 フレイルの認知度：健康に対する自己認識別



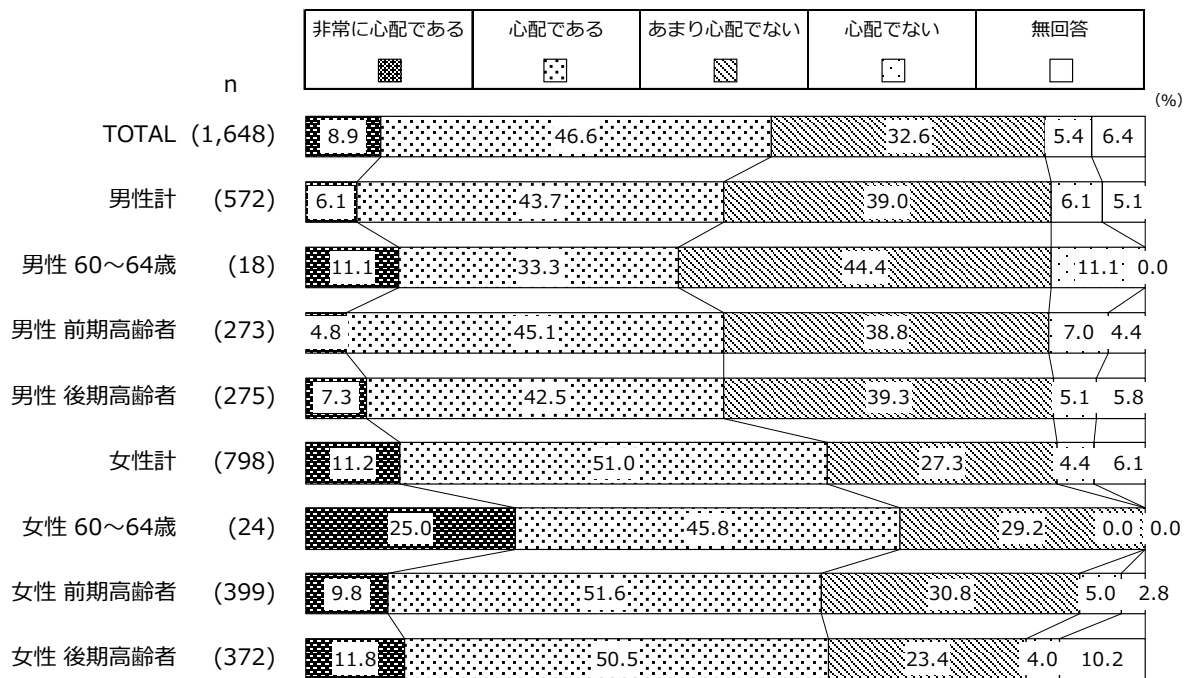
②フレイルになる心配

問15-1 自身がフレイルになることについてどのくらい心配ですか。(○は1つのみ)

フレイルになる心配については、「非常に心配である」の8.9%と「心配である」の46.6%を合わせた『心配である』が55.5%、「あまり心配でない」の32.6%と「心配でない」の5.4%を合わせた『心配でない』が38.0%となっている。

性別で見ると、女性では男性よりも『心配である (62.2%)』が高くなっている (男性49.8%・女性62.2%)。また、性年代別で見ると、女性60～64歳では『心配である (70.8%)』が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では『心配である (44.4%)』が全体の傾向よりも低くなっている。

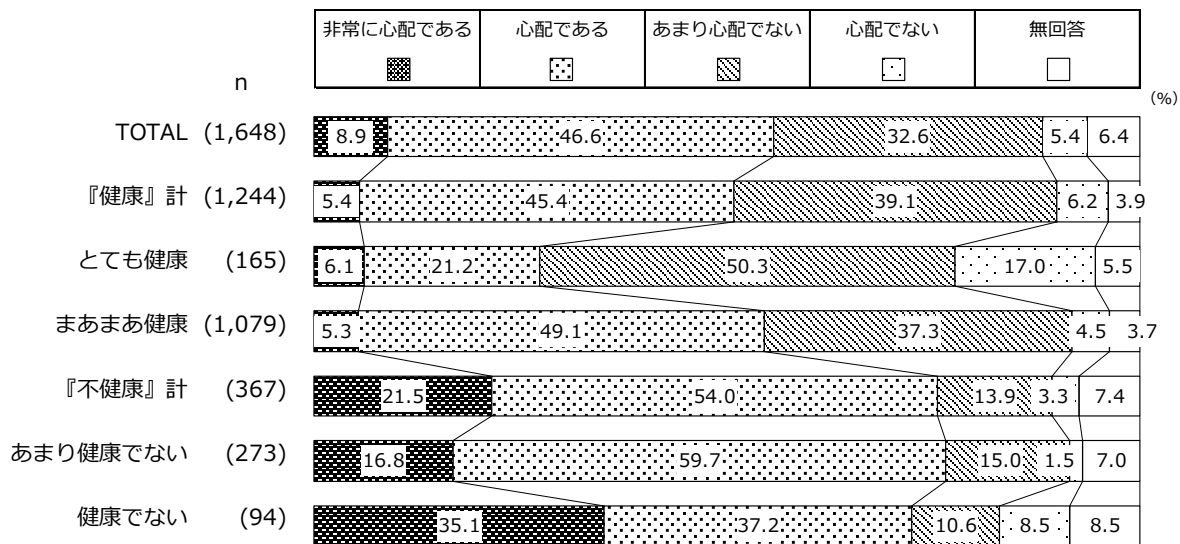
図表3-3-4 フレイルになる心配：性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、『心配である』は『不健康 (75.5%)』の方が『健康 (50.8%)』よりも24.7ポイント高くなっている。

図表3-3-5 フレイルになる心配：健康に対する自己認識別





(3) 心配ごとや悩みごとの状況

①現在の心配ごとや悩みごと

問16 あなた（宛名のご本人）には、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。

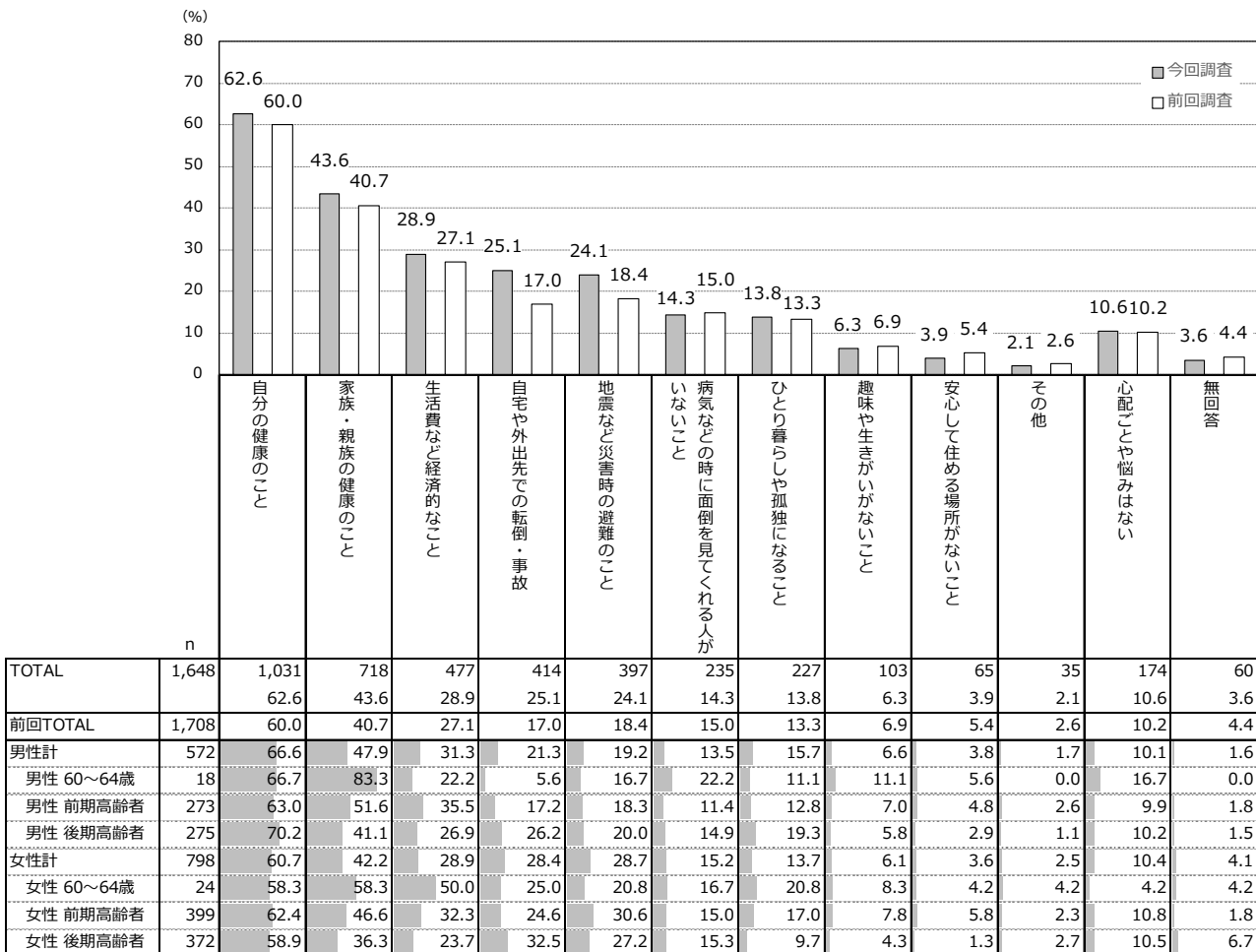
（あてはまるものすべてに○）

現在の心配ごとや悩みごとについては、「自分の健康のこと」が62.6%と最も高く、次いで「家族・親族の健康のこと」が43.6%、「生活費など経済的なこと」が28.9%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「自分の健康のこと（66.6%）」「家族・親族の健康のこと（47.9%）」が高く、女性では男性よりも「地震など災害時の避難のこと（28.7%）」「自宅や外出先での転倒・事故（28.4%）」が高くなっている。また、性年代別でみると、男性60～64歳では「家族・親族の健康のこと（83.3%）」が、女性60～64歳では「家族・親族の健康のこと（58.3%）」「生活費など経済的なこと（50.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「自宅や外出先での転倒・事故（5.6%）」が全体の傾向よりも低くなっている。「自分の健康のこと」「家族・親族の健康のこと」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「自宅や外出先での転倒・事故」が8.1ポイント、「地震など災害時の避難のこと」が5.7ポイント、それぞれ上昇している。

図表3-3-6 現在の心配ごとや悩みごと（複数回答）：性年代別



## ②心配ごとや悩みごとの相談先

【問16で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問16-1 あなた（宛名のご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（○はいくつでも）

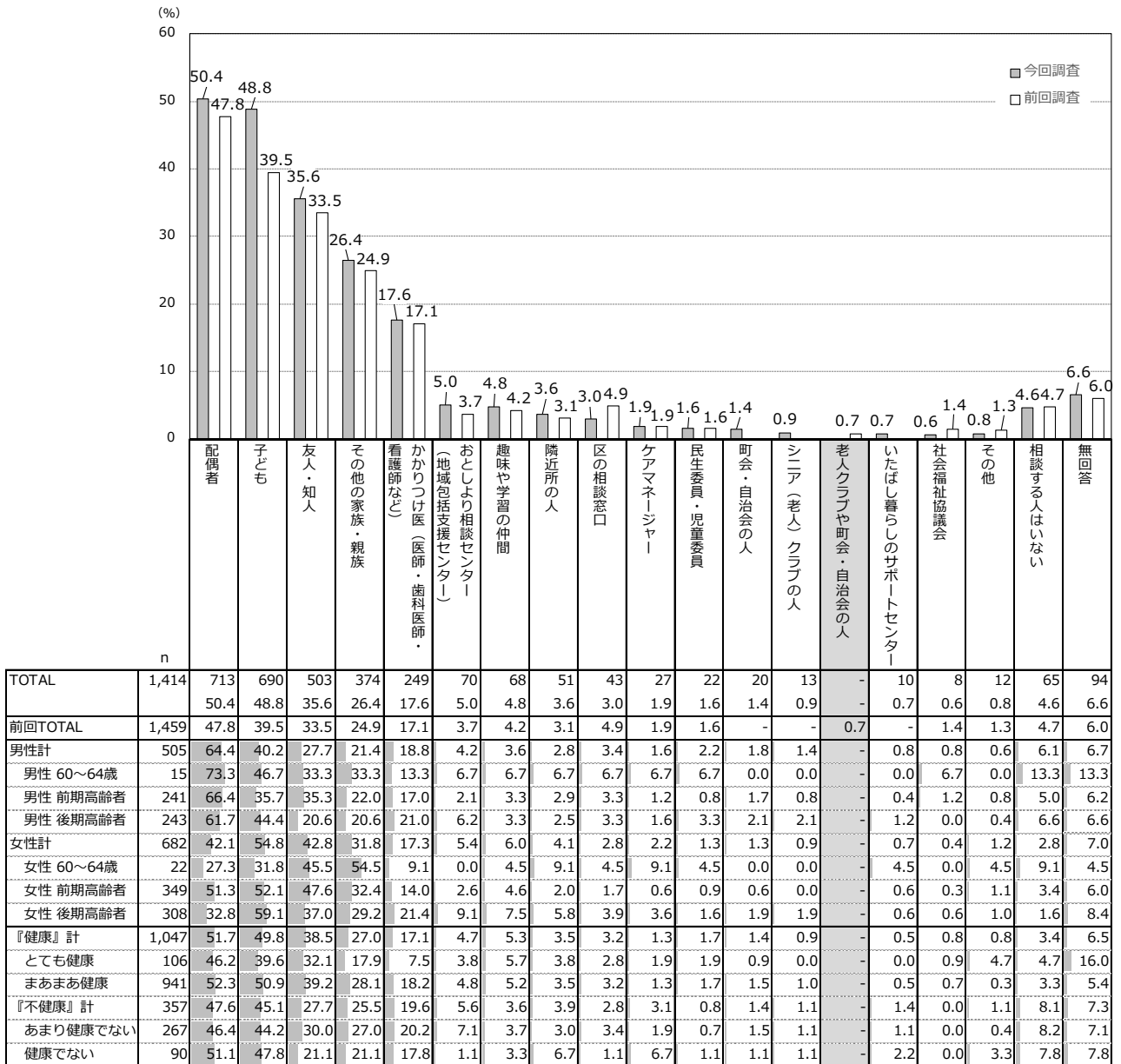
心配ごとや悩みごとの相談先については、「配偶者」が50.4%と最も高く、次いで「子ども」が48.8%、「友人・知人」が35.6%、「その他の家族・親族」が26.4%、「かかりつけ医（医師・歯科医師・看護師など）」が17.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「配偶者（64.4%）」が高く、女性では男性よりも「子ども（54.8%）」「友人・知人（42.8%）」「その他の家族・親族（31.8%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・男性後期高齢者では「配偶者（男性60～64歳73.3%・男性前期66.4%・男性後期61.7%）」が、女性60～64歳では「その他の家族・親族（54.5%）」が、女性前期高齢者では「友人・知人（47.6%）」が、女性後期高齢者では「子ども（59.1%）」が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者では「子ども（35.7%）」が、男性後期高齢者では「友人・知人（20.6%）」が、女性60～64歳では「子ども（31.8%）」「配偶者（27.3%）」が、女性後期高齢者では「配偶者（32.8%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

健康に対する自己認識別で見ると、『不健康（27.7%）』では『健康（38.5%）』よりも「友人・知人」が10.8ポイント低下している。

前回調査と比較すると、「子ども」が9.3ポイント上昇している。

図表3-3-7 心配ごとや悩みごとの相談先：性年代別・健康に対する自己認識別



※前回調査では「老人クラブや町会・自治会の人」としていた選択肢を、  
 今回調査では「町会・自治会の人」「シニア(老人)クラブの人」に変更している。  
 また、今回調査から「いたばし暮らしのサポートセンター」の選択肢を追加している。

**(4) 日常の活動状況・ふだんの生活**

**(基本チェックリストの点数化に基づく「介護予防・生活支援サービス事業対象者」の該当率)**

**問17 あなた（宛名のご本人）の日常の活動状況についておうかがいします。質問ごとに、「している」「できるだけしていない」「できないのでしていない」でお答えください。（それぞれ○は1つ）**

**問18 あなた（宛名のご本人）のふだんの生活について、「はい（できる）」「いいえ（できない）」のどちらかをお選びください。（それぞれ○は1つ）**

**※身長・体重の欄には、小数点第1位までの数字をご記入ください。**

問17・問18の各設問回答結果より、「介護予防・生活支援サービス事業対象者」（以下、「事業対象者」）の該当率を算出するため、図表3-3-8に厚生労働省作成の基本チェックリストと比較可能な関連設問を整理している。

基本チェックリストの点数化に基づく事業対象者とは、「運動」「栄養」「口腔」「閉じこもり」「認知症」「うつ」「総合」の7つのリスクのうち1つ以上に該当している者のことを指し、本調査における事業対象者の該当率は60.0%（前回調査では60.8%）となっている。

図表3-3-8 基本チェックリストの点数化に基づく事業対象者の算出根拠・該当率

設問内容	基本チェックリスト項目番号	本調査該当設問番号	上段：基本チェックリストでの設問文 下段：本調査での設問文	該当選択肢	事業対象者各リスク該当率
生活全般	1	問17ア	バスや電車を使って1人で外出していますか	3.できないのでしていない	
	2	問17イ	日用品の買い物をしていますか	3.できないのでしていない	
	3	問17ウ	預貯金の出し入れをしていますか	3.できないのでしていない	
	4	問18タ	友人の家を訪ねていますか	2.いいえ	
	5	問18チ	家族や友人の相談にのっていますか	2.いいえ	
運動	6	問18ア	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	2.いいえ	【運動】 3項目該当 ：14.2%
	7	問18イ	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	2.いいえ	
	8	問18ウ	15分位続けて歩いていますか 15分くらい続けて歩いていますか	2.いいえ	
	9	問18カ	この1年間に転んだことがありますか	1.はい	
	10	問18キ	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	
栄養	11	問18ク	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい	【栄養】 両方に該当 ：1.5%
	12	問18ケ	※BMI = 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	18.5未満(やせ)	
口腔	13	問18コ	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	【口腔】 2項目該当 ：23.1%
	14	問18サ	お茶や汁物等でむせることがありますか お茶や汁物などでむせることがありますか	1.はい	
	15	問18シ	口の渇きが気になりますか	1.はい	
閉じこもり	16	問18工	週に1回以上は外出していますか	2.いいえ	【閉じこもり】 16に該当 ：3.9%
	17	問18オ	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	
認知症	18	問18ス	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1.はい	【認知症】 1項目該当 ：33.9%
	19	問18セ	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2.いいえ	
	20	問18ソ	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	
うつ	21	問18ニ	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1.はい	【うつ】 2項目該当 ：29.3%
	22	問18ヌ	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	
	23	問18ネ	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	1.はい	
	24	問18ノ	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	
	25	問18ハ	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	

【総合】  
1～20のうち  
10項目該当  
：3.6%

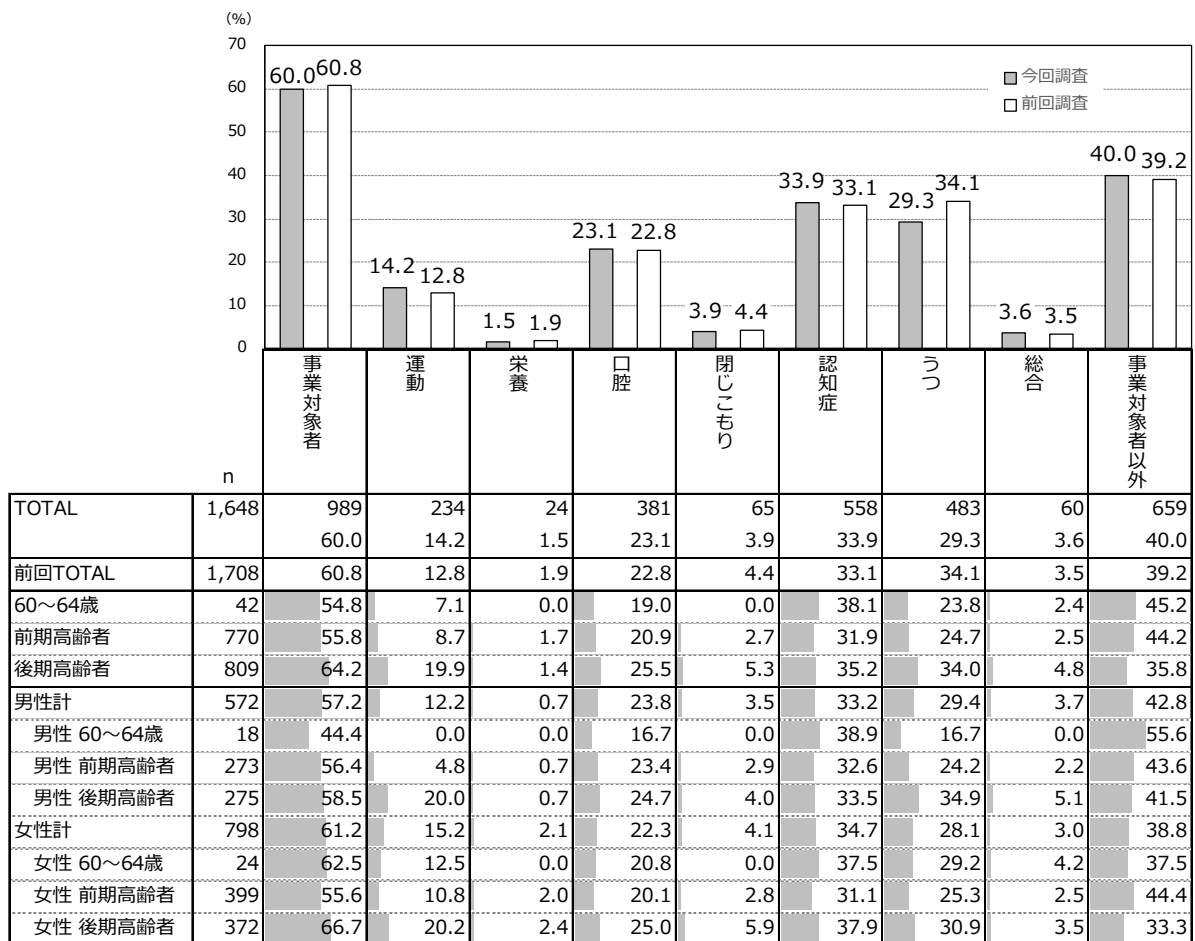
※1段の場合は基本チェックリストと同一の設問文

### 第3章 調査結果の詳細

「運動」「栄養」「口腔」「閉じこもり」「認知症」「うつ」「総合」の7つのリスクのうち1つ以上のリスクに該当している事業対象者は60.0%となっている。そのうち、「認知症」該当者は33.9%、「うつ」は29.3%、「口腔」は23.1%、「運動」は14.2%、「閉じこもり」は3.9%、「総合」は3.6%、「栄養」は1.5%となっている。

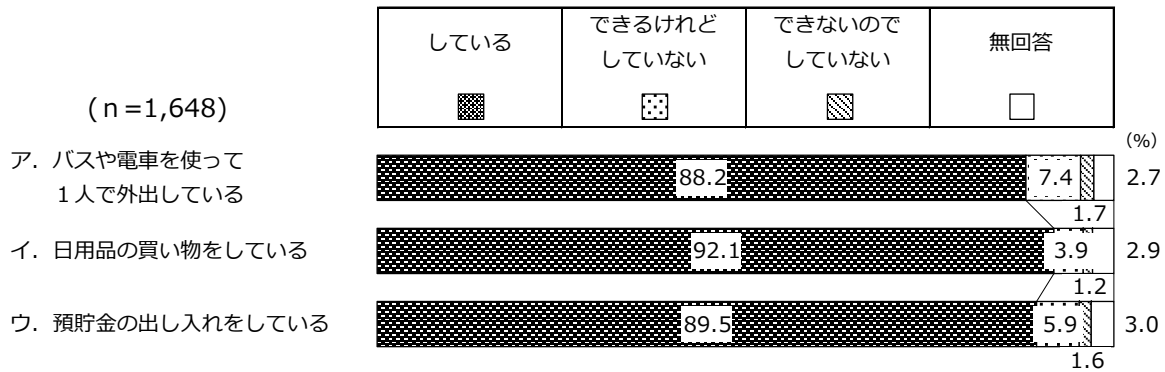
性年代別でみると、事業対象者は女性後期高齢者の該当率が66.7%と全体の傾向よりも高くなっている。「運動」リスクの該当率は男女ともに後期高齢者で高くなっており（男性20.0%・女性20.2%）、すべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。「うつ」リスクについては男性後期高齢者が34.9%と高くなっている。「閉じこもり」リスクは男女ともに加齢に伴い該当率が上昇している。各リスクの該当率について前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-3-9 事業対象者の各リスク該当状況：性年代別

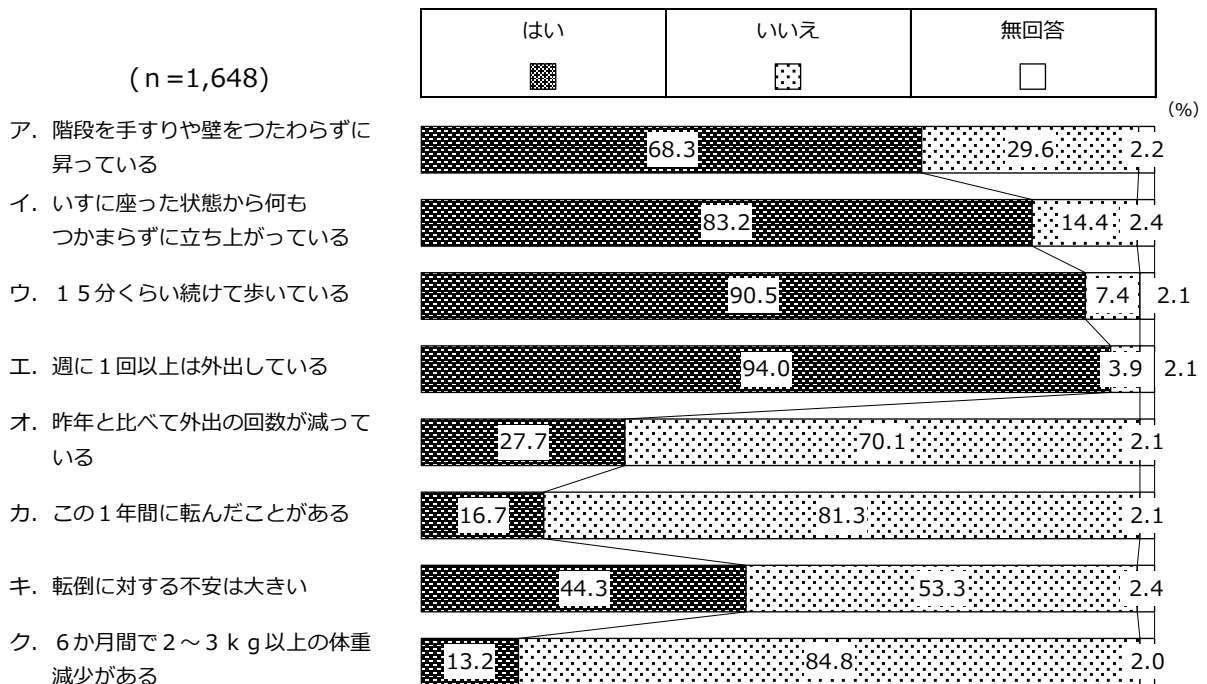


事業対象者の該当率算出に使用した各設問の結果は以下のとおりである。

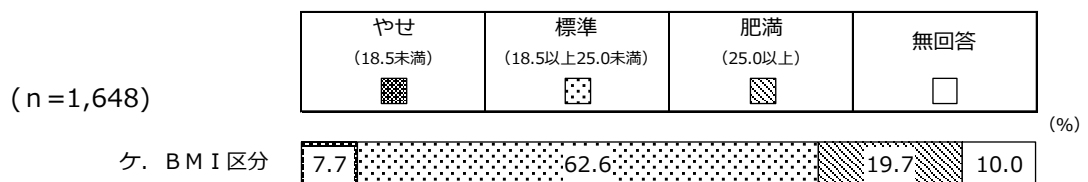
図表3-3-10 日常の活動状況



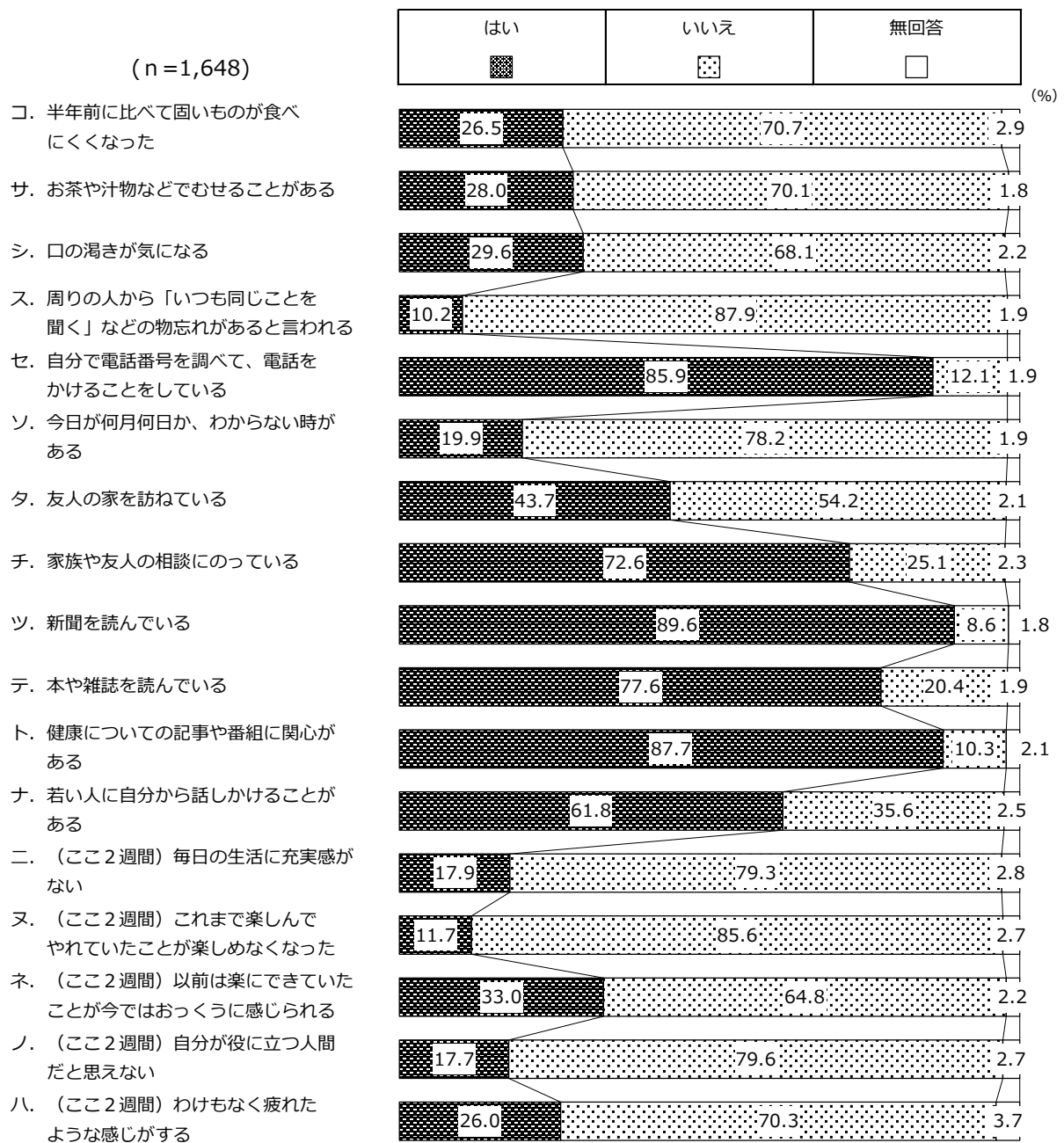
図表3-3-11 ふだんの生活(1)



図表3-3-12 ふだんの生活(2)



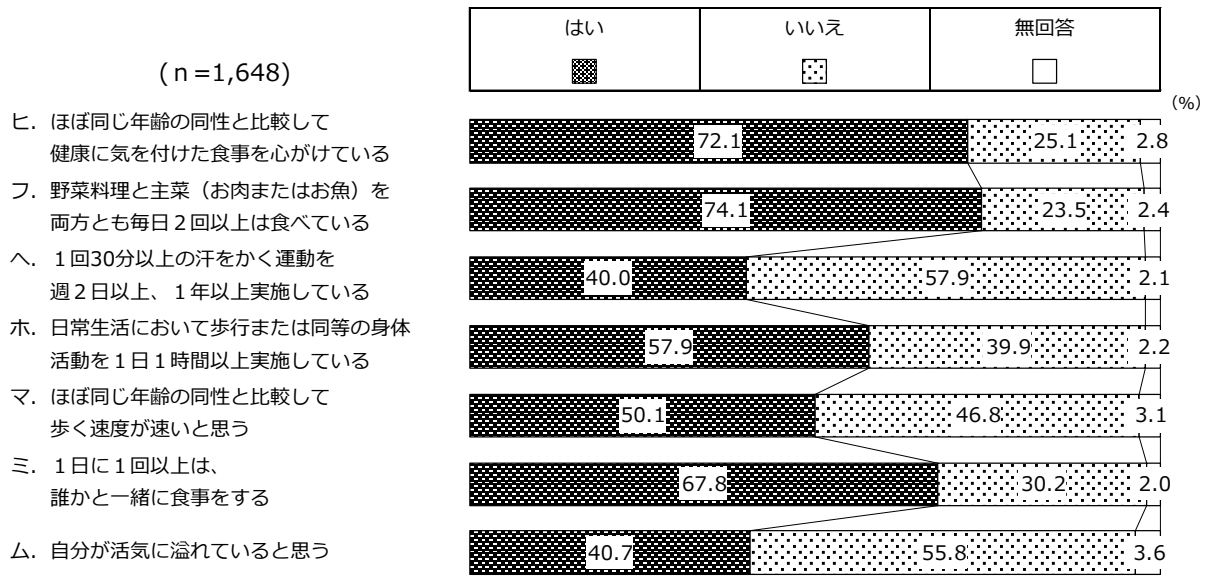
図表3-3-13 ふだんの生活(3)





事業対象者の該当率算出に使用した設問以外の結果は以下のとおりである。

図表3-3-14 ふだんの生活(4)



#### 4. 外出・人とのつきあいについて

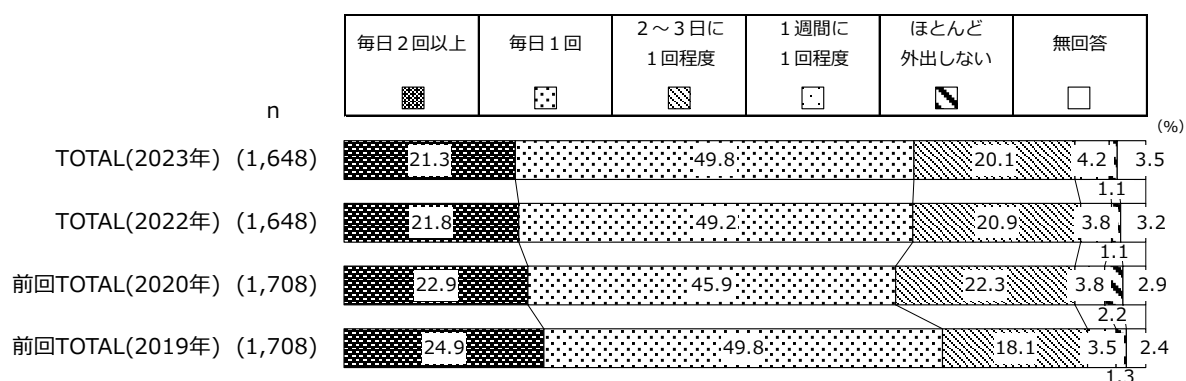
##### (1) 外出頻度・外出の主な目的

問19 あなた（宛名のご本人）が、ふだん、仕事・買い物・散歩・通院などで外出する頻度はどれくらいですか。また、外出の主な目的は何ですか。去年と今年についてお答えください。  
（それぞれ○は1つ）

##### ①外出頻度

外出頻度について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、「毎日2回以上」が一貫して低下しているものの、大きな違いはみられない。新型コロナウイルス感染症の影響があるとしても、外出そのものを控えているのではなく、出かける機会を絞って外出しているという傾向がうかがえる。

図表3-4-1 外出頻度：経年比較

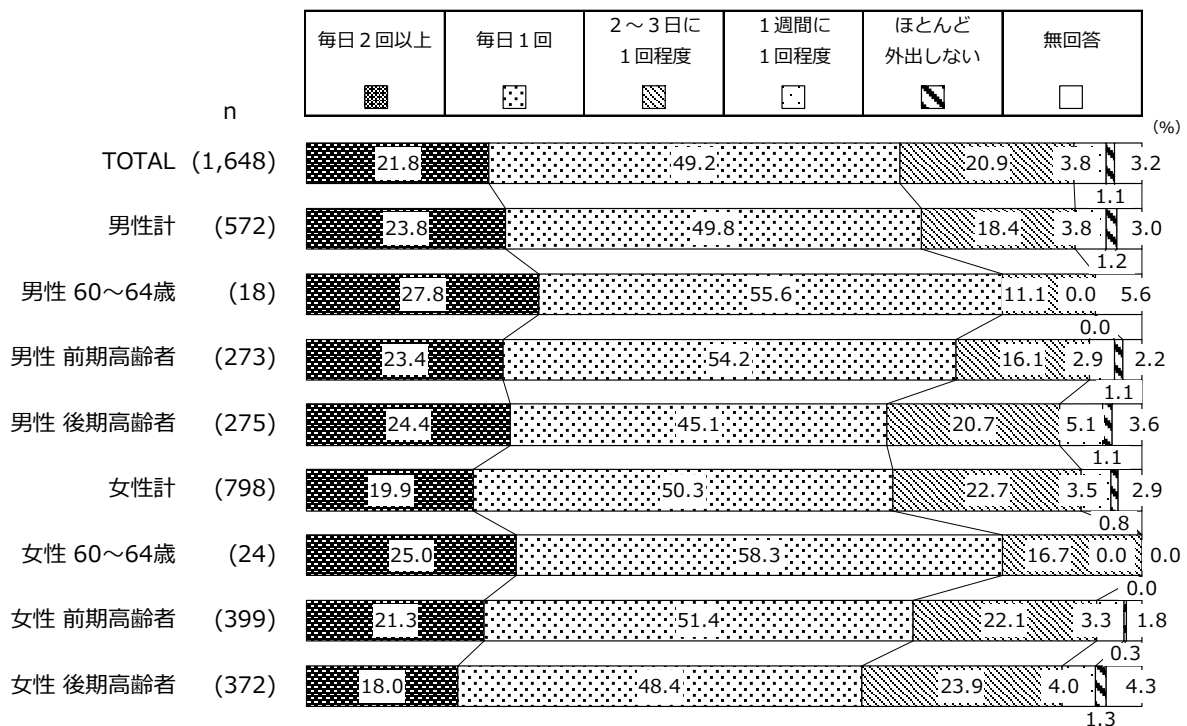


①-1 去年(2022年)の外出頻度

去年(2022年)の外出頻度については、「毎日1回」が49.2%と最も高く、次いで「毎日2回以上」が21.8%、「2～3日に1回程度」が20.9%の順となっている。一方、「ほとんど外出しない」は1.1%となっている。

性別では、大きな違いはみられない。性年代別でみると、「毎日2回以上」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「2～3日に1回程度」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-4-2 去年(2022年)の外出頻度：性年代別

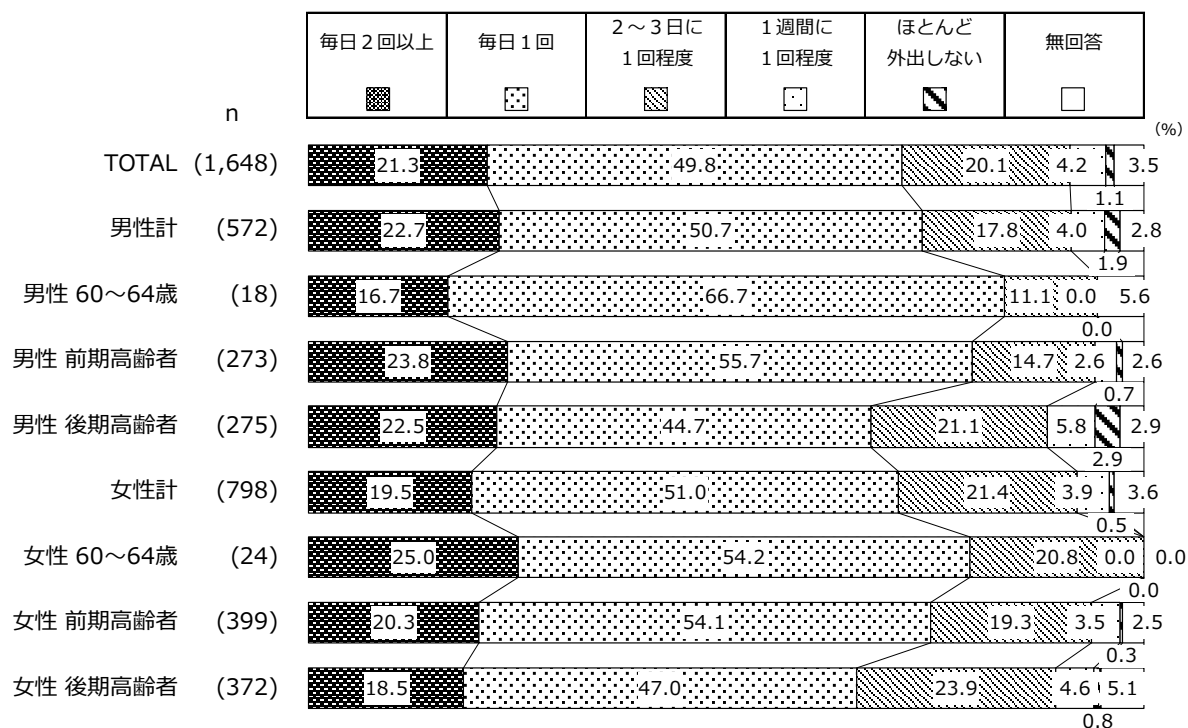


①-2 今年（2023年）の外出頻度

今年（2023年）の外出頻度については、「毎日1回」が49.8%と最も高く、次いで「毎日2回以上」が21.3%、「2～3日に1回程度」が20.1%の順となっている。一方、「ほとんど外出しない」は1.1%となっている。

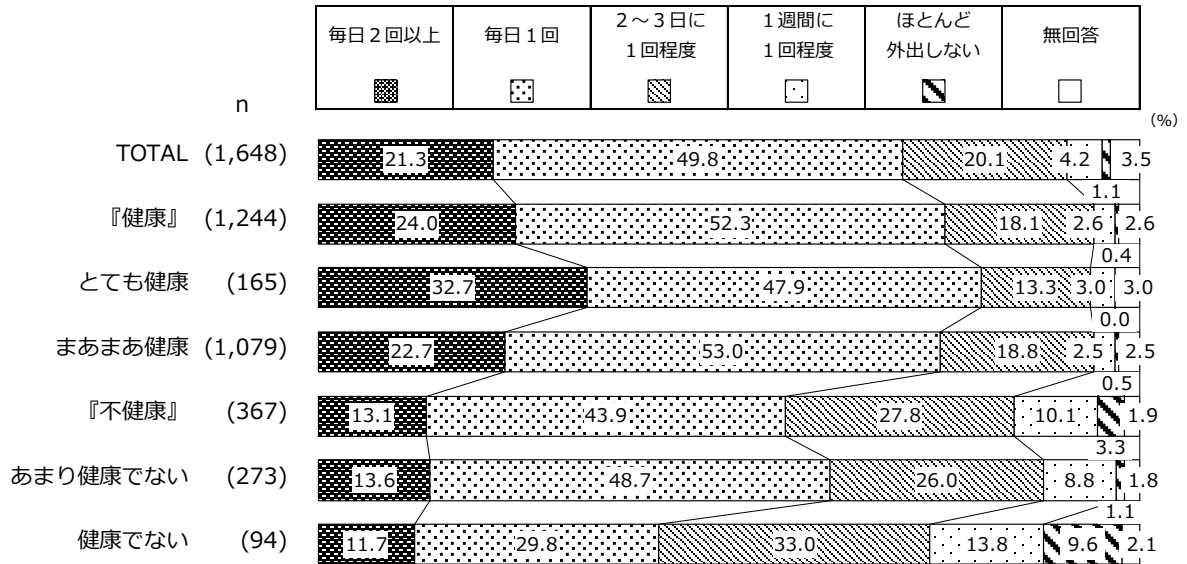
性別で見ると、大きな違いはみられない。性年代別で見ると、男性60～64歳では「毎日1回（66.7%）」が高くなっている。また、「毎日1回」は男女ともに加齢に伴い低下、「1週間に1回程度」「ほとんど外出しない」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

図表3-4-3 今年（2023年）の外出頻度：性年代別



健康に対する自己認識別でみると、健康だと認識しているほど「毎日2回以上」が高くなっている。一方、「ほとんど外出しない」は『健康』が0.4%、『不健康』が3.3%で、『不健康』の方がやや高くなっているものの大きな差はみられない。

図表3-4-4 今年（2023年）の外出頻度：健康に対する自己認識別



②外出の主な目的

外出の主な目的について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年から去年（2022年）にかけては、すべての項目で上昇しており、特に「仕事」「その他」以外の項目では10ポイント以上の上昇となっている。一方、去年（2022年）から今年（2023年）にかけては、大きな違いはみられない。

図表3-4-5 外出の主な目的：経年比較

	n	買い物	運動、散歩	通院やリハビリ	仕事	友人・知人と会う	趣味や学習の活動	家族・親族と会う	ボランティア活動	町会・自治会	シニア（老人）クラブ	地域の活動 （町会・自治会や老人クラブなど）	その他	無回答
TOTAL（2023年）	1,573	86.8	53.1	34.9	31.1	30.5	26.2	17.3	5.0	4.6	3.6	-	2.9	0.6
TOTAL（2022年）	1,578	87.9	53.2	35.0	32.2	29.9	25.5	16.5	4.6	4.8	3.9	-	2.9	0.4
前回TOTAL（2020年）	1,621	66.3	36.4	16.7	28.9	11.8	11.7	6.1	2.3	-	-	3.1	1.9	0.6
前回TOTAL（2019年）	1,645	66.9	36.6	17.1	31.6	16.4	13.9	6.7	3.4	-	-	3.8	1.9	0.5

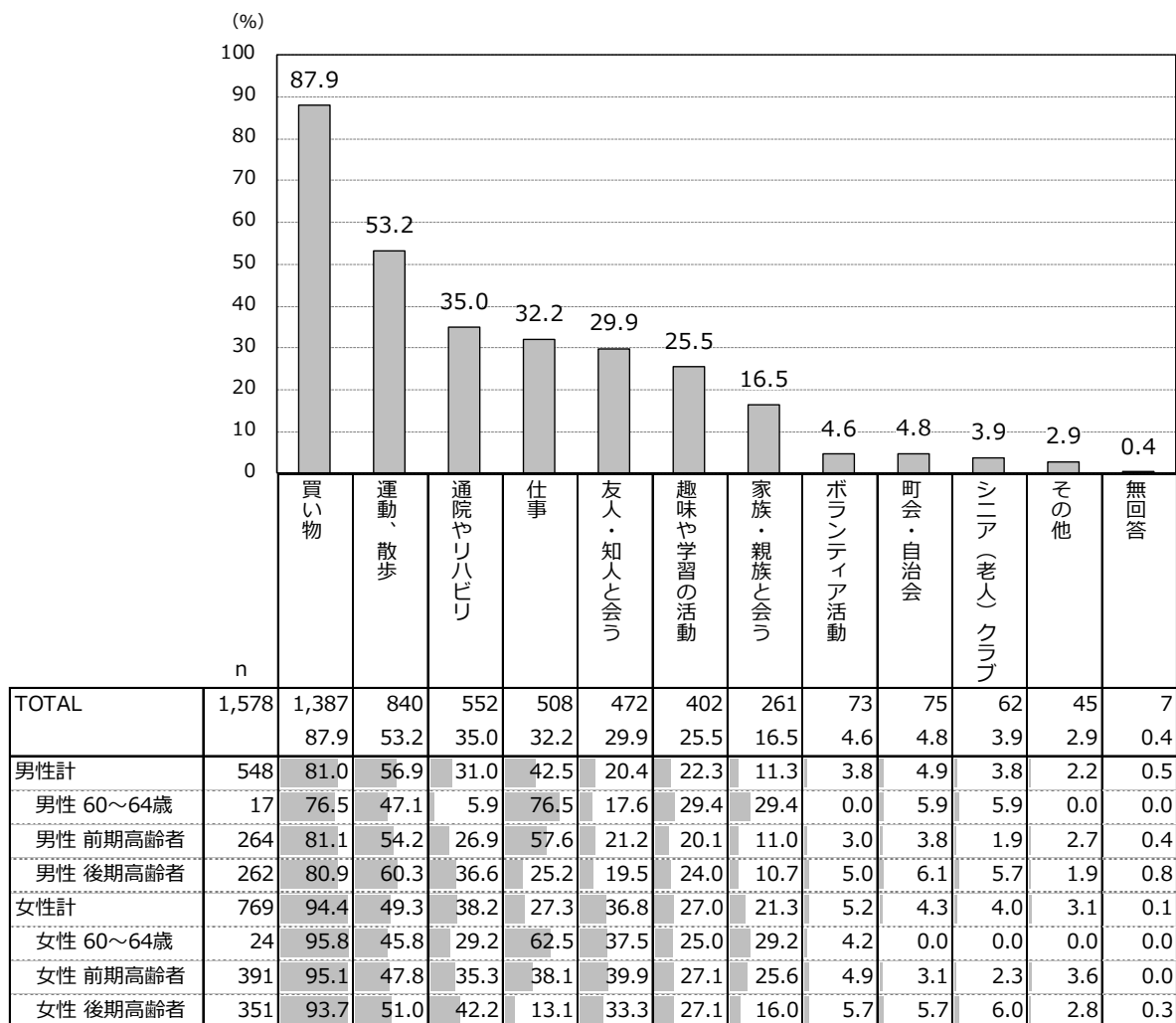
※前回調査では「地域の活動（町会・自治会や老人クラブなど）」としていた選択肢を、今回調査では「町会・自治会」「シニア（老人）クラブ」に変更している。

②-1 去年（2022年）の外出の主な目的

去年（2022年）の外出の主な目的については、「買い物」が87.9%と最も高く、次いで「運動、散歩」が53.2%、「通院やリハビリ」が35.0%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「運動、散歩（56.9%）」「仕事（42.5%）」が高く、女性では男性よりも「買い物（94.4%）」「通院やリハビリ（38.2%）」「友人・知人と会う（36.8%）」「家族・親族と会う（21.3%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「仕事（76.5%）」「家族・親族と会う（29.4%）」が、男性前期高齢者では「仕事（57.6%）」が、女性60～64歳では「仕事（62.5%）」「家族・親族と会う（29.2%）」が、女性前期高齢者では「友人・知人と会う（39.9%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「買い物（76.5%）」「友人・知人と会う（17.6%）」「通院やリハビリ（5.9%）」が、男性後期高齢者では「友人・知人と会う（19.5%）」が、女性後期高齢者では「仕事（13.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-4-6 去年（2022年）の外出の主な目的：性年代別

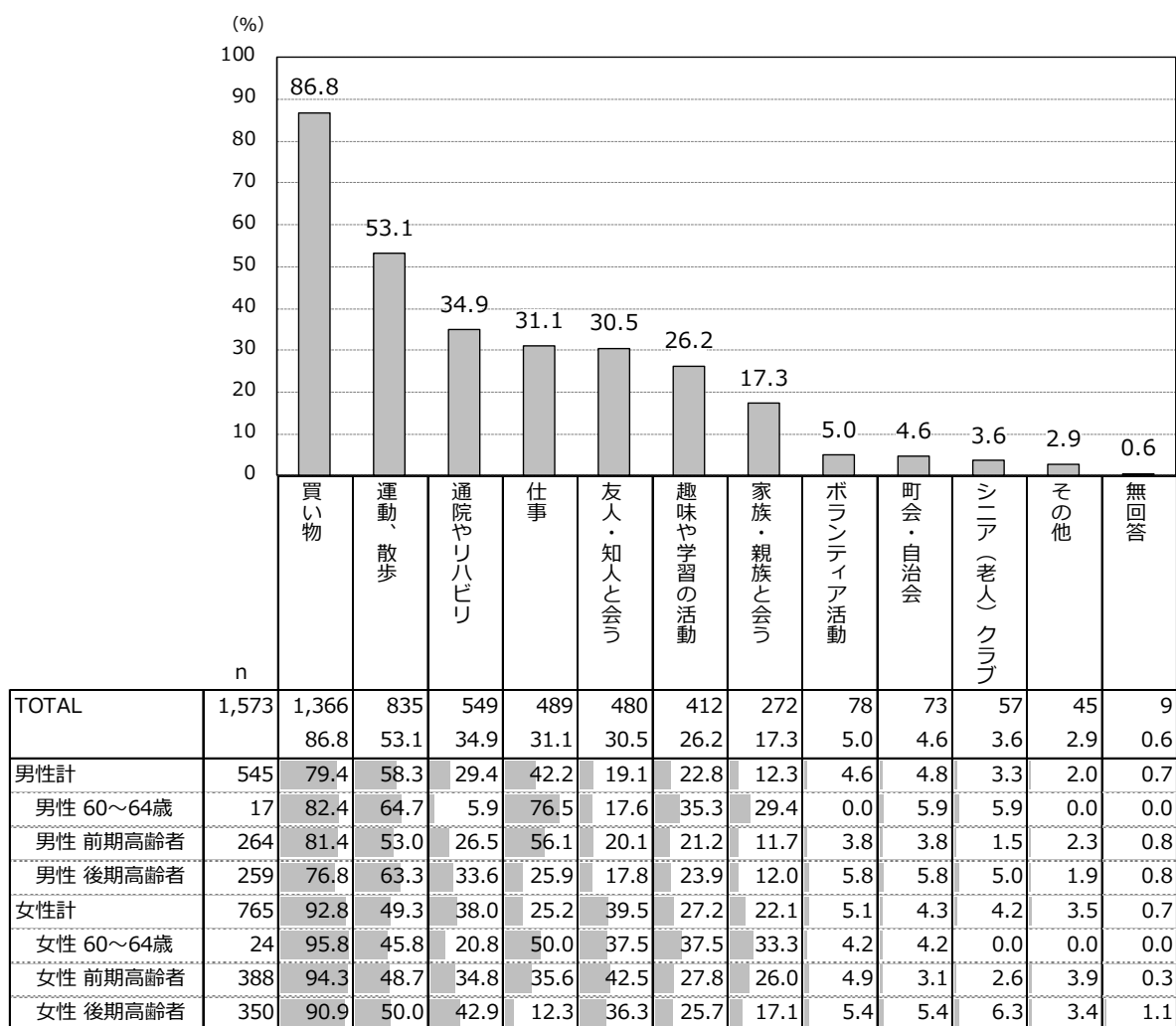


②-2 今年（2023年）の外出の主な目的

今年（2023年）の外出の主な目的については、「買い物」が86.8%と最も高く、次いで「運動、散歩」が53.1%、「通院やリハビリ」が34.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「運動、散歩（58.3%）」「仕事（42.2%）」が高く、女性では男性よりも「買い物（92.8%）」「友人・知人と会う（39.5%）」「通院やリハビリ（38.0%）」「家族・親族と会う（22.1%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「仕事（76.5%）」「運動、散歩（64.7%）」「家族・親族と会う（29.4%）」が、男性前期高齢者では「仕事（56.1%）」が、男性後期高齢者では「運動、散歩（63.3%）」が、女性60～64歳では「仕事（50.0%）」「趣味や学習の活動（37.5%）」「家族・親族と会う（33.3%）」が、女性前期高齢者では「友人・知人と会う（42.5%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「友人・知人と会う（17.6%）」「通院やリハビリ（5.9%）」が、男性前期高齢者では「友人・知人と会う（20.1%）」が、男性後期高齢者では「買い物（76.8%）」「友人・知人と会う（17.8%）」が、女性60～64歳では「通院やリハビリ（20.8%）」が、女性後期高齢者では「仕事（12.3%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-4-7 今年（2023年）の外出の主な目的：性年代別





## (2) 現在やっていること・今後やりたいこと

問20 あなた（宛名のご本人）のやっていることと、今後やりたいことについてお答えください。  
 （あてはまるものすべてに○）

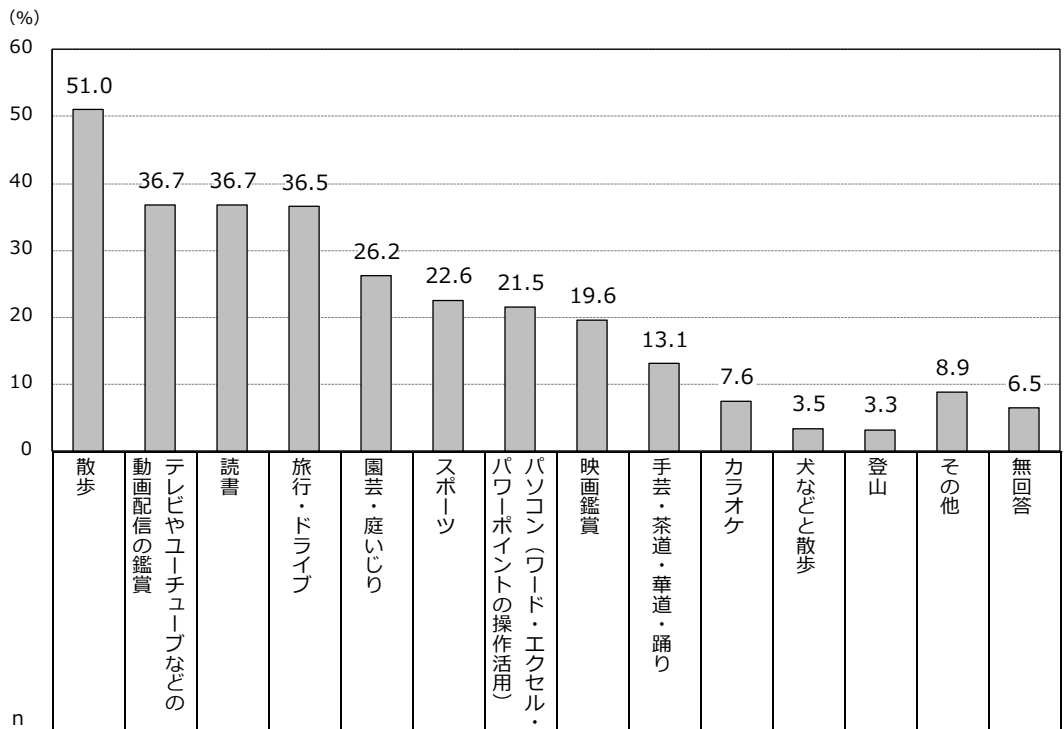
## ①現在やっていること

現在やっていることについては、「散歩」が51.0%と最も高く、次いで「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」「読書」がともに36.7%、「旅行・ドライブ」が36.5%の順となっている。

性別で見ると男性では女性よりも「散歩（55.1%）」「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（31.6%）」が高く、女性では男性よりも「園芸・庭いじり（30.6%）」「手芸・茶道・華道・踊り（21.2%）」が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞（61.1%）」「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（50.0%）」「スポーツ（38.9%）」が、男性前期高齢者では「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（32.2%）」が、女性60～64歳では「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞（58.3%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「散歩（38.9%）」が、男性前期高齢者では「手芸・茶道・華道・踊り（0.7%）」が、女性60～64歳では「散歩（29.2%）」が、女性後期高齢者では「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（8.3%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、男女ともに加齢に伴い、「園芸・庭いじり」「散歩」「手芸・茶道・華道・踊り」「カラオケ」は上昇、「犬などと散歩」「スポーツ」「映画鑑賞」は低下している。一方、「園芸・庭いじり」「手芸・茶道・華道・踊り」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「散歩」「スポーツ」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-8 現在やっていること：性年代別



	n	散歩	動画配信の鑑賞	テレビやYouTubeなどの	読書	旅行・ドライブ	園芸・庭いじり	スポーツ	パソコン(ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用)	映画鑑賞	手芸・茶道・華道・踊り	カラオケ	犬などと散歩	登山	その他	無回答
TOTAL	1,648	841	605	604	601	432	373	355	323	216	126	58	54	146	107	
		51.0	36.7	36.7	36.5	26.2	22.6	21.5	19.6	13.1	7.6	3.5	3.3	8.9	6.5	
男性計	572	55.1	37.4	36.4	36.4	20.6	24.7	31.6	20.5	1.9	10.7	4.0	4.2	7.9	6.1	
男性 60～64歳	18	38.9	61.1	38.9	44.4	16.7	38.9	50.0	27.8	0.0	5.6	11.1	11.1	16.7	5.6	
男性 前期高齢者	273	54.9	42.1	38.8	40.7	20.1	25.6	32.2	25.3	0.7	9.9	5.1	5.1	8.1	5.9	
男性 後期高齢者	275	56.4	31.6	33.5	31.6	21.1	22.9	29.8	15.6	3.3	12.0	2.5	2.9	7.3	6.2	
女性計	798	49.9	37.1	39.3	38.3	30.6	21.7	14.8	20.8	21.2	6.0	3.5	3.0	9.4	6.1	
女性 60～64歳	24	29.2	58.3	37.5	33.3	20.8	25.0	25.0	29.2	12.5	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0	
女性 前期高齢者	399	47.1	43.6	37.1	41.9	27.6	22.6	20.1	25.6	20.8	5.3	3.8	4.3	9.8	3.5	
女性 後期高齢者	372	54.0	29.0	41.9	35.2	34.4	20.4	8.3	15.3	22.0	7.0	3.0	1.9	9.4	9.4	

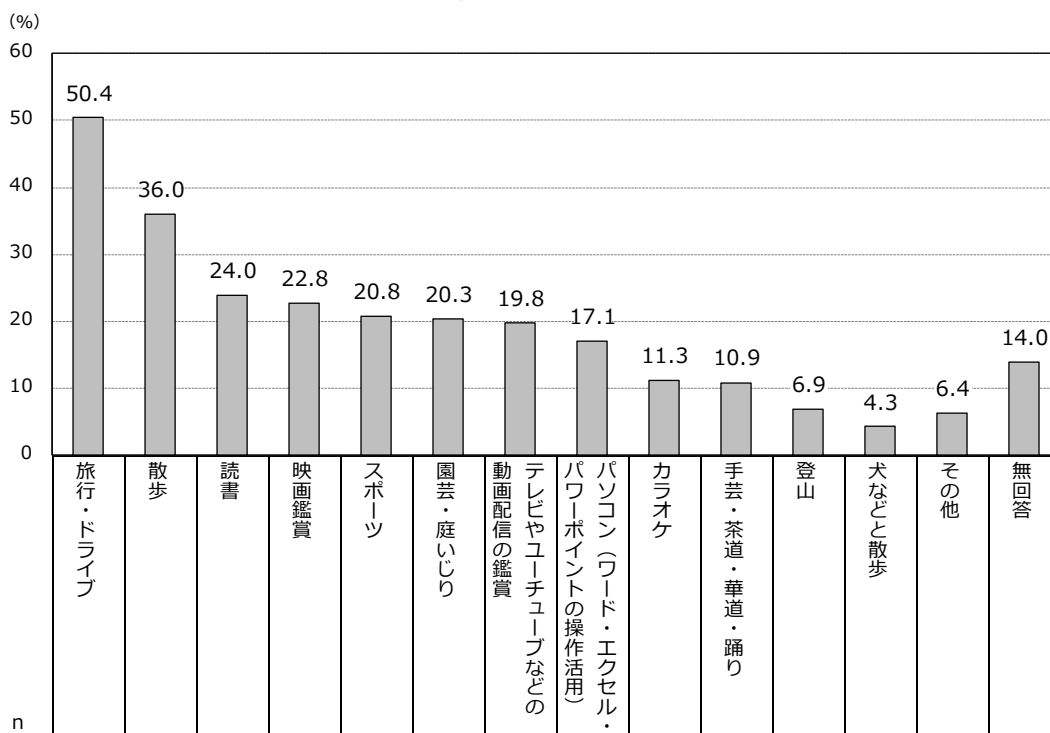
## ②今後やりたいこと

今後やりたいことについては、「旅行・ドライブ」が50.4%と最も高く、次いで「散歩」が36.0%、「読書」が24.0%の順となっている。

性別でみると男性では女性よりも「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（22.6%）」が高く、女性では男性よりも「映画鑑賞（26.6%）」「園芸・庭いじり（24.2%）」「手芸・茶道・華道・踊り（18.3%）」が高くなっている。

性年代別でみると、男性60～64歳では「散歩（50.0%）」「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞（44.4%）」「読書」「スポーツ」「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）」（左記3項目はすべて38.9%）「映画鑑賞（33.3%）」「その他（16.7%）」が、女性60～64歳では「旅行・ドライブ（75.0%）」「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞（45.8%）」「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（33.3%）」「登山（20.8%）」が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では「散歩（25.0%）」が、女性後期高齢者では「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）（5.9%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「旅行・ドライブ」「犬などと散歩」「スポーツ」「登山」「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、「園芸・庭いじり」「旅行・ドライブ」「手芸・茶道・華道・踊り」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「スポーツ」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-9 今後やりたいこと：性年代別



n	割合 (%)														
	旅行・ドライブ	散歩	読書	映画鑑賞	スポーツ	園芸・庭いじり	動画配信の鑑賞	テレビやYouTubeなどの パワーポイントの操作活用)	パソコン(ワード・エクセル・	カラオケ	手芸・茶道・華道・踊り	登山	犬などと散歩	その他	無回答
TOTAL	1,648	830	594	395	376	343	335	326	282	186	179	113	71	105	230
		50.4	36.0	24.0	22.8	20.8	20.3	19.8	17.1	11.3	10.9	6.9	4.3	6.4	14.0
男性計	572	49.3	36.0	24.8	20.1	24.7	15.6	20.8	22.6	11.9	2.1	10.0	5.1	6.5	12.1
男性 60～64歳	18	55.6	50.0	38.9	33.3	38.9	11.1	44.4	38.9	11.1	0.0	16.7	11.1	16.7	11.1
男性 前期高齢者	273	51.6	30.8	23.4	23.4	28.2	17.6	20.5	20.5	11.0	1.8	11.0	6.6	8.4	9.9
男性 後期高齢者	275	46.9	40.7	25.1	15.6	20.0	14.2	19.6	23.6	13.1	2.5	8.0	3.3	4.0	14.2
女性計	798	52.6	37.5	25.1	26.6	20.3	24.2	19.3	12.8	12.2	18.3	5.5	4.6	7.3	13.4
女性 60～64歳	24	75.0	25.0	29.2	25.0	29.2	16.7	45.8	33.3	4.2	8.3	20.8	12.5	8.3	0.0
女性 前期高齢者	399	55.4	36.3	25.3	30.6	21.3	23.3	20.8	17.8	10.3	20.3	5.5	5.5	8.8	8.8
女性 後期高齢者	372	48.4	39.8	24.5	22.3	18.3	25.5	16.1	5.9	14.8	16.7	4.6	3.2	5.6	19.1

(3) 近所づきあいの程度

①近所づきあいの程度

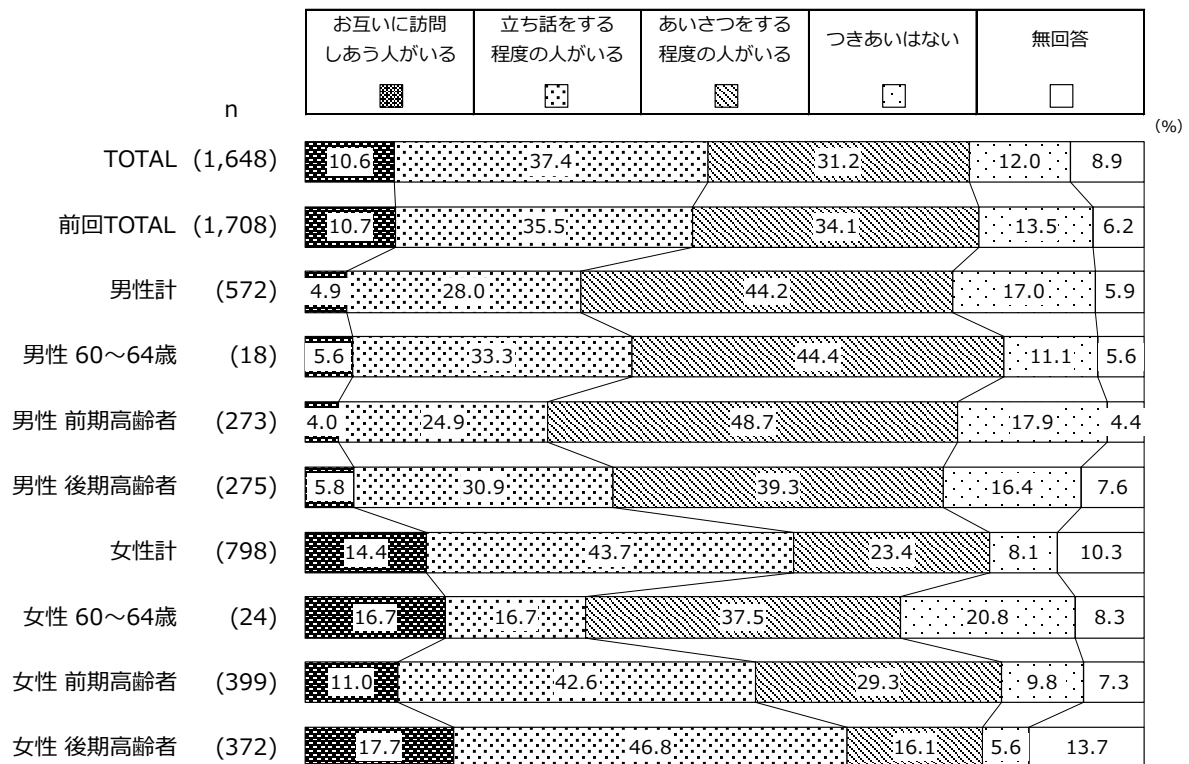
問21 あなた（宛名のご本人）は、近所の人とどの程度おつきあいをされていますか。（○は1つのみ）

近所づきあいの程度について、つきあいがあると回答している人の中では、「立ち話をする程度の人がいる」が37.4%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が31.2%、「お互いに訪問しあう人がある」が10.6%の順となっている。一方、「つきあいはない」は12.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「あいさつをする程度の人がいる（44.2%）」「つきあいはない（17.0%）」が高く、女性では男性よりも「立ち話をする程度の人がいる（43.7%）」「お互いに訪問しあう人がある（14.4%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「あいさつをする程度の人がいる（男性60～64歳44.4%・男性前期48.7%）」が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者・女性60～64歳では「立ち話をする程度の人がいる（男性前期24.9%・女性60～64歳16.7%）」が、女性後期高齢者では「あいさつをする程度の人がいる（16.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「お互いに訪問しあう人がある」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「あいさつをする程度の人がいる」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

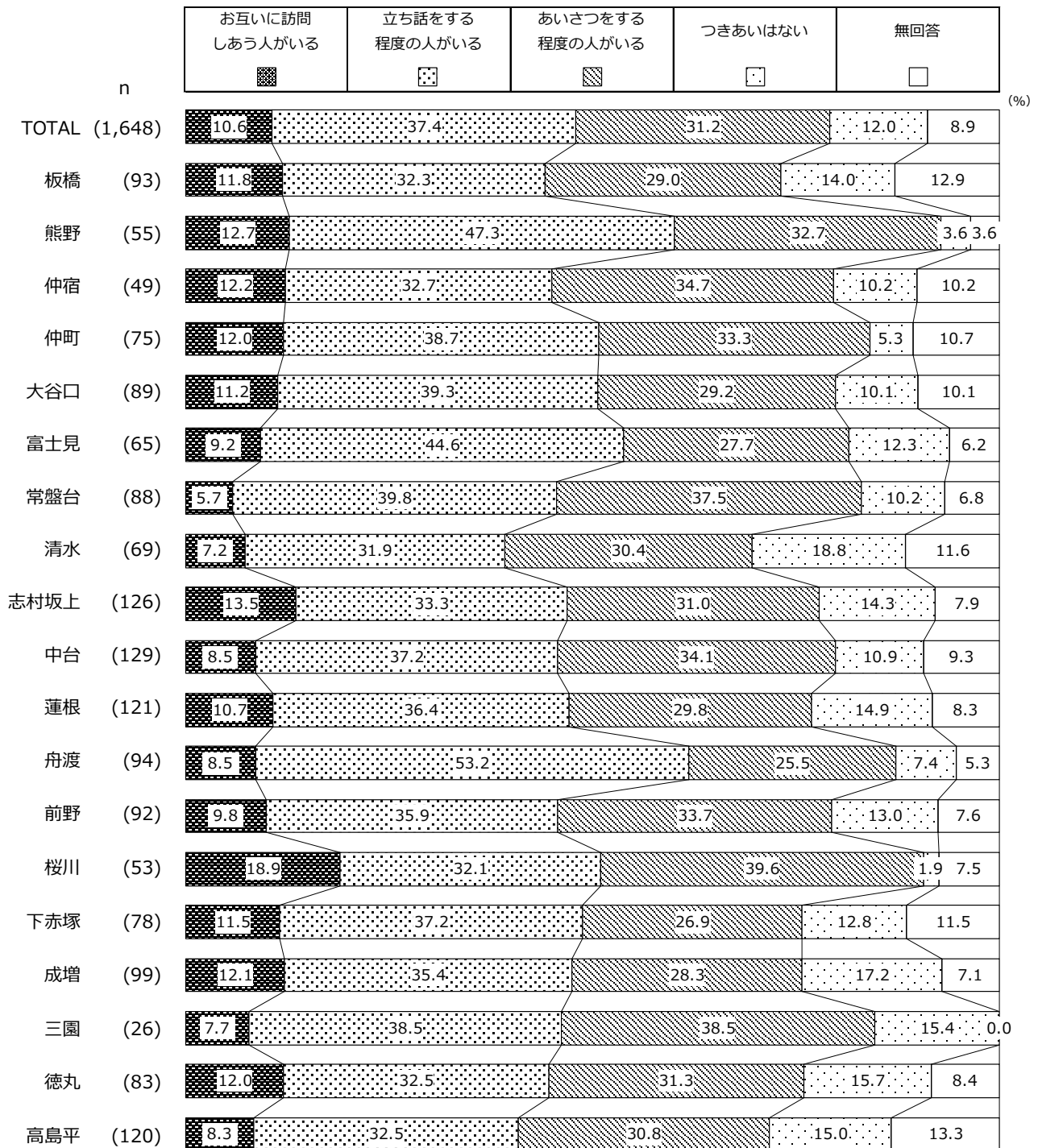
図表3-4-10 近所づきあいの程度：性年代別



第3章 調査結果の詳細

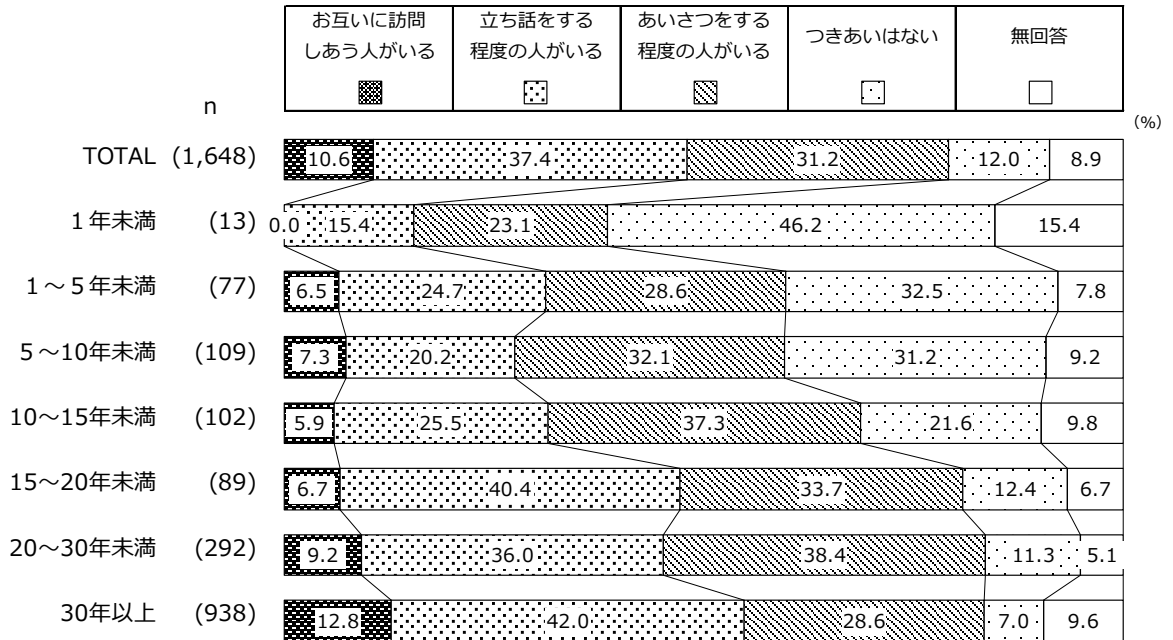
地区別でみると、「お互いに訪問しあう人がいる」は桜川（18.9%）で、「立ち話をする程度の人がある」は舟渡（53.2%）・熊野（47.3%）・富士見（44.6%）で、「あいさつをする程度の人がある」は桜川（39.6%）・三園（38.5%）・常盤台（37.5%）で、「つきあいはない」は清水（18.8%）・成増（17.2%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-4-11 近所づきあいの程度：地区別



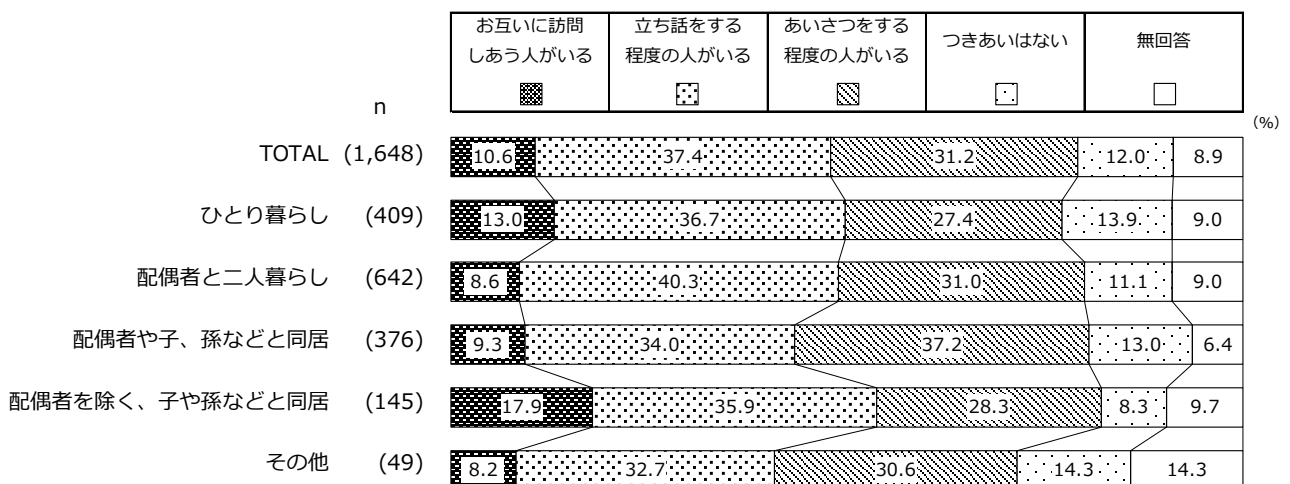
現在の地区での居住年数別でみると、居住年数が長くなるのにしたがって、「お互いに訪問しあう人がいる」「立ち話をする程度の人がある」が高く、「あいさつをする程度の人がある」「つきあいはない」が低くなる傾向となっている。

図表3-4-12 近所づきあいの程度：現在の地区での居住年数別



世帯構成別でみると、「配偶者や子、孫など同居」では「あいさつをする程度の人がある(37.2%)」が、「配偶者を除く、子や孫など同居」では「お互いに訪問しあう人がいる(17.9%)」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-4-13 近所づきあいの程度：世帯構成別



②近所つきあいがない理由

【問21で「4. つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問21-1 おつきあいのない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

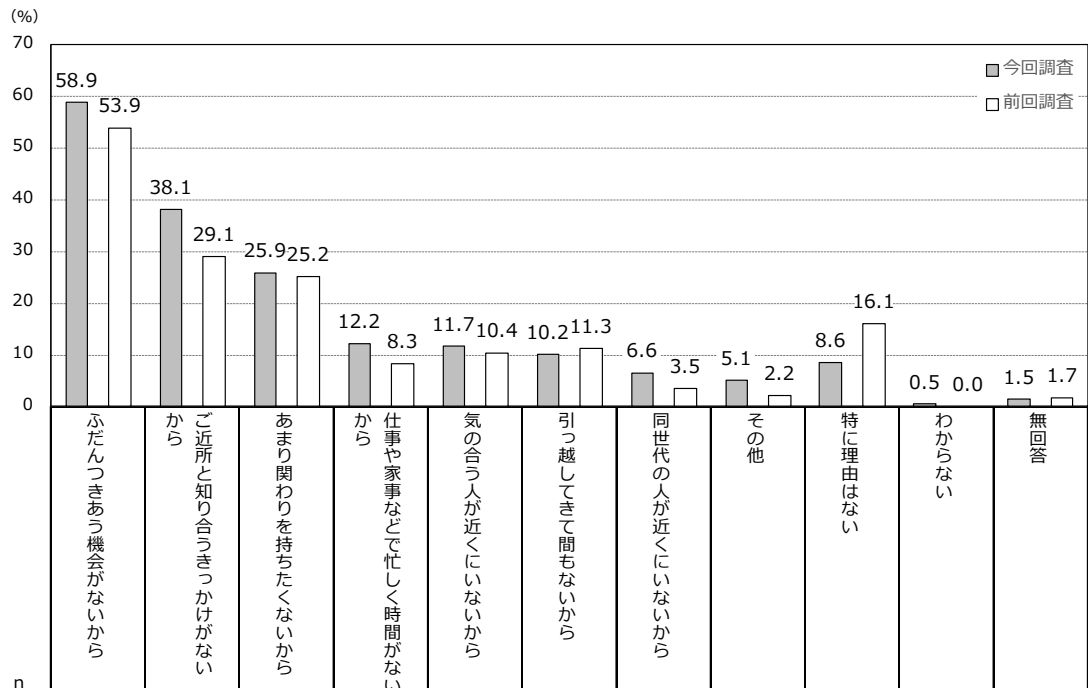
近所つきあいがない理由については、「ふだんつきあう機会がないから」が58.9%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」が38.1%、「あまり関わりを持ちたくないから」が25.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「ふだんつきあう機会がないから（60.8%）」が高く、女性では男性よりも「あまり関わりを持ちたくないから（35.4%）」「仕事や家事などで忙しく時間がないから（23.1%）」「同世代の人が近くにいないから（12.3%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、女性前期高齢者では「あまり関わりを持ちたくないから（43.6%）」「仕事や家事などで忙しく時間がないから（25.6%）」が、女性後期高齢者では「ご近所と知り合うきっかけがないから（52.4%）」が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「仕事や家事などで忙しく時間がないから（2.2%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「ふだんつきあう機会がないから」が5.0ポイント上昇、「ご近所と知り合うきっかけがないから」が9.0ポイント上昇、「特に理由はない」が7.5ポイント低下している。



図表3-4-14 近所づきあいがない理由：性年代別



	n	ふだんつきあう機会がないから	から	ご近所と知り合うきっかけがない	あまり関わりを持ちたくないから	から	仕事や家事などで忙しく時間がない	気の合う人が近くにいないから	引越してきて間もないから	同世代の人が近くにいないから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
TOTAL	197	116	75	51	24	23	20	13	10	17	1	3		
		58.9	38.1	25.9	12.2	11.7	10.2	6.6	5.1	8.6	0.5	1.5		
前回TOTAL	230	53.9	29.1	25.2	8.3	10.4	11.3	3.5	2.2	16.1	0.0	1.7		
男性計	97	60.8	36.1	20.6	6.2	13.4	12.4	4.1	6.2	10.3	0.0	1.0		
男性 60~64歳	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
男性 前期高齢者	49	65.3	38.8	22.4	10.2	16.3	10.2	4.1	10.2	4.1	0.0	0.0		
男性 後期高齢者	45	57.8	33.3	17.8	2.2	11.1	11.1	4.4	2.2	15.6	0.0	2.2		
女性計	65	53.8	36.9	35.4	23.1	10.8	9.2	12.3	3.1	6.2	1.5	1.5		
女性 60~64歳	5	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0		
女性 前期高齢者	39	56.4	30.8	43.6	25.6	7.7	2.6	10.3	2.6	10.3	0.0	0.0		
女性 後期高齢者	21	52.4	52.4	23.8	9.5	19.0	19.0	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0		

(4) 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度

問22 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。去年と今年についてお答えください。(それぞれ○は1つ)

友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、「月に1回程度」が一貫して低下しているものの、大きな違いはみられない。

図表3-4-15 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度：経年比較

	n	週に 2回以上	週に 1回程度	月に 2～3回	月に 1回程度	月に1回 より少ない ／全くない	月に1回 より少ない	全くない	無回答
TOTAL(2023年)	1,648	24.3	15.8	17.9	16.6	21.6	16.4	5.2	3.8
TOTAL(2022年)	1,648	23.3	17.1	16.5	18.2	22.0	16.9	5.1	2.9
前回TOTAL(2020年)	1,708	21.2	13.8	14.3	18.3	28.1	-	-	4.3
前回TOTAL(2019年)	1,708	25.1	15.0	18.2	18.6	19.8	-	-	3.4

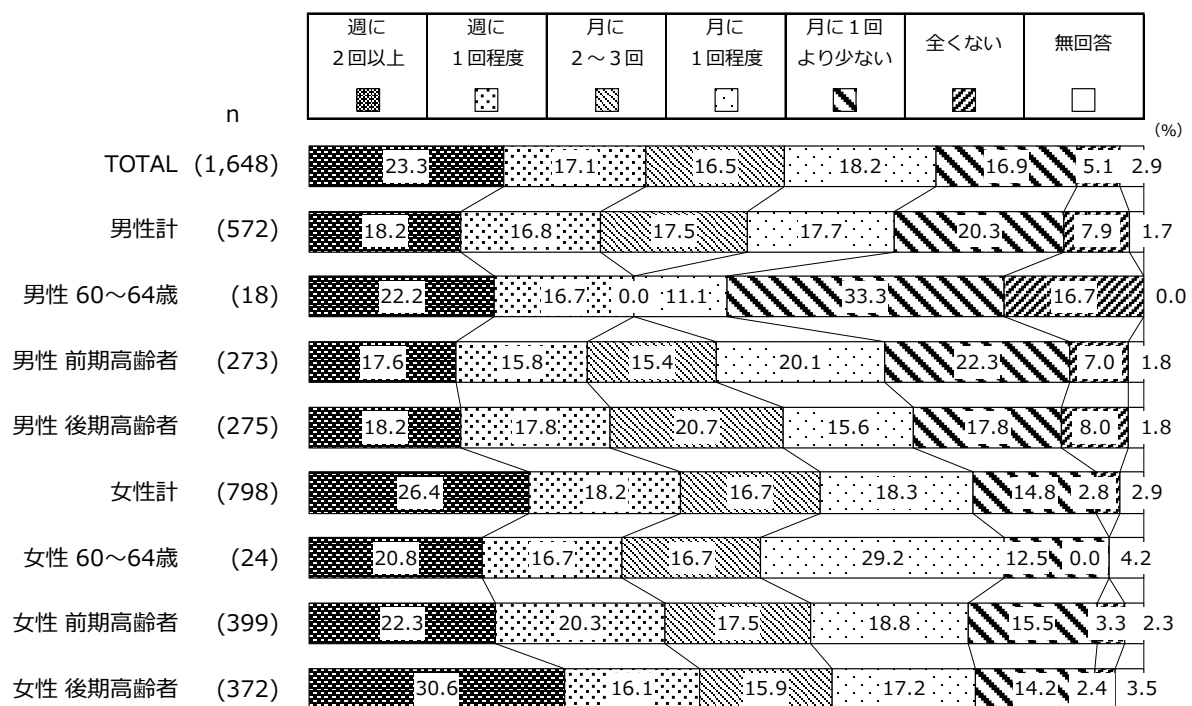
※前回調査では「月に1回より少ない／全くない」としていた選択肢を、今回調査では「月に1回より少ない」「全くない」に変更している。

①去年（2022年）の会う頻度

去年（2022年）の会う頻度については、「週に2回以上」が23.3%と最も高く、次いで「月に1回程度」が18.2%、「週に1回程度」が17.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「月に1回より少ない（20.3%）」「全くない（7.9%）」が高く、女性では男性よりも「週に2回以上（26.4%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「月に1回より少ない（33.3%）」「全くない（16.7%）」が、女性60～64歳では「月に1回程度（29.2%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「月に1回より少ない」「全くない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-16 去年（2022年）の友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度：性年代別

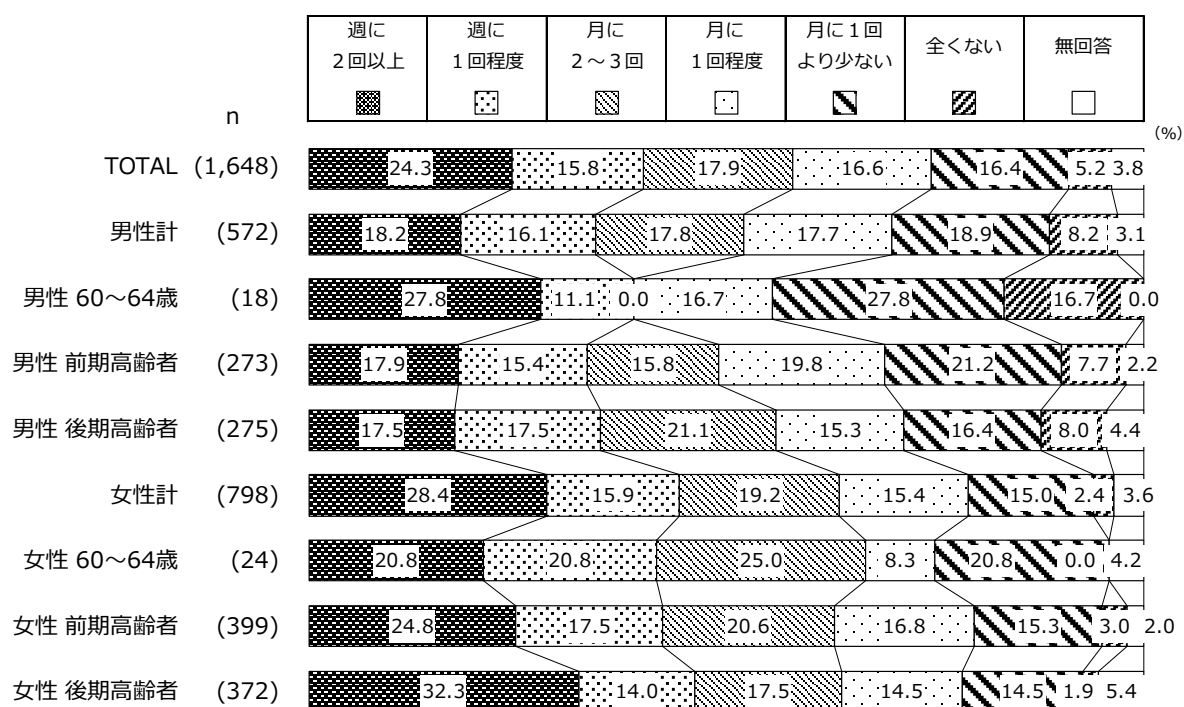


②今年（2023年）の会う頻度

今年（2023年）の会う頻度については、「週に2回以上」が24.3%と最も高く、次いで「月に2～3回」が17.9%、「月に1回程度」が16.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「全くない（8.2%）」が高く、女性では男性よりも「週に2回以上（28.4%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「月に1回より少ない（27.8%）」「全くない（16.7%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「週に2回以上」は女性では加齢に伴って上昇しているのに対して男性では低下、「週に1回程度」「月に2～3回」は男性では加齢に伴って上昇しているのに対して女性では低下、「月に1回より少ない」は男女ともに加齢に伴い低下している。

図表3-4-17 今年（2023年）の友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度：性年代別



## (5) 友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度

問23 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度はどれくらいですか。去年と今年についてお答えください。(それぞれ○は1つ)

友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度について、去年(2022年)・今年(2023年)と前回調査(2019年・2020年)とを比較すると、2020年から今年にかけて、「週に2回以上」が34.6%から39.7%と5.1ポイント上昇している。

図表3-4-18 友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度：経年比較

	n	週に 2回以上	週に 1回程度	月に 2～3回	月に 1回程度	月に1回 より少ない /全くない	月に1回 より少ない	全くない	無回答
TOTAL(2023年)	1,648	39.7	14.3	15.5	12.5	15.6	10.8	4.8	2.4
TOTAL(2022年)	1,648	39.3	14.9	15.4	12.4	15.7	11.0	4.7	2.3
前回TOTAL(2020年)	1,708	34.6	14.9	14.6	14.8	17.8	-	-	3.3
前回TOTAL(2019年)	1,708	36.1	15.6	15.1	14.4	15.7	-	-	3.0

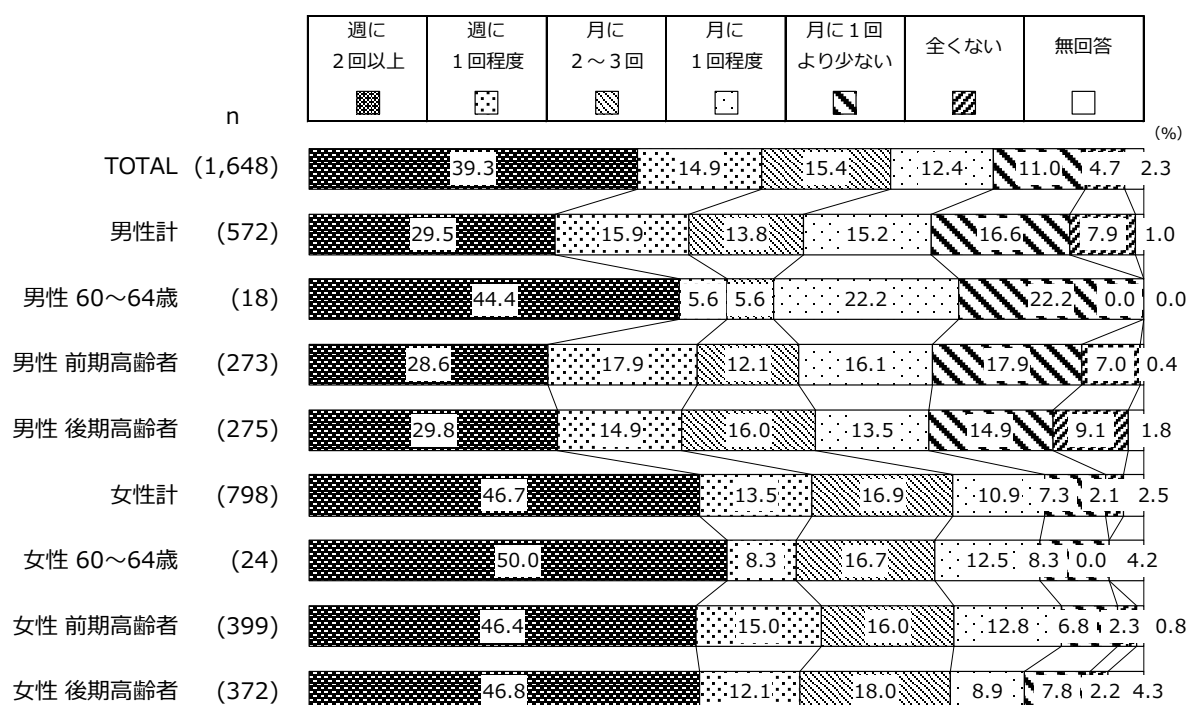
※前回調査では「月に1回より少ない/全くない」としていた選択肢を、今回調査では「月に1回より少ない」「全くない」に変更している。

①去年（2022年）の連絡をとる頻度

去年（2022年）の連絡をとる頻度については、「週に2回以上」が39.3%と最も高く、次いで「月に2～3回」が15.4%、「週に1回程度」が14.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「月に1回より少ない（16.6%）」「全くない（7.9%）」が高く、女性では男性よりも「週に2回以上（46.7%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「月に1回より少ない（22.2%）」が、女性60～64歳では「週に2回以上（50.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者では「週に2回以上（28.6%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「週に2回以上」「月に2～3回」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「月に1回程度」「月に1回より少ない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-19 去年（2022年）の友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度：性年代別

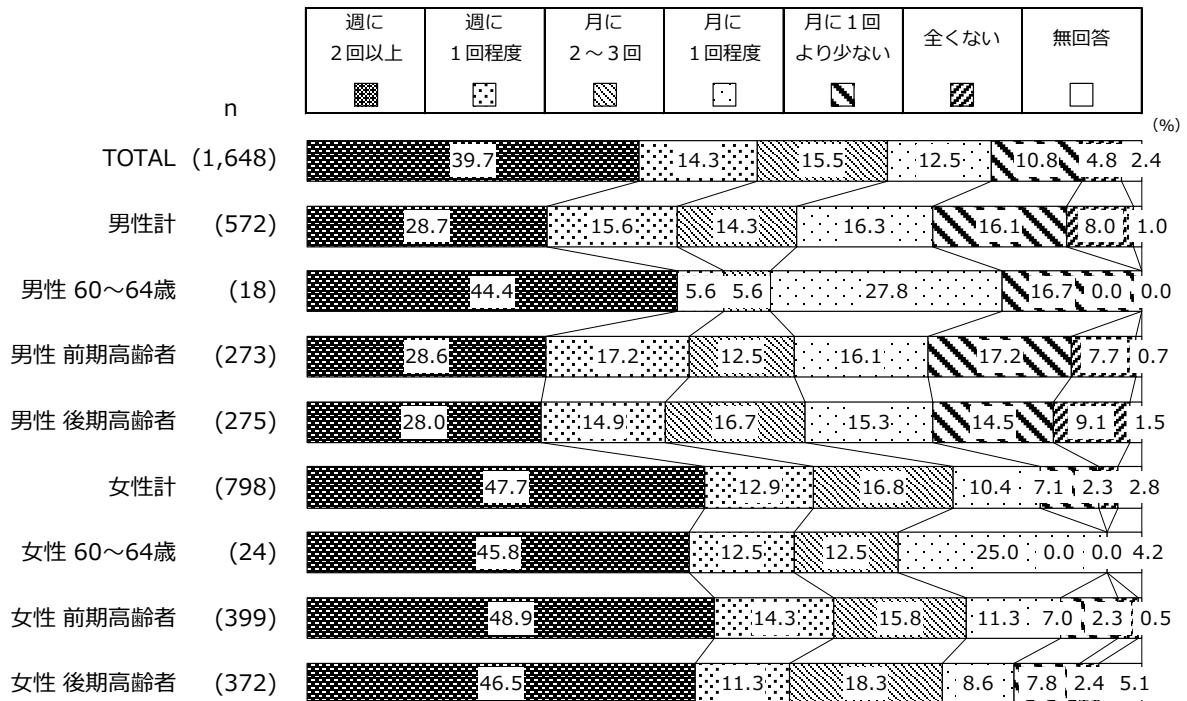


②今年（2023年）の連絡をとる頻度

今年（2023年）の連絡をとる頻度については、「週に2回以上」が39.7%と最も高く、次いで「月に2～3回」が15.5%、「週に1回程度」が14.3%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「月に1回程度（16.3%）」「月に1回より少ない（16.1%）」「全くない（8.0%）」が高く、女性では男性よりも「週に2回以上（47.7%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「月に1回程度（男性60～64歳27.8%・女性60～64歳25.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「週に2回以上（男性前期28.6%・男性後期28.0%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「月に2～3回」「全くない」は男女ともに加齢に伴い上昇、「月に1回程度」は男女ともに加齢に伴い低下している。

図表3-4-20 今年（2023年）の友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度：性年代別



(6) 予定がなくても気軽に行ける場所

① 予定がなくても気軽に行ける場所の有無

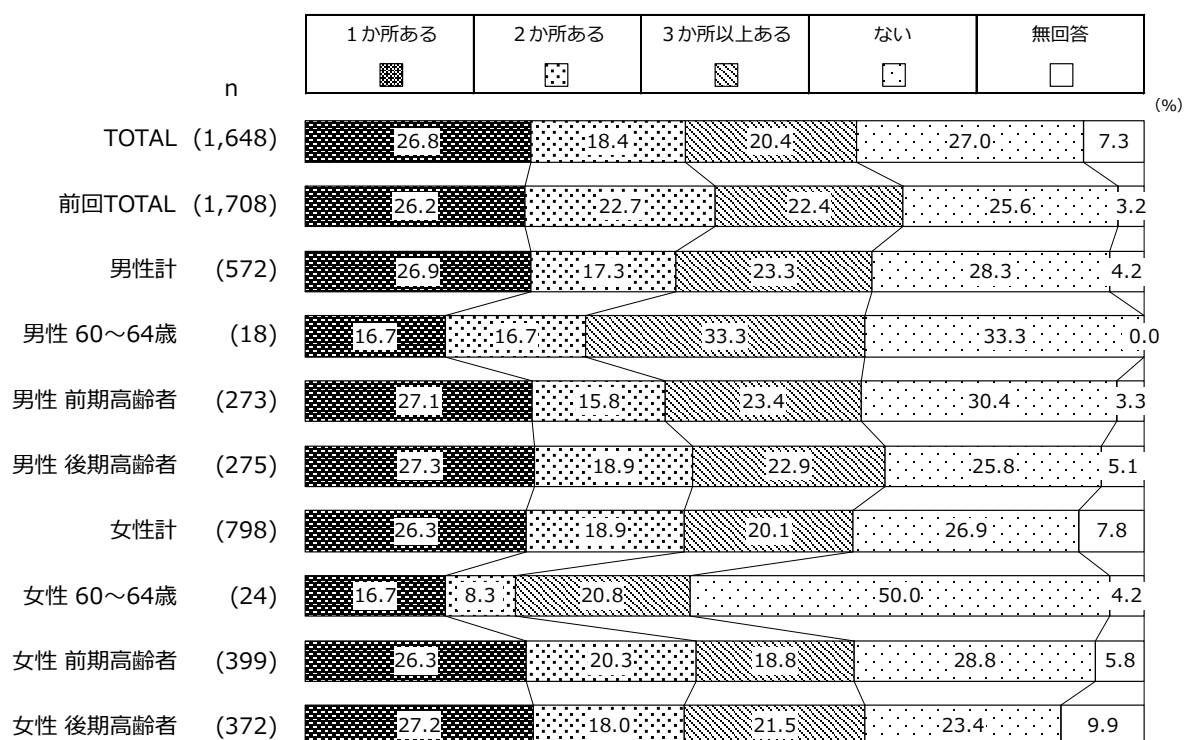
問24 あなた（宛名のご本人）は、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。（○は1つのみ）

予定がなくても気軽に行ける場所の有無については、気軽に行ける場所があると回答している人の中では、「1か所ある」が26.8%と最も高く、次いで「3か所以上ある」が20.4%、「2か所ある」が18.4%の順となっており、「1か所ある」「2か所ある」「3か所以上ある」を合わせた『気軽に行ける場所がある』は65.6%となっている。一方、「ない」は27.0%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。また、性年代別でみると、女性60～64歳では「ない(50.0%)」が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では『気軽に行ける場所がある（45.8%）』が全体の傾向よりも低くなっている。また、「ない」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、『気軽に行ける場所がある』が5.7ポイント低下している。

図表3-4-21 予定がなくても気軽に行ける場所の有無：性年代別





## ②予定がなくても気軽に行ける具体的な場所

【問24で「1. 1か所ある」「2. 2か所ある」「3. 3か所以上ある」とお答えの方に、その場所についておうかがいします。】

問24-1 それはどのような場所ですか。1か所だけ具体的にご記入ください。

記入例：○○喫茶、△△図書館、□□公園など

予定がなくても気軽に行ける具体的な場所については、「公園」が286件と最も多く、次いで「図書館」が264件、「喫茶店」が99件、「家族、親類の家」が93件、「デパート、大型商業施設」が84件の順となっている。

前回調査と比較すると、上位3位は変わらないものの、「家族、親類の家」が前回7位から今回4位にまで上がり、一方、「店舗・買い物施設」が前回5位から今回8位に下がっている。

図表3-4-22 予定がなくても気軽に行ける具体的な場所（自由回答）

（今回調査）			（前回調査）		
順位	記入内容	件数	順位	記入内容	件数
1	公園	286	1	公園	289
2	図書館	264	2	図書館	269
3	喫茶店	99	3	喫茶店	133
4	家族、親類の家	93	4	デパート、大型商業施設	108
5	デパート、大型商業施設	84	5	店舗・買い物施設	91
6	友人、知人の家	77	6	友人、知人の家	84
7	スポーツクラブ、スポーツジム	68	7	家族、親類の家	79
8	店舗・買い物施設	60	8	飲食店、レストラン	63
9	飲食店、レストラン	51	9	スーパーマーケット	60
10	スーパーマーケット	42	10	スポーツクラブ、スポーツジム	56
11	美術館・博物館・動植物園	41	11	趣味の活動場所	48
12	その他	32	12	カラオケ、カラオケ喫茶・スナック	41
13	趣味の活動場所	31	13	美術館・博物館・動植物園	36
14	居酒屋	22	14	体育館・プール	30
15	健康ランド、スーパー銭湯、温泉	18	15	遊技場（パチンコ等）	28
15	体育館・プール	18	16	ふれあい館	27
17	遊技場（パチンコ等）	15	17	ゴルフ練習場、ゴルフ場	21
18	カラオケ、カラオケ喫茶・スナック	14	17	健康ランド、スーパー銭湯、温泉	21
19	映画館	13	19	その他	19
19	川、土手	13	20	居酒屋	17
21	町会・自治会・シニアクラブの集会所	12	21	川、土手	15
21	ふれあい館	12	22	お寺	13
23	ゴルフ練習場、ゴルフ場	11	23	ホームセンター	10
24	勤務先、職場	10	23	商店街	10

③予定がなくても気軽に行ける場所への交通手段

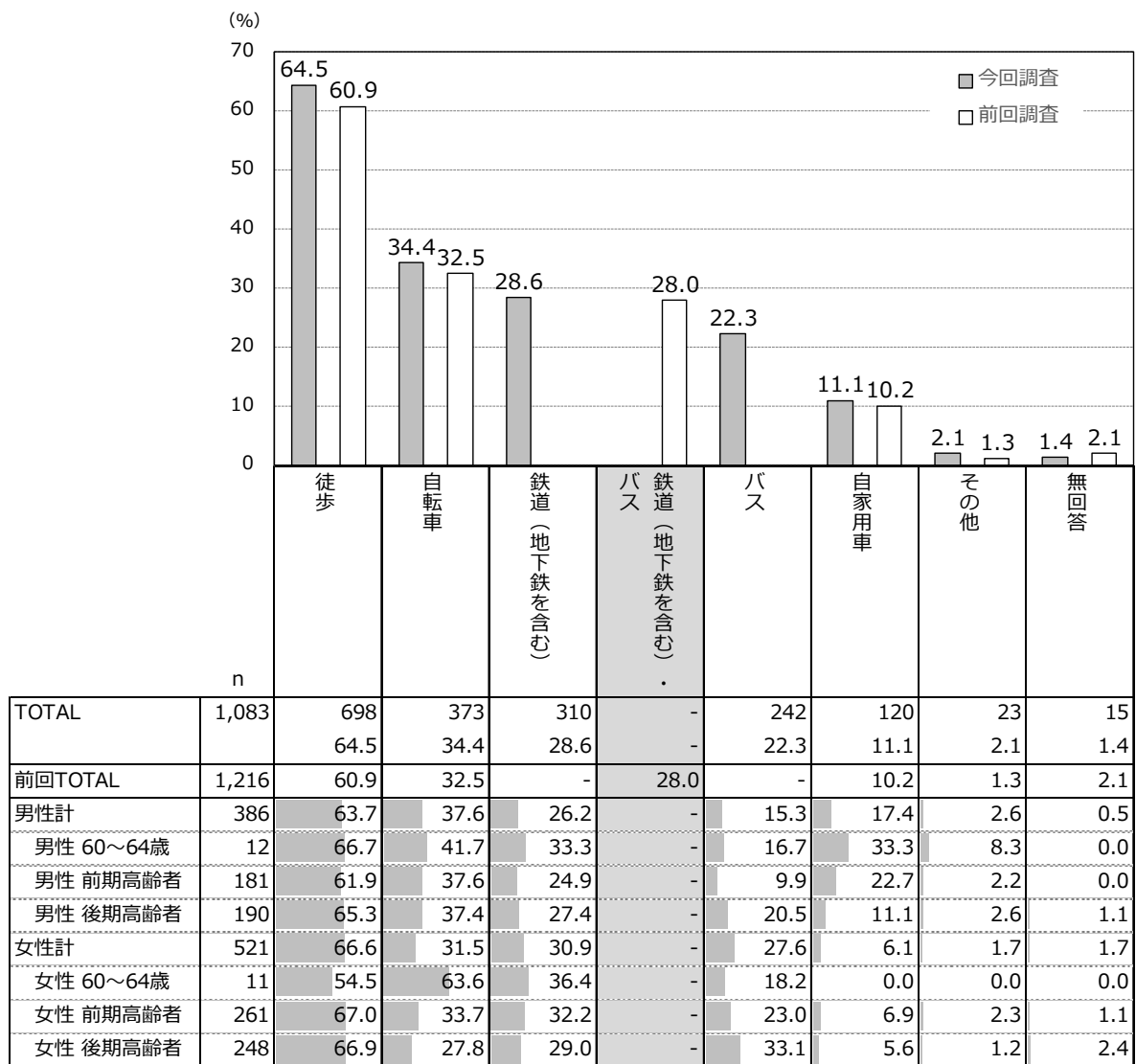
問24-2 問24-1でお答えになった場所に行くのに、ふだん使われている交通手段はどれですか。(○はいくつでも)

予定がなくても気軽に行ける場所への交通手段については、「徒歩」が64.5%と最も高く、次いで「自転車」が34.4%、「鉄道（地下鉄を含む）」が28.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自転車（37.6%）」「自家用車（17.4%）」が高く、女性では男性よりも「バス（27.6%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「自家用車（男性60～64歳33.3%・男性前期22.7%）」が、女性60～64歳では「自転車（63.6%）」が、女性後期高齢者では「バス（33.1%）」が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者では「バス（9.9%）」が、女性60～64歳では「徒歩（54.5%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-4-23 予定がなくても気軽に行ける場所への交通手段：性年代別



※前回調査では「鉄道（地下鉄を含む）・バス」としていた選択肢を、今回調査では「鉄道（地下鉄を含む）」「バス」に変更している。

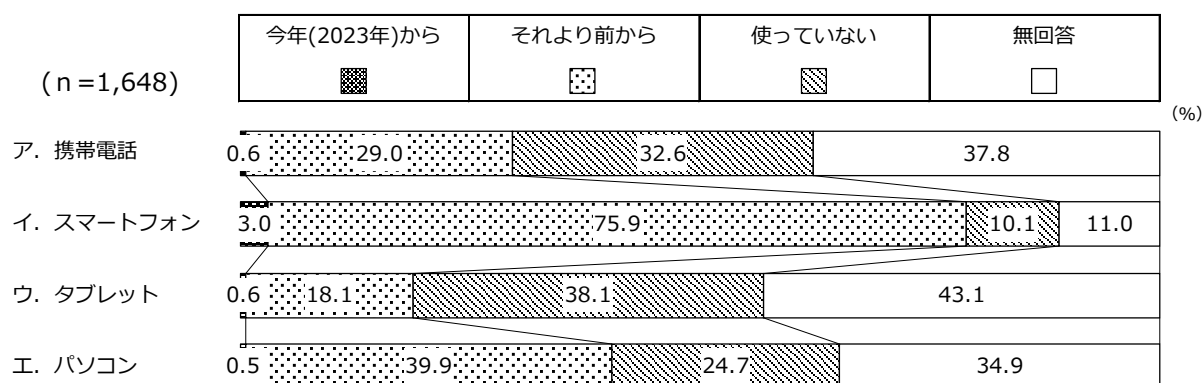
## 5. インターネットなどの利用について

### (1) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況

問25 あなた（宛名のご本人）は、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを使っていますか。  
また、いつから使っているかをお答えください。（それぞれ○は1つ）

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況について、「今年（2023年）から」「それより前から」を合わせた『使っている』は、「スマートフォン」が78.9%と最も高く、次いで「パソコン」が40.4%、「携帯電話」が29.6%の順となっている。一方、「使っていない」は、「タブレット」が38.1%と最も高く、次いで「携帯電話」が32.6%、「パソコン」が24.7%の順となっている。

図表3-5-1 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況



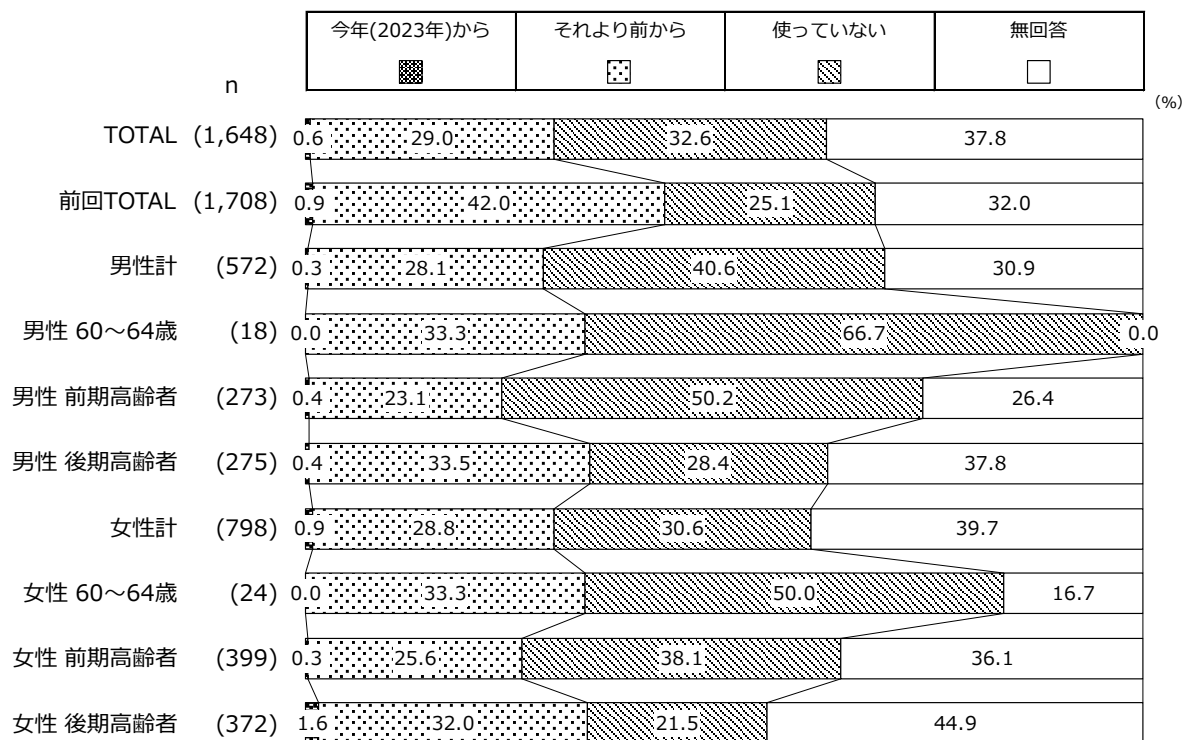
①携帯電話（二つ折りで数字ボタンを押すもの）

携帯電話については、「今年（2023年）から」の0.6%と「それより前から」の29.0%を合わせた『使っている』が29.6%、「使っていない」が32.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「使っていない（40.6%）」が高くなっている。性年代別で見ると、大きな違いはみられない。

前回調査と比較すると、「それより前から」が13.0ポイント低下、「使っていない」が7.5ポイント上昇、『使っている』が13.3ポイント低下、「使っていない」が7.5ポイント上昇している。

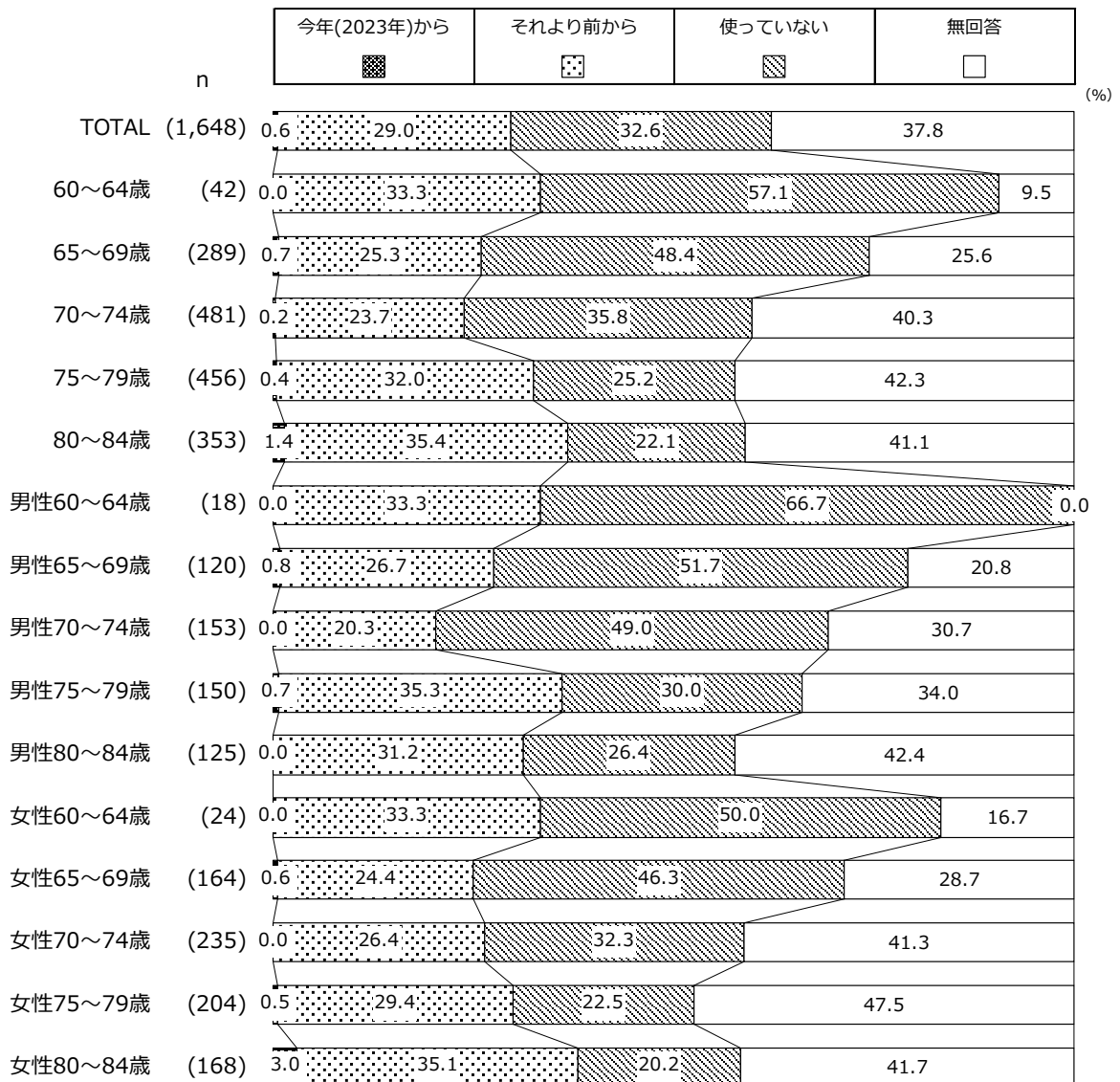
図表3-5-2 携帯電話の利用状況：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、80～84歳では『使っている（36.8%）』が、60～64歳・65～69歳・男性60～64歳・男性65～69歳・男性70～74歳・女性60～64歳・女性65～69歳では「使っていない（60～64歳57.1%・65～69歳48.4%・男性60～64歳66.7%・男性65～69歳51.7%・男性70～74歳49.0%・女性60～64歳50.0%・女性65～69歳46.3%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「使っていない」は加齢に伴って低下し、すべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

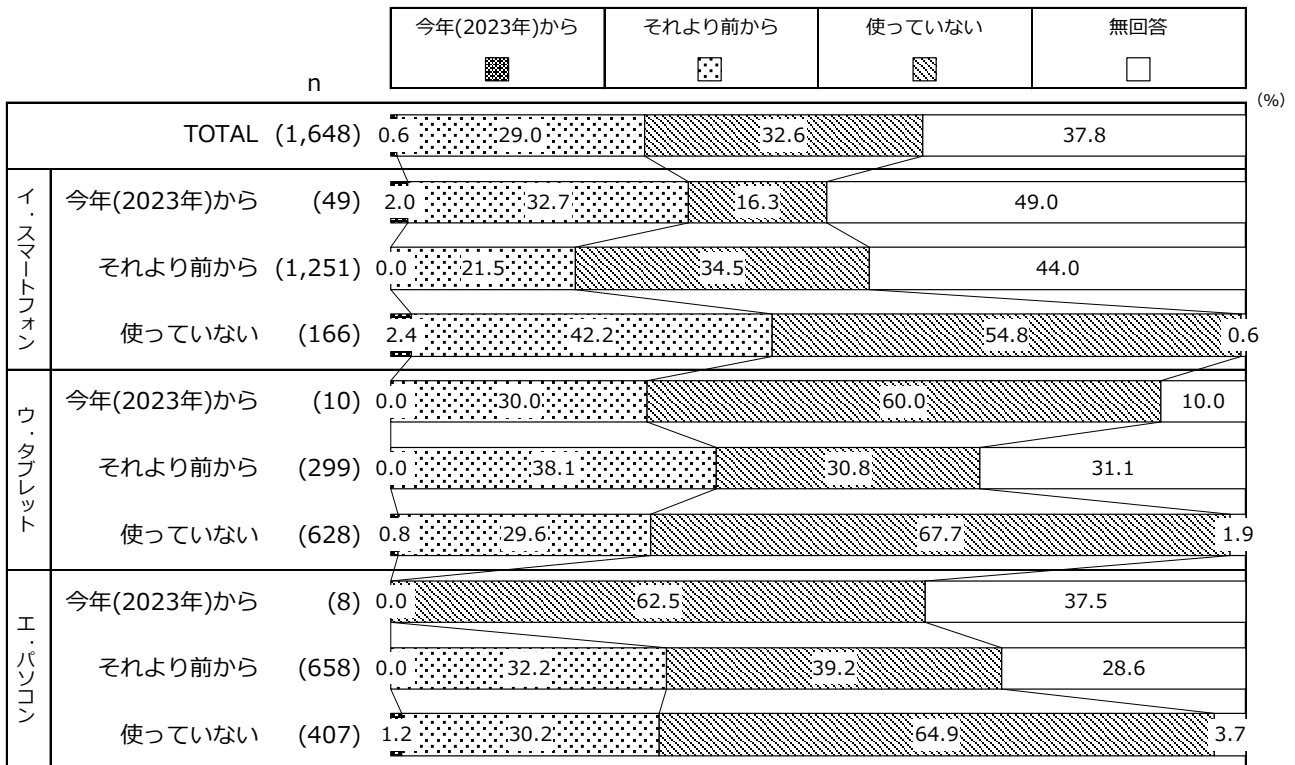
図表3-5-3 携帯電話の利用状況：性年代別（詳細）



利用端末別にみると、携帯電話を「使っていない」人は全体で32.6%だが、スマートフォン・タブレット・パソコンを「使っていない」人は携帯電話も「使っていない」割合が全体よりも高くなっている（スマートフォン54.8%・タブレット67.7%・パソコン64.9%）。一方、携帯電話を『使っている』人は全体で29.6%だが、タブレット・パソコンを『使っている』人が同時に携帯電話も『使っている』割合が全体よりも高い（タブレット37.9%・パソコン31.8%）のに対して、スマートフォンを『使っている』人が携帯電話も『使っている』割合は22.0%と全体よりも低くなっている。

このことから、どの端末も利用していない人がいること、タブレットやパソコンの利用者が携帯電話を同時に使うことはあっても、スマートフォンの利用者は携帯電話をあまり使わない傾向にあるということがうかがえる。

図表3-5-4 携帯電話の利用状況：利用端末別



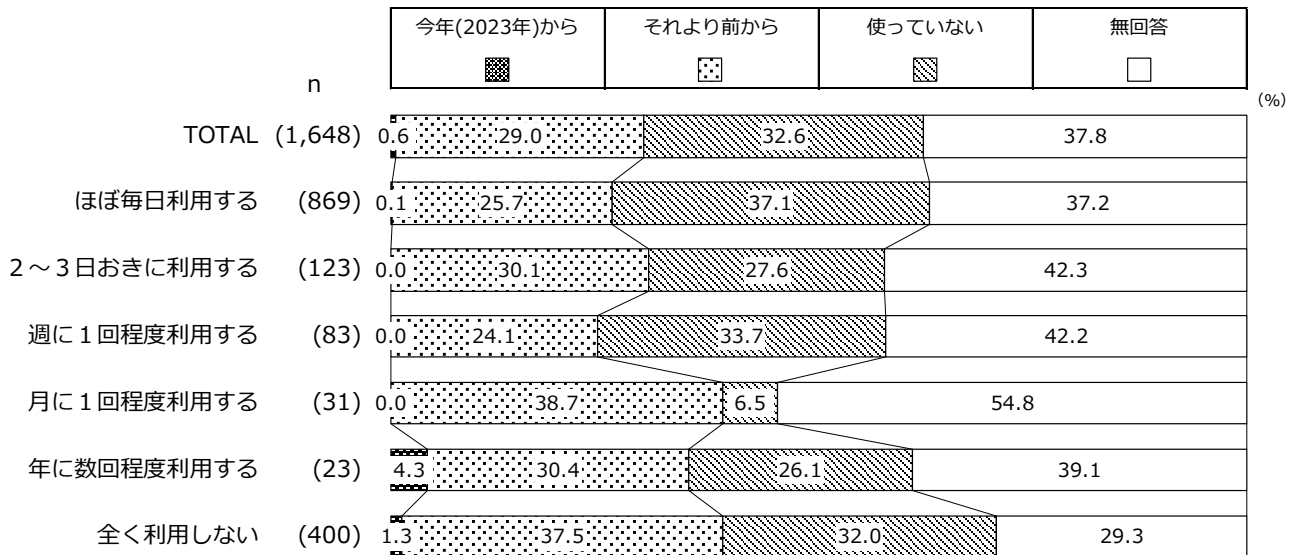
		n	『使っている』	使っていない	無回答
TOTAL		1,648	29.6	32.6	37.8
イ. スマートフォン	『使っている』	1,300	22.0	33.8	44.2
	使っていない	166	44.6	54.8	0.6
ウ. タブレット	『使っている』	309	37.9	31.7	30.4
	使っていない	628	30.4	67.7	1.9
エ. パソコン	『使っている』	666	31.8	39.5	28.7
	使っていない	407	31.4	64.9	3.7

### 第3章 調査結果の詳細

今年（2023年）のインターネット利用状況別でみると、利用頻度の増加に伴って携帯電話を『使っている』割合が低下する傾向がみられる。また、「月に1回程度利用する」人は携帯電話を「使っていない」が6.5%と極度に低くなっている。

このことから、インターネットの利用頻度が高い人ほど、携帯電話を使わない傾向があることがうかがえる。

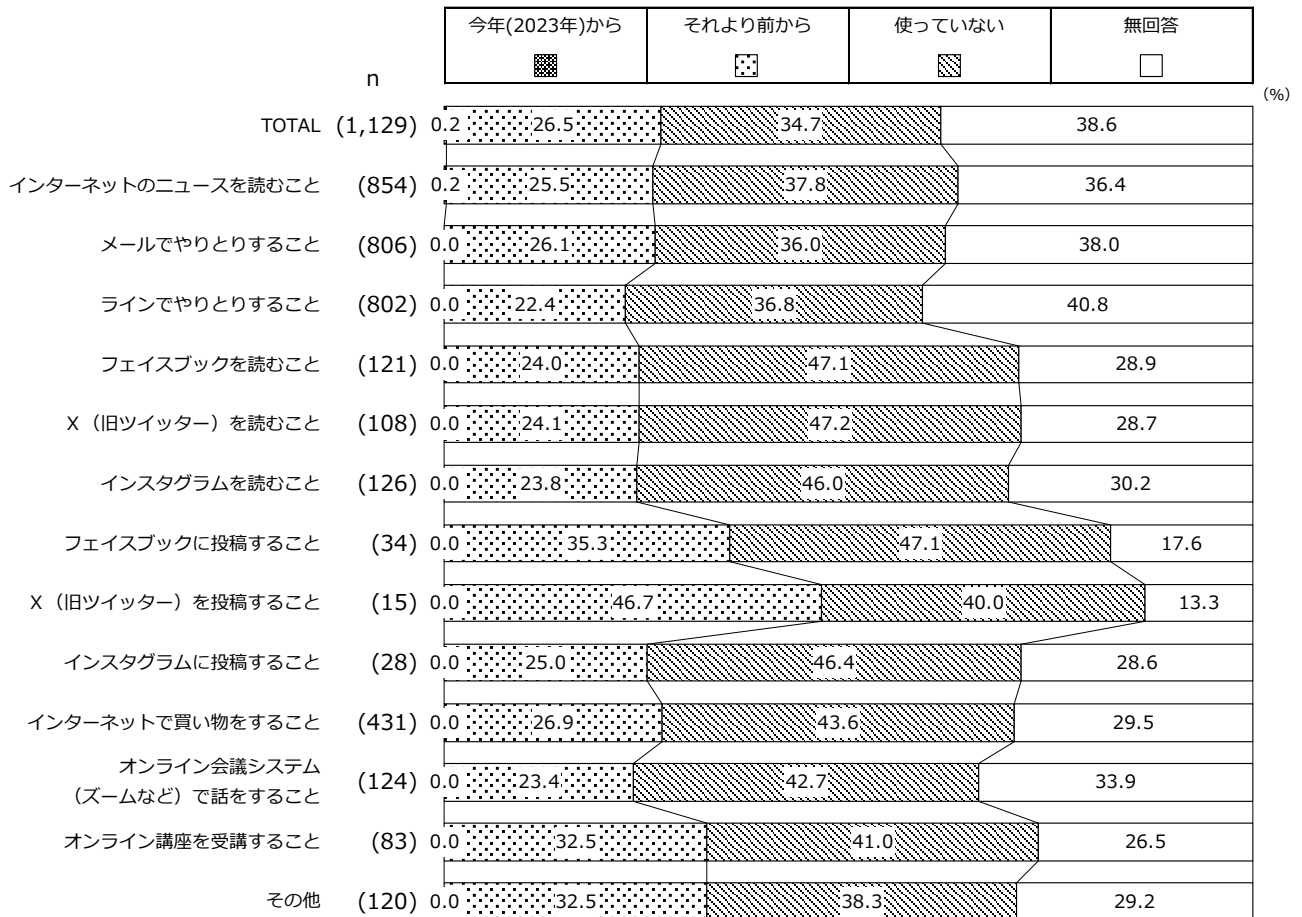
図表3-5-5 携帯電話の利用状況：今年（2023年）のインターネット利用状況別





インターネット利用目的別でみると、携帯電話を『使っている』人では「X（旧ツイッター）を投稿すること」が46.7%と最も高く、次いで「フェイスブックに投稿すること」が35.3%、「オンライン講座を受講すること」「その他」がともに32.5%の順となっている。

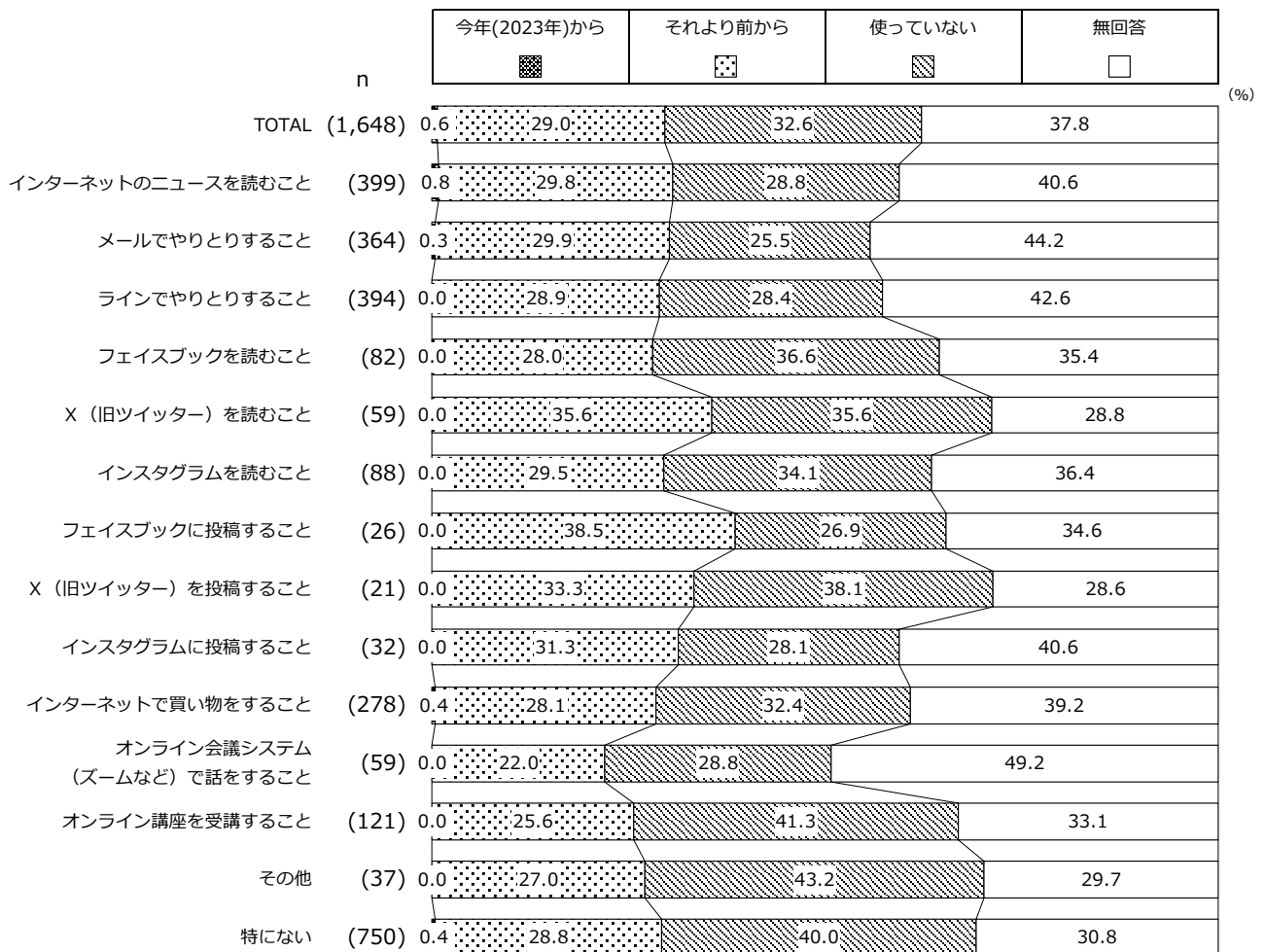
図表3-5-6 携帯電話の利用状況：インターネット利用目的別



### 第3章 調査結果の詳細

今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別でみると、携帯電話を『使っている』人では「フェイスブックに投稿すること」が38.5%と最も高く、次いで「X（旧ツイッター）を読むこと」が35.6%、「X（旧ツイッター）を投稿すること」が33.3%の順となっている。一方、携帯電話を「使っていない」人では「特にない（40.0%）」を除くと「その他」が43.2%と最も高く、次いで「オンライン講座を受講すること」が41.3%、「X（旧ツイッター）を投稿すること」が38.1%、「フェイスブックを読むこと」が36.6%の順となっている。

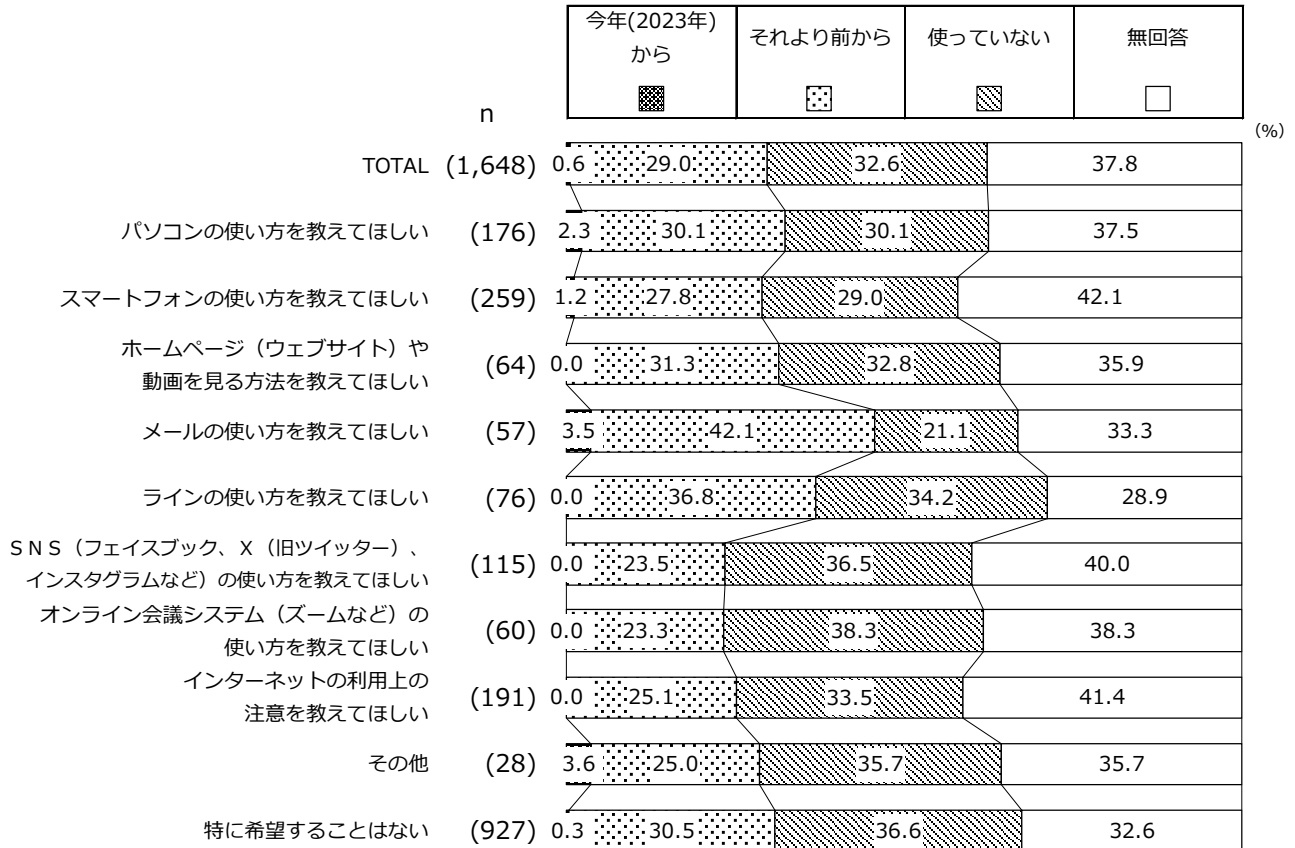
**図表3-5-7 携帯電話の利用状況：**  
**今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別**



インターネットの利用に関する希望別でみると、携帯電話を『使っている』人では「メールの使い方を教えてほしい」が45.6%と最も高く、次いで「ラインの使い方を教えてほしい」が36.8%、「パソコンの使い方を教えてほしい」が32.4%の順となっている。

一方、携帯電話を「使っていない」人では「特に希望することはない（36.6%）」を除くと「オンライン会議システム（ズームなど）の使い方を教えてほしい」が38.3%と最も高く、次いで「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）の使い方を教えてほしい」が36.5%、「その他」が35.7%、「ラインの使い方を教えてほしい」が34.2%の順となっている。

図表3-5-8 携帯電話の利用状況：インターネットの利用に関する希望別



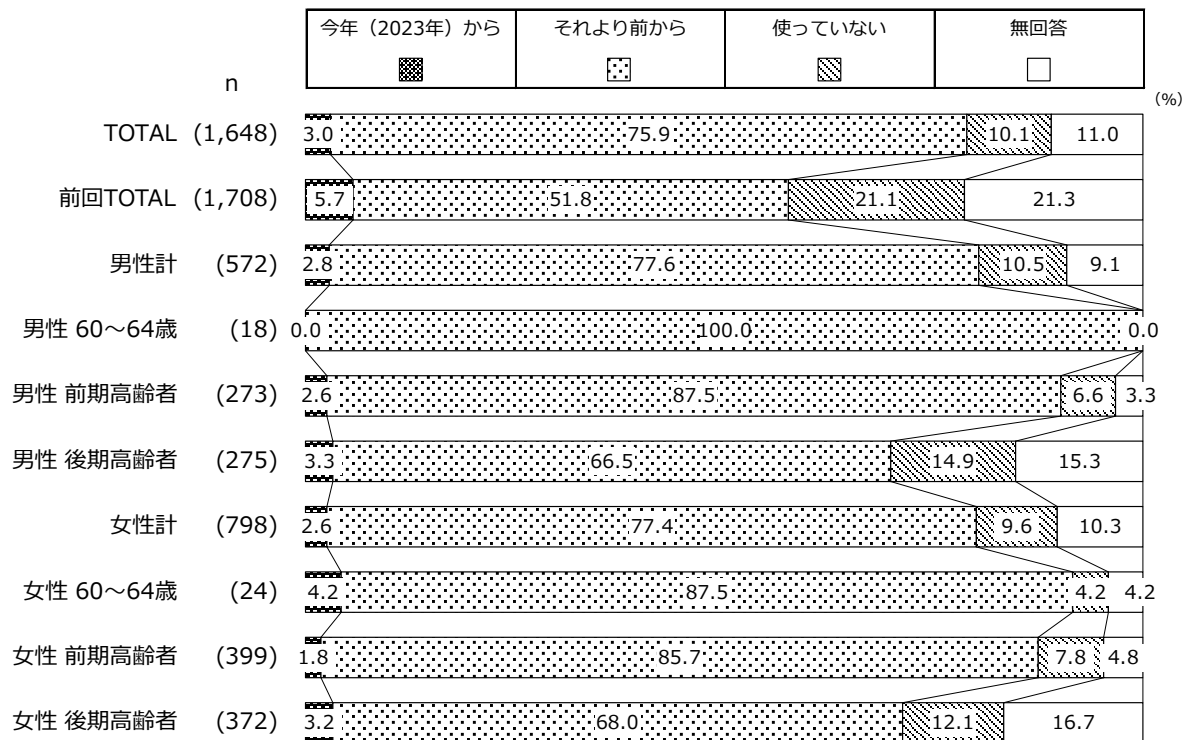
②スマートフォン

スマートフォンについては、「今年（2023年）から」の3.0%と「それより前から」の75.9%を合わせた『使っている』が78.9%、「使っていない」が10.1%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。一方、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では『使っている（男性60～64歳100.0%・男性前期90.1%・女性60～64歳91.7%）』が全体の傾向よりも高くなっている。また、『使っている』は男女ともに加齢に伴い低下している。

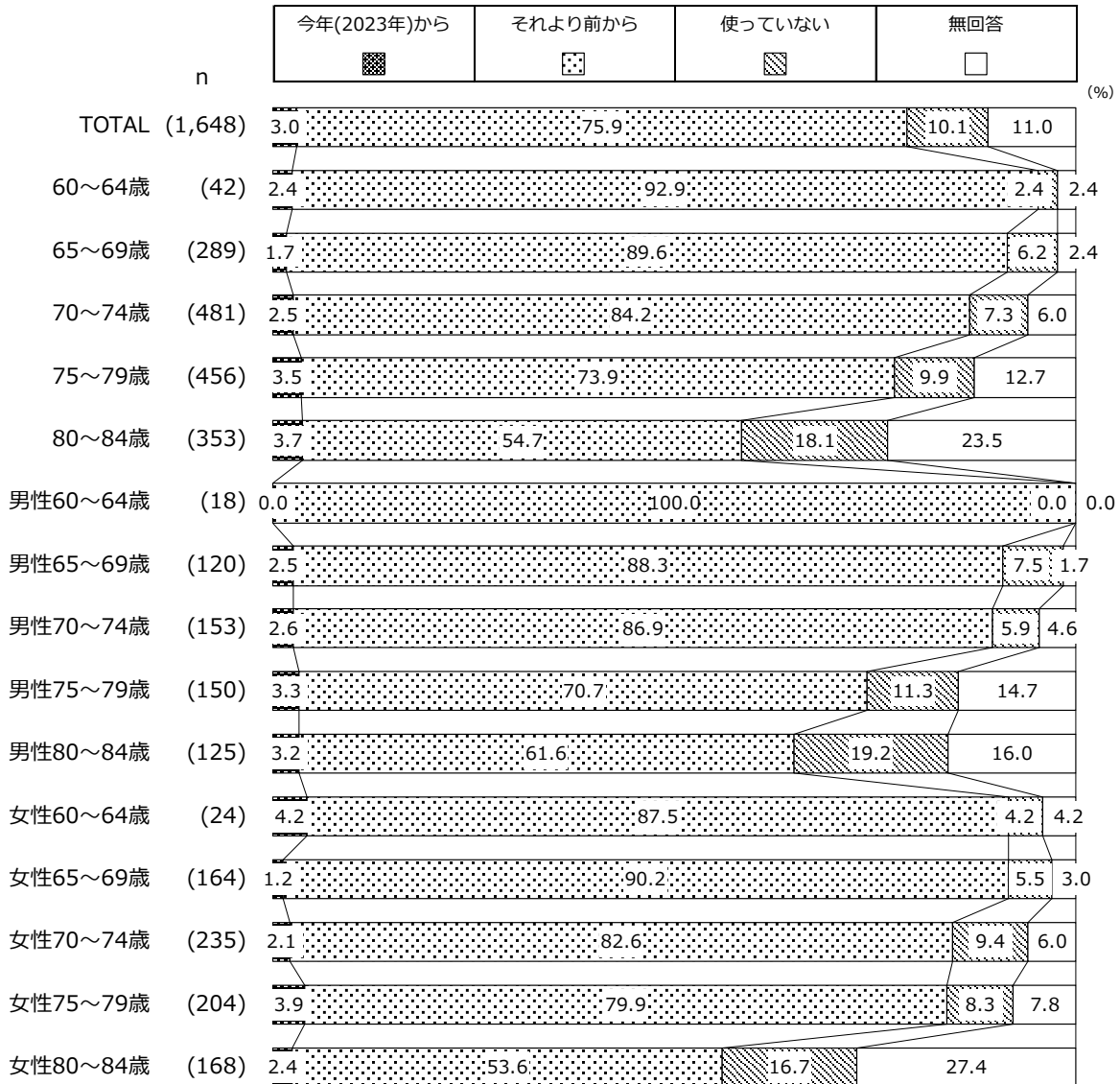
前回調査と比較すると、『使っている』が21.4ポイント上昇、「使っていない」が11.0ポイント低下している。

図表3-5-9 スマートフォンの利用状況：性年代別



詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳・70～74歳・男性60～64歳・男性65～69歳・男性70～74歳・女性60～64歳・女性65～69歳では『使っている(60～64歳95.3%・65～69歳91.3%・70～74歳86.7%・男性60～64歳100.0%・男性65～69歳90.8%・男性70～74歳89.5%・女性60～64歳91.7%・女性65～69歳91.4%)』が、80～84歳では「使っていない(18.1%)」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「使っていない」は加齢に伴って上昇、『使っている』は低下している。

図表3-5-10 スマートフォンの利用状況：性年代別（詳細）

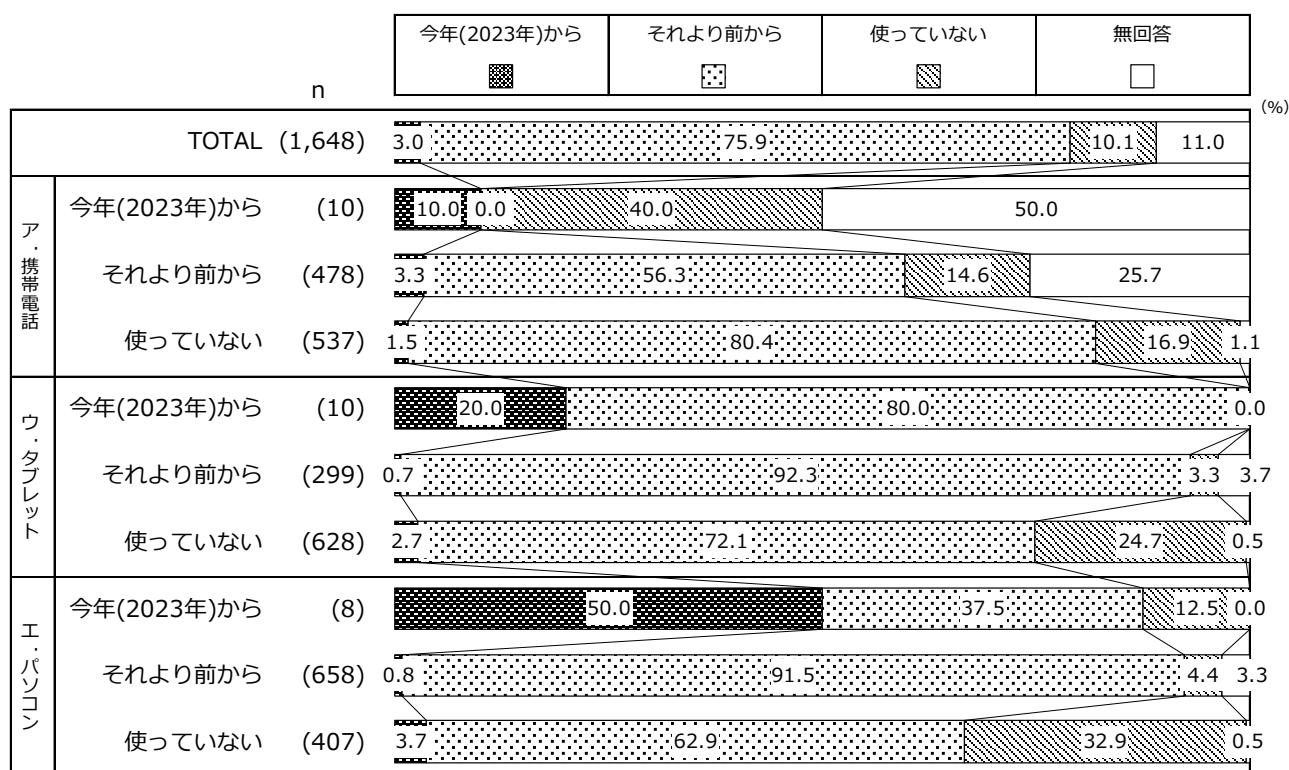


### 第3章 調査結果の詳細

利用端末別にみると、スマートフォンを「使っていない」人は全体で10.1%だが、携帯電話・タブレット・パソコンを「使っていない」人はスマートフォンも「使っていない」割合が全体よりも高くなっている（携帯電話16.9%・タブレット24.7%・パソコン32.9%）。一方、スマートフォンを『使っている』人は全体で78.9%だが、タブレット・パソコンを『使っている』人が同時にスマートフォンも『使っている』割合が全体よりも高い（タブレット93.2%・パソコン92.2%）のに対して、携帯電話を『使っている』人がスマートフォンも『使っている』割合は58.6%と全体よりも低くなっている。

このことから、タブレットやパソコンの利用者がスマートフォンを同時に使うことはあっても、携帯電話の利用者はスマートフォンをあまり使わない傾向にあるということがうかがえる。

図表3-5-11 スマートフォンの利用状況：利用端末別

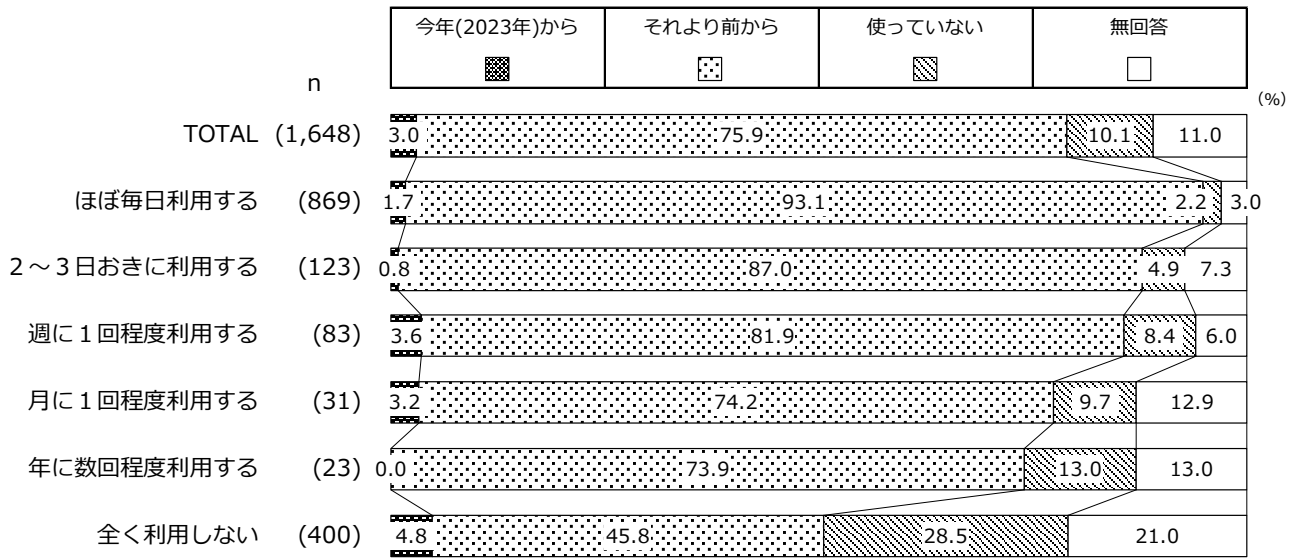


		n	『使っている』	使っていない	無回答
TOTAL		1,648	78.9	10.1	11.0
ア. 携帯電話	『使っている』	488	58.6	15.2	26.2
	使っていない	537	81.9	16.9	1.1
ウ. タブレット	『使っている』	309	93.2	3.2	3.6
	使っていない	628	74.8	24.7	0.5
エ. パソコン	『使っている』	666	92.2	4.5	3.3
	使っていない	407	66.6	32.9	0.5

今年（2023年）のインターネット利用状況別で見ると、利用頻度の増加に伴ってスマートフォンを『使っている』割合が顕著に上昇しており、特に「ほぼ毎日利用する」では『使っている』が94.8%と顕著に高くなっている。また、全ての利用頻度において、スマートフォンを『使っている』が「使っていない」よりも高くなっている。

このことから、インターネットとの接続頻度とスマートフォンの利用率との間には相関関係があり、かつ、インターネットに接続する端末にはスマートフォンがよく使われており、またインターネットを「全く利用しない」人でもスマートフォンは利用しているということがわかる。

図表3-5-12 スマートフォンの利用状況：今年（2023年）のインターネット利用状況別



### 第3章 調査結果の詳細

インターネット利用目的別でみると、スマートフォンを『使っている』人では「フェイスブックに投稿すること」「X（旧ツイッター）を投稿すること」「Instagramに投稿すること」の3項目が100.0%となっている。

一方、スマートフォンを「使っていない」人では「その他」が5.8%と最も高く、次いで「インターネットのニュースを読むこと」が2.8%、「メールでやりとりすること」が2.0%、「インターネットで買い物をする事」が1.9%の順となっている。

図表3-5-13 スマートフォンの利用状況：インターネット利用目的別

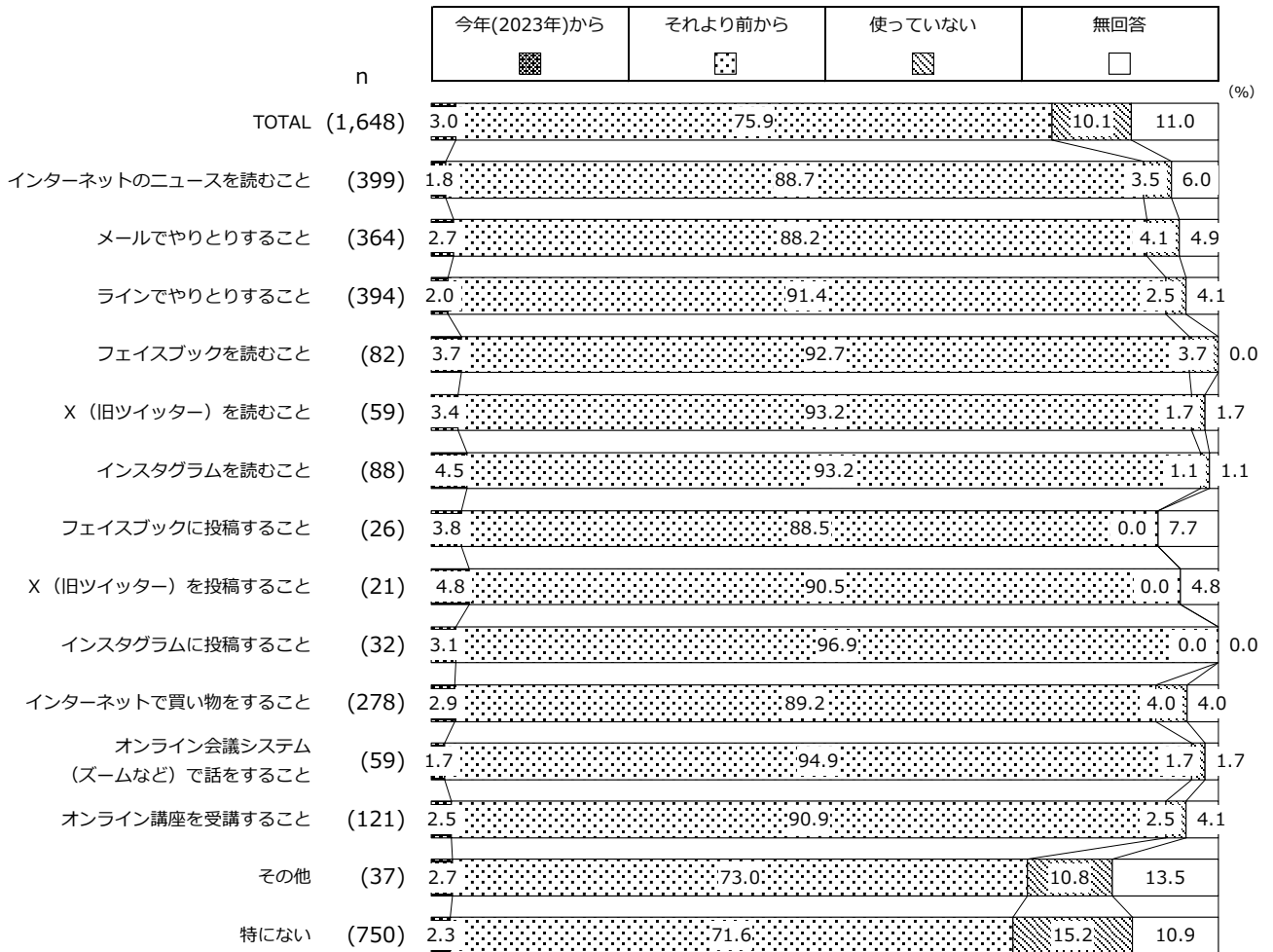




今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別でみると、スマートフォンを『使っている』人では「Instagramに投稿すること」が100.0%となっており、次いで「Instagramを読むこと」が97.7%、「X（旧ツイッター）を読むこと」が96.6%の順となっている。

一方、スマートフォンを「使っていない」人では「特にない（15.2%）」を除くと「その他」が10.8%と最も高く、次いで「メールでやりとりすること」が4.1%、「インターネットで買い物をすること」が4.0%、「フェイスブックを読むこと」が3.7%の順となっている。

図表3-5-14 スマートフォンの利用状況：  
今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別

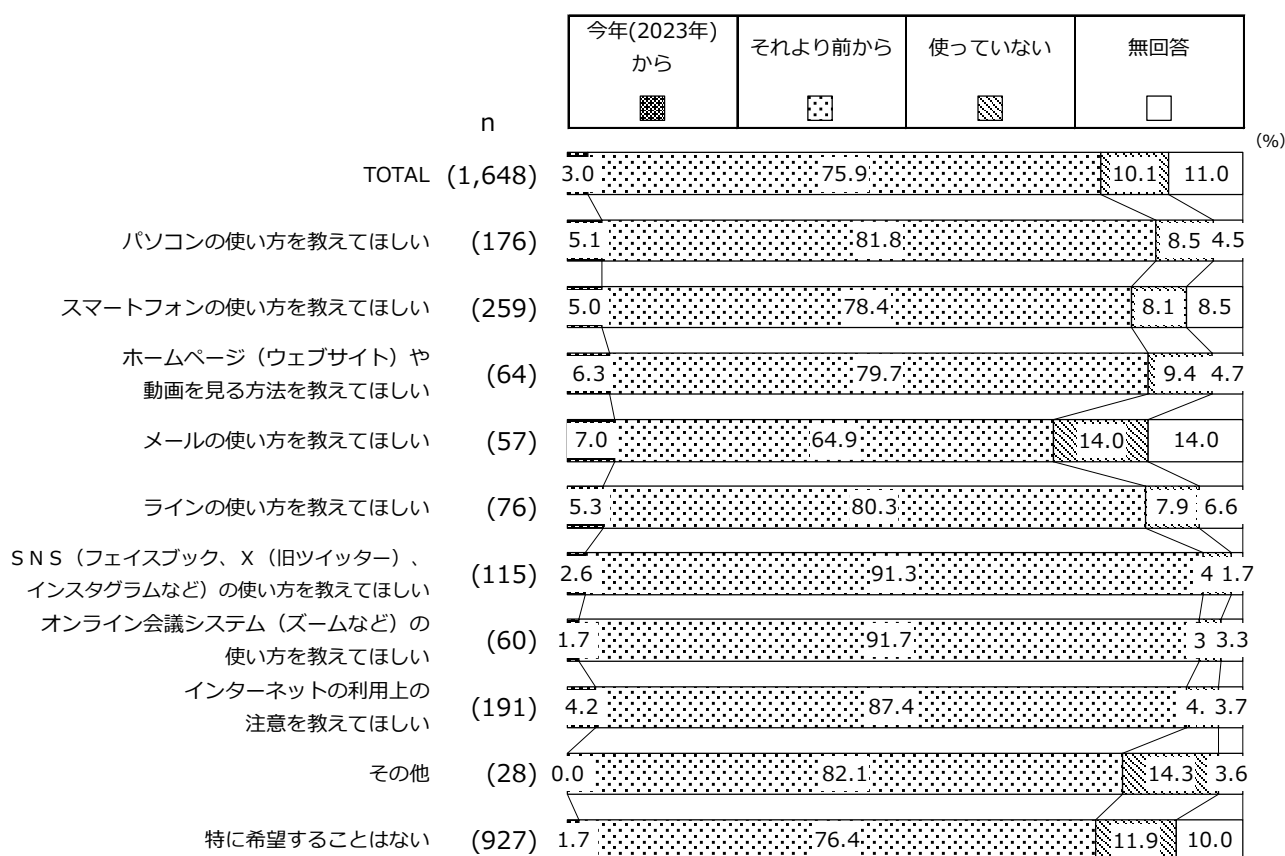


### 第3章 調査結果の詳細

インターネットの利用に関する希望別でみると、スマートフォンを『使っている』人では「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）の使い方を教えてほしい」が93.9%と最も高く、次いで「オンライン会議システム（ズームなど）の使い方を教えてほしい」が93.4%、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」が91.6%の順となっている。

一方、スマートフォンを「使っていない」人では「特に希望することはない（11.9%）」を除くと「その他」が14.3%と最も高く、次いで「メールの使い方を教えてほしい」が14.0%、「ホームページ（ウェブサイト）や動画を見る方法を教えてほしい」が9.4%、「パソコンの使い方を教えてほしい」が8.5%の順となっている。

図表3-5-15 スマートフォンの利用状況：インターネットの利用に関する希望別

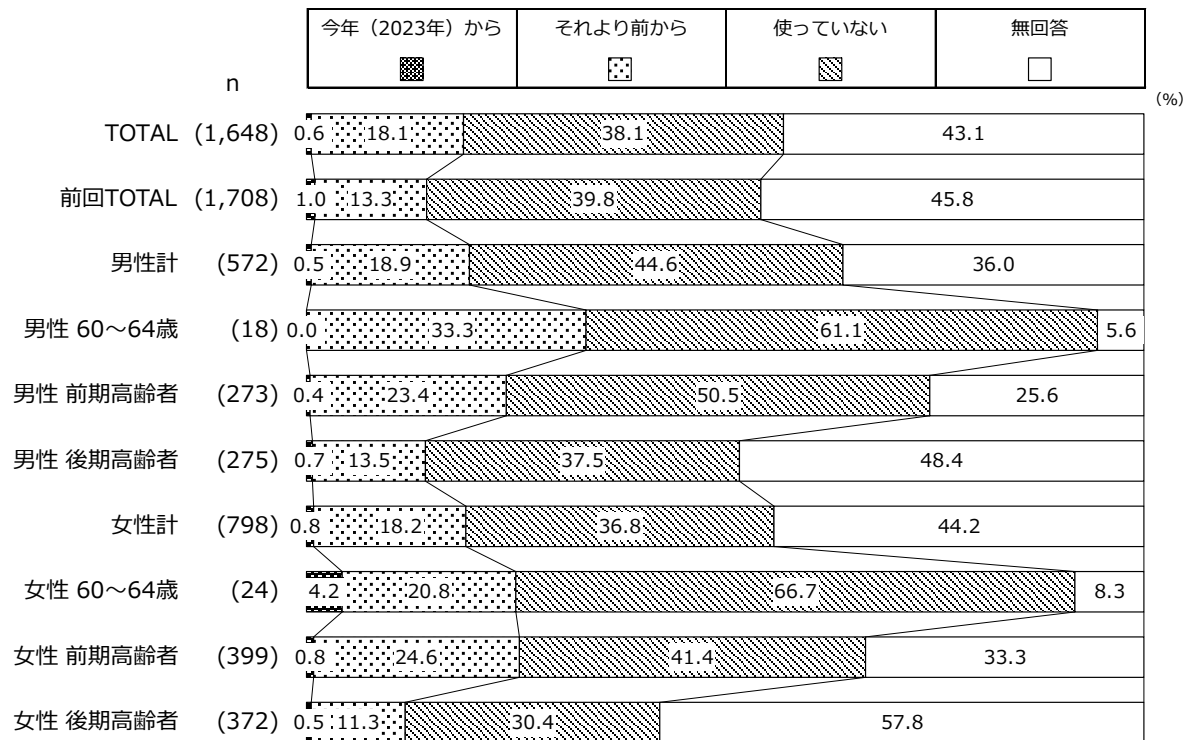


③タブレット

タブレットについては、「今年（2023年）から」の0.6%と「それより前から」の18.1%を合わせた『使っている』が18.7%、「使っていない」が38.1%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「使っていない（44.6%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では『使っている（33.3%）』が全体の傾向よりも高くなっている。前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

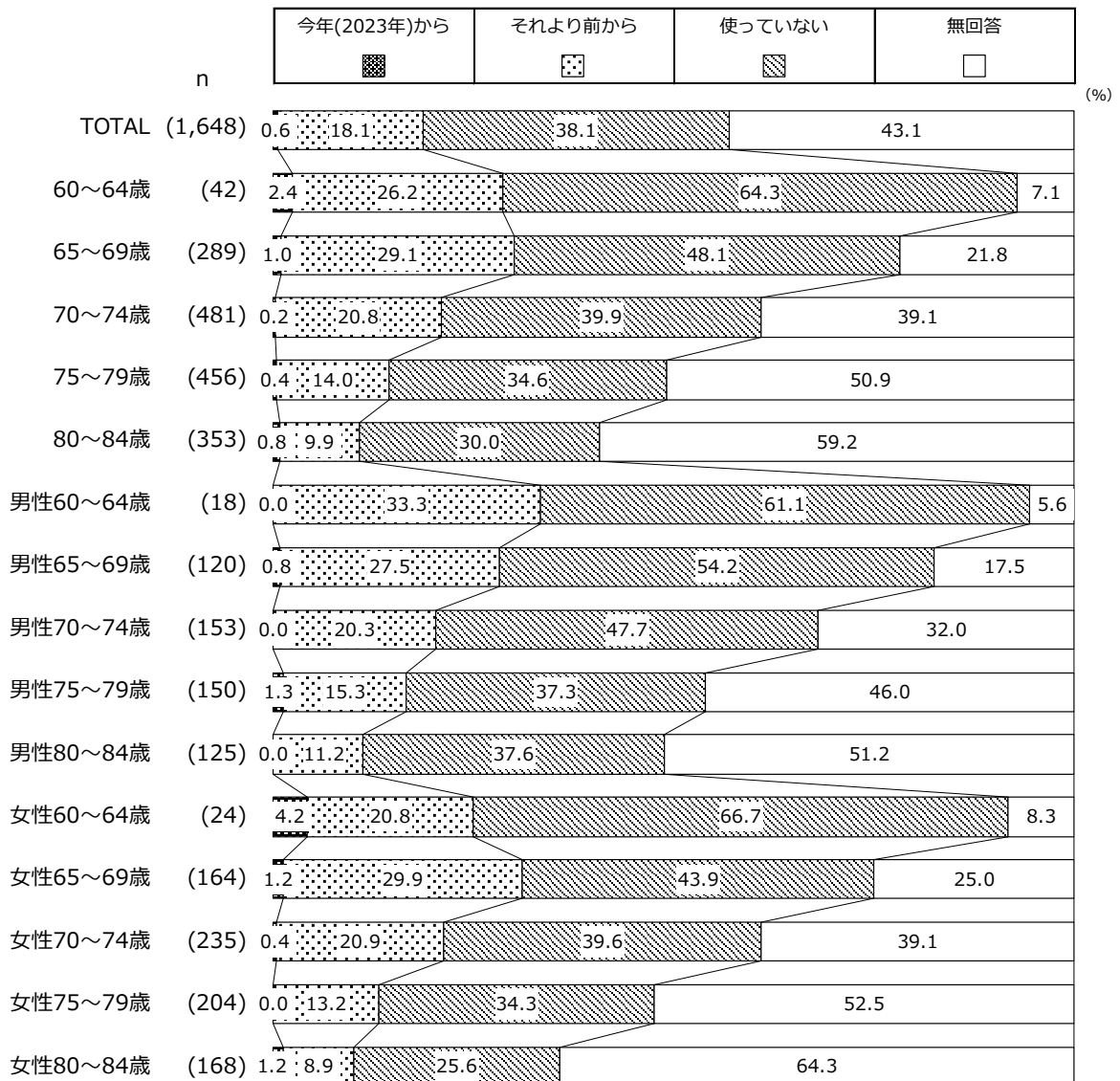
図表3-5-16 タブレットの利用状況：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

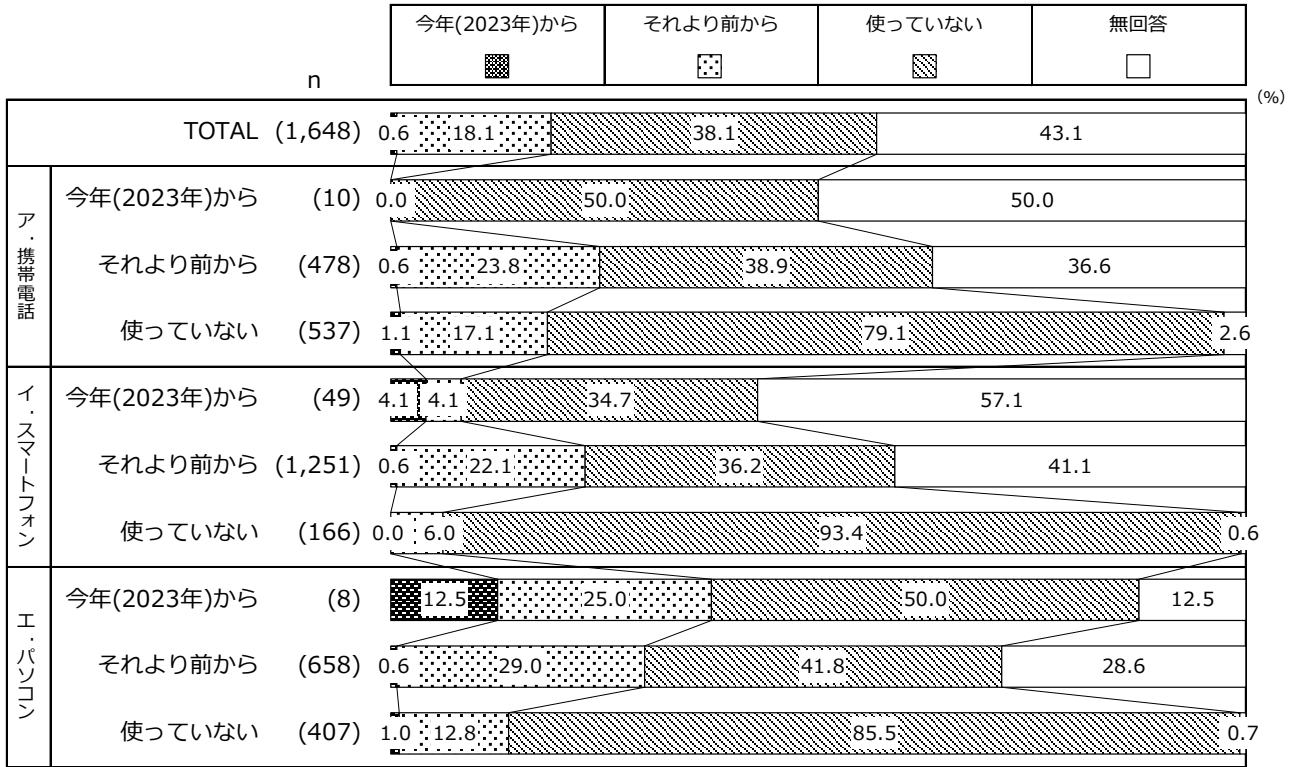
詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳・男性60～64歳では『使っている（60～64歳28.6%・65～69歳30.1%・男性60～64歳33.3%）』『使っていない（60～64歳64.3%・65～69歳48.1%・男性60～64歳61.1%）』の両方が、女性65～69歳では『使っている（31.1%）』が、男性65～69歳・女性60～64歳では「使っていない（男性65～69歳54.2%・女性60～64歳66.7%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「使っていない」は加齢に伴って低下している。

図表3-5-17 タブレットの利用状況：性年代別（詳細）



利用端末別にみると、タブレットを「使っていない」人は全体で38.1%だが、携帯電話・スマートフォン・パソコンを「使っていない」人はタブレットも「使っていない」割合が全体よりも高くなっている（携帯電話79.1%・スマートフォン93.4%・パソコン85.5%）。また、タブレットを『使っている』人は全体で18.7%だが、携帯電話・スマートフォン・パソコンを『使っている』人はタブレットも『使っている』割合が全体よりも高くなっている（携帯電話24.0%・スマートフォン22.2%・パソコン29.8%）。

図表3-5-18 タブレットの利用状況：利用端末別



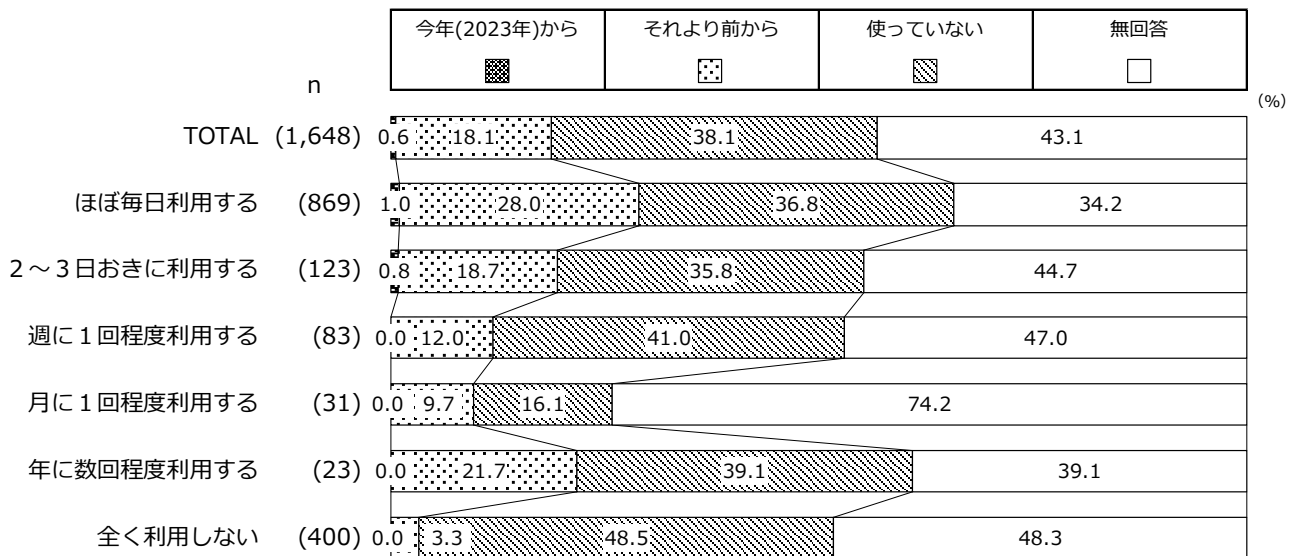
		n	『使っている』	使っていない	無回答
TOTAL		1,648	18.7	38.1	43.1
ア. 携帯電話	『使っている』	488	24.0	39.1	36.9
	使っていない	537	18.2	79.1	2.6
イ. スマートフォン	『使っている』	1,300	22.2	36.2	41.7
	使っていない	166	6.0	93.4	0.6
エ. パソコン	『使っている』	666	29.8	41.9	28.4
	使っていない	407	13.8	85.5	0.7

### 第3章 調査結果の詳細

今年（2023年）のインターネット利用状況別でみると、「年に数回程度利用する」を除いて、利用頻度の増加に伴ってタブレットを『使っている』割合が上昇している。「年に数回程度利用する」においては、『使っている』が21.7%と顕著に高くなっている。また、すべての項目においてタブレットを「使っていない」が『使っている』よりも高くなっている。

このことから、インターネットへの接続頻度とタブレットの利用との間にはやや相関関係がみられるものの、インターネットの接続頻度が少ない人の中ではタブレットを『使っている』人と「使っていない」人とに二分化していることがうかがえる。

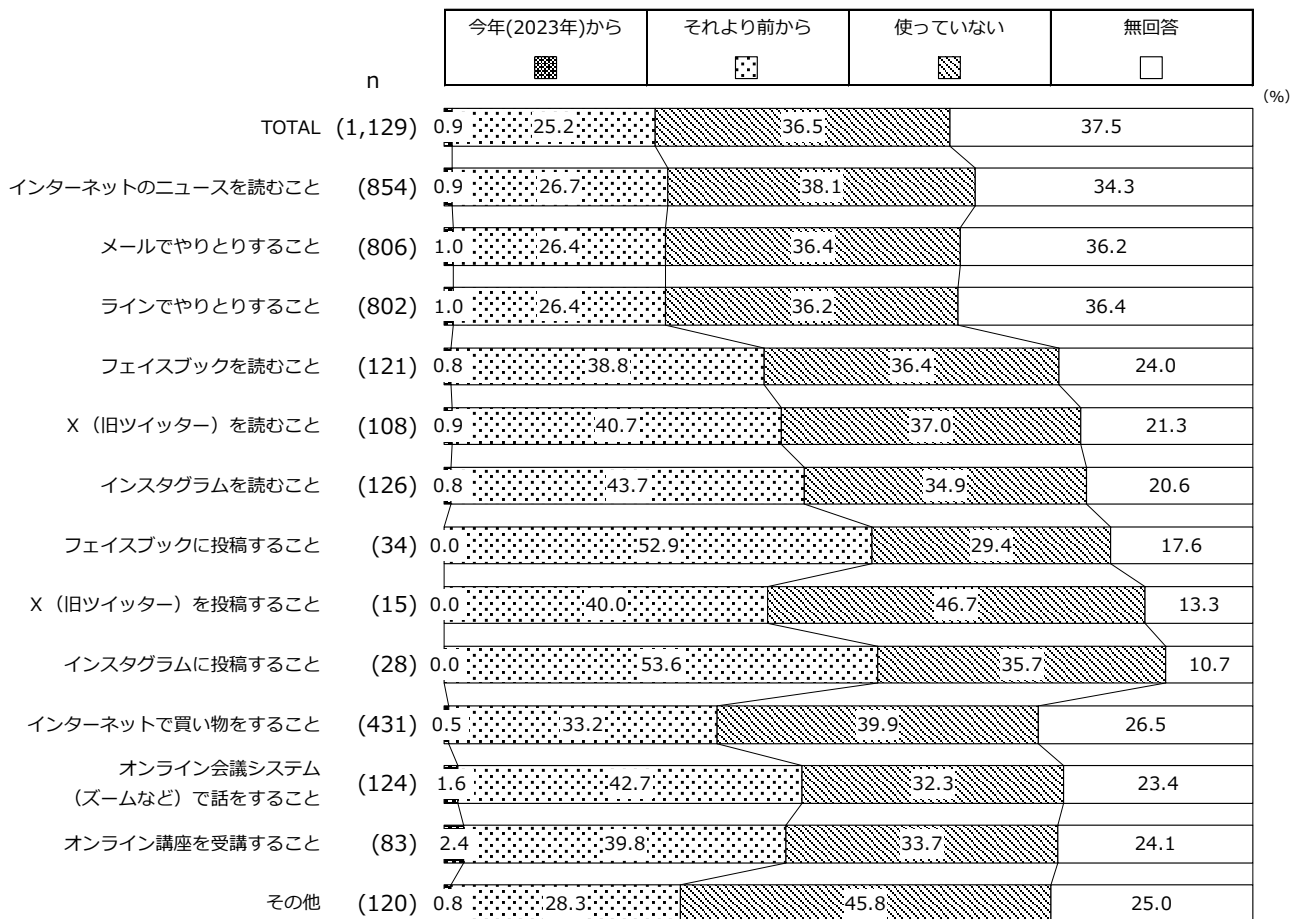
図表3-5-19 タブレットの利用状況：今年（2023年）のインターネット利用状況別



インターネット利用目的別で見ると、タブレットを『使っている』人では「Instagramに投稿すること」が53.6%と最も高く、次いで「フェイスブックに投稿すること」が52.9%、「Instagramを読むこと」が44.5%の順となっている。

一方、タブレットを「使っていない」人では「X（旧ツイッター）を投稿すること」が46.7%と最も高く、「その他」が45.8%、「インターネットで買い物をする事」が39.9%、「インターネットのニュースを読むこと」が38.1%の順となっている。

図表3-5-20 タブレットの利用状況：インターネット利用目的別

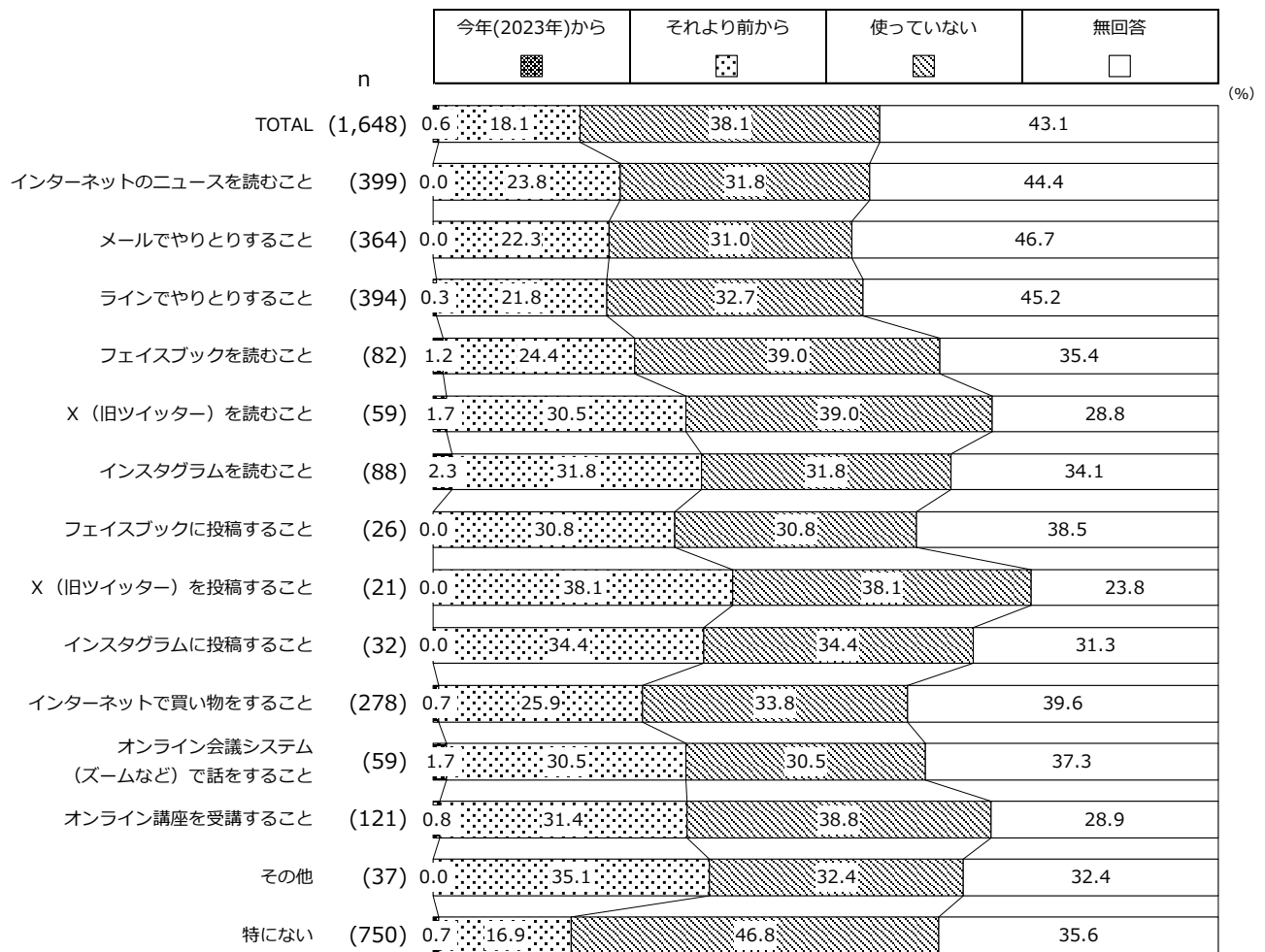


### 第3章 調査結果の詳細

今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別でみると、タブレットを『使っている』人では「X（旧ツイッター）を投稿すること」が38.1%と最も高く、次いで「その他」が35.1%、「Instagramに投稿すること」が34.4%、「Instagramを読むこと」が34.1%の順となっている。

一方、タブレットを「使っていない」人では「特にない（46.8%）」を除くと「フェイスブックを読むこと」「X（旧ツイッター）を読むこと」がともに39.0%と最も高く、次いで「オンライン講座を受講すること」が38.8%の順となっている。

**図表3-5-21 タブレットの利用状況：  
今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別**

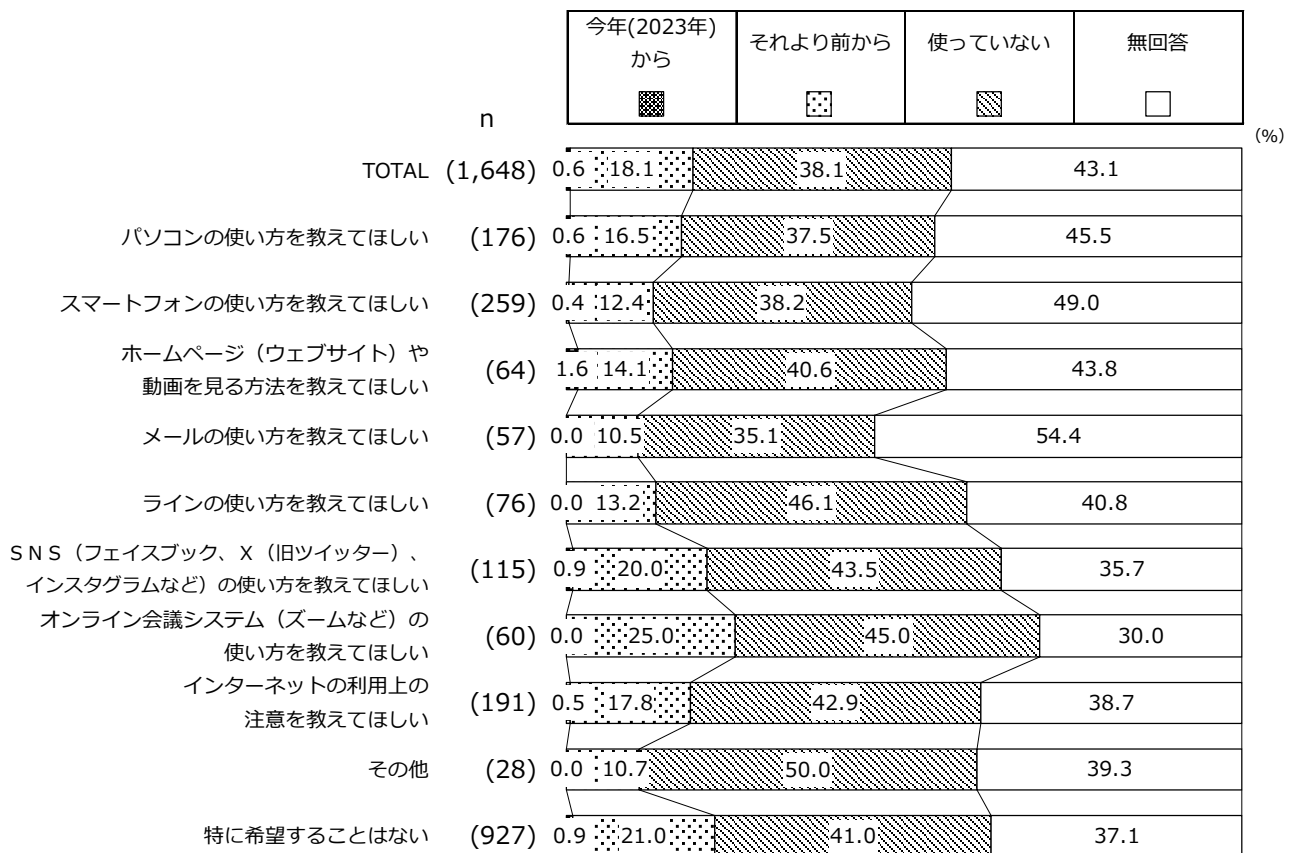




インターネットの利用に関する希望別でみると、タブレットを『使っている』人では「特に希望することはない(21.9%)」を除くと「オンライン会議システム(ズームなど)の使い方を教えてほしい」が25.0%と最も高く、次いで「SNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなど)の使い方を教えてほしい」が20.9%、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」が18.3%の順となっている。

一方、タブレットを「使っていない」人では「その他」が50.0%と最も高く、次いで「ラインの使い方を教えてほしい」が46.1%、「オンライン会議システム(ズームなど)の使い方を教えてほしい」が45.0%、「SNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなど)の使い方を教えてほしい」が43.5%の順となっている。

図表3-5-22 タブレットの利用状況：インターネットの利用に関する希望別



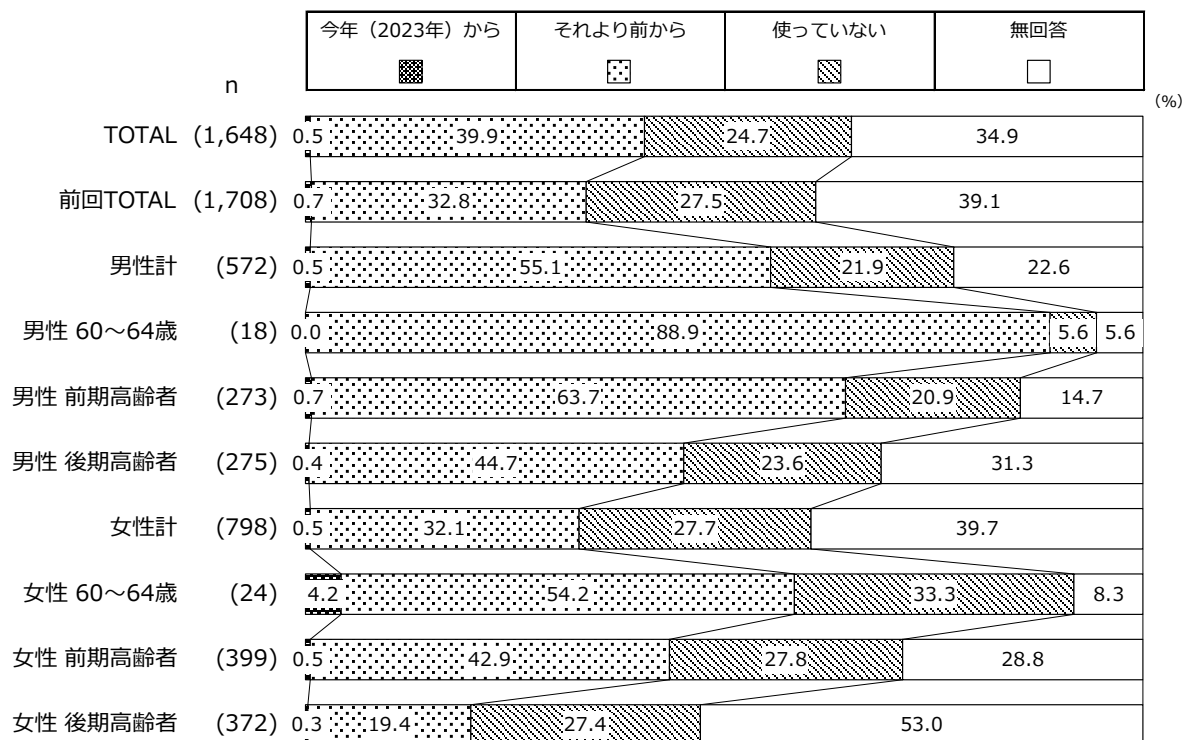
④パソコン

パソコンについては、「今年（2023年）から」の0.5%と「それより前から」の39.9%を合わせた『使っている』が40.4%、「使っていない」が24.7%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも『使っている（55.6%）』が高く、女性では男性よりも「使っていない（27.7%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では『使っている（男性60～64歳88.9%・男性前期64.4%・女性60～64歳58.4%）』が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では『使っている（19.7%）』が全体の傾向よりも低くなっている。また、『使っている』はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、男女ともに加齢に伴い低下している。

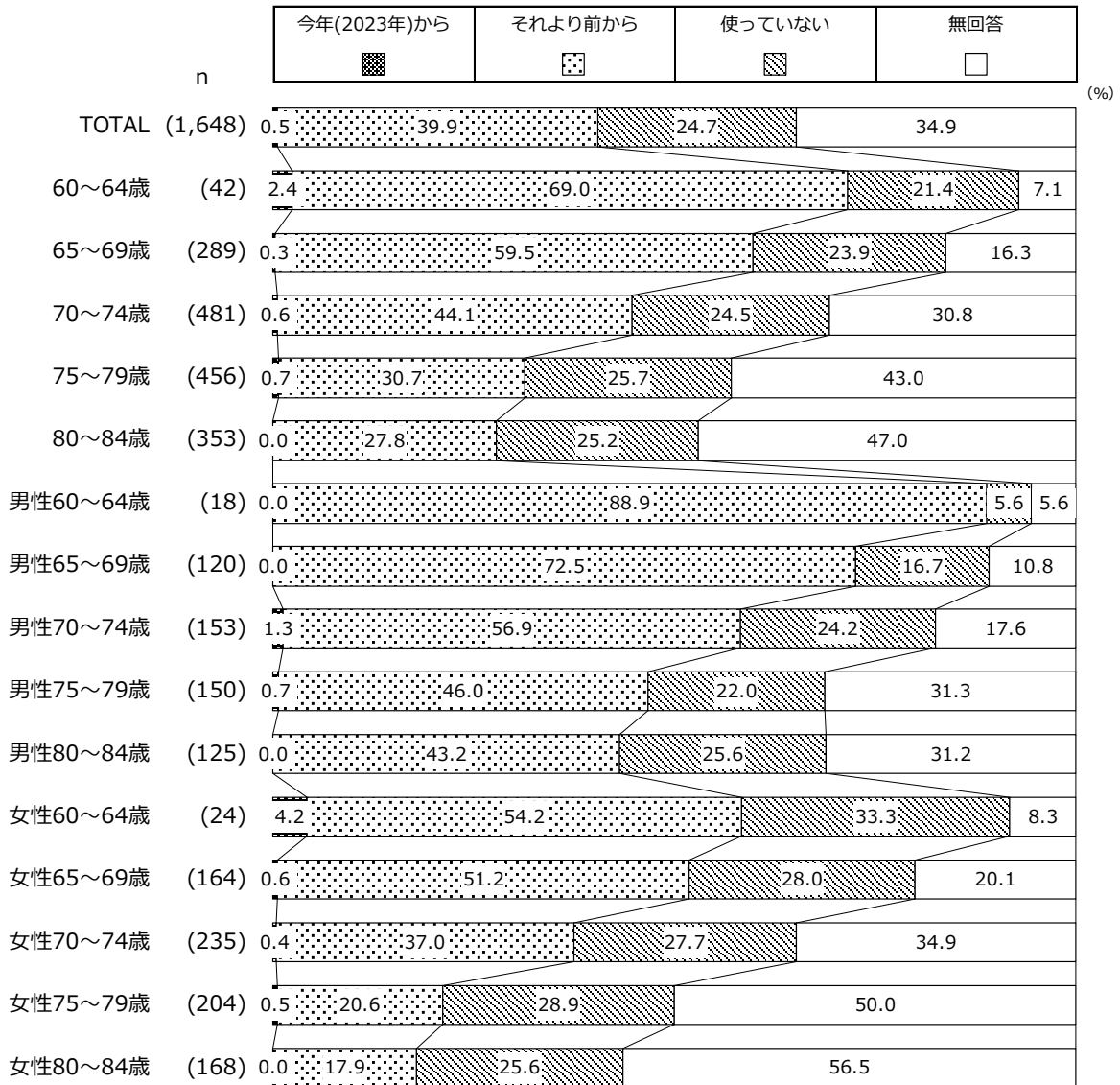
前回調査と比較すると、「それより前から」が7.1ポイント上昇、『使っている』が6.9ポイント上昇している。

図表3-5-23 パソコンの利用状況：性年代別



詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳・男性60～64歳・男性65～69歳・男性70～74歳・女性60～64歳・女性65～69歳では『使っている（60～64歳71.4%・65～69歳59.8%・男性60～64歳88.9%・男性65～69歳72.5%・男性70～74歳58.2%・女性60～64歳58.4%・女性65～69歳51.8%）』が全体の傾向よりも高くなっている。また、『使っている』は加齢に伴って低下し、すべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-5-24 パソコンの利用状況：性年代別（詳細）

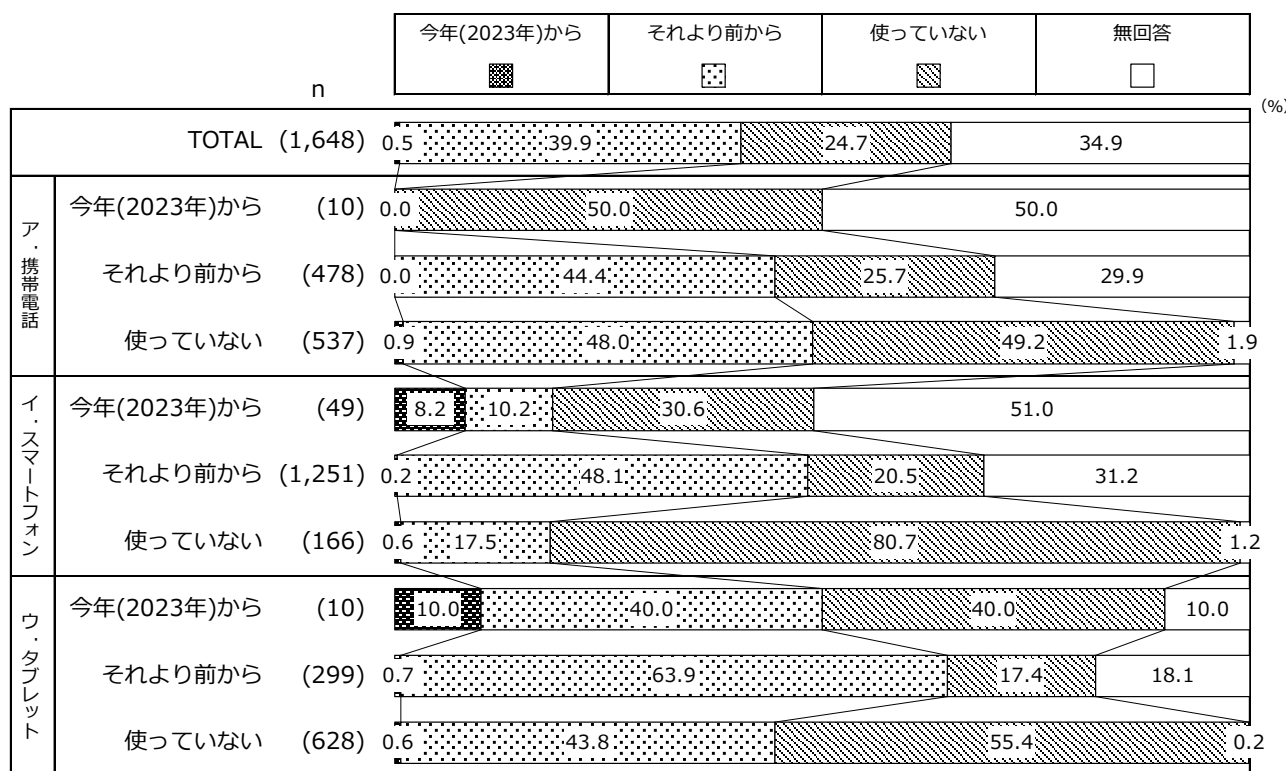


### 第3章 調査結果の詳細

利用端末別にみると、パソコンを「使っていない」人は全体で24.7%だが、携帯電話・スマートフォン・タブレットを「使っていない」人はパソコンも「使っていない」割合が全体よりも高くなっている（携帯電話49.2%・スマートフォン80.7%・タブレット55.4%）。また、パソコンを『使っている』人は全体で40.4%だが、携帯電話・スマートフォン・タブレットを『使っている』人はパソコンも『使っている』割合が全体よりも高くなっている（携帯電話43.4%・スマートフォン47.2%・タブレット64.1%）。

このことから、携帯電話・スマートフォン・タブレットの利用者は同時にパソコンも利用する傾向があることがうかがえる。

図表3-5-25 パソコンの利用状況：利用端末別

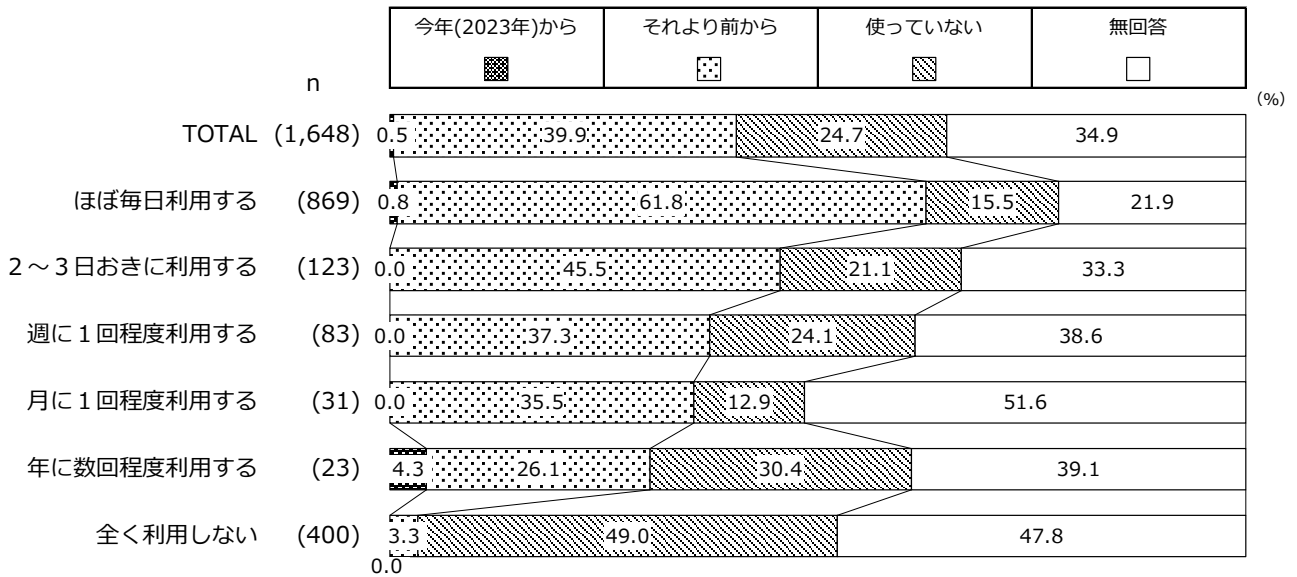


		n	『使っている』	使っていない	無回答
TOTAL		1,648	40.4	24.7	34.9
ア. 携帯電話	『使っている』	488	43.4	26.2	30.3
	使っていない	537	48.9	49.2	1.9
イ. スマートフォン	『使っている』	1,300	47.2	20.8	31.9
	使っていない	166	18.1	80.7	1.2
ウ. タブレット	『使っている』	309	64.1	18.1	17.8
	使っていない	628	44.4	55.4	0.2

今年（2023年）のインターネット利用状況別でみると、利用頻度の増加に伴ってパソコンを『使っている』割合が顕著に上昇しており、特に「ほぼ毎日利用する」では『使っている』が62.6%と顕著に高くなっている。また、「年に数回程度利用する」「全く利用しない」以外の項目ではパソコンを『使っている』が「使っていない」よりも高くなっている。

このことから、インターネットとの接続頻度とスマートフォンの利用率との間には相関関係があり、かつ、先述のスマートフォンについて回答結果とあわせて考えると、インターネットに接続する端末にはスマートフォンほどではないもののパソコンがよく使われるということがうかがわれる。

図表3-5-26 パソコンの利用状況：今年（2023年）のインターネット利用状況別

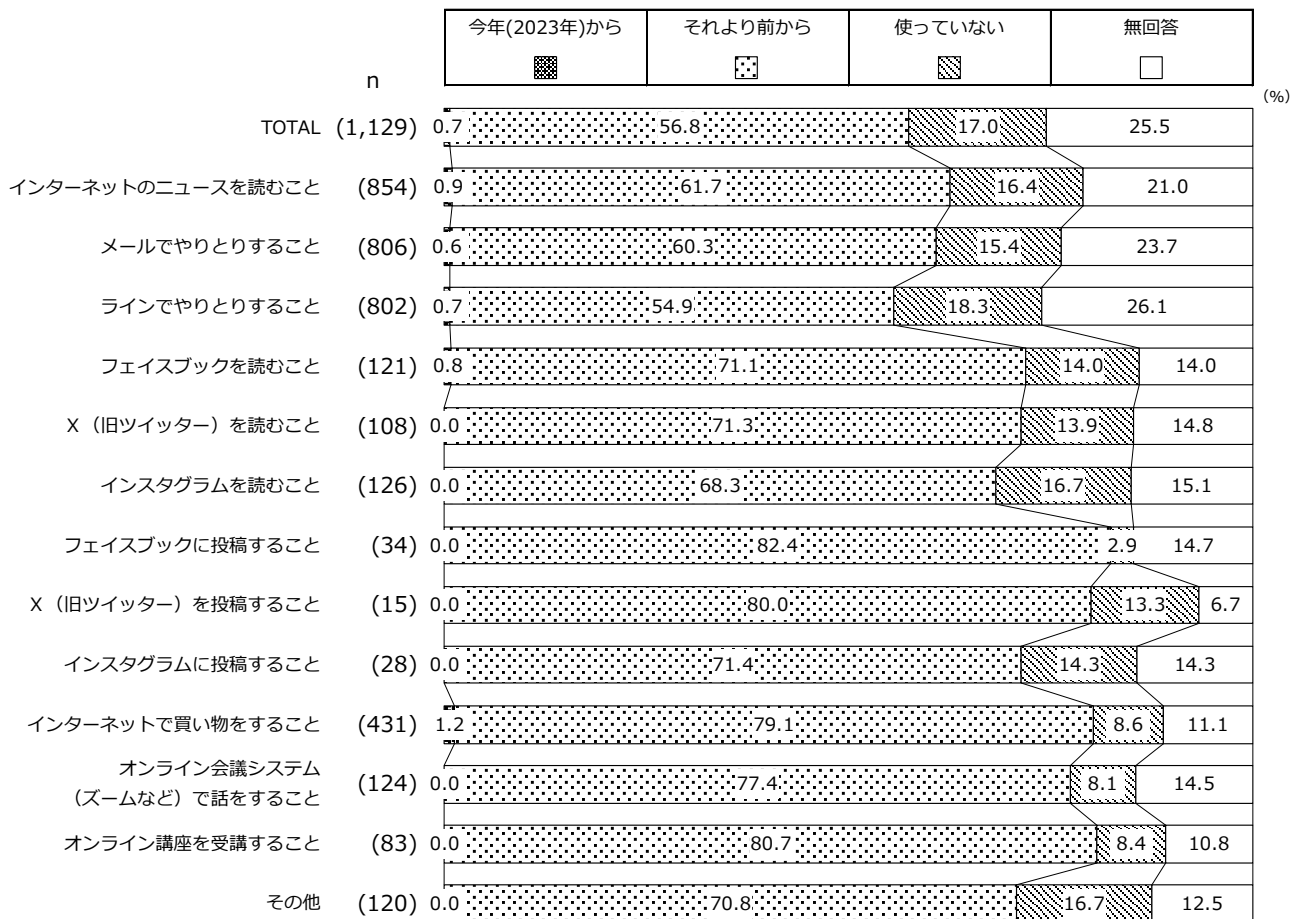


### 第3章 調査結果の詳細

インターネット利用目的別でみると、パソコンを『使っている』人では「フェイスブックに投稿すること」が82.4%と最も高く、次いで「オンライン講座を受講すること」が80.7%、「インターネットで買い物をする事」が80.3%の順となっている。

一方、パソコンを「使っていない」人では「ラインでやりとりすること」が18.3%と最も高く、次いで「インスタグラムを読むこと」「その他」がともに16.7%、「インターネットのニュースを読むこと」が16.4%の順となっている。

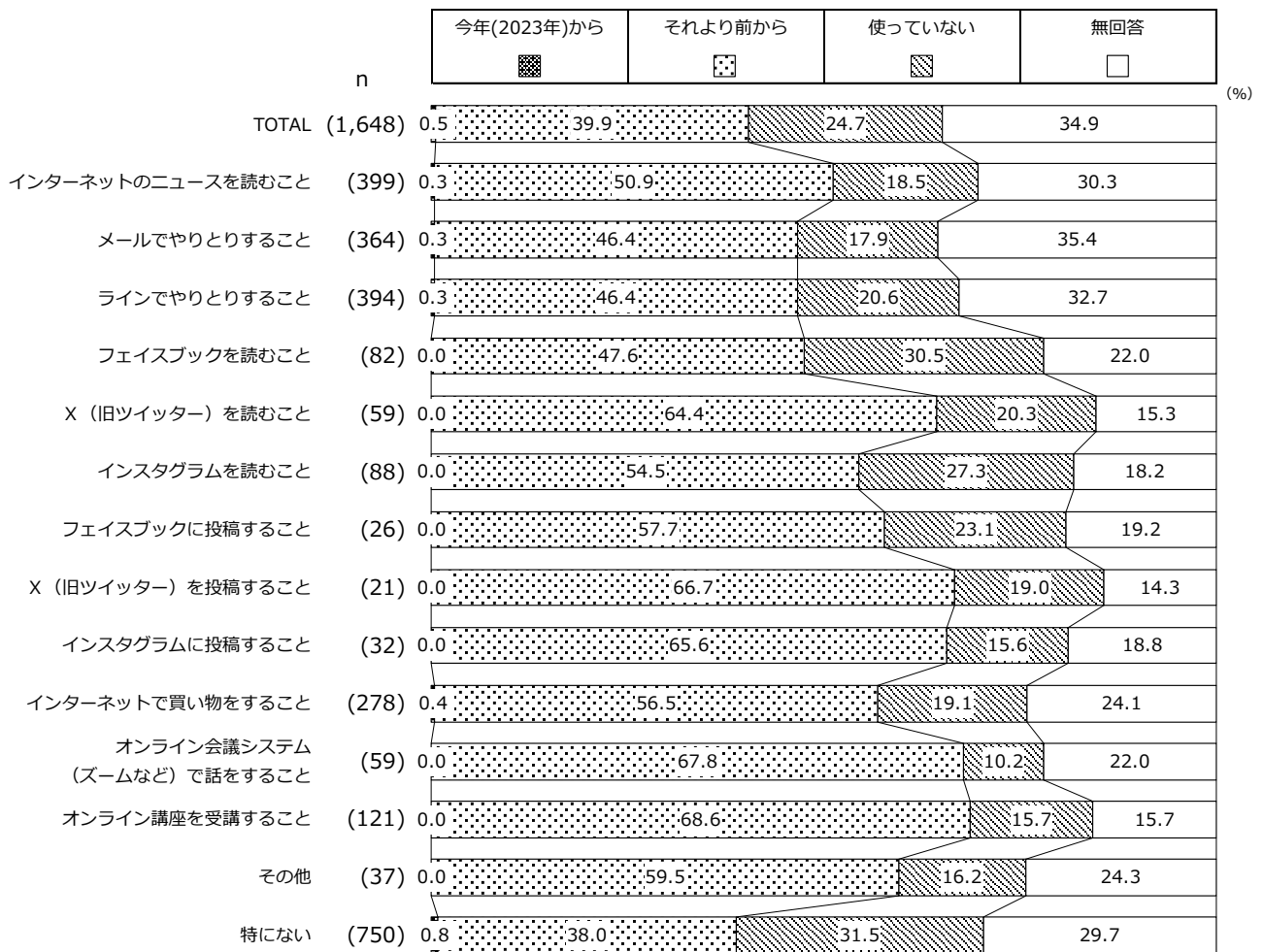
図表3-5-27 パソコンの利用状況：インターネット利用目的別



今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別でみると、パソコンを『使っている』人では「オンライン講座を受講すること」が68.6%と最も高く、次いで「オンライン会議システム（ズームなど）で話をする事」が67.8%、「X（旧ツイッター）を投稿すること」が66.7%の順となっている。

一方、パソコンを「使っていない」人では「特にない（31.5%）」を除くと「フェイスブックを読むこと」が30.5%と最も高く、次いで「インスタグラムを読むこと」が27.3%、「フェイスブックに投稿すること」が23.1%の順となっている。

**図表3-5-28 パソコンの利用状況：**  
**今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと別**

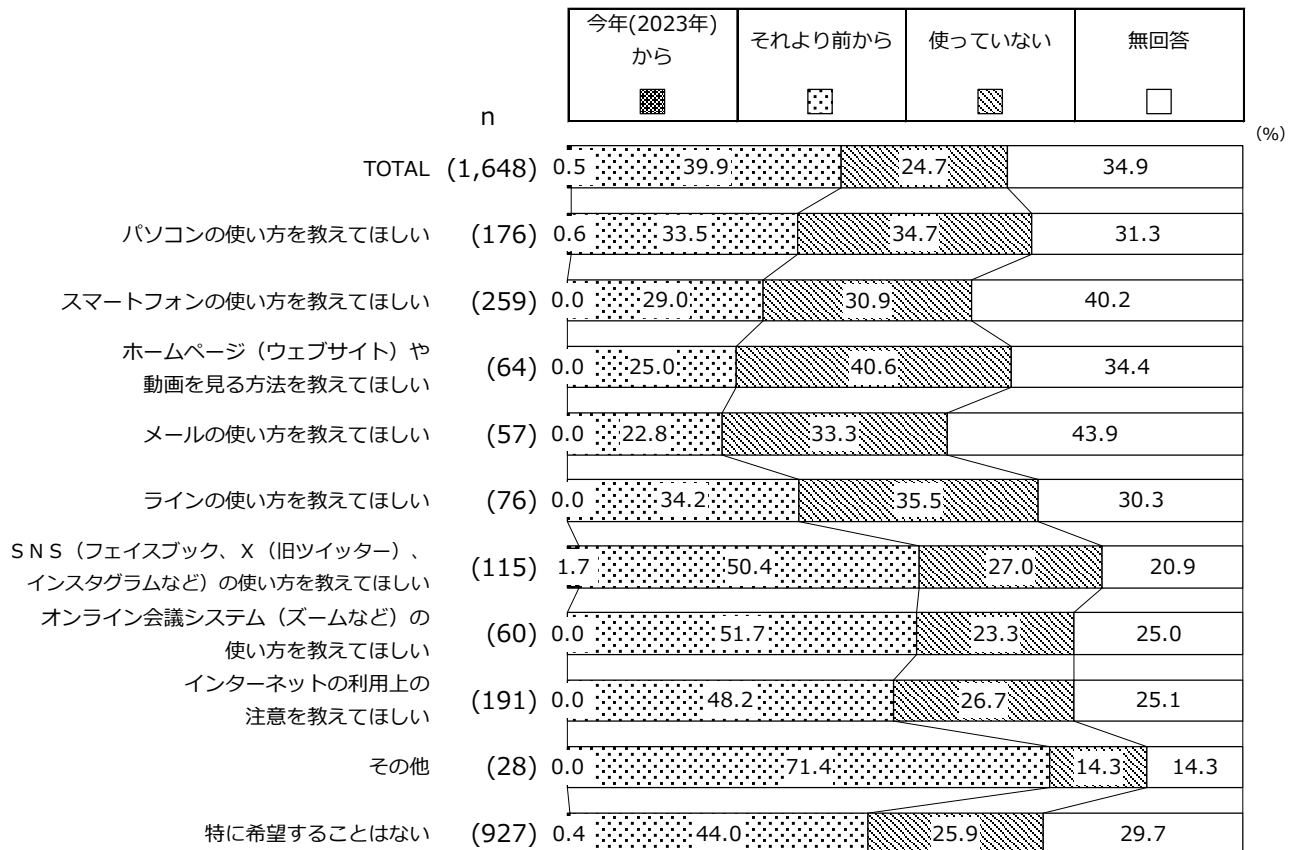


### 第3章 調査結果の詳細

インターネットの利用に関する希望別でみると、パソコンを『使っている』人では「その他」が71.4%と最も高く、次いで「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）の使い方を教えてほしい」が52.1%、「オンライン会議システム（ズームなど）の使い方を教えてほしい」が51.7%、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」が48.2%の順となっている。

一方、パソコンを「使っていない」人では「ホームページ（ウェブサイト）や動画を見る方法を教えてほしい」が40.6%と最も高く、次いで「ラインの使い方を教えてほしい」が35.5%、「パソコンの使い方を教えてほしい」が34.7%の順となっている。

図表3-5-29 パソコンの利用状況：インターネットの利用に関する希望別





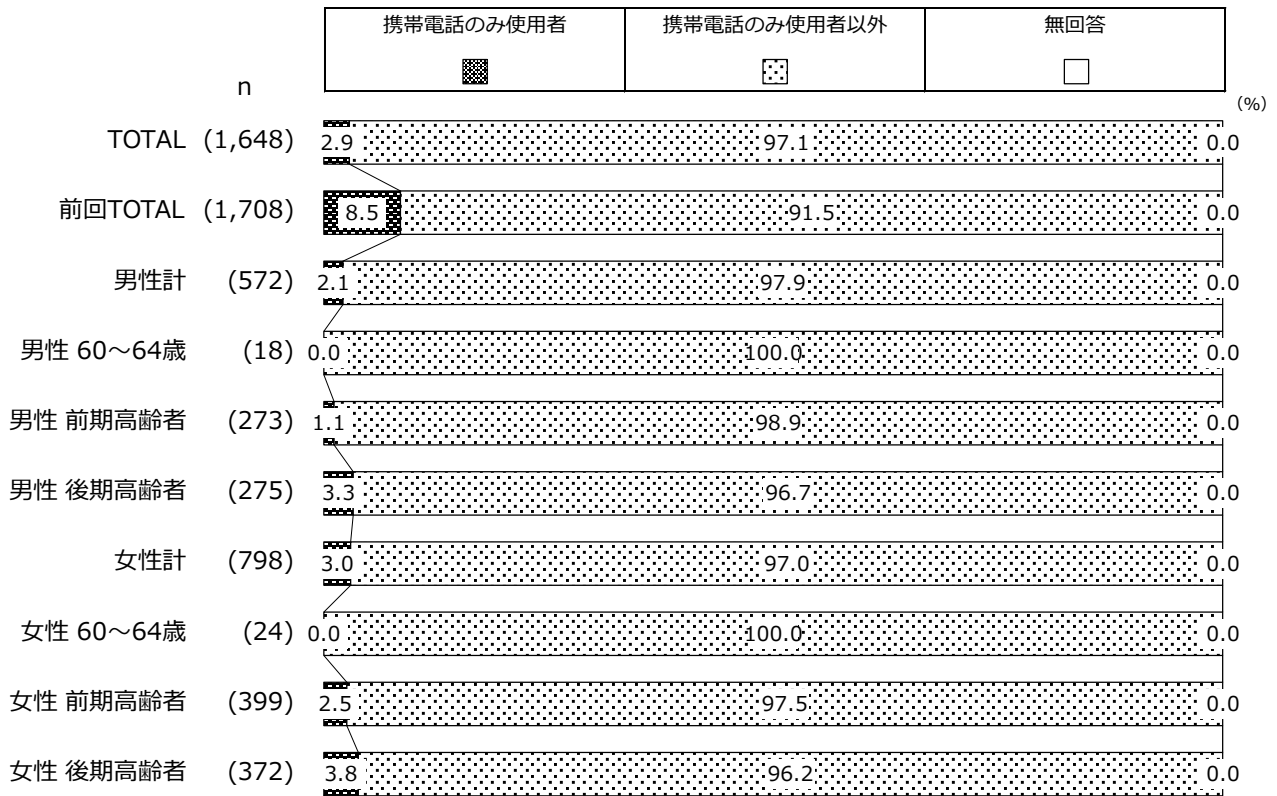
⑤携帯電話のみの利用者

携帯電話については「今年（2023年）から」または「それより前から」使っていると回答し、スマートフォン・タブレット・パソコンについては「使っていない」と回答した対象者を「携帯電話のみ利用者」とした。携帯電話のみの利用者は2.9%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。また、性年代別で見ると、「携帯電話のみ利用者」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

前回調査と比較すると、「携帯電話のみ利用者」が5.6ポイント低下している。

図表3-5-30 携帯電話のみの利用者：性年代別



(2) インターネットの利用状況

問26 あなた（宛名のご本人）は、インターネットをどのくらい利用していますか。去年と今年についてお答えください。（それぞれ○は1つ）

インターネットの利用状況について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年までは「全く利用しない」の方が「ほぼ毎日利用する」よりも高くなっていたのに対して、「ほぼ毎日利用する」は一貫して上昇しており、去年（2022年）には「ほぼ毎日利用する」の方が高い割合となっていた。新型コロナウイルス感染症予防に関連してリモートワークの動きが広まったことなどもその背景として考えられる。

図表3-5-31 インターネットの利用状況：経年比較

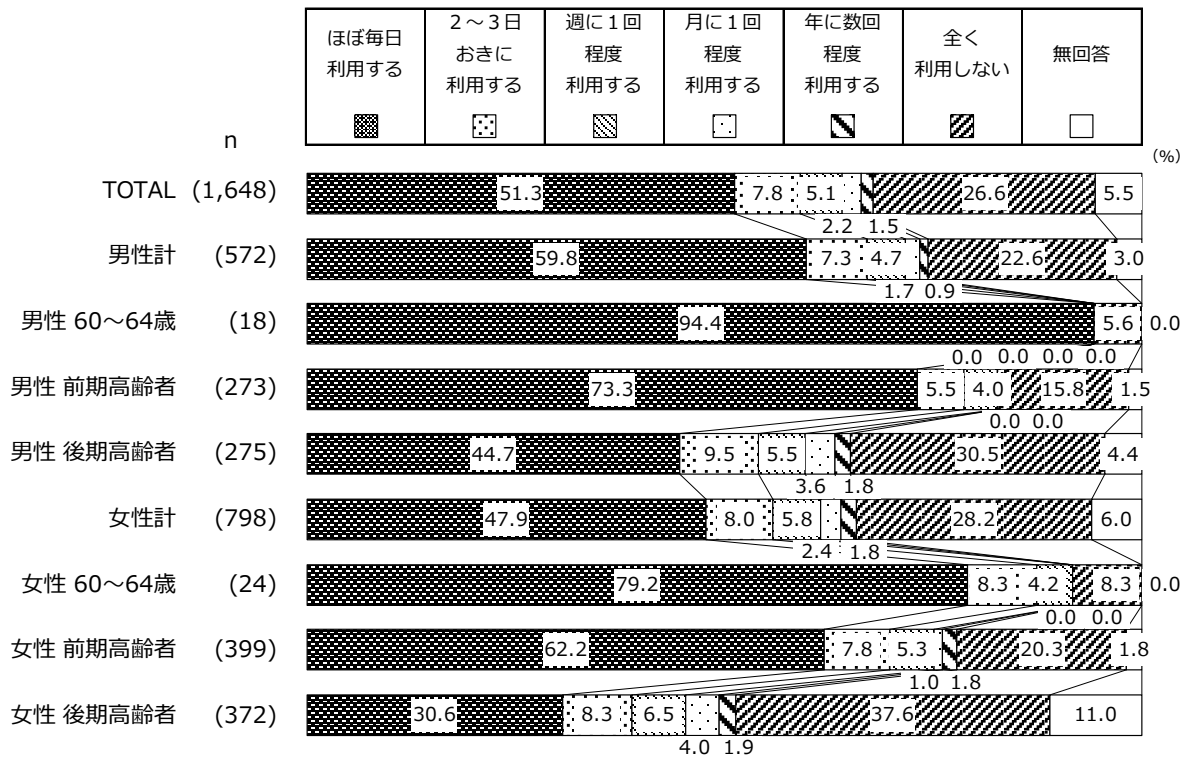


①去年（2022年）のインターネット利用状況

去年（2022年）のインターネット利用状況について、「ほぼ毎日利用する」が51.3%と最も高く、次いで「2～3日おきに利用する」が7.8%、「週に1回程度利用する」が5.1%の順となっている。一方、「全く利用しない」は26.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「ほぼ毎日利用する（59.8%）」が高く、女性では男性よりも「全く利用しない（28.2%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳・女性前期高齢者では「ほぼ毎日利用する（男性60～64歳94.4%・男性前期73.3%・女性60～64歳79.2%・女性前期62.2%）」が、女性後期高齢者では「全く利用しない（37.6%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「全く利用しない（男性60～64歳5.6%・男性前期15.8%・女性60～64歳8.3%）」が、女性後期高齢者では「ほぼ毎日利用する（30.6%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「ほぼ毎日利用する」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「週に1回程度利用する」「全く利用しない」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「ほぼ毎日利用する」は男女ともに加齢に伴い低下、「週に1回程度利用する」「全く利用しない」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

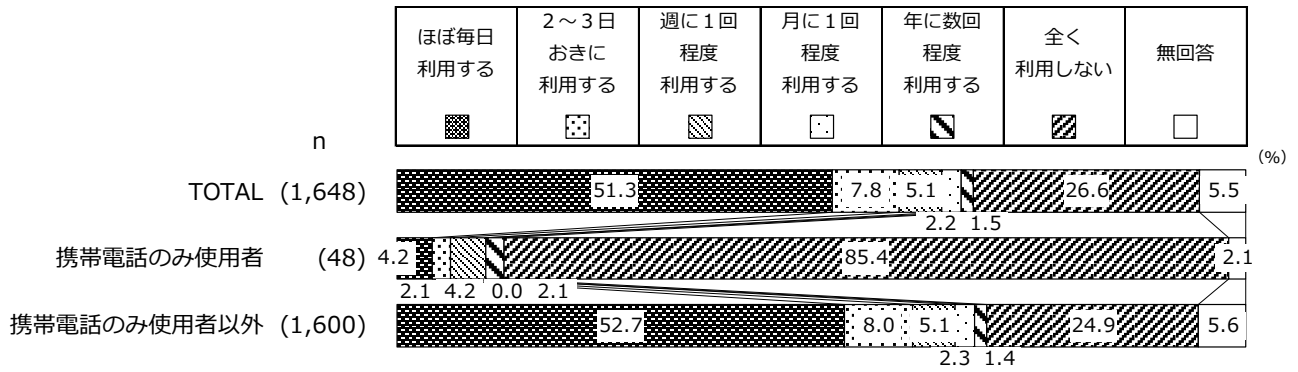
図表3-5-32 去年（2022年）のインターネット利用状況：性年代別



第3章 調査結果の詳細

携帯電話のみの利用状況別にみると、携帯電話のみ使用者ではインターネットを「全く利用しない」が85.4%と顕著に高くなっている。

図表3-5-33 去年(2022年)のインターネット利用状況：携帯電話のみの利用状況別

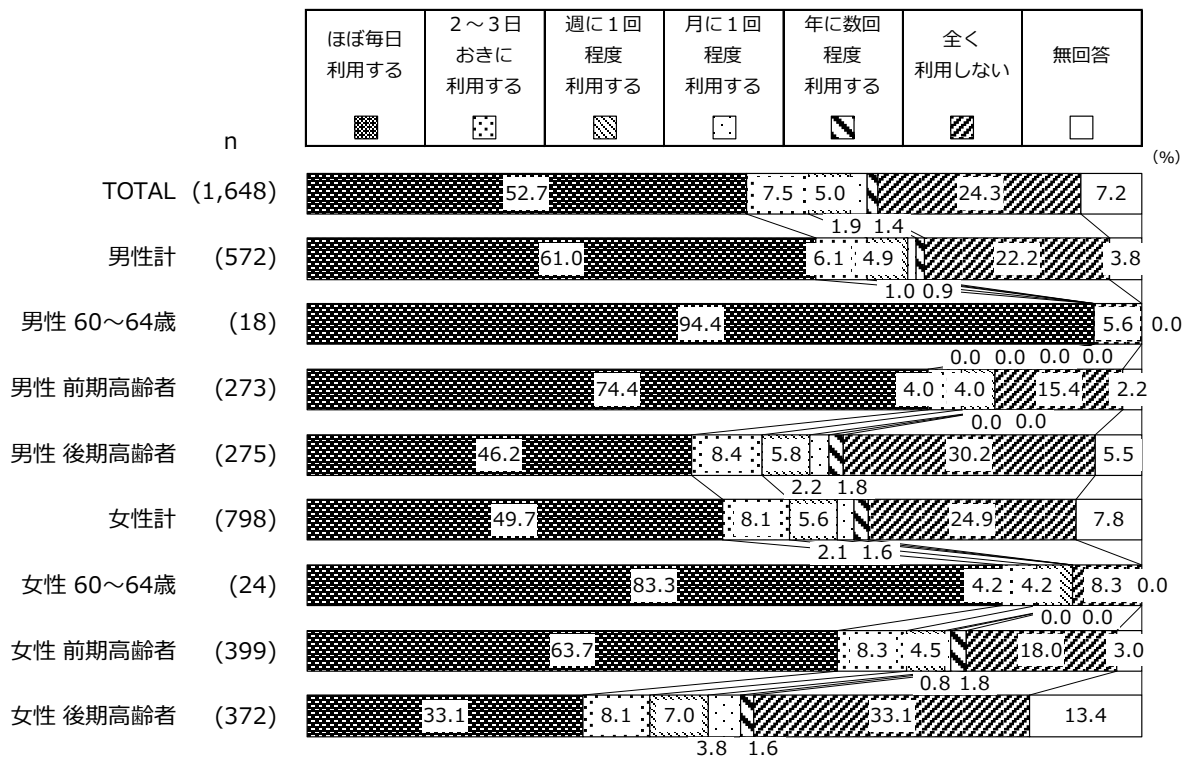


②今年（2023年）のインターネット利用状況

今年（2023年）のインターネット利用状況について、利用していると回答している人の中では「ほぼ毎日利用する」が52.7%と最も高く、次いで「2～3日おきに利用する」が7.5%、「週に1回程度利用する」が5.0%の順となっている。一方、「全く利用しない」は24.3%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「ほぼ毎日利用する（61.0%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳・女性前期高齢者では「ほぼ毎日利用する（男性60～64歳94.4%・男性前期74.4%・女性60～64歳83.3%・女性前期63.7%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「全く利用しない（男性60～64歳5.6%・女性60～64歳8.3%）」が、女性後期高齢者では「ほぼ毎日利用する（33.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「ほぼ毎日利用する」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「週に1回程度利用する」「全く利用しない」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「ほぼ毎日利用する」は男女ともに加齢に伴い低下、「週に1回程度利用する」「全く利用しない」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

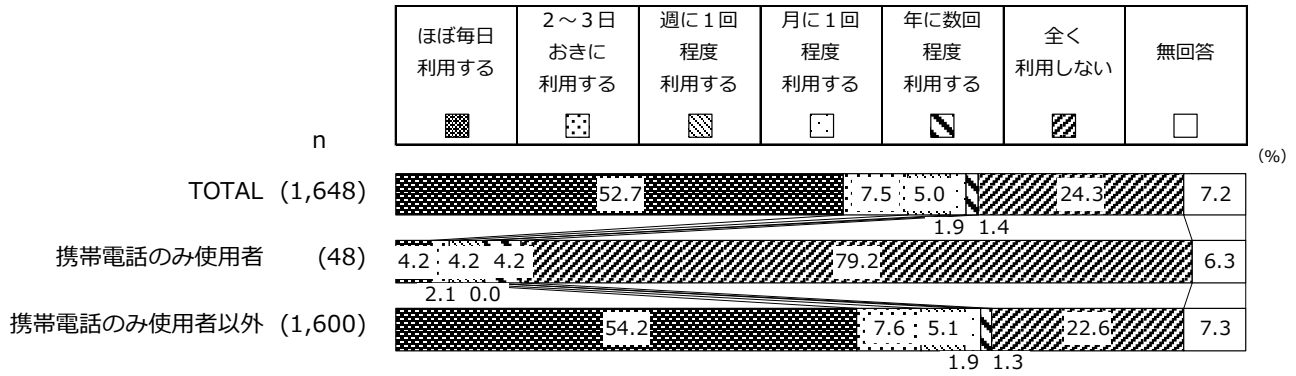
図表3-5-34 今年（2023年）のインターネット利用状況：性年代別



### 第3章 調査結果の詳細

携帯電話のみの利用状況別にみると、携帯電話のみ使用者ではインターネットを「全く利用しない」が79.2%と顕著に高くなっているものの、去年（2022年）の「全く利用しない（85.4%）」からは6.2ポイント低下しており、インターネットの利用率が増加していることがうかがえる。

図表3-5-35 今年（2023年）のインターネット利用状況：携帯電話のみの使用状況別



## (3) インターネットで行っていること

【問26で今年「1. ほぼ毎日利用する」～「5. 年に数回程度利用する」とお答えの方に  
 おうかがいします。】

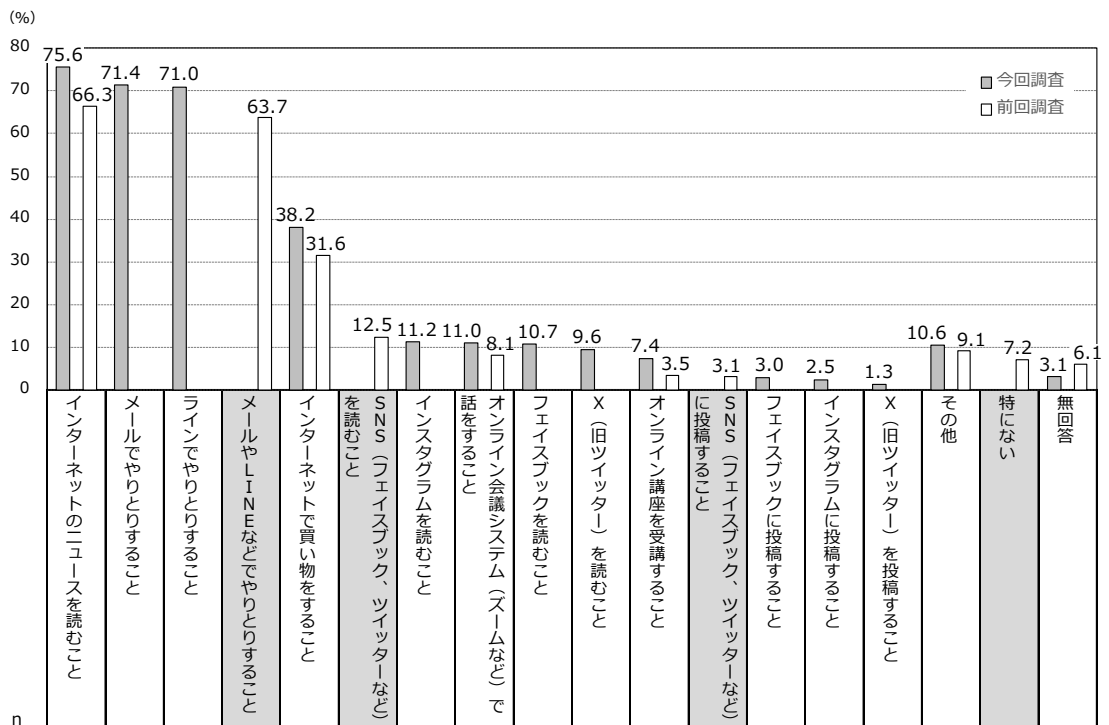
## 問26-1 インターネットでのどのようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

インターネットで行っていることについては、「インターネットのニュースを読むこと」が75.6%と最も高く、次いで「メールでやりとりすること」が71.4%、「ラインでやりとりすること」が71.0%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「インターネットのニュースを読むこと（81.3%）」「インターネットで買い物をする（42.8%）」「フェイスブックを読むこと（14.7%）」「X（旧ツイッター）を読むこと（13.2%）」が高く、女性では男性よりも「ラインでやりとりすること（81.6%）」「Instagramを読むこと（14.7%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「インターネットのニュースを読むこと」「ラインでやりとりすること」（左記2項目はともに88.2%）「メールでやりとりすること（82.4%）」「インターネットで買い物をする（70.6%）」「フェイスブックを読むこと」「X（旧ツイッター）を読むこと」「オンライン会議システム（ズームなど）で話をする（左記3項目はすべて41.2%）」「Instagramを読むこと（29.4%）」「フェイスブックに投稿すること（23.5%）」「X（旧ツイッター）を投稿すること（11.8%）」が、男性前期高齢者では「インターネットのニュースを読むこと（86.7%）」「インターネットで買い物をする（50.7%）」が、女性60～64歳では「インターネットのニュースを読むこと」「ラインでやりとりすること」（左記2項目はともに86.4%）「インターネットで買い物をする（59.1%）」が、女性前期高齢者では「ラインでやりとりすること（85.1%）」が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「ラインでやりとりすること（53.1%）」が、女性後期高齢者では「インターネットのニュースを読むこと（57.8%）」「インターネットで買い物をする（23.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「インターネットのニュースを読むこと」「ラインでやりとりすること」「Instagramに投稿すること」「インターネットで買い物をする」は男女ともに加齢に伴い低下、「メールでやりとりすること」は女性では加齢に伴って上昇しているのに対して男性では低下している。

前回調査と比較すると、「インターネットのニュースを読むこと」が9.3ポイント上昇、「インターネットで買い物をする」が6.6ポイント上昇している。

図表3-5-36 インターネットで行っていること：性年代別



n	今回調査 (%)	前回調査 (%)
TOTAL	1,129	906
前回TOTAL	906	906
男性計	423	315
男性 60~64歳	17	17
男性 前期高齢者	225	225
男性 後期高齢者	177	177
女性計	537	537
女性 60~64歳	22	22
女性 前期高齢者	315	315
女性 後期高齢者	199	199

※前回調査では「メールやLINEなどでやりとりすること」としていた選択肢を今回調査では「メールでやりとりすること」「ラインでやりとりすること」に、同じく「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)を読むこと」を「フェイスブックを読むこと」「X (旧ツイッター)を読むこと」「インスタグラムを読むこと」に、「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)に投稿すること」を「フェイスブックに投稿すること」「X (旧ツイッター)を投稿すること」「インスタグラムに投稿すること」に、それぞれ変更している。

※また、今回調査では「特にな



## (4) 今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと

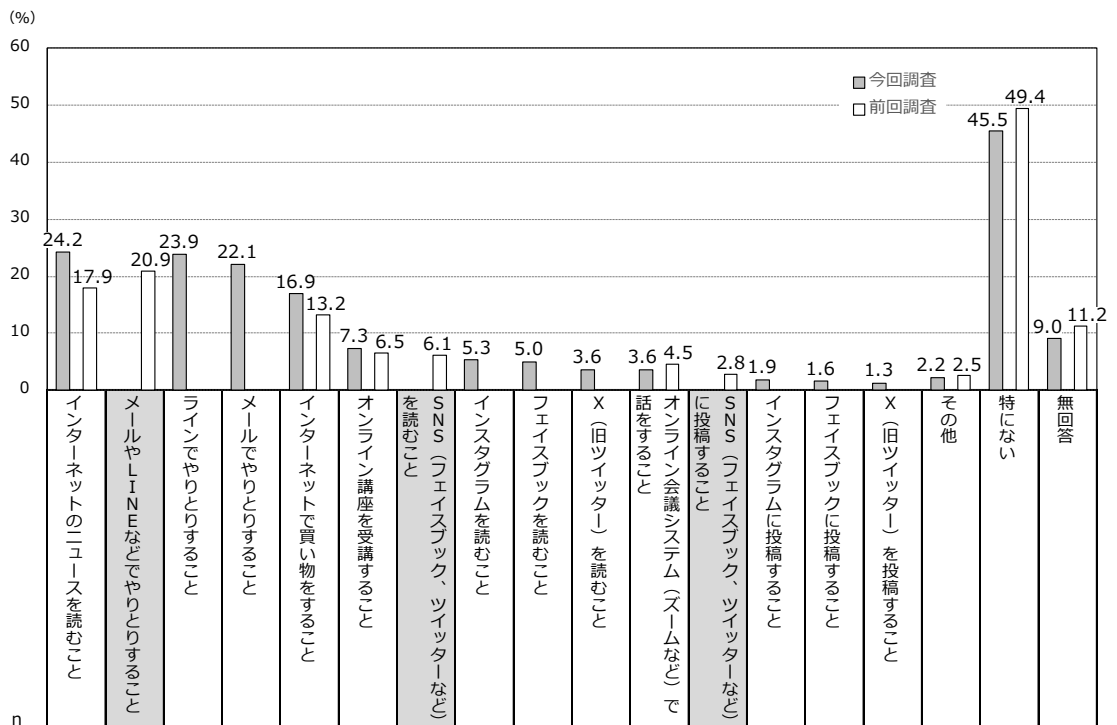
問27 あなた（宛名のご本人）は今後、インターネットの利用を増やしたいこと、またはインターネットで新しく始めたいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいことについては、「特にない」の45.5%を除くと、「インターネットのニュースを読むこと」が24.2%と最も高く、次いで「ラインでやりとりすること」が23.9%、「メールでやりとりすること」が22.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「インターネットのニュースを読むこと（29.9%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「特にない（55.6%）」「インターネットで買い物をすること（27.8%）」「オンライン講座を受講すること（22.2%）」「フェイスブックを読むこと」「X（旧ツイッター）を読むこと」（左記2項目はともに16.7%）が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では「メールでやりとりすること（8.3%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「メールでやりとりすること」は男女ともに加齢に伴い上昇、「フェイスブックに投稿すること」は女性では加齢に伴って上昇しているのに対して男性では低下、「オンライン講座を受講すること」「X（旧ツイッター）を読むこと」「オンライン会議システム（ズームなど）で話をする」「Instagramに投稿すること」「X（旧ツイッター）を投稿すること」「特にない」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、「インターネットのニュースを読むこと」が6.3ポイント上昇している。

図表3-5-37 今後、インターネットの利用を増やしたいこと・新しく始めたいこと：性年代別



n	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	
TOTAL	1,648	399	-	394	364	278	121	-	88	82	59	59	-	32	26	21	37	750	149
前回TOTAL	1,708	17.9	20.9	-	-	13.2	6.5	6.1	-	-	-	4.5	2.8	-	-	-	2.5	49.4	11.2
男性計	572	29.9	-	23.1	24.1	16.4	7.3	-	5.2	5.4	5.8	4.5	-	2.1	1.4	2.3	2.3	44.4	6.8
男性 60~64歳	18	33.3	-	22.2	22.2	27.8	22.2	-	11.1	16.7	16.7	11.1	-	11.1	11.1	11.1	0.0	55.6	0.0
男性 前期高齢者	273	31.5	-	25.3	24.2	17.2	9.9	-	7.7	8.4	8.4	5.9	-	3.3	2.2	3.7	1.5	45.4	3.7
男性 後期高齢者	275	28.0	-	20.7	24.4	14.5	4.0	-	2.2	1.5	2.2	2.9	-	0.4	0.0	0.4	3.3	42.9	10.2
女性計	798	20.9	-	27.3	21.7	17.9	7.5	-	6.3	5.0	2.5	2.4	-	1.8	1.8	0.6	2.4	46.9	8.1
女性 60~64歳	24	20.8	-	20.8	8.3	20.8	16.7	-	8.3	0.0	4.2	4.2	-	4.2	0.0	4.2	0.0	54.2	4.2
女性 前期高齢者	399	25.1	-	28.6	22.1	22.6	9.5	-	9.0	6.0	3.5	2.8	-	2.5	1.0	0.8	3.5	47.1	3.3
女性 後期高齢者	372	16.7	-	26.6	22.3	12.9	4.8	-	3.2	4.3	1.3	1.9	-	0.8	2.7	0.3	1.3	45.7	13.7

※前回調査では「メールやLINEなどでやりとりすること」としていた選択肢を今回調査では「メールでやりとりすること」「ラインでやりとりすること」に、同じく「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)を読むこと」を「フェイスブックを読むこと」「X (旧ツイッター)を読むこと」「インスタグラムを読むこと」に、「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)に投稿すること」を「フェイスブックに投稿すること」「X (旧ツイッター)を投稿すること」「インスタグラムに投稿すること」に、それぞれ変更している。

(5) インターネットの利用に関する希望

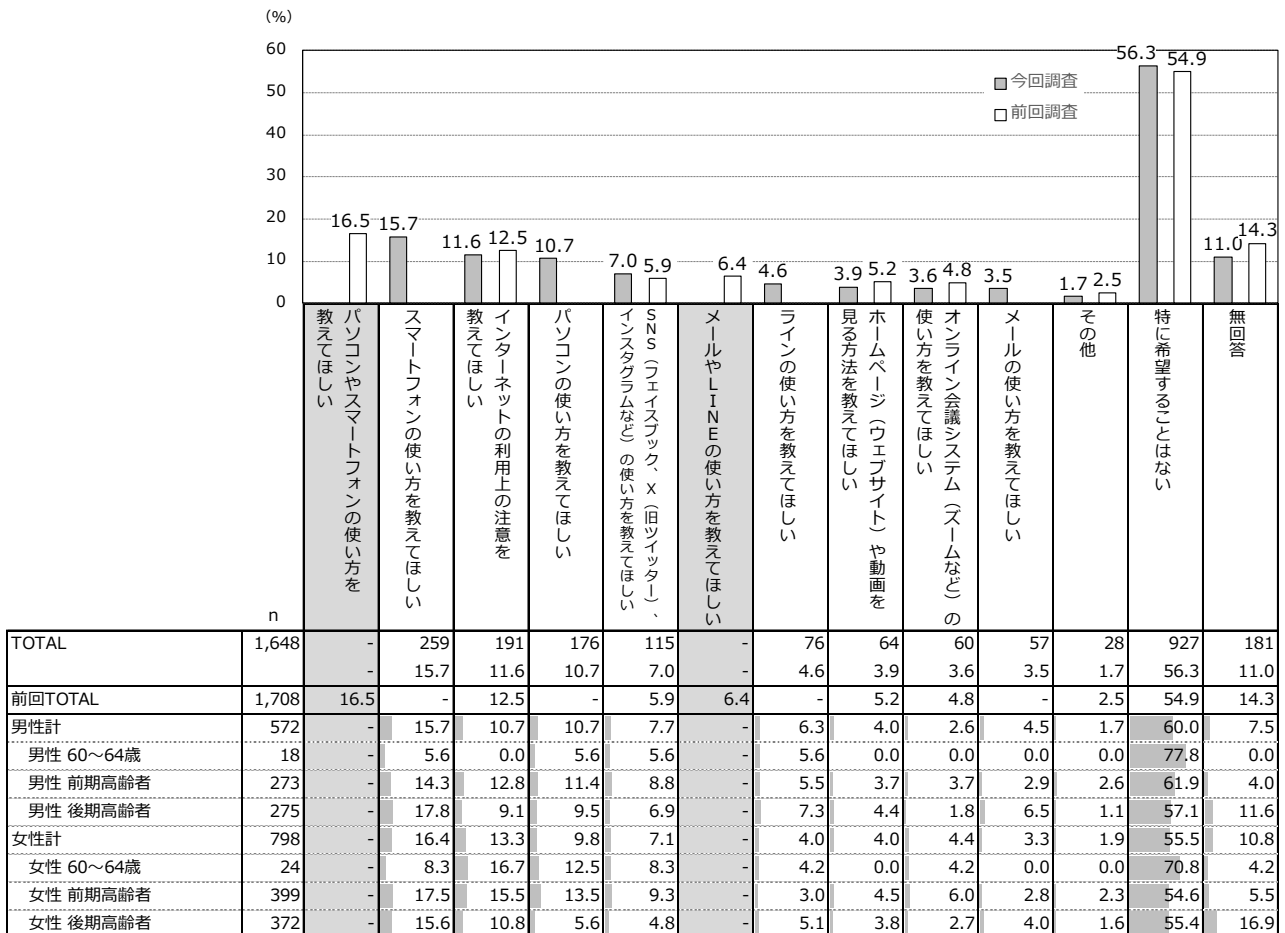
問28 インターネットの利用に関して、どんなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

インターネットの利用に関する希望については、「特に希望することはない」の56.3%を除くと「スマートフォンの使い方を教えてほしい」が15.7%と最も高く、次いで、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」が11.6%、「パソコンの使い方を教えてほしい」が10.7%の順となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。性年代別でみると、「ラインの使い方を教えてほしい」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。また、男性60～64歳・女性60～64歳では「特に希望することはない（男性60～64歳77.8%・女性60～64歳70.8%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「スマートフォンの使い方を教えてほしい（5.6%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-5-38 インターネットの利用に関する希望：性年代別



※前回調査では「パソコンやスマートフォンの使い方を教えてほしい」としていた選択肢を今回調査では「パソコンの使い方を教えてほしい」「スマートフォンの使い方を教えてほしい」に、同じく「メールやLINEの使い方を教えてほしい」を「メールの使い方を教えてほしい」「ラインの使い方を教えてほしい」に、「SNS（フェイスブック、ツイッターなど）の使い方を教えてほしい」を「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）の使い方を教えてほしい」に、それぞれ変更している。

### 第3章 調査結果の詳細

今年（2023年）のインターネット利用状況別でみると、「2～3日おきに利用する」では「特に希望することはない（37.4%）」がその他の利用頻度と比べて低く、「スマートフォンの使い方を教えてほしい（32.5%）」「オンライン会議システム（ズームなど）の使い方を教えてほしい（9.8%）」が高くなっている。また、「月に1回程度利用する」では「スマートフォンの使い方を教えてほしい（29.0%）」が、「年に数回程度利用する」では「インターネットの利用上の注意を教えてほしい（21.7%）」が、それぞれその他の利用頻度と比べて高くなっている。

図表3-5-39 インターネットの利用に関する希望：今年（2023年）のインターネット利用状況別

	n	スマートフォンの使い方を教えてほしい	インターネットの利用上の注意を 教えてほしい	パソコンの使い方を教えてほしい	SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、 インスタグラムなど）の使い方を教えてほしい	ラインの使い方を教えてほしい	ホームページ（ウェブサイト）や動画を 見る方法を教えてほしい	オンライン会議システム（ズームなど）の 使い方を教えてほしい	メールの使い方を教えてほしい	その他	特に希望することはない	無回答
TOTAL	1,648	15.7	11.6	10.7	7.0	4.6	3.9	3.6	3.5	1.7	56.3	11.0
ほぼ毎日利用する	869	13.0	13.8	10.6	9.7	4.3	3.0	4.3	2.5	2.3	59.8	4.4
2～3日おきに利用する	123	32.5	20.3	15.4	10.6	7.3	9.8	9.8	4.1	0.8	37.4	5.7
週に1回程度利用する	83	25.3	10.8	15.7	4.8	6.0	7.2	3.6	3.6	1.2	50.6	9.6
月に1回程度利用する	31	29.0	12.9	19.4	3.2	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	41.9	12.9
年に数回程度利用する	23	26.1	21.7	13.0	17.4	13.0	13.0	4.3	8.7	0.0	47.8	4.3
全く利用しない	400	14.0	5.5	9.0	2.0	3.8	3.5	1.5	5.5	1.5	64.0	15.3

## 6. 地域活動などへの参加状況について

### (1) 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動

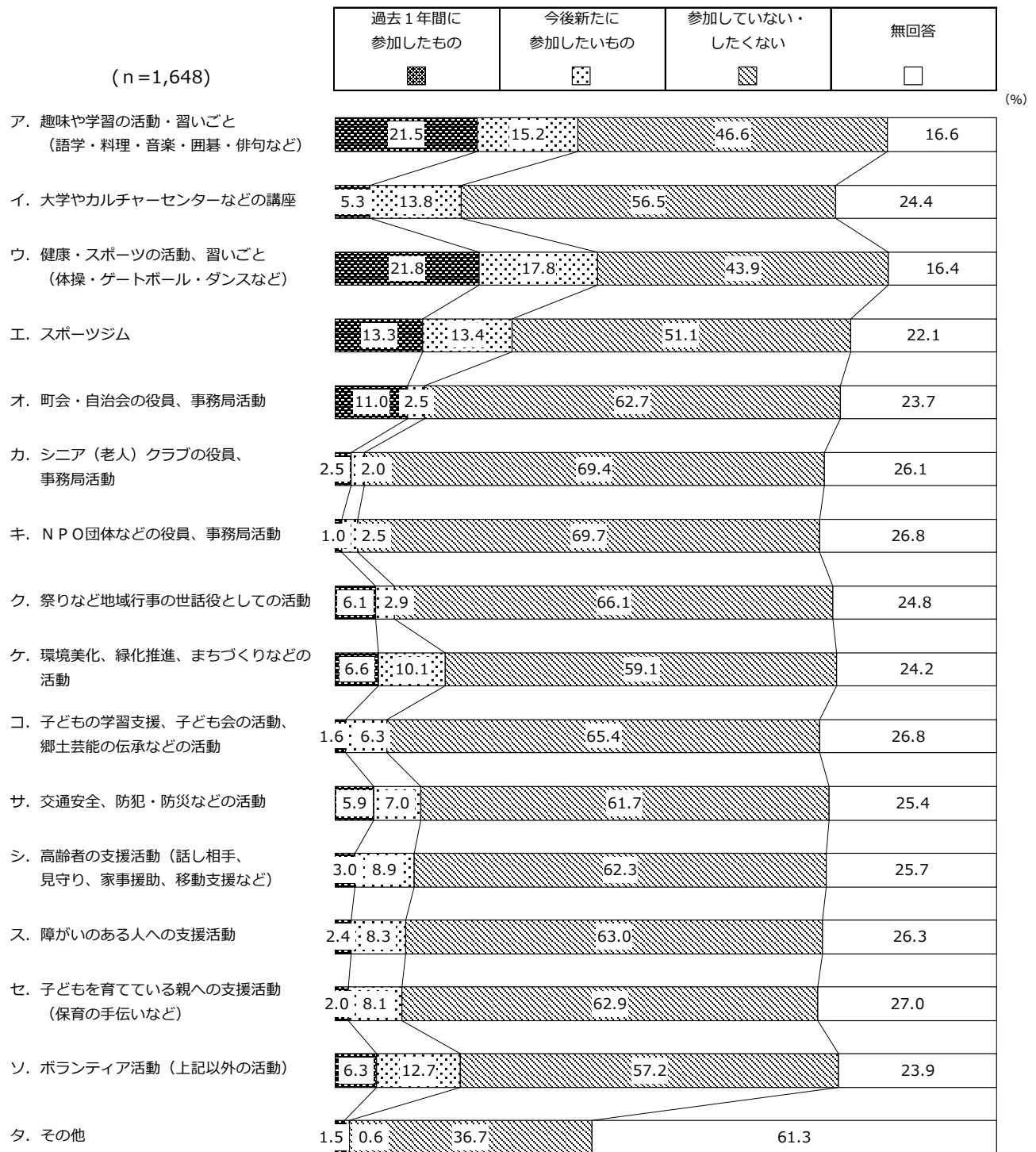
**問29** あなた（宛名のご本人）は過去1年間に、個人・団体で次のような活動に参加したことがありますか（手伝いも含む）。また、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

過去1年間に参加した活動及び今後新たに参加したい活動について、「過去1年間に参加したもの」では、「健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）」が21.8%と最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）」が21.5%、「スポーツジム」が13.3%の順となっている。また、「今後新たに参加したいもの」では、「健康・スポーツの活動、習いごと」が17.8%と最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと」が15.2%、「大学やカルチャーセンターなどの講座」が13.8%の順となっている。

なお、いずれかの選択肢に「過去1年間に参加したもの」と回答した人は778人（47.2%）、すべての選択肢に「参加していない・したくない」と回答した人は302人（18.3%）、それ以外の人（568人（34.5%））であった。

### 第3章 調査結果の詳細

図表3-6-1 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動



※前回調査では「趣味や学習の活動・習いごと(語学・音楽・囲碁・俳句など)」「老人クラブの役員、事務局活動」としていた選択肢を、今回調査では「趣味や学習の活動・習いごと(語学・料理・音楽・囲碁・俳句など)」「シニア(老人)クラブの役員、事務局活動」にそれぞれ変更している。

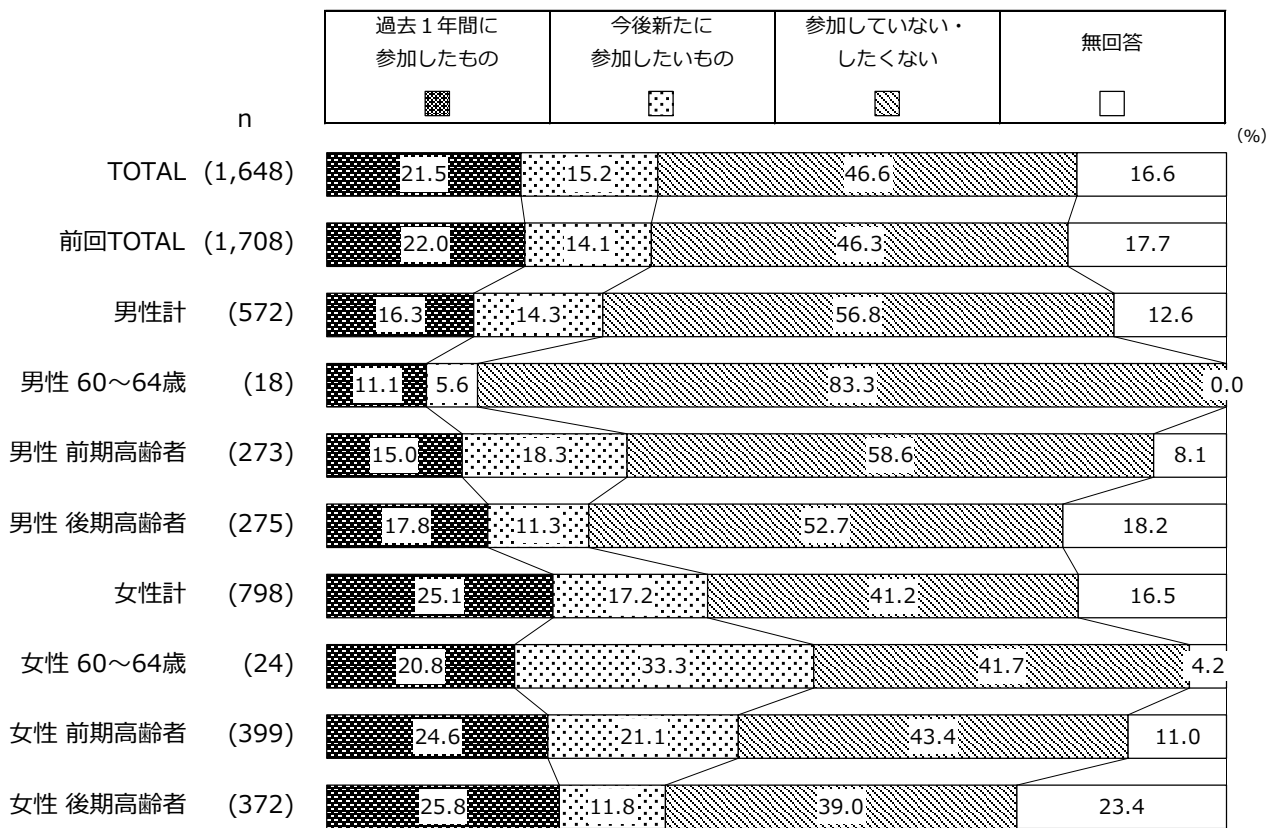
①趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）

趣味や学習の活動・習いごとについては、「過去1年間に参加したもの」が21.5%、「今後新たに参加したいもの」が15.2%となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（56.8%）」が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの（25.1%）」が高くなっている。性年代別でみると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない（男性60～64歳83.3%・男性前期58.6%）」が、女性60～64歳では「今後新たに参加したいもの（33.3%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「過去1年間に参加したもの（11.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「過去1年間に参加したもの」「今後新たに参加したいもの」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「参加していない・したくない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「過去1年間に参加したもの」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-2 趣味や学習の活動・習いごとへの参加状況・参加意向：性年代別



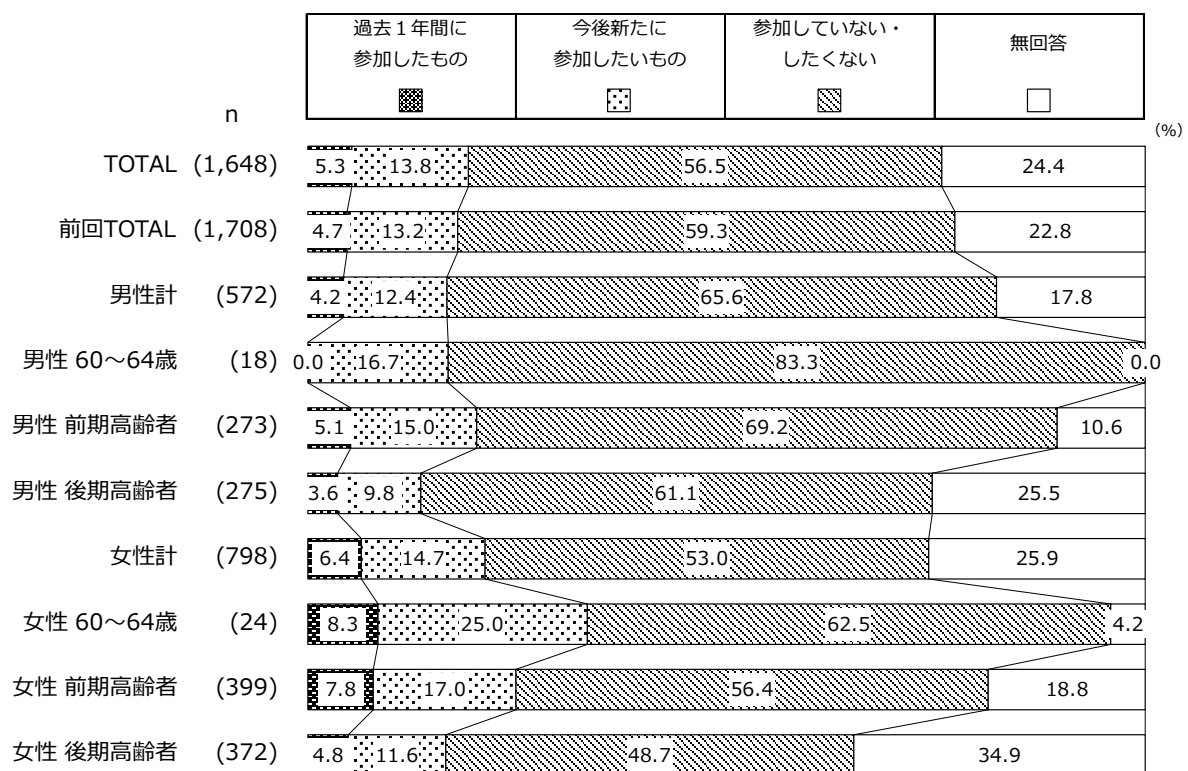
②大学やカルチャーセンターなどの講座

大学やカルチャーセンターなどの講座については、「過去1年間に参加したもの」が5.3%、「今後新たに参加したいもの」が13.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（65.6%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない（男性60～64歳83.3%・男性前期69.2%）」が、女性60～64歳では「今後新たに参加したいもの（25.0%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「今後新たに参加したいもの」「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-3 大学やカルチャーセンターなどの講座への参加状況・参加意向：性年代別





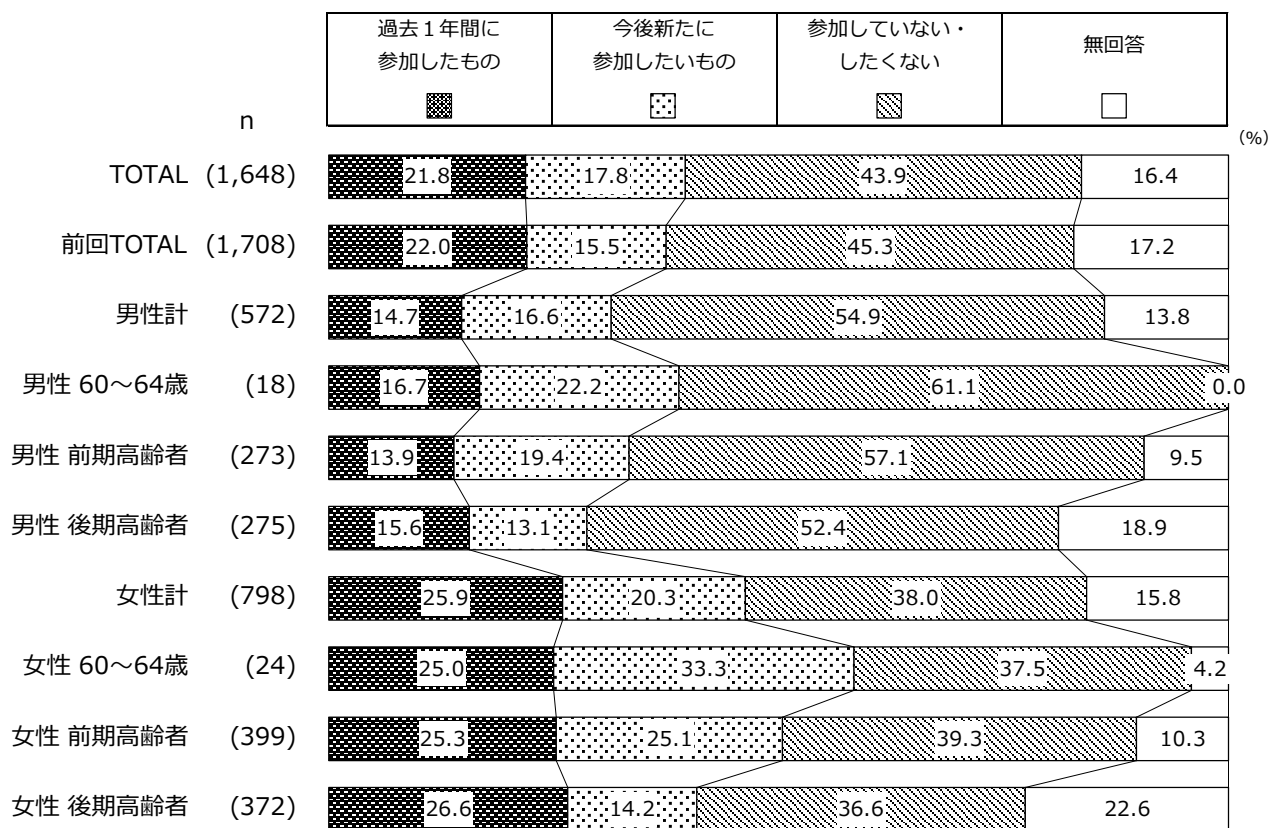
③健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）

健康・スポーツの活動、習いごとについては、「過去1年間に参加したもの」が21.8%、「今後新たに参加したいもの」が17.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（54.9%）」が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの（25.9%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない（男性60～64歳61.1%・男性前期57.1%）」が、女性60～64歳では「今後新たに参加したいもの（33.3%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「過去1年間に参加したもの」「今後新たに参加したいもの」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「参加していない・したくない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「今後新たに参加したいもの」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-4 健康・スポーツの活動、習いごとへの参加状況・参加意向：性年代別



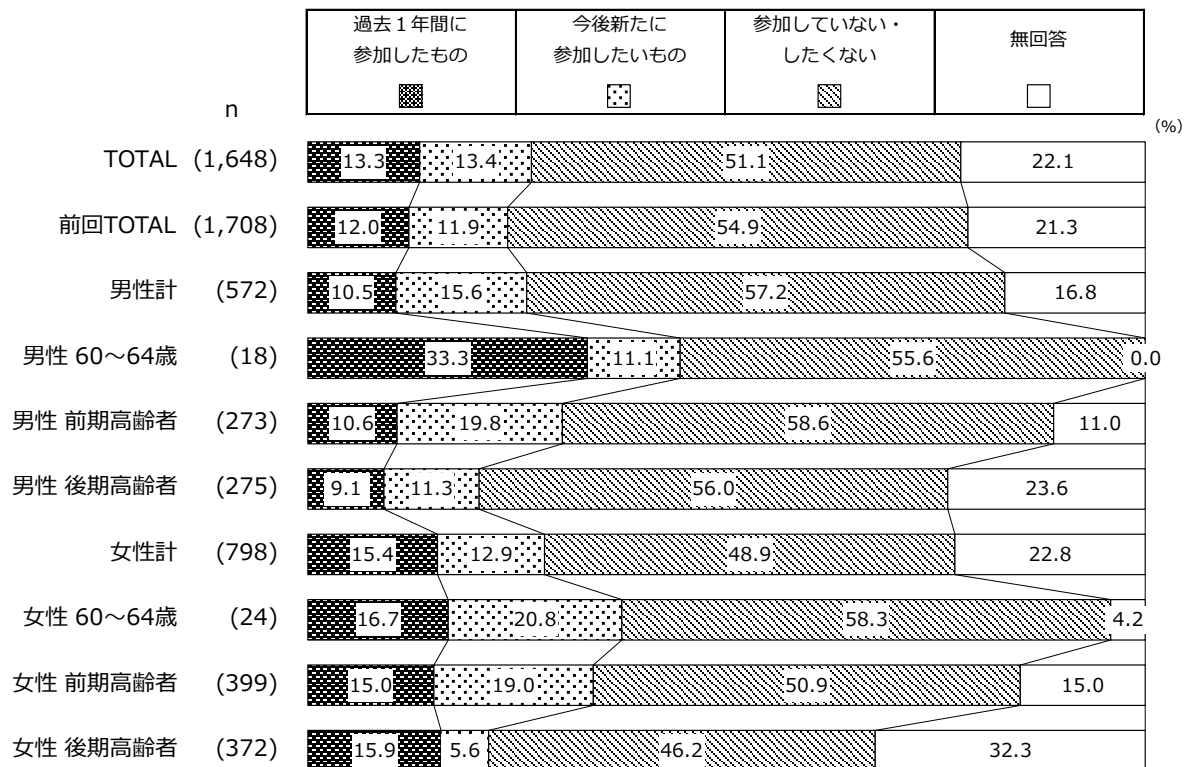
④スポーツジム

スポーツジムについては、「過去1年間に参加したもの」が13.3%、「今後新たに参加したいもの」が13.4%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない (57.2%)」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「過去1年間に参加したもの (33.3%)」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-5 スポーツジムへの参加状況・参加意向：性年代別



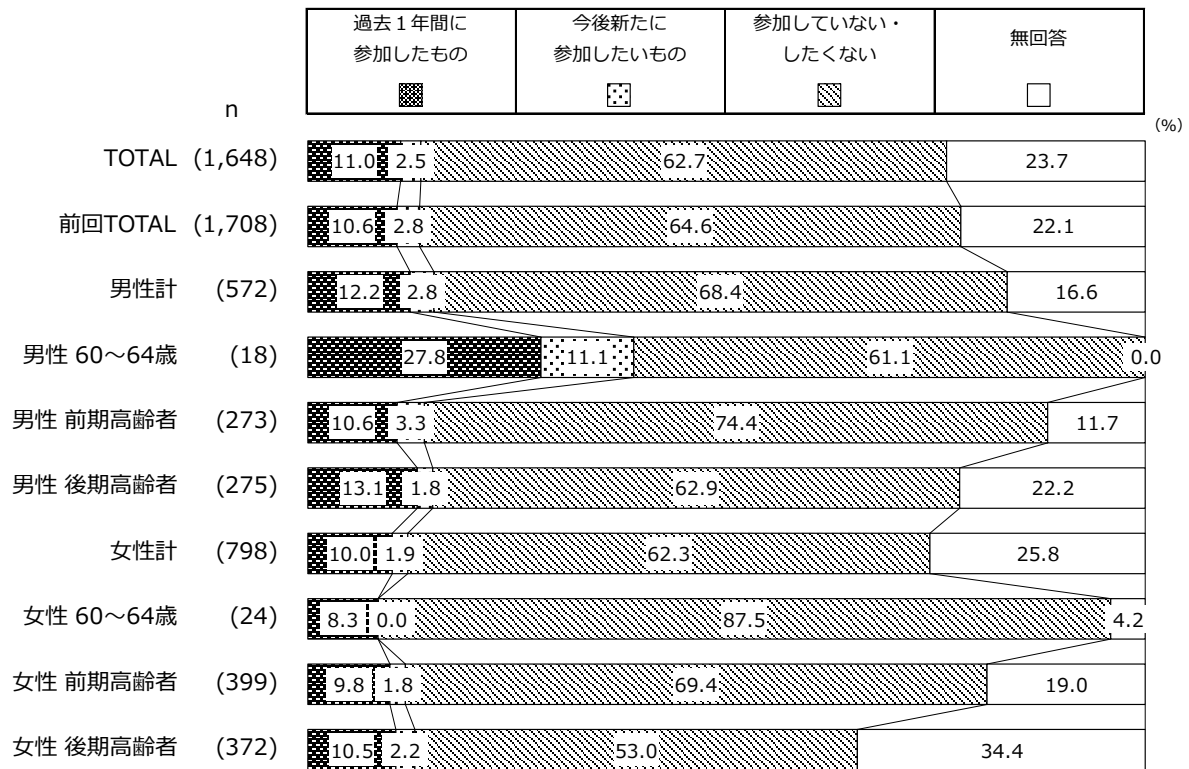
⑤町会・自治会の役員、事務局活動

町会・自治会の役員、事務局活動については、「過去1年間に参加したもの」が11.0%、「今後新たに参加したいもの」が2.5%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（68.4%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「過去1年間に参加したもの（27.8%）」が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性前期74.4%・女性60～64歳87.5%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「今後新たに参加したいもの」は女性では加齢に伴って上昇しているのに対して男性では低下している。一方、「過去1年間に参加したもの」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-6 町会・自治会の役員、事務局活動への参加状況・参加意向：性年代別



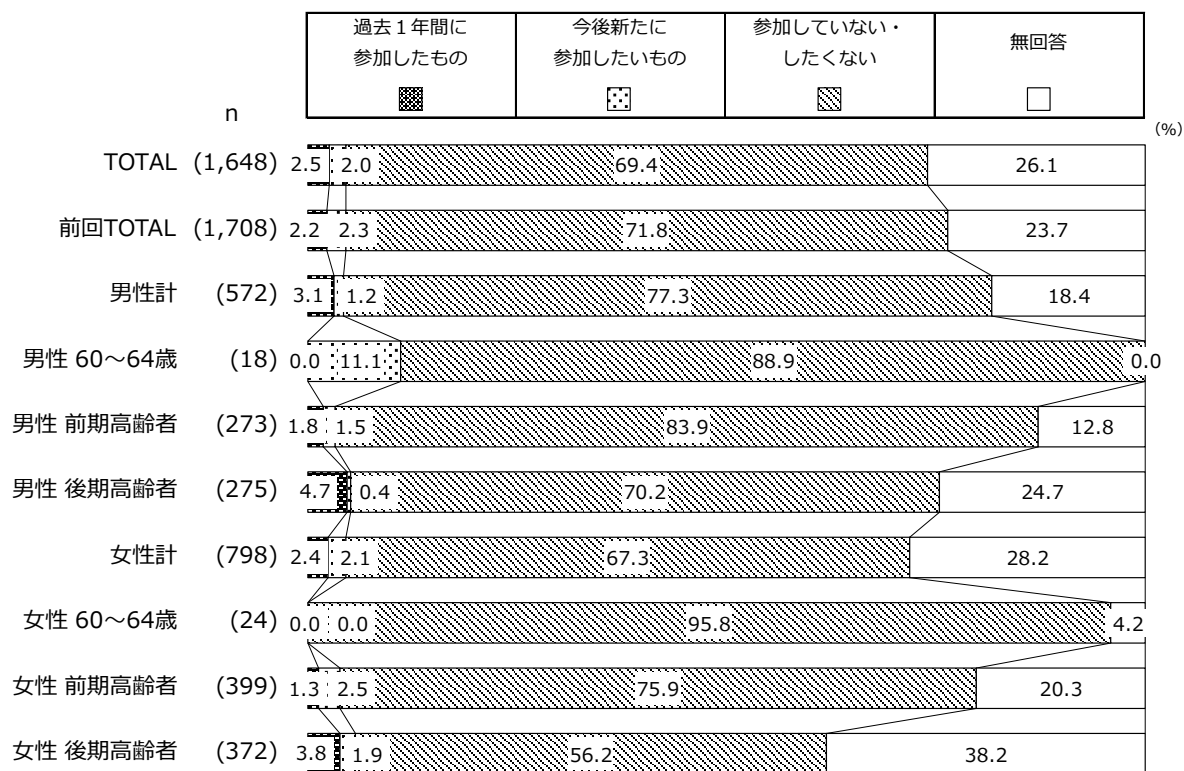
⑥シニア（老人）クラブの役員、事務局活動

シニア（老人）クラブの役員、事務局活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.5%、「今後新たに参加したいもの」が2.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（77.3%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳88.9%・男性前期83.9%・女性60～64歳95.8%）」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない（56.2%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「過去1年間に参加したもの」は男女ともに加齢に伴い上昇、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-7 シニア（老人）クラブの役員、事務局活動への参加状況・参加意向：性年代別



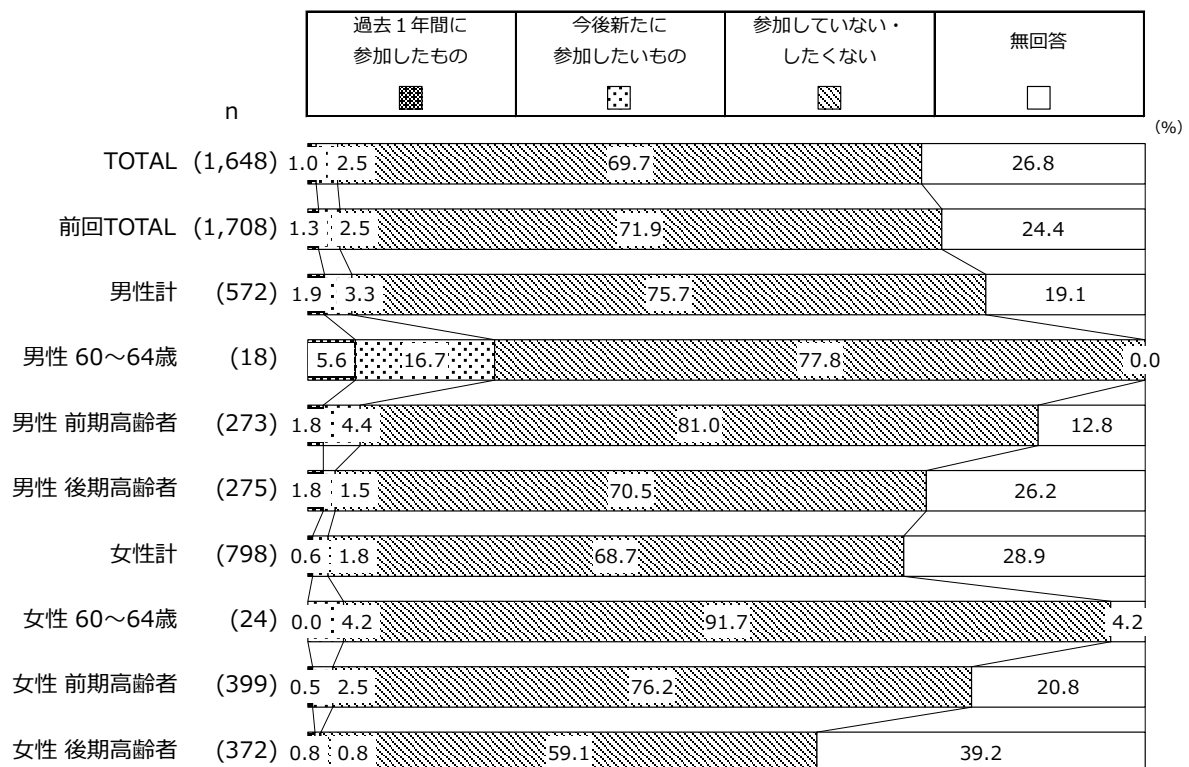
⑦ NPO団体などの役員、事務局活動

NPO団体などの役員、事務局活動については、「過去1年間に参加したもの」が1.0%、「今後新たに参加したいもの」が2.5%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（75.7%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「今後新たに参加したいもの（16.7%）」が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性前期81.0%・女性60～64歳91.7%）」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない（59.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「過去1年間に参加したもの」「今後新たに参加したいもの」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「今後新たに参加したいもの」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-8 NPO団体などの役員、事務局活動への参加状況・参加意向：性年代別

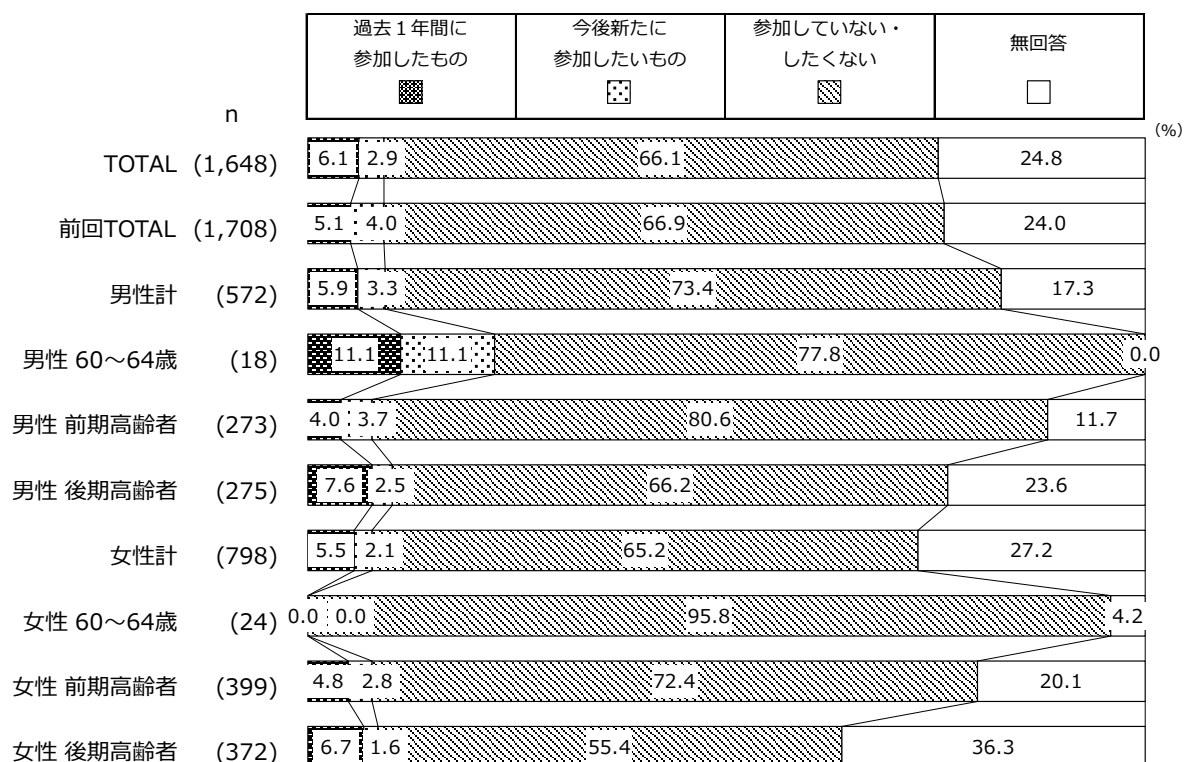


⑧祭りなど地域行事の世話役としての活動

祭りなど地域行事の世話役としての活動については、「過去1年間に参加したもの」が6.1%、「今後新たに参加したいもの」が2.9%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（73.4%）」が高くなっている。性年代別で見ると、「今後新たに参加したいもの」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。また、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳77.8%・男性前期80.6%・女性60～64歳95.8%）」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない（55.4%）」が全体の傾向よりも低くなっている。前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-9 祭りなど地域行事の世話役としての活動への参加状況・参加意向：性年代別



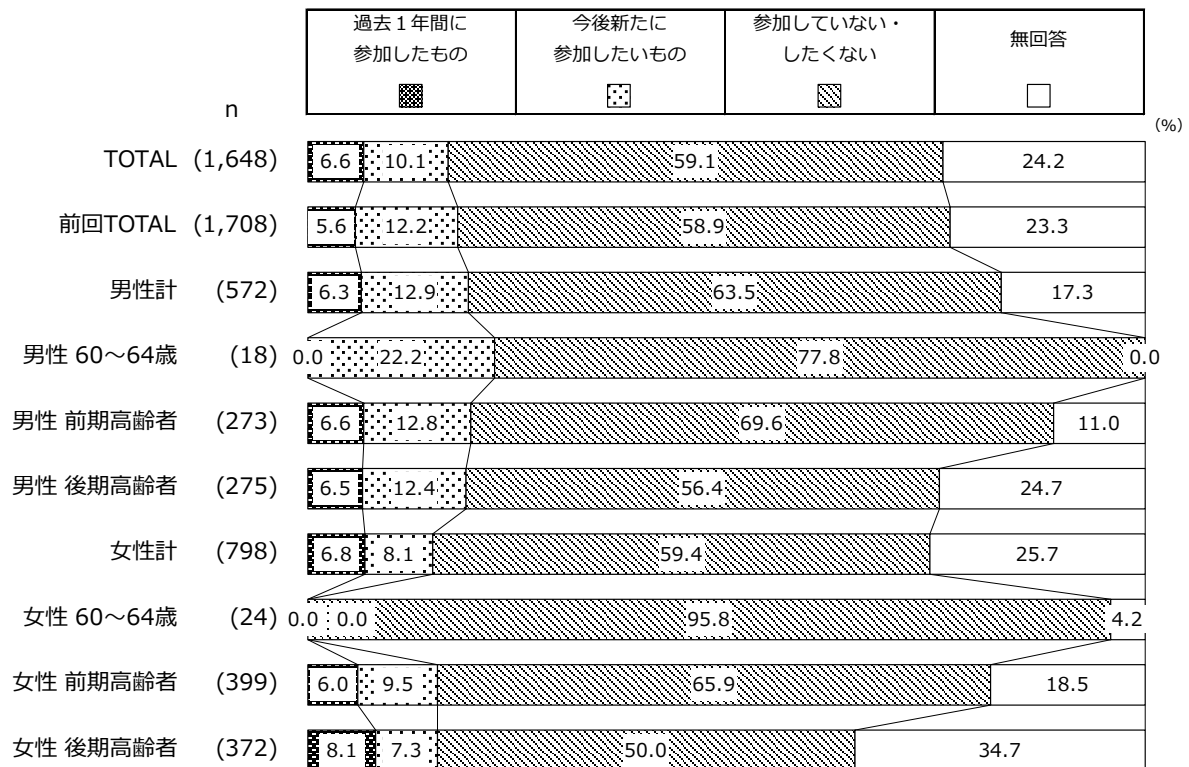
⑨環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動

環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動については、「過去1年間に参加したもの」が6.6%、「今後新たに参加したいもの」が10.1%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。性年代別で見ると、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。また、男性60～64歳では「今後新たに参加したいもの（22.2%）」「参加していない・したくない（77.8%）」が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性前期69.6%・女性60～64歳95.8%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-10 環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動への参加状況・参加意向：性年代別



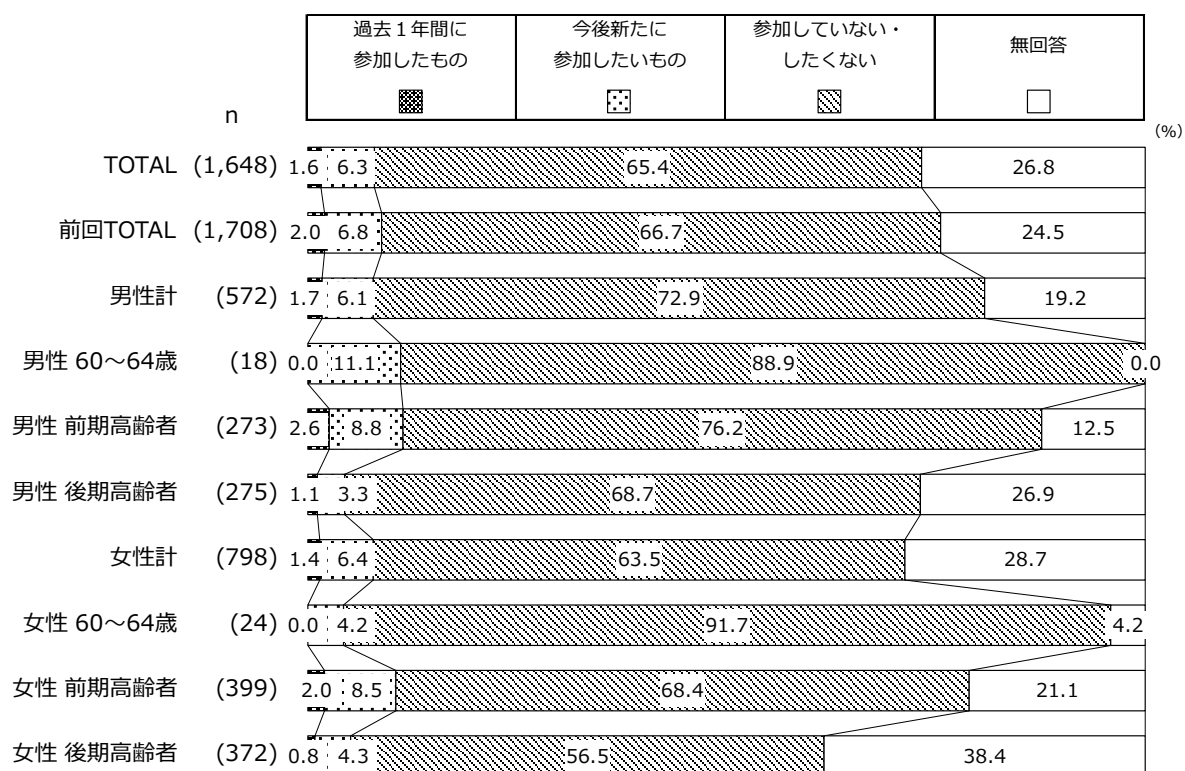
⑩子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動

子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動については、「過去1年間に参加したもの」が1.6%、「今後新たに参加したいもの」が6.3%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（72.9%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳88.9%・男性前期76.2%・女性60～64歳91.7%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-11 子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動への参加状況・参加意向：性年代別





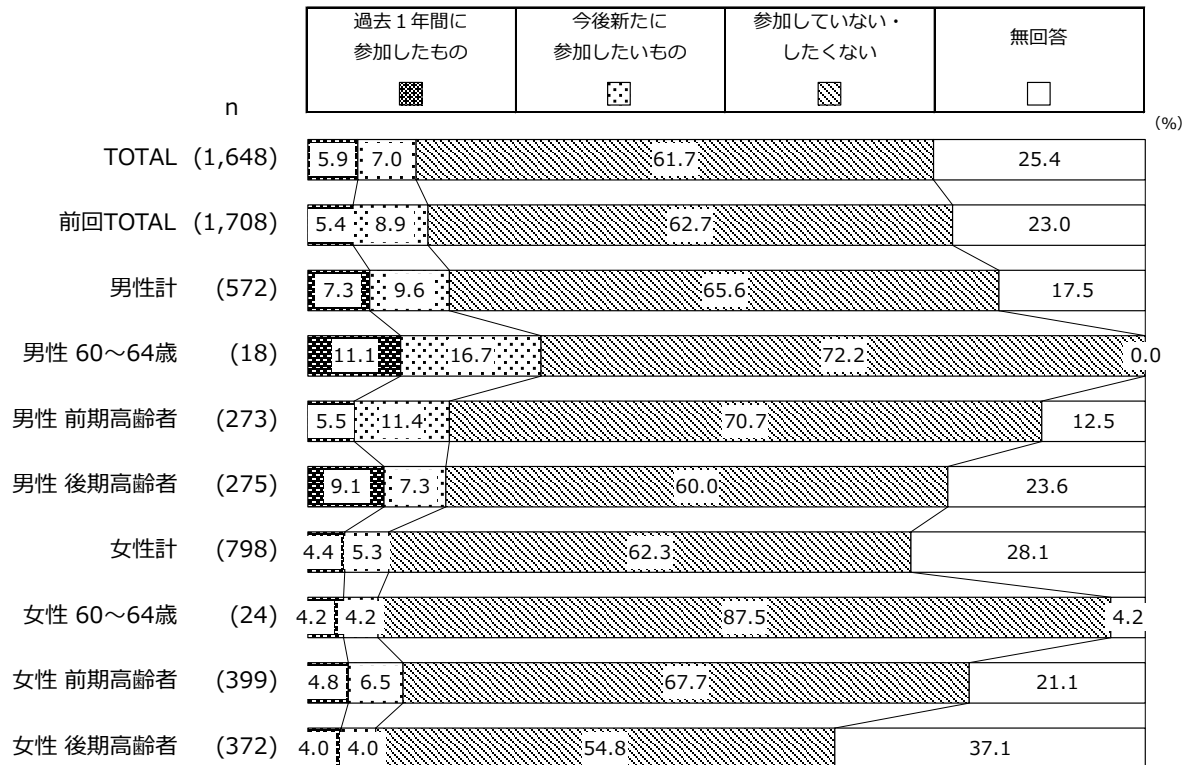
⑪交通安全、防犯・防災などの活動

交通安全、防犯・防災などの活動については、「過去1年間に参加したもの」が5.9%、「今後新たに参加したいもの」が7.0%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。性年代別で見ると、「過去1年間に参加したもの」「今後新たに参加したいもの」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。一方、男性60～64歳・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳72.2%・女性60～64歳87.5%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-12 交通安全、防犯・防災などの活動への参加状況・参加意向：性年代別



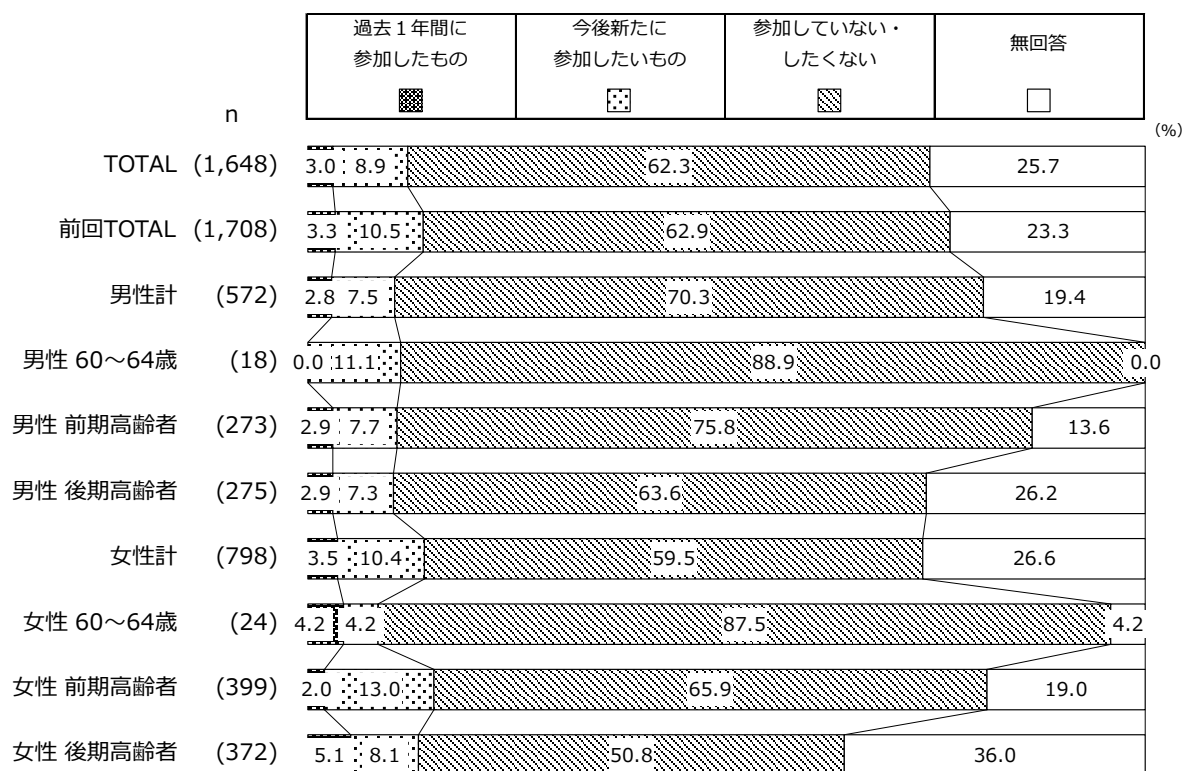
⑫高齢者の支援活動（話し相手、見守り、家事援助、移動支援など）

高齢者の支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が3.0%、「今後新たに参加したいもの」が8.9%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（70.3%）」が高くなっている。性年代別で見ると、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳88.9%・男性前期75.8%・女性60～64歳87.5%）」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない（50.8%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-13 高齢者の支援活動への参加状況・参加意向：性年代別



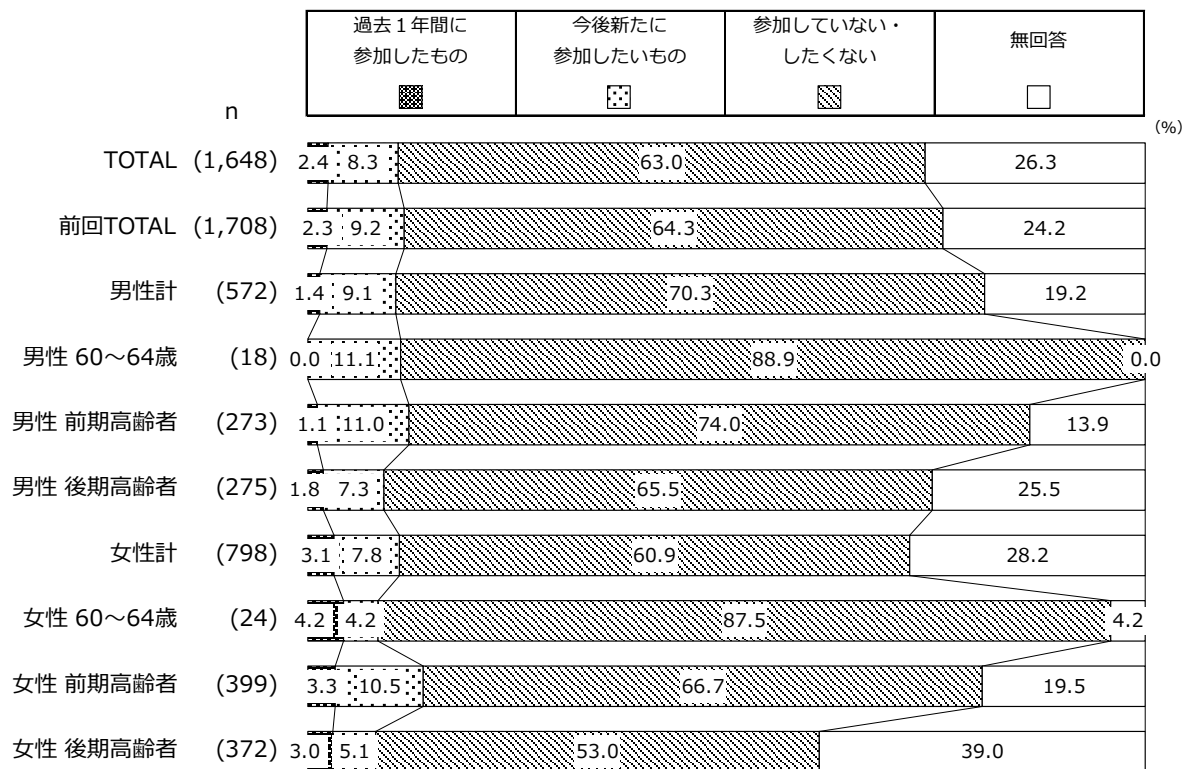
⑬障がいのある人への支援活動

障がいのある人への支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.4%、「今後新たに参加したいもの」が8.3%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（70.3%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、「過去1年間に参加したもの」は男性では加齢に伴って上昇しているのに対して女性では低下、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳88.9%・男性前期74.0%・女性60～64歳87.5%）」が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない（53.0%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-14 障がいのある人への支援活動への参加状況・参加意向：性年代別



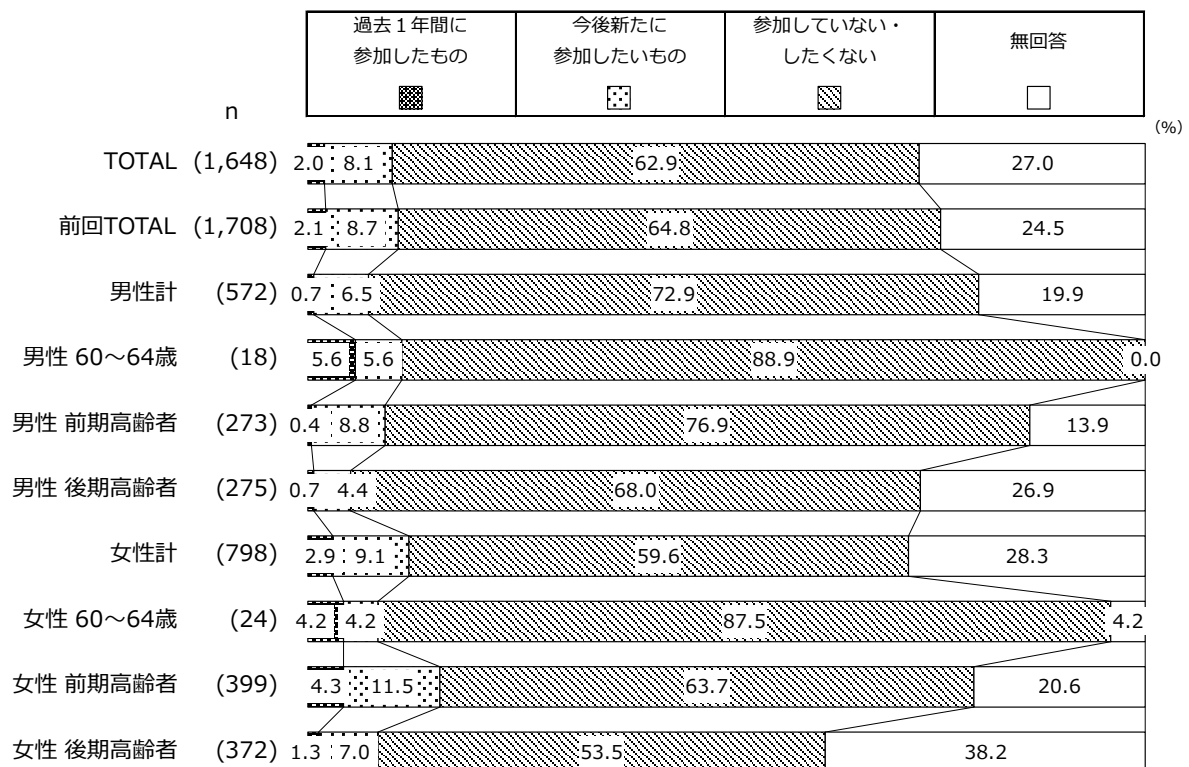
⑭子どもを育てている親への支援活動（保育の手伝いなど）

子どもを育てている親への支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.0%、「今後新たに参加したいもの」が8.1%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（72.9%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳88.9%・男性前期76.9%・女性60～64歳87.5%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-15 子どもを育てている親への支援活動への参加状況・参加意向：性年代別



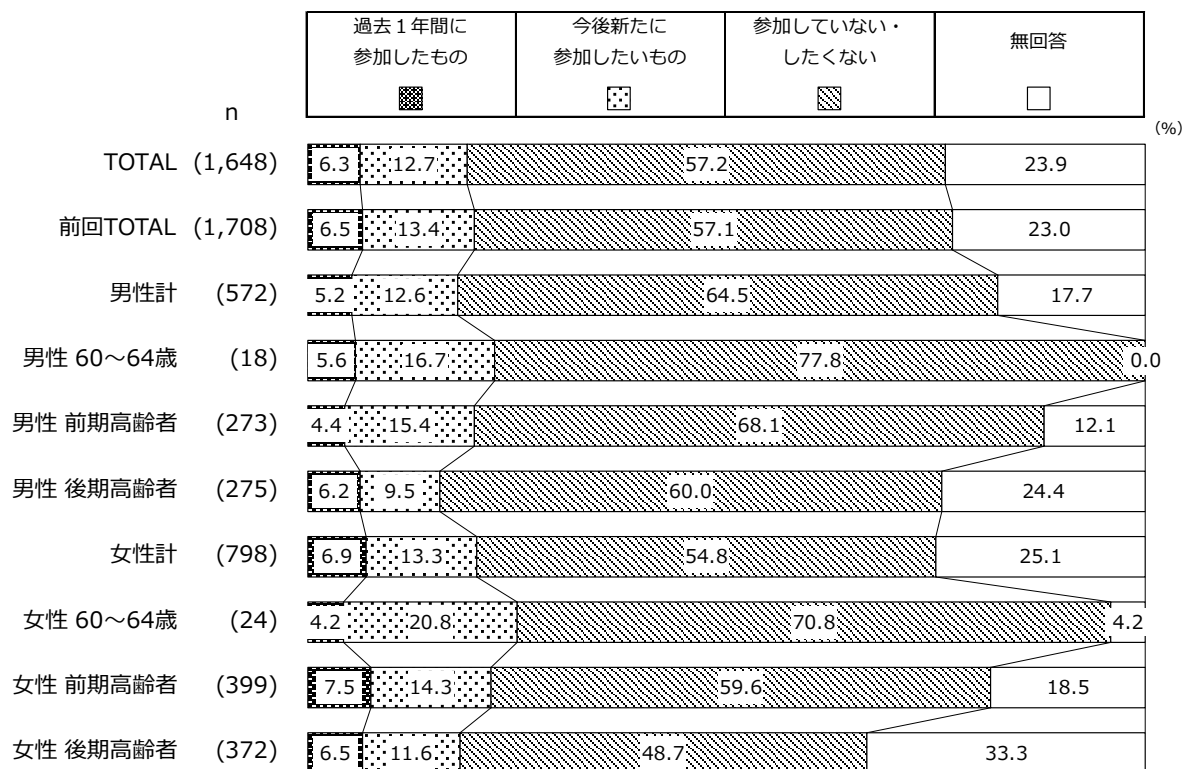
⑮ ボランティア活動

ボランティア活動については、「過去1年間に参加したもの」が6.3%、「今後新たに参加したいもの」が12.7%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（64.5%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、「今後新たに参加したいもの」「参加していない・したくない」は男女ともに加齢に伴い低下している。一方、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない（男性60～64歳77.8%・男性前期68.1%・女性60～64歳70.8%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-16 ボランティア活動への参加状況・参加意向：性年代別



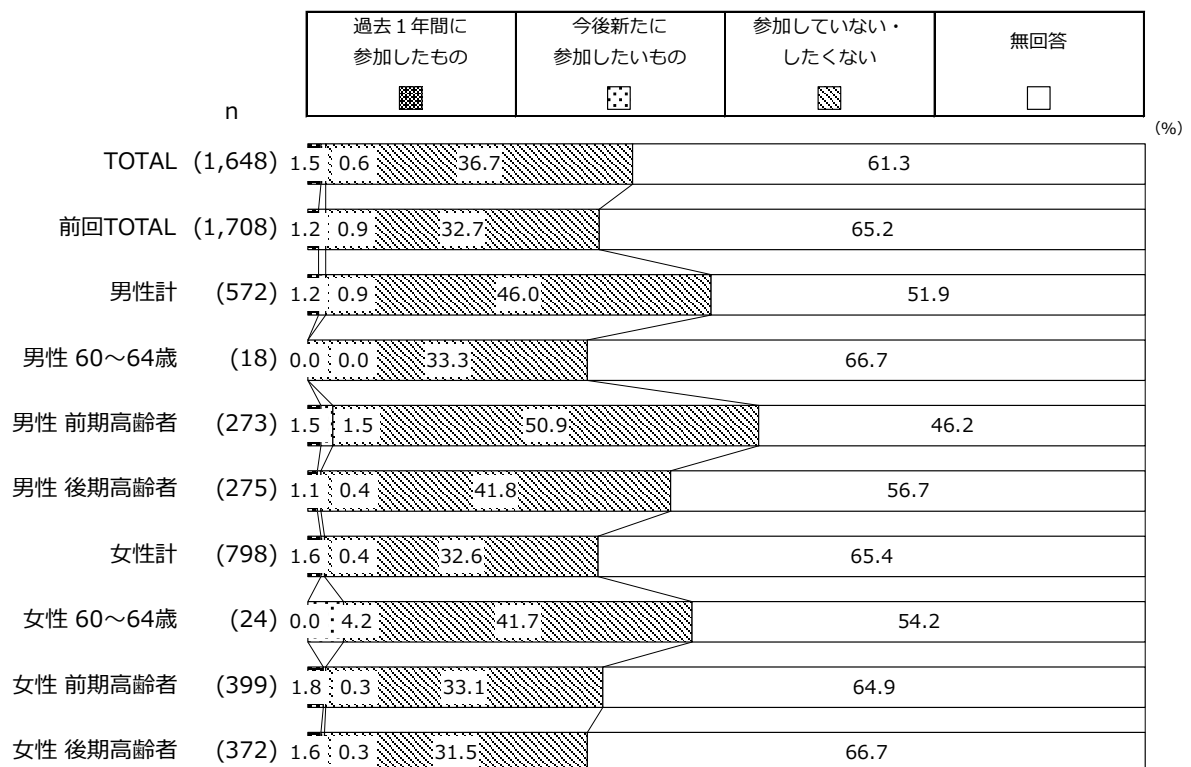
⑯その他の活動

その他の活動については、「過去1年間に参加したもの」が1.5%、「今後新たに参加したいもの」が0.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない（46.0%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性前期高齢者では「参加していない・したくない（50.9%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-17 その他の活動への参加状況・参加意向：性年代別



## (2) 過去1年間に最も多く参加した活動

【問29で「過去1年間に参加したもの」についておうかがいします。】

## 問29-1

- ① 最も多く参加したものはどれですか。前ページ問29の記号ア～タまでのいずれか1つをご記入ください。
- ② その活動にどのくらいの頻度で参加しましたか。去年と今年についてお答えください。  
(それぞれ○は1つ)
- ③ その活動を始めたきっかけは何ですか。(○は1つのみ)

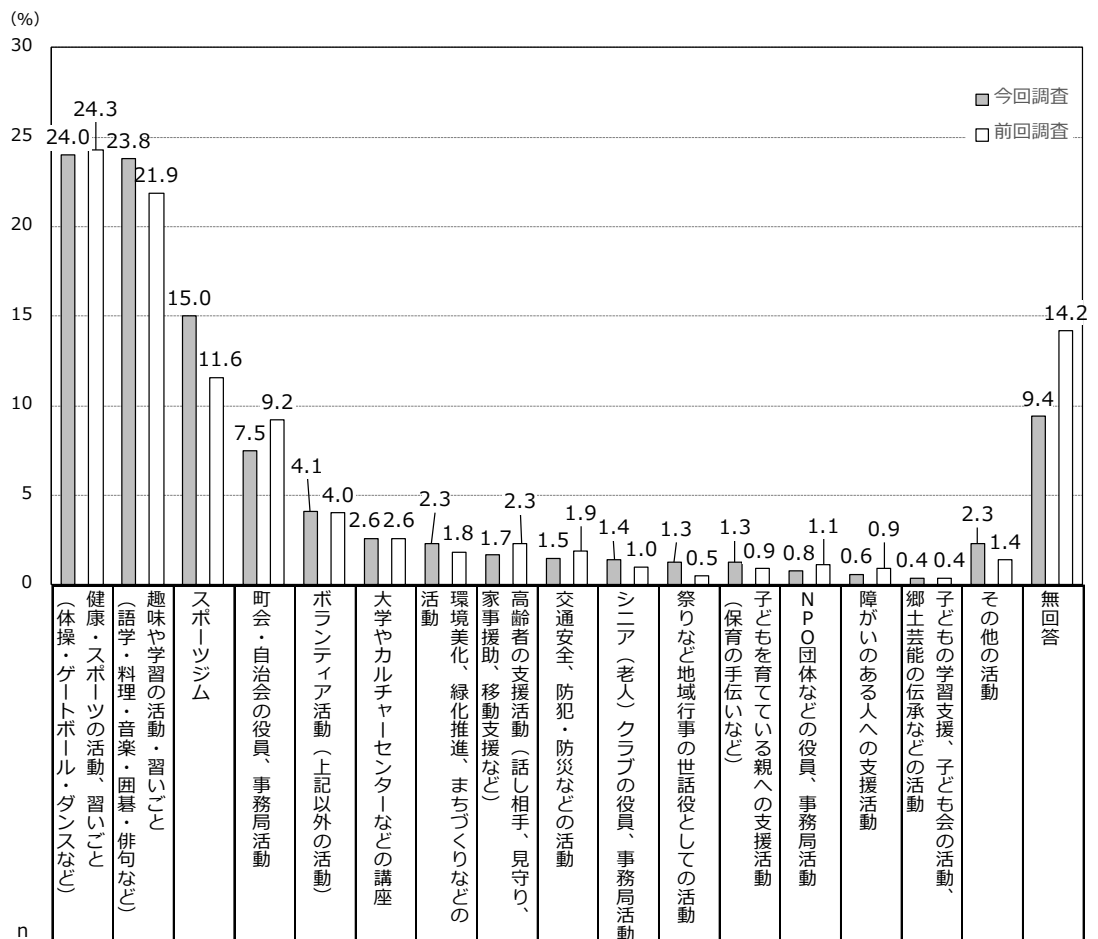
## ①過去1年間に最も多く参加した活動

過去1年間に最も多く参加した活動については、「健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）」が24.0%と最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）」が23.8%、「スポーツジム」が15.0%、「町会・自治会の役員、事務局活動」が7.5%、「ボランティア活動（上記以外の活動）」が4.1%の順となっている。

性別で見ると、女性では男性よりも「健康・スポーツの活動、習いごと（28.3%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「スポーツジム（36.4%）」が、女性60～64歳では「健康・スポーツの活動、習いごと（41.7%）」「スポーツジム（25.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「趣味や学習の活動・習いごと」「健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）」（ともに9.1%）が全体の傾向よりも低くなっている。また、「健康・スポーツの活動、習いごと」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「町会・自治会の役員、事務局活動」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-18 最も多く参加した活動：性年代別



n	24.0	23.8	15.0	7.5	4.1	2.6	2.3	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	0.8	0.6	0.4	2.3	9.4	
TOTAL	778	187	185	117	58	32	20	18	13	12	11	10	10	6	5	3	18	73
前回TOTAL	794	24.0	23.8	11.6	9.2	4.0	2.6	1.8	2.3	1.9	1.0	0.5	0.9	1.1	0.9	0.4	1.4	14.2
男性計	228	15.8	24.1	14.9	10.1	5.7	3.1	2.6	0.9	3.1	2.2	1.3	0.9	2.2	0.9	0.4	3.1	8.8
男性 60~64歳	11	9.1	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 前期高齢者	106	17.0	19.8	13.2	8.5	8.5	5.7	3.8	1.9	1.9	0.9	0.9	0.0	2.8	0.9	0.9	3.8	9.4
男性 後期高齢者	110	15.5	29.1	14.5	11.8	3.6	0.9	1.8	0.0	3.6	3.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	9.1
女性計	420	28.3	24.3	15.5	6.0	3.6	2.4	2.1	2.1	0.7	1.2	0.7	1.7	0.2	0.7	0.2	2.1	8.1
女性 60~64歳	12	41.7	16.7	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 前期高齢者	206	27.7	25.7	14.6	6.3	4.4	2.4	2.9	2.4	1.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.0	0.5	2.4	5.8
女性 後期高齢者	201	28.4	23.4	15.9	5.5	3.0	2.0	1.5	2.0	0.5	2.5	1.5	0.5	0.5	0.5	0.0	2.0	10.4

※前回調査では「趣味や学習の活動・習いごと(語学・音楽・囲碁・俳句など)」  
「老人クラブの役員、事務局活動」としていた選択肢を、  
今回調査では「趣味や学習の活動・習いごと(語学・料理・音楽・囲碁・俳句など)」  
「シニア(老人)クラブの役員、事務局活動」にそれぞれ変更している。



## ②最も多く参加した活動への参加頻度

最も多く参加した活動への参加頻度について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年から去年（2022年）にかけて、「去年／今年は参加していない」が19.9%から5.9%と14.0ポイント低下しており、2020年のコロナ禍による、参加頻度の急低下からの回復傾向にあることが伺える。

図表3-6-19 最も多く参加した活動への参加頻度：経年比較

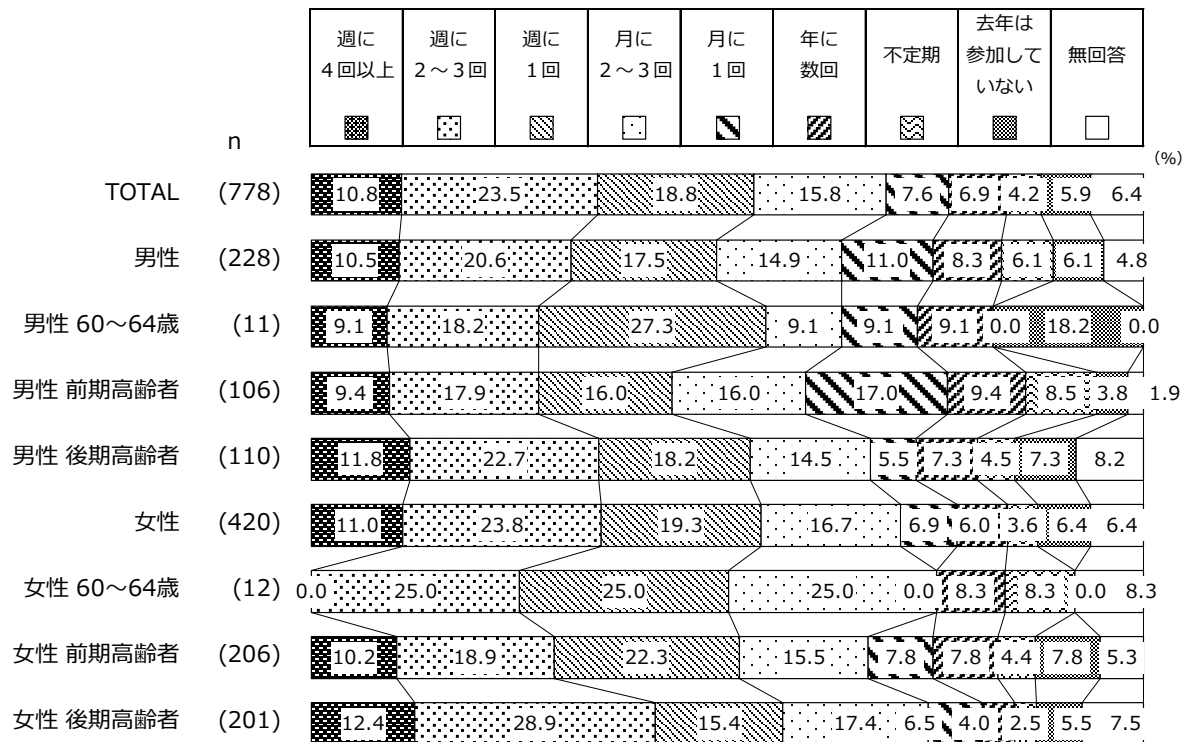
	n	週に4回以上	週に2～3回	週に1回	月に2～3回	月に1回	年に数回	不定期	参加していない	去年／今年は	無回答
TOTAL (2023年)	778	11.3	25.4	16.6	16.2	8.2	6.8	4.5	5.0	5.9	
TOTAL (2022年)	778	10.8	23.5	18.8	15.8	7.6	6.9	4.2	5.9	6.4	
前回TOTAL (2020年)	794	6.8	17.9	15.2	11.1	9.4	5.4	7.6	19.9	6.7	
前回TOTAL (2019年)	794	9.1	25.2	19.0	16.9	10.6	6.5	3.9	2.9	5.9	

②-1 去年（2022年）最も多く参加した活動への参加頻度

去年（2022年）最も多く参加した活動への参加頻度について、参加したと回答している人の中では、「週に2～3回」が23.5%と最も高く、次いで「週に1回」が18.8%、「月に2～3回」が15.8%の順となっている。一方、「去年は参加していない」は5.9%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「去年は参加していない（18.2%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-6-20 去年（2022年）最も多く参加した活動への参加頻度：性年代別

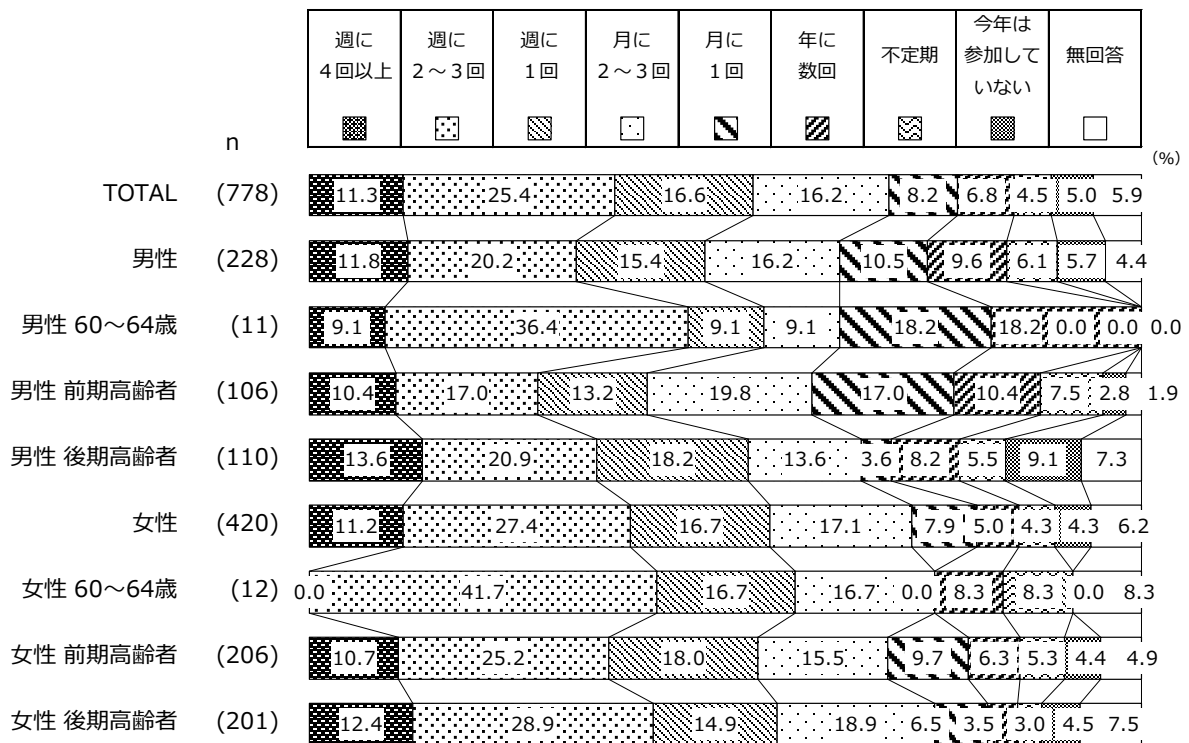


②-2 今年（2023年）最も多く参加した活動への参加頻度

今年（2023年）最も多く参加した活動への参加頻度について、参加したと回答している人の中では、「週に2～3回」が25.4%と最も高く、次いで「週に1回」が16.6%、「月に2～3回」が16.2%の順となっている。一方、「今年は参加していない」は5.0%となっている。

性別で見ると、女性では男性よりも「週に2～3回（27.4%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「週に2～3回（36.4%）」「月に1回」「年に数回」（左記2項目はともに18.2%）が、女性60～64歳では「週に2～3回（41.7%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-6-21 今年（2023年）最も多く参加した活動への参加頻度：性年代別



③最も多く参加した活動を始めたきっかけ

最も多く参加した活動を始めたきっかけについては、「個人的意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」が33.2%と最も高く、次いで「友人・知人の勧め」が18.1%、「町会・自治会からの誘い」が8.5%の順となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「家族の勧め」「その他」（ともに18.2%）、女性60～64歳では「個人的意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」（58.3%）」が全体の傾向よりも高くなっている。一方、「シニア（老人）クラブからの誘い」「区からの情報（「広報いたばし」、区ホームページその他）」は男女ともに加齢に伴い上昇している。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-22 最も多く参加した活動を始めたきっかけ：性年代別

	n	友人・知人の勧め	家族の勧め	町会・自治会、 老人クラブからの誘い	町会・自治会からの誘い	シニア（老人） クラブからの誘い	活動団体からの呼びかけ	区からの情報（「広報いたばし」、 区ホームページその他）	町会・自治会、シニア（老人） クラブ、活動団体からの情報 （「広報いたばし」、ホームページその他）	個人的意思（自分がやりたいことや、 問題意識・解決したい課題がある）	その他	特になし	無回答
TOTAL	778	18.1	4.5	9.9	8.5	1.4	4.0	6.6	2.2	33.2	7.2	3.6	10.8
前回TOTAL	794	22.5	4.7	10.2	-	-	4.2	6.3	1.8	29.8	6.8	3.5	10.2
男性計	228	17.5	4.8	13.6	11.4	2.2	3.5	6.1	0.0	32.9	7.9	4.4	9.2
男性 60～64歳	11	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	18.2	9.1	0.0
男性 前期高齢者	106	16.0	3.8	9.4	8.5	0.9	3.8	5.7	0.0	42.5	9.4	5.7	3.8
男性 後期高齢者	110	18.2	4.5	18.1	14.5	3.6	3.6	7.3	0.0	24.5	5.5	2.7	15.5
女性計	420	19.8	4.0	8.6	7.4	1.2	3.6	7.1	3.1	33.6	6.4	2.1	11.7
女性 60～64歳	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3	8.3	0.0	8.3
女性 前期高齢者	206	18.4	3.4	9.3	8.3	1.0	1.9	6.8	4.9	38.8	4.9	3.4	8.3
女性 後期高齢者	201	20.4	5.0	8.5	7.0	1.5	5.5	8.0	1.5	26.9	8.0	1.0	15.4

※前回調査では「町会・自治会、老人クラブからの誘い」としていた選択肢を  
 今回調査では「町会・自治会からの誘い」「シニア（老人）クラブからの誘い」に、  
 同じく「町会・自治会、老人クラブ、活動団体からの情報」を  
 「町会・自治会、シニア（老人）クラブ、活動団体からの情報」に、それぞれ変更している。

(3) 活動に参加していない理由・活動に参加するきっかけになると思うこと

【問29でア～タのすべてに「3」と回答した方におうかがいします。】

問29-2

- ① 参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
- ② 参加をするきっかけになると思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

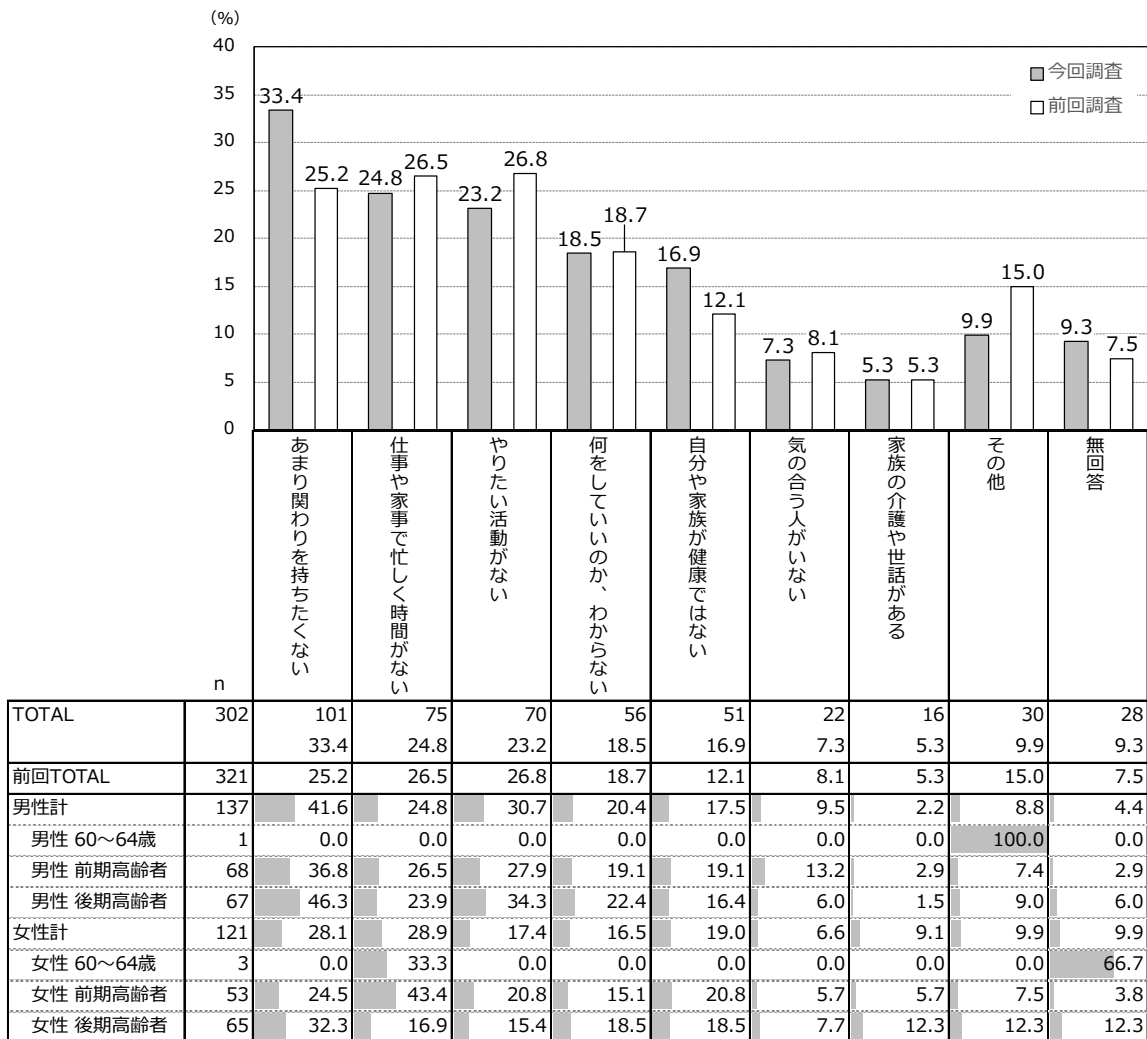
①活動に参加していない理由

活動に参加していない理由については、「あまり関わりを持ちたくない」が33.4%と最も高く、次いで「仕事や家事で忙しく時間がない」が24.8%、「やりたい活動がない」が23.2%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「あまり関わりを持ちたくない(41.6%)」「やりたい活動がない(30.7%)」が高く、女性では男性よりも「家族の介護や世話がある(9.1%)」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性後期高齢者では「あまり関わりを持ちたくない(46.3%)」「やりたい活動がない(34.3%)」が、女性前期高齢者では「仕事や家事で忙しく時間がない(43.4%)」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「あまり関わりを持ちたくない」が8.2ポイント上昇、「その他」が5.1ポイント低下している。

図表3-6-23 活動に参加していない理由：性年代別



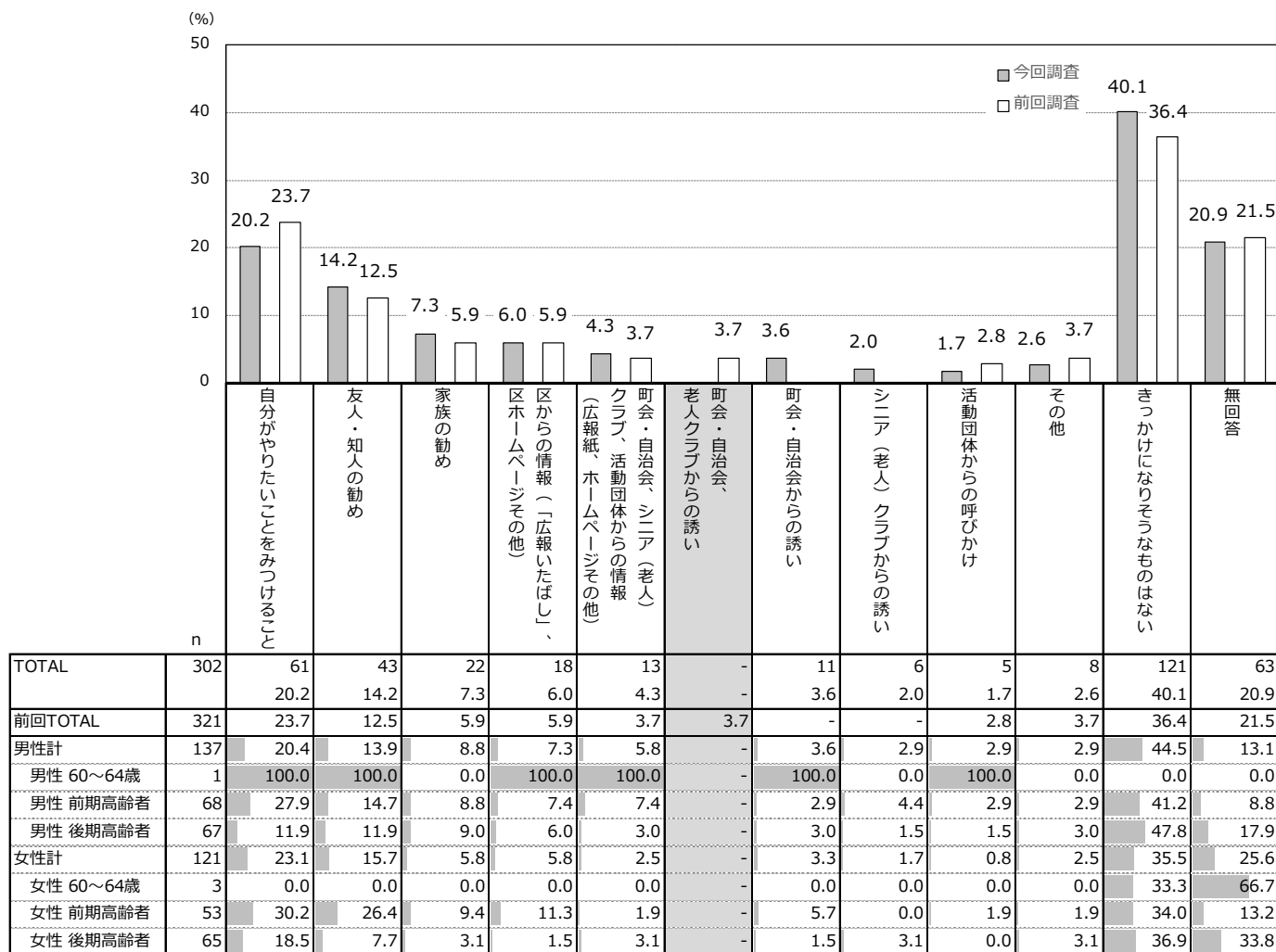
②活動に参加するきっかけになると思うこと

活動に参加するきっかけになると思うことについては、「きっかけになりそうなものはない」が40.1%と最も高く、次いで「自分がやりたいことをみつけること」が20.2%、「友人・知人の勧め」が14.2%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「きっかけになりそうなものはない（44.5%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、女性前期高齢者では「自分がやりたいことをみつけること（30.2%）」「友人・知人の勧め（26.4%）」が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-24 活動に参加するきっかけになると思うこと



※前回調査では「町会・自治会、老人クラブからの誘い」としていた選択肢を  
 今回調査では「町会・自治会からの誘い」「シニア（老人）クラブからの誘い」に、  
 同じく「町会・自治会、老人クラブ、活動団体からの情報」を  
 「町会・自治会、シニア（老人）クラブ、活動団体からの情報」に、それぞれ変更している。

(4) シニア（老人）クラブへの加入状況

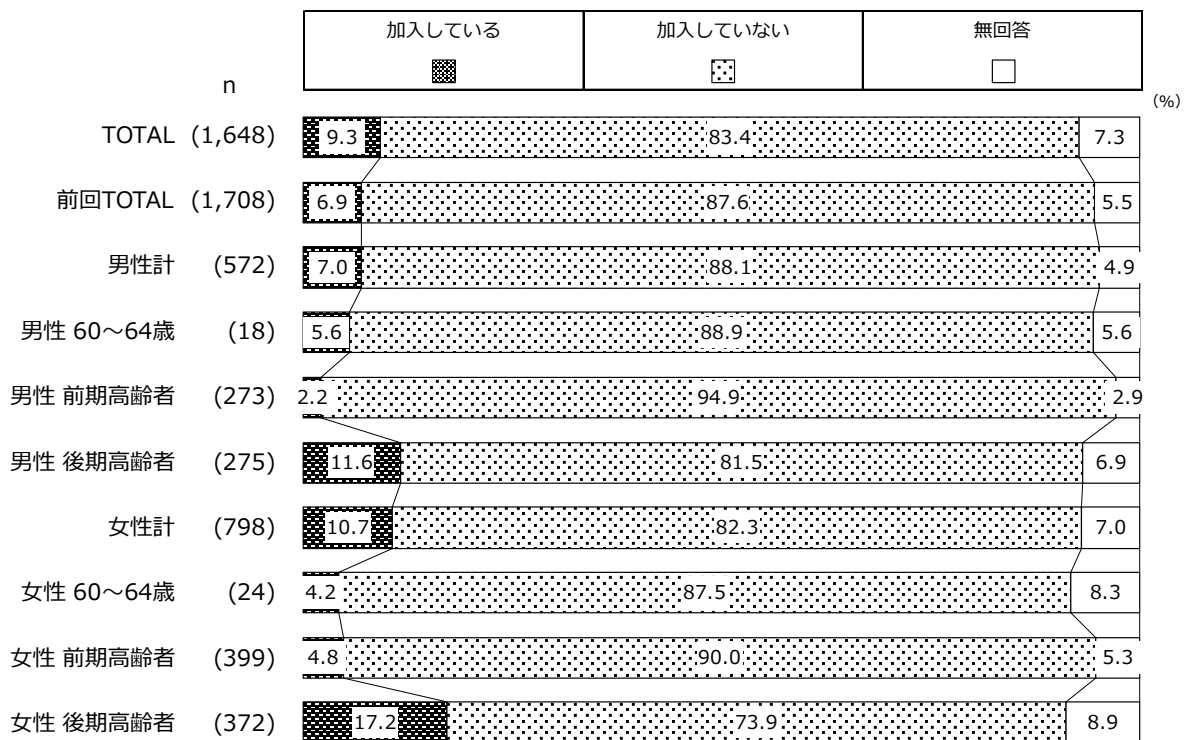
①シニア（老人）クラブへの加入状況

問30 あなた（宛名のご本人）は現在、シニア（老人）クラブ（区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上・健康の増進・社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。）に加入していますか。（○は1つのみ）

シニア（老人）クラブへの加入状況については、「加入している」が9.3%、「加入していない」が83.4%となっている。

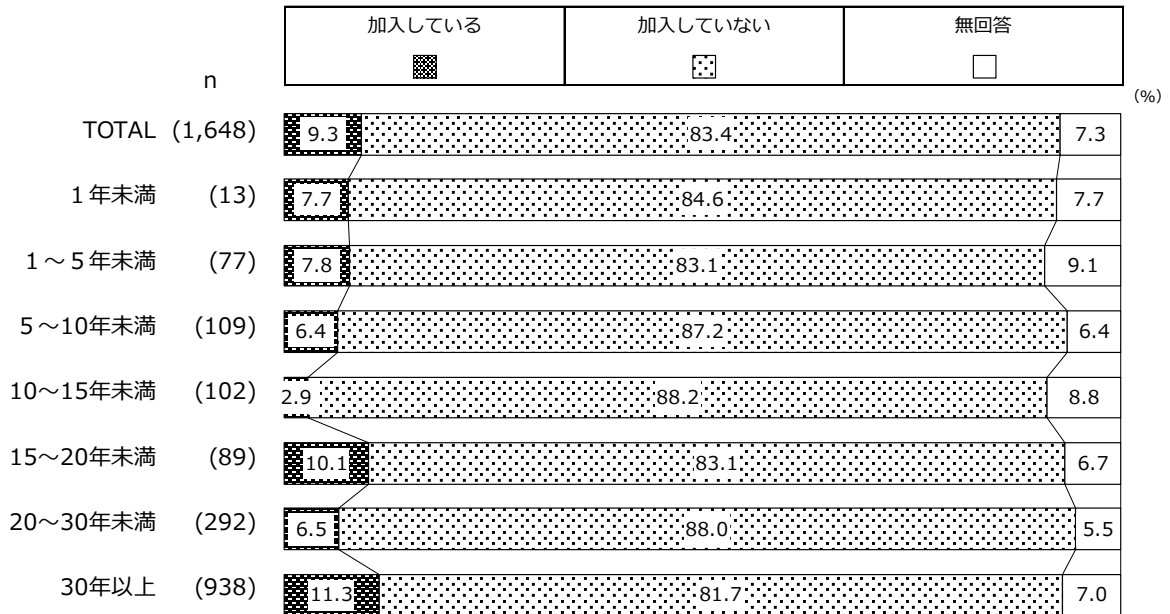
性別で見ると、男性では女性よりも「加入していない（88.1%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性前期高齢者では「加入していない（94.9%）」が全体の傾向よりも高くなっている。また、「加入していない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-25 シニア（老人）クラブへの加入状況：性年代別



現在の地区での居住年数別でみると、「10～15年未満」では「加入している（2.9%）」がその他の居住年数と比べて低くなっている。

図表3-6-26 シニア（老人）クラブへの加入状況：現在の地区での居住年数別





## ②シニア（老人）クラブに加入していない理由

【問30で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

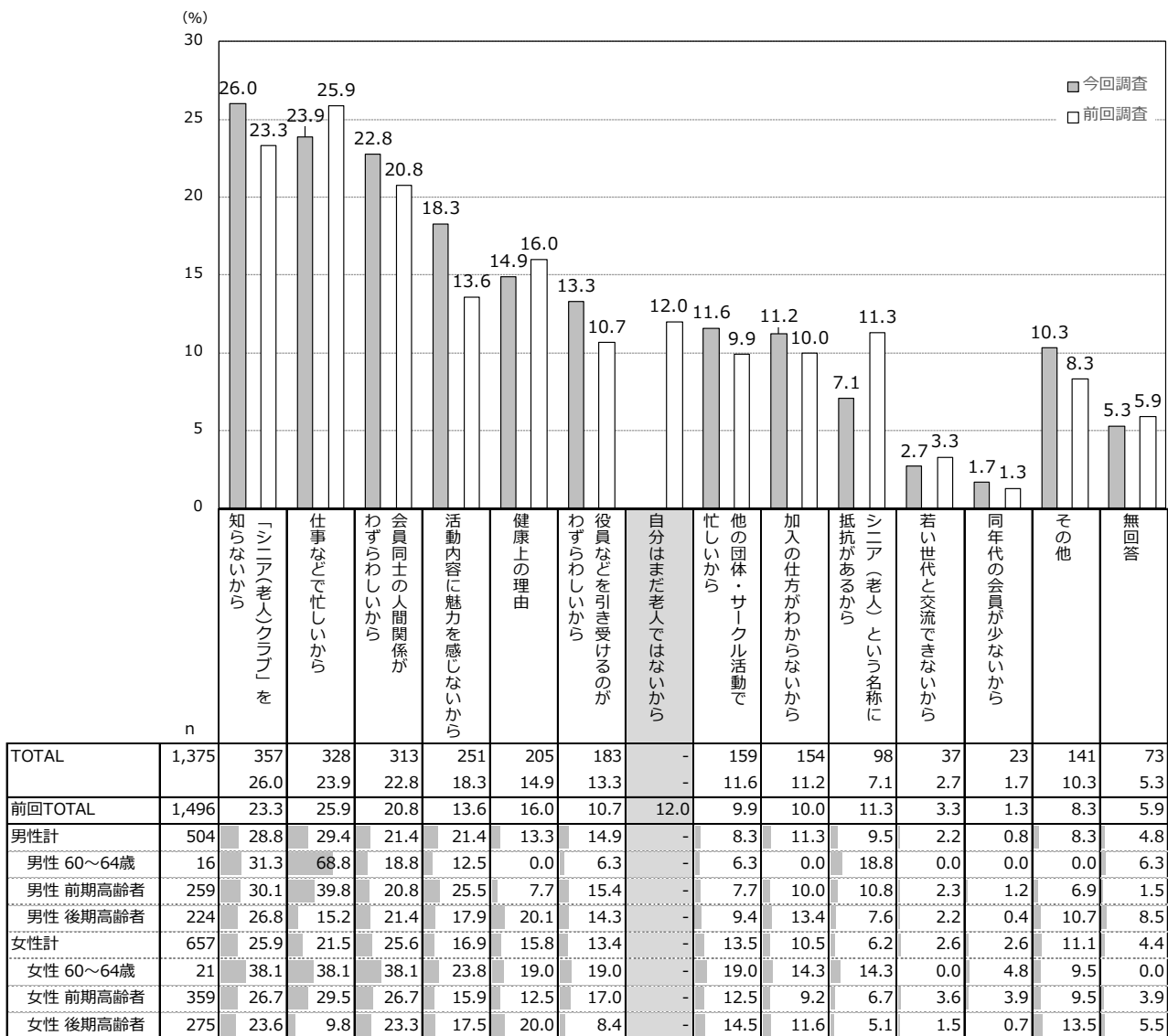
問30-1 加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

シニア（老人）クラブに加入していない理由については、「シニア(老人)クラブ」を知らないから」が26.0%と最も高く、次いで「仕事などで忙しいから」が23.9%、「会員同士の間関係がわずらわしいから」が22.8%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「仕事などで忙しいから（29.4%）」が高く、女性では男性よりも「他の団体・サークル活動で忙しいから（13.5%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「仕事などで忙しいから（68.8%）」「シニア（老人）」という名称に抵抗があるから（18.8%）」が、男性前期高齢者では「仕事などで忙しいから（39.8%）」が、女性60～64歳では「シニア（老人）クラブ」を知らないから」「仕事などで忙しいから」「会員同士の間関係がわずらわしいから」(すべて38.1%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「仕事などで忙しいから（9.8%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-6-27 シニア（老人）クラブに加入していない理由：性年代別



※前回調査では「老人クラブ」を知らないから

「老人」という名称に抵抗があるから」としていた選択肢を、  
今回調査では「シニア(老人)クラブ」を知らないから

「シニア（老人）という名称に抵抗があるから」に変更している。

※また、今回調査では「自分はまだ老人ではないから」の選択肢を削除している。

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳・男性65～69歳・女性65～69歳では「仕事などで忙しいから(60～64歳51.4%・65～69歳40.6%・男性65～69歳47.9%・女性65～69歳35.8%)」が、男性60～64歳では「仕事などで忙しいから(68.8%)」「シニア(老人)という名称に抵抗があるから(18.8%)」が、男性70～74歳では「活動内容に魅力を感じないから(29.6%)」が、女性60～64歳では「シニア(老人)クラブ」を知らないから」「仕事などで忙しいから」「会員同士の人間関係がわずらわしいから」(すべて38.1%)が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「加入の仕方がわからないから」「その他」が加齢に伴って上昇、「仕事などで忙しいから」が加齢に伴って低下している。一方、「仕事などで忙しいから」「シニア(老人)という名称に抵抗があるから」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「他の団体・サークル活動で忙しいから」「会員同士の人間関係がわずらわしいから」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-6-28 シニア(老人)クラブに加入していない理由: 性年代別(詳細)

	n	知らないから 「シニア(老人)クラブ」を	仕事などで忙しいから	会員同士の人間関係が わずらわしいから	活動内容に魅力を感じないから	健康上の理由	役員などを引き受けるのが わずらわしいから	他の団体・サークル活動で 忙しいから	加入の仕方がわからないから	抵抗があるから シニア(老人)という名称に	若い世代と交流できないから	同年代の会員が少ないから	その他	無回答
TOTAL	1,375	26.0	23.9	22.8	18.3	14.9	13.3	11.6	11.2	7.1	2.7	1.7	10.3	5.3
60～64歳	37	35.1	51.4	29.7	18.9	10.8	13.5	13.5	8.1	16.2	0.0	2.7	5.4	2.7
65～69歳	281	31.7	40.6	18.9	19.2	8.9	12.8	9.6	8.9	7.8	3.9	3.2	6.8	2.5
70～74歳	417	24.0	27.3	26.6	20.1	12.0	17.0	12.5	10.3	7.9	2.2	2.2	10.1	4.3
75～79歳	376	23.1	15.2	21.3	18.6	18.6	11.2	13.6	12.5	6.4	2.7	0.3	12.0	5.9
80～84歳	245	25.7	9.0	21.2	13.1	21.6	10.6	8.6	13.1	4.5	2.0	1.2	13.1	10.2
男性60～64歳	16	31.3	68.8	18.8	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3
男性65～69歳	117	34.2	47.9	14.5	20.5	6.8	12.0	4.3	7.7	9.4	3.4	0.9	4.3	0.9
男性70～74歳	142	26.8	33.1	26.1	29.6	8.5	18.3	10.6	12.0	12.0	1.4	1.4	9.2	2.1
男性75～79歳	135	24.4	18.5	22.2	20.0	17.8	13.3	10.4	12.6	8.9	3.0	0.0	11.9	8.1
男性80～84歳	89	30.3	10.1	20.2	14.6	23.6	15.7	7.9	14.6	5.6	1.1	1.1	9.0	9.0
女性60～64歳	21	38.1	38.1	38.1	23.8	19.0	19.0	19.0	14.3	14.3	0.0	4.8	9.5	0.0
女性65～69歳	159	29.6	35.8	22.0	18.2	10.1	13.8	13.2	9.4	6.9	4.4	5.0	8.8	3.8
女性70～74歳	200	24.5	24.5	30.5	14.0	14.5	19.5	12.0	9.0	6.5	3.0	3.0	10.0	4.0
女性75～79歳	160	22.5	12.5	23.1	20.6	19.4	8.8	18.1	11.9	6.9	1.9	0.0	11.3	3.1
女性80～84歳	115	25.2	6.1	23.5	13.0	20.9	7.8	9.6	11.3	2.6	0.9	1.7	16.5	8.7

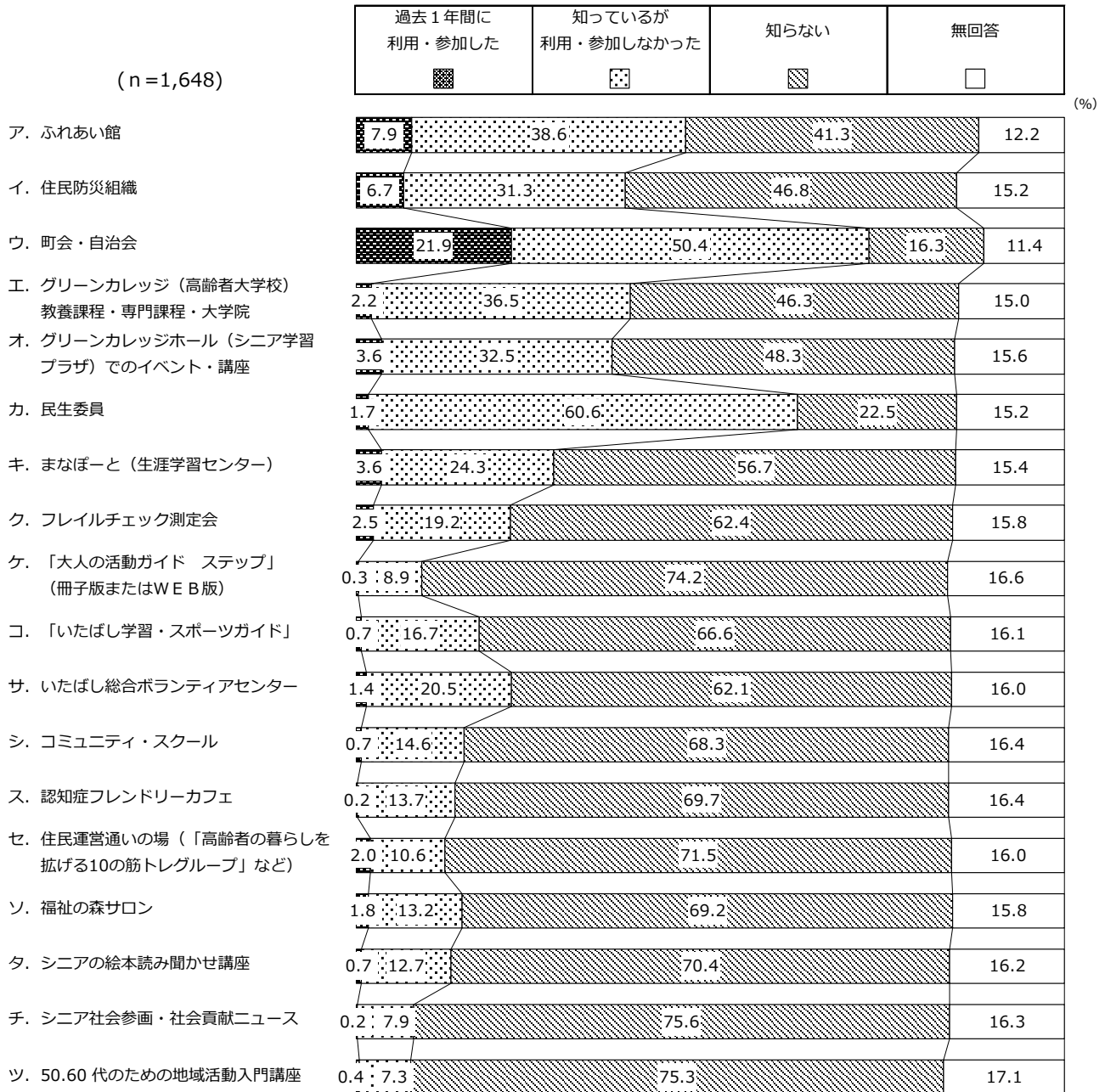
## 7. 区の事業について

### (1) 区の事業に対する認知度・利用または参加状況

**問31** あなた（宛名のご本人）は、区が行っている次の事業を知っていますか。  
また、過去1年間に利用・参加したものはありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

区の事業に対する認知度・利用または参加状況について、「過去1年間に利用・参加した」「知っているが利用・参加しなかった」を合わせた『認知度』は、「町会・自治会」が72.3%と最も高く、次いで「民生委員」が62.3%、「ふれあい館」が46.5%の順となっている。また、「過去1年間に利用・参加した」では、「町会・自治会」が21.9%と最も高く、次いで「ふれあい館」が7.9%、「住民防災組織」が6.7%の順となっている。

図表3-7-1 区の事業に対する認知度・利用または参加状況



※今回調査から「シニアの絵本読み聞かせ講座」「シニア社会参画・社会貢献ニュース」  
「50.60代のための地域活動入門講座」の項目を追加している。

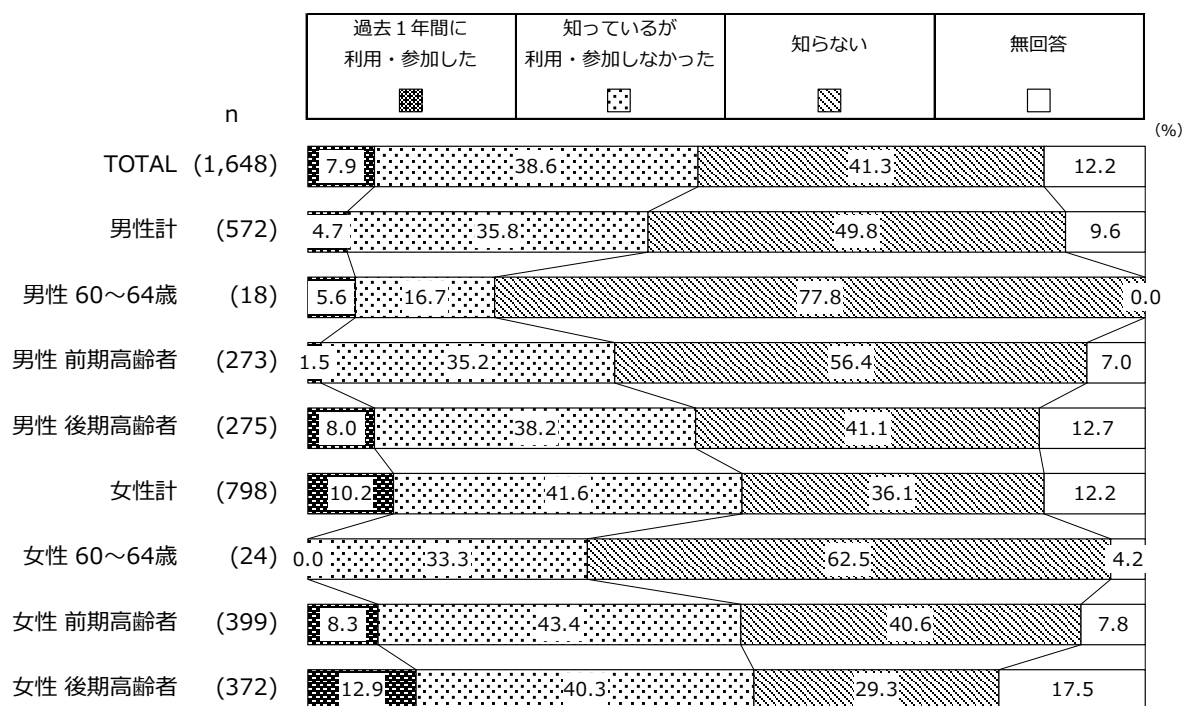
※前回調査とは選択肢を変更しているため、経年比較は行っていない。

①ふれあい館

ふれあい館については、『認知度』が46.5%、「過去1年間に利用・参加した」が7.9%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（51.8%）の方が男性（40.5%）よりも11.3ポイント高く、「過去1年間に利用・参加した」においても女性（10.2%）の方が男性（4.7%）よりも5.5ポイント高くなっている。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（53.2%）、女性前期高齢者（51.7%）、男性後期高齢者（46.2%）、男性前期高齢者（36.7%）、女性60～64歳（33.3%）、男性60～64歳（22.3%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（12.9%）、女性前期高齢者（8.3%）、男性後期高齢者（8.0%）、男性60～64歳（5.6%）、男性前期高齢者（1.5%）の順に高くなっているのに対して、女性60～64歳では0.0%となっている。

図表3-7-2 ふれあい館に対する認知度・利用状況：性年代別

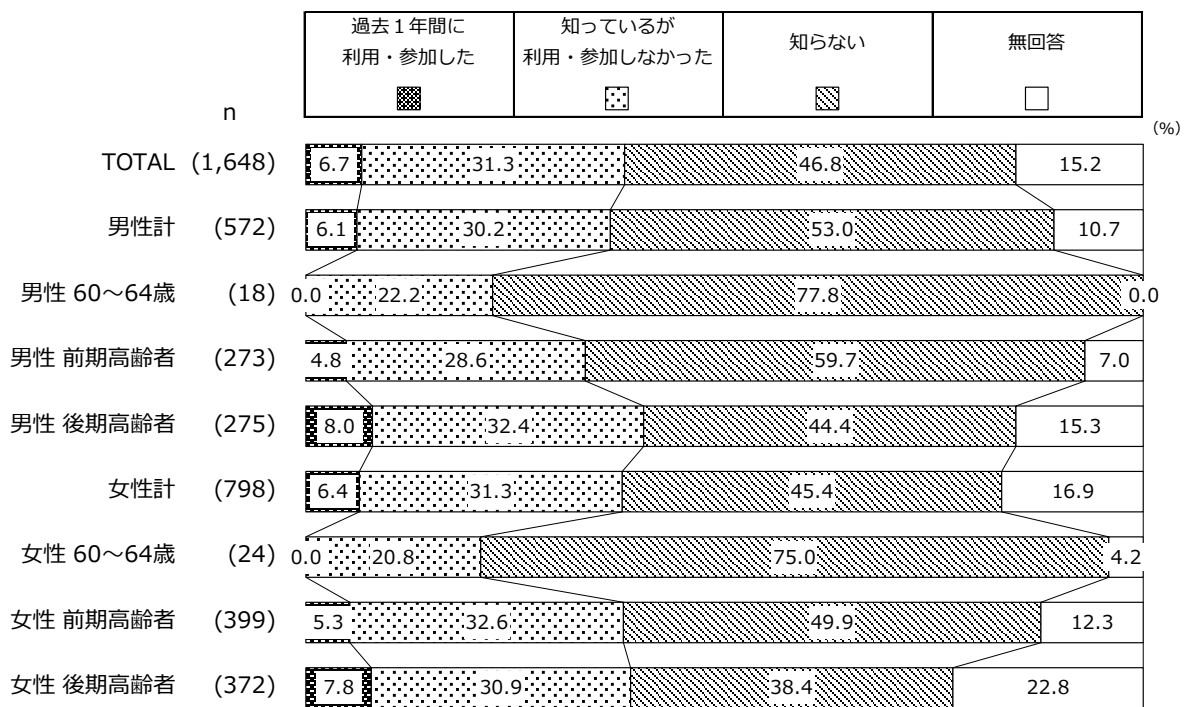


②住民防災組織

住民防災組織については、『認知度』が38.0%、「過去1年間に利用・参加した」が6.7%となっている。

性別でみると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は男性後期高齢者（40.4%）、女性後期高齢者（38.7%）、女性前期高齢者（37.9%）、男性前期高齢者（33.4%）、男性60～64歳（22.2%）、女性60～64歳（20.8%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性後期高齢者（8.0%）、女性後期高齢者（7.8%）、女性前期高齢者（5.3%）、男性前期高齢者（4.8%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-3 住民防災組織に対する認知度・参加状況：性年代別

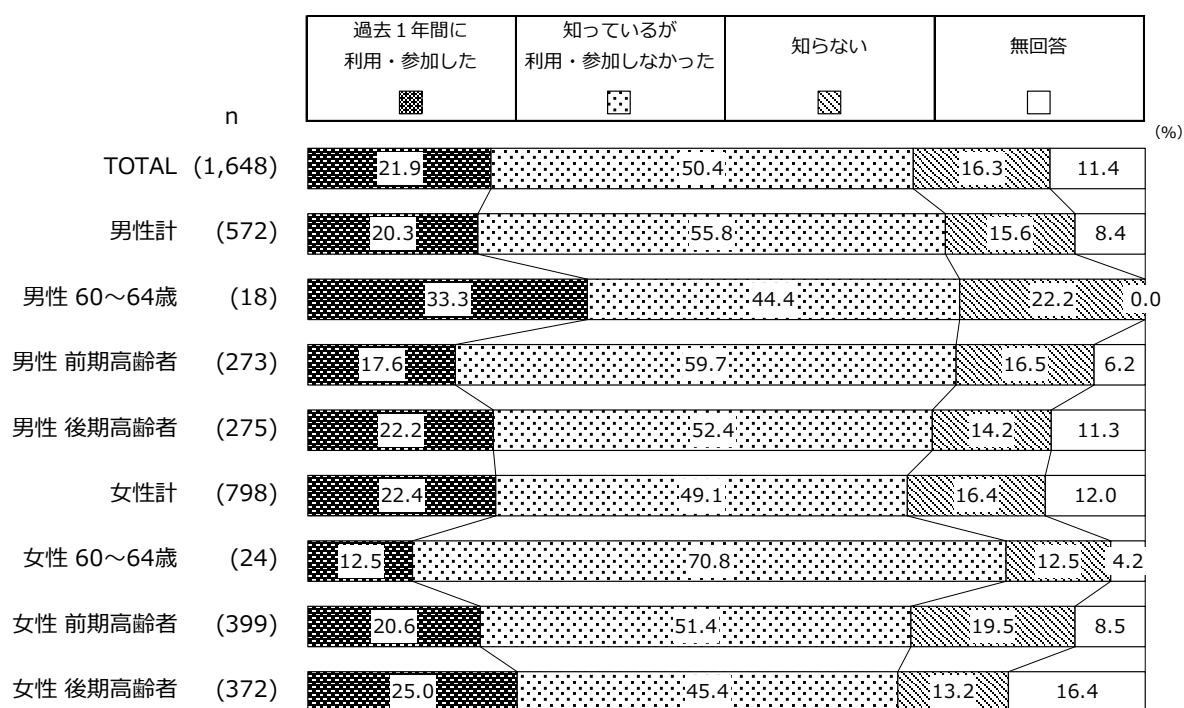


③町会・自治会

町会・自治会については、『認知度』が72.3%、「過去1年間に利用・参加した」が21.9%となっている。

性別で見ると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性60～64歳（83.3%）、男性60～64歳（77.7%）、男性前期高齢者（77.3%）、男性後期高齢者（74.6%）、女性前期高齢者（72.0%）、女性後期高齢者（70.4%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性60～64歳（33.3%）、女性後期高齢者（25.0%）、男性後期高齢者（22.2%）、女性前期高齢者（20.6%）、男性前期高齢者（17.6%）、女性60～64歳（12.5%）の順に高くなっている。

図表3-7-4 町会・自治会に対する認知度・参加状況：性年代別



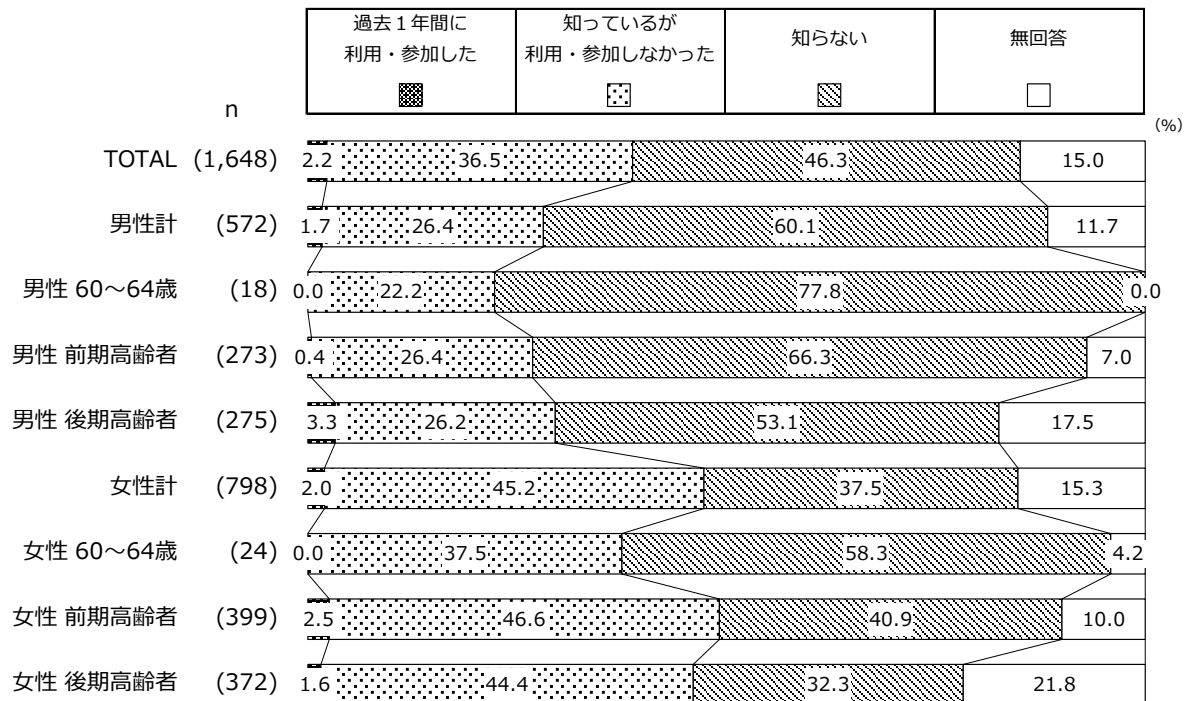


④グリーンカレッジ（高齢者大学校）教養課程・専門課程・大学院

グリーンカレッジ（高齢者大学校）教養課程・専門課程・大学院については、『認知度』が38.7%、「過去1年間に利用・参加した」が2.2%となっている。

性別でみると、『認知度』では女性（47.2%）の方が男性（28.1%）よりも19.1ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が1.7%で女性が2.0%と大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性前期高齢者（49.1%）、女性後期高齢者（46.0%）、女性60～64歳（37.5%）、男性後期高齢者（29.5%）、男性前期高齢者（26.8%）、男性60～64歳（22.2%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性後期高齢者（3.3%）、女性前期高齢者（2.5%）、女性後期高齢者（1.6%）、男性前期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-5 グリーンカレッジに対する認知度・参加状況：性年代別

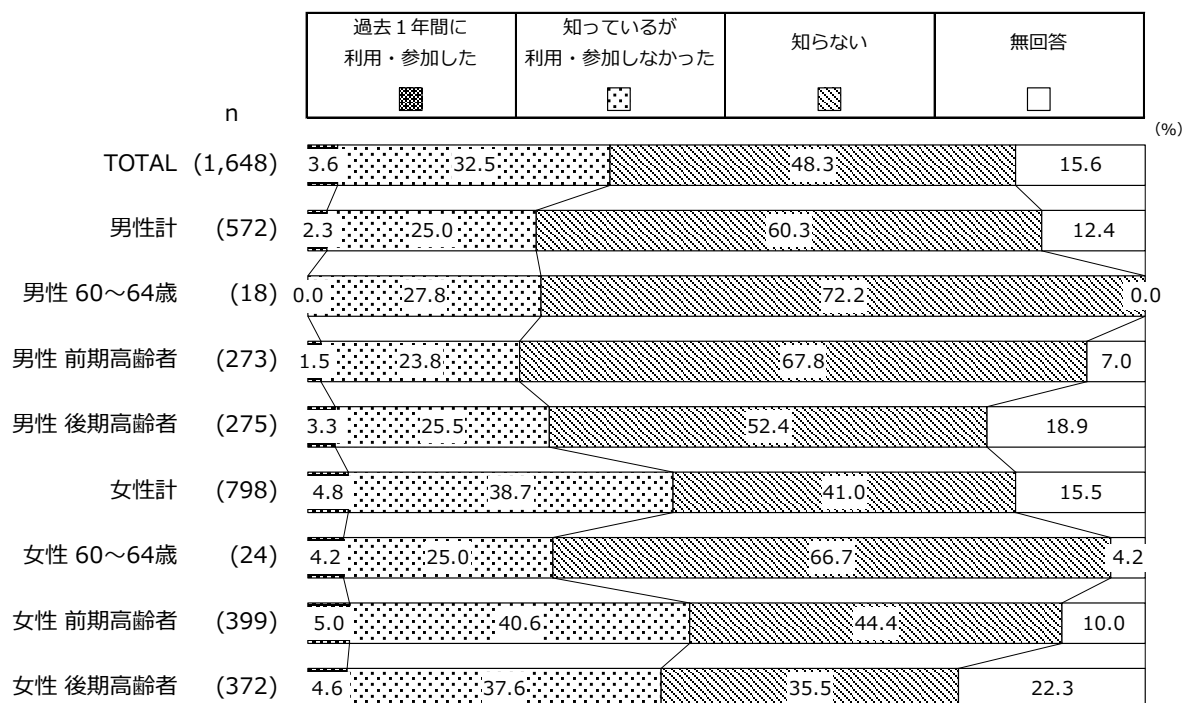


⑤グリーンカレッジホール（シニア学習プラザ）でのイベント・講座

グリーンカレッジホール（シニア学習プラザ）でのイベント・講座については、『認知度』が36.1%、「過去1年間に利用・参加した」が3.6%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（43.5%）の方が男性（27.3%）よりも16.2ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が2.3%で女性が4.8%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性前期高齢者（45.6%）、女性後期高齢者（42.2%）、女性60～64歳（29.2%）、男性後期高齢者（28.8%）、男性60～64歳（27.8%）、男性前期高齢者（25.3%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（5.0%）、女性後期高齢者（4.6%）、女性60～64歳（4.2%）、男性後期高齢者（3.3%）、男性前期高齢者（1.5%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳では0.0%となっている。

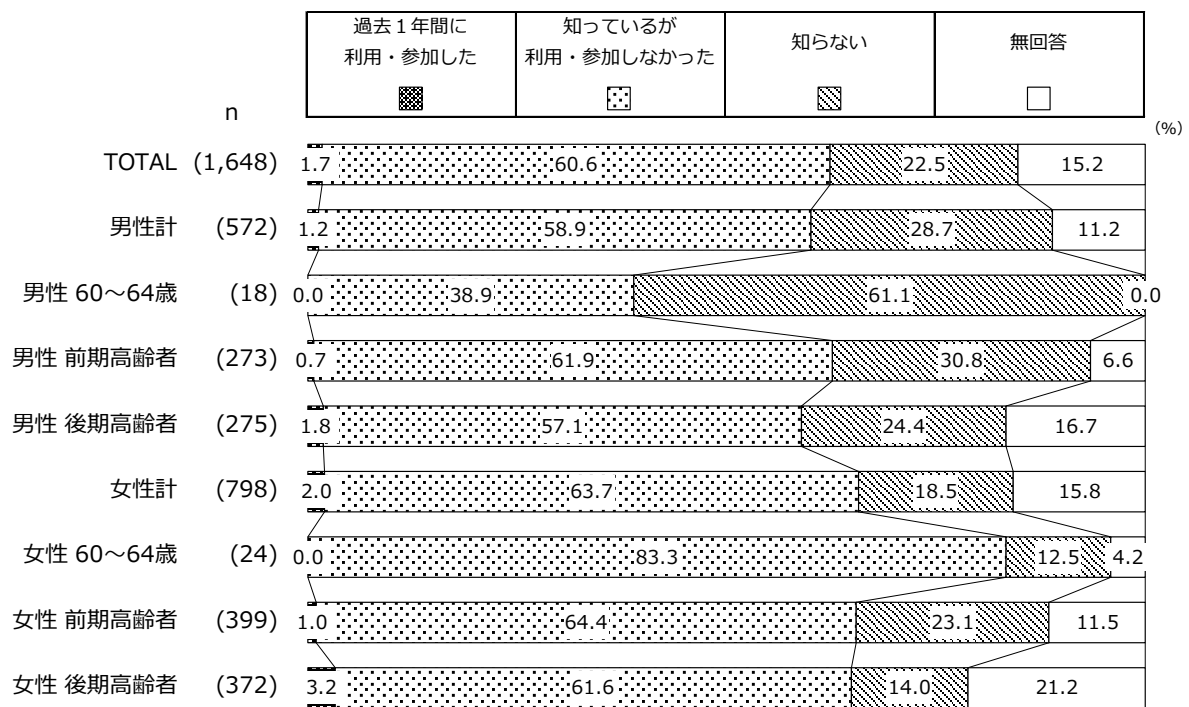
図表3-7-6 グリーンカレッジホールでのイベント・講座に対する認知度・参加状況：性年代別



⑥ 民生委員

民生委員については、『認知度』が62.3%、「過去1年間に利用・参加した」が1.7%となっている。性別で見ると、『認知度』では女性（65.7%）の方が男性（60.1%）よりも5.6ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が1.2%で女性が2.0%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性60～64歳（83.3%）、女性前期高齢者（65.4%）、女性後期高齢者（64.8%）、男性前期高齢者（62.6%）、男性後期高齢者（58.9%）、男性60～64歳（38.9%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（3.2%）、男性後期高齢者（1.8%）、女性前期高齢者（1.0%）、男性前期高齢者（0.7%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-7 民生委員に対する認知度・参加状況：性年代別

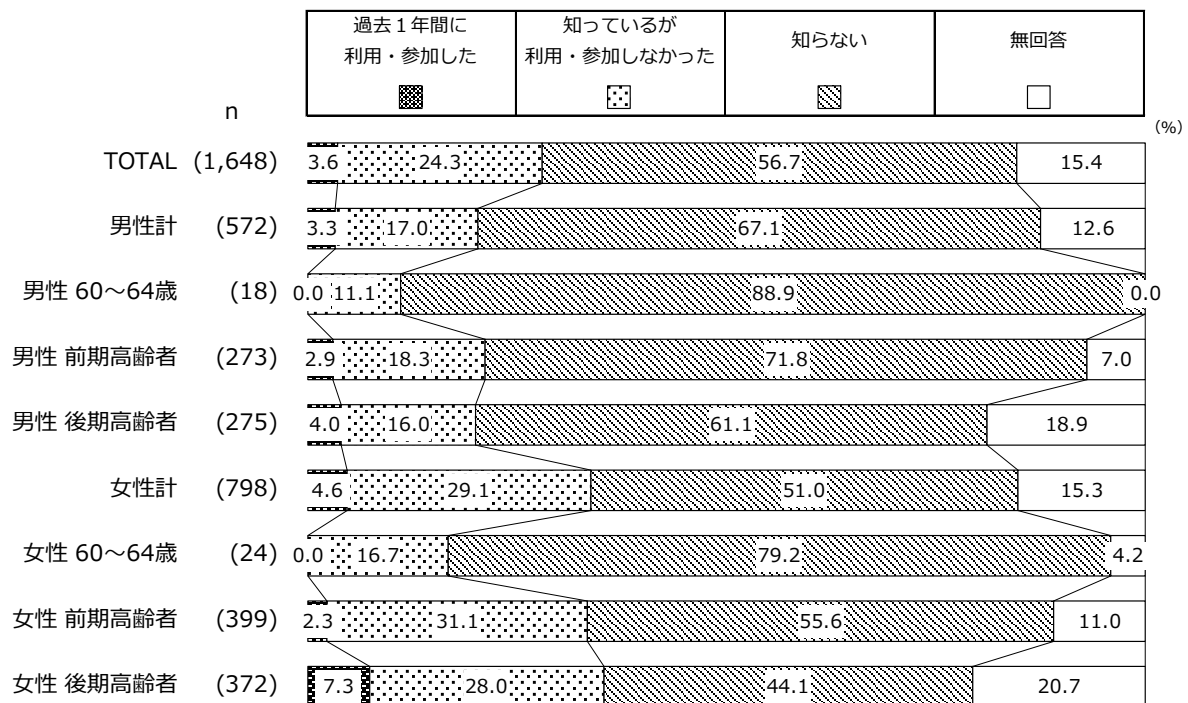


⑦まなぼーと（生涯学習センター）

まなぼーと（生涯学習センター）については、『認知度』が27.9%、「過去1年間に利用・参加した」が3.6%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（33.7%）の方が男性（20.3%）よりも13.4ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が3.3%で女性が4.6%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（35.3%）、女性前期高齢者（33.4%）、男性前期高齢者（21.2%）、男性後期高齢者（20.0%）、女性60～64歳（16.7%）、男性60～64歳（11.1%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（7.3%）、男性後期高齢者（4.0%）、男性前期高齢者（2.9%）、女性前期高齢者（2.3%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-8 まなぼーとに対する認知度・利用状況：性年代別

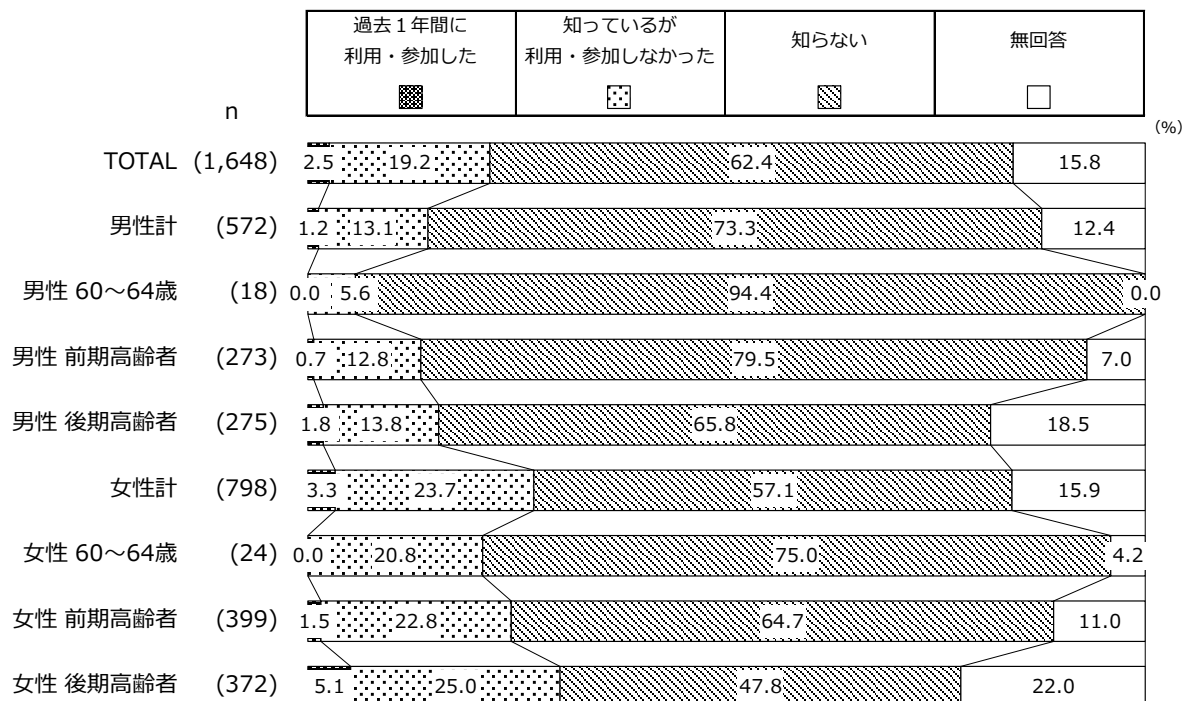


⑧フレイルチェック測定会

フレイルチェック測定会については、『認知度』が21.7%、「過去1年間に利用・参加した」が2.5%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（27.0%）の方が男性（14.3%）よりも12.7ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では、男性が1.2%で女性が3.3%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（30.1%）、女性前期高齢者（24.3%）、女性60～64歳（20.8%）、男性後期高齢者（15.6%）、男性前期高齢者（13.5%）、男性60～64歳（5.6%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（5.1%）、男性後期高齢者（1.8%）、女性前期高齢者（1.5%）、男性前期高齢者（0.7%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-9 フレイルチェック測定会に対する認知度・参加状況：性年代別

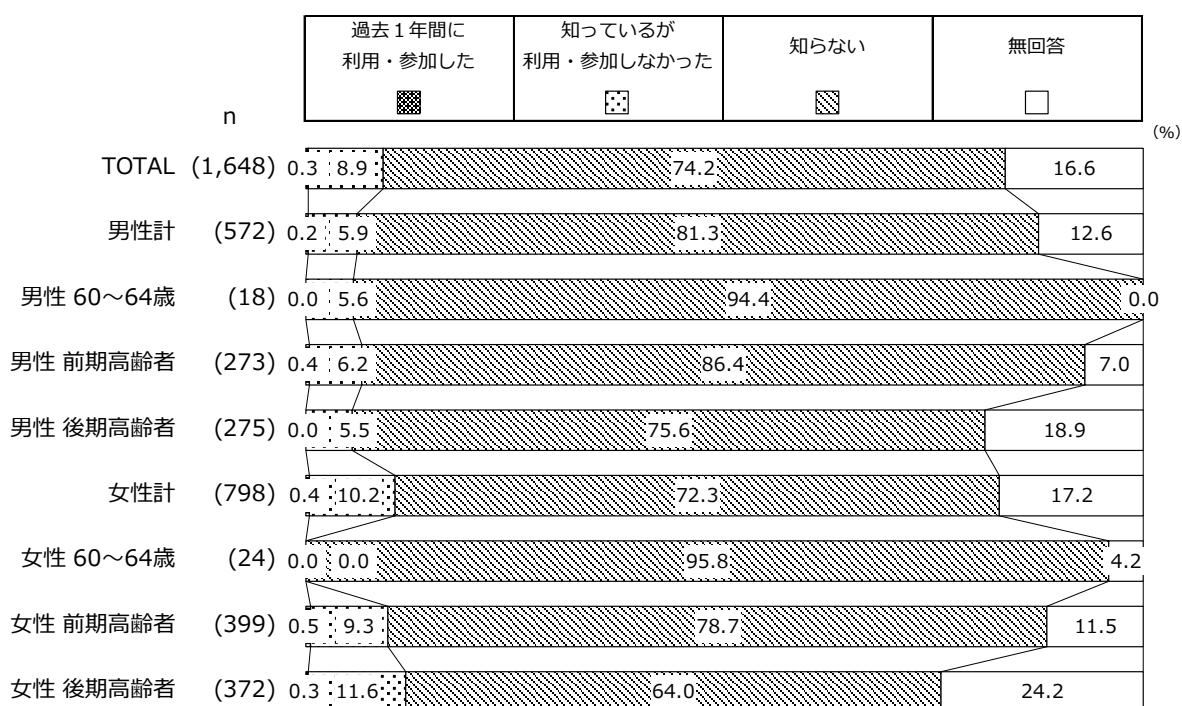


⑨「大人の活動ガイド ステップ」(冊子版またはWEB版)

「大人の活動ガイド ステップ」については、『認知度』が9.2%、「過去1年間に利用・参加した」が0.3%となっている。

性別で見ると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者(11.9%)、女性前期高齢者(9.8%)、男性前期高齢者(6.6%)、男性60~64歳(5.6%)、男性後期高齢者(5.5%)の順に高くなっているのに対して、女性60~64歳では0.0%となっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者(0.5%)、男性前期高齢者(0.4%)、女性後期高齢者(0.3%)の順に高くなっているのに対して、男性後期高齢者・男性60~64歳・女性60~64歳ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-10 「大人の活動ガイド ステップ」に対する認知度・利用状況：性年代別

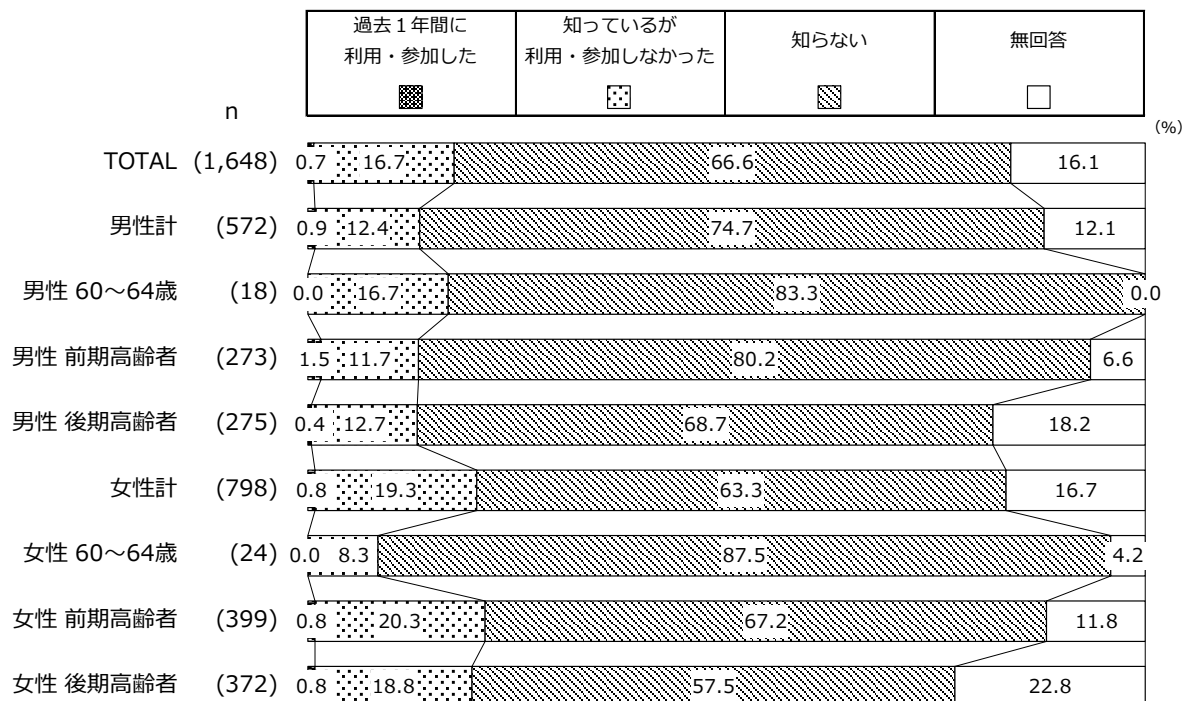


⑩ 「いたばし学習・スポーツガイド」

「いたばし学習・スポーツガイド」については、『認知度』が17.4%、「過去1年間に利用・参加した」が0.7%となっている。

性別でみると、『認知度』では女性（20.1%）の方が男性（13.3%）よりも6.8ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が0.9%で女性が0.8%と大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性前期高齢者（21.1%）、女性後期高齢者（19.6%）、男性60～64歳（16.7%）、男性前期高齢者（13.2%）、男性後期高齢者（13.1%）、女性60～64歳（8.3%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性前期高齢者（1.5%）、女性前期高齢者・女性後期高齢者（ともに0.8%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-11 「いたばし学習・スポーツガイド」に対する認知度・利用状況：性年代別

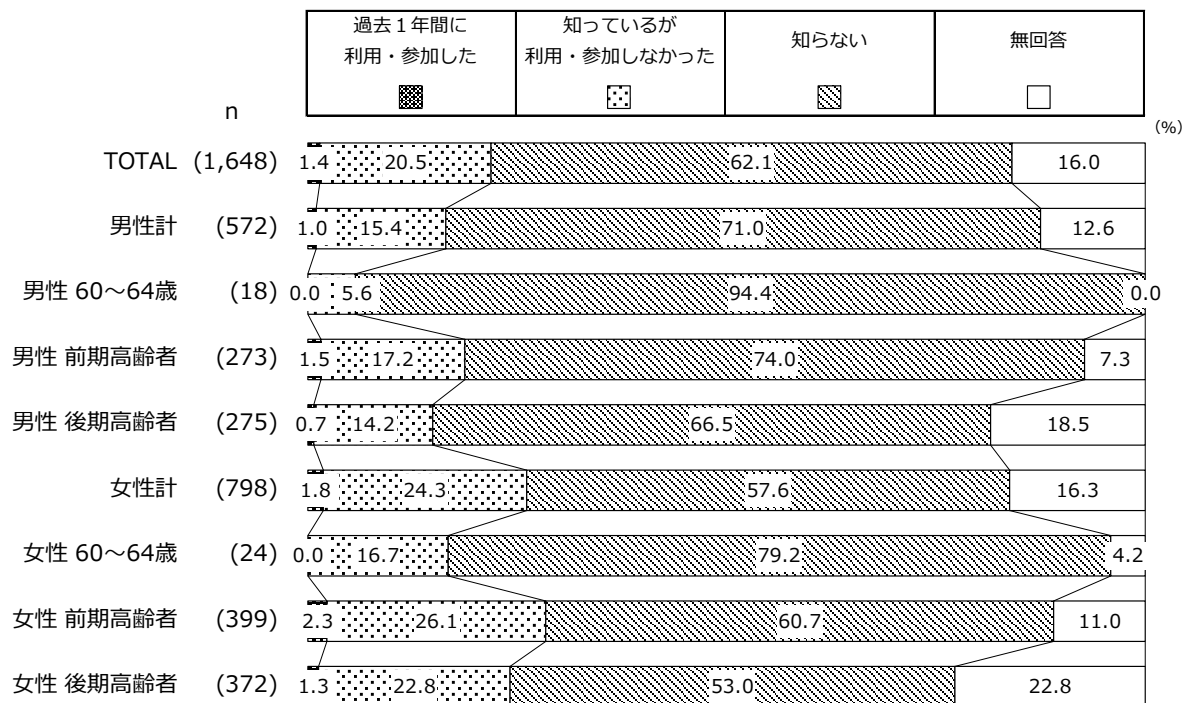


⑪いたばし総合ボランティアセンター

いたばし総合ボランティアセンターについては、『認知度』が21.9%、「過去1年間に利用・参加した」が1.4%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（26.1%）の方が男性（16.4%）よりも9.7ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が1.0%で女性が1.8%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性前期高齢者（28.4%）、女性後期高齢者（24.1%）、男性前期高齢者（18.7%）、女性60～64歳（16.7%）、男性後期高齢者（14.9%）、男性60～64歳（5.6%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（2.3%）、男性前期高齢者（1.5%）、女性後期高齢者（1.3%）、男性後期高齢者（0.7%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-12 いたばし総合ボランティアセンターに対する認知度・利用状況：性年代別



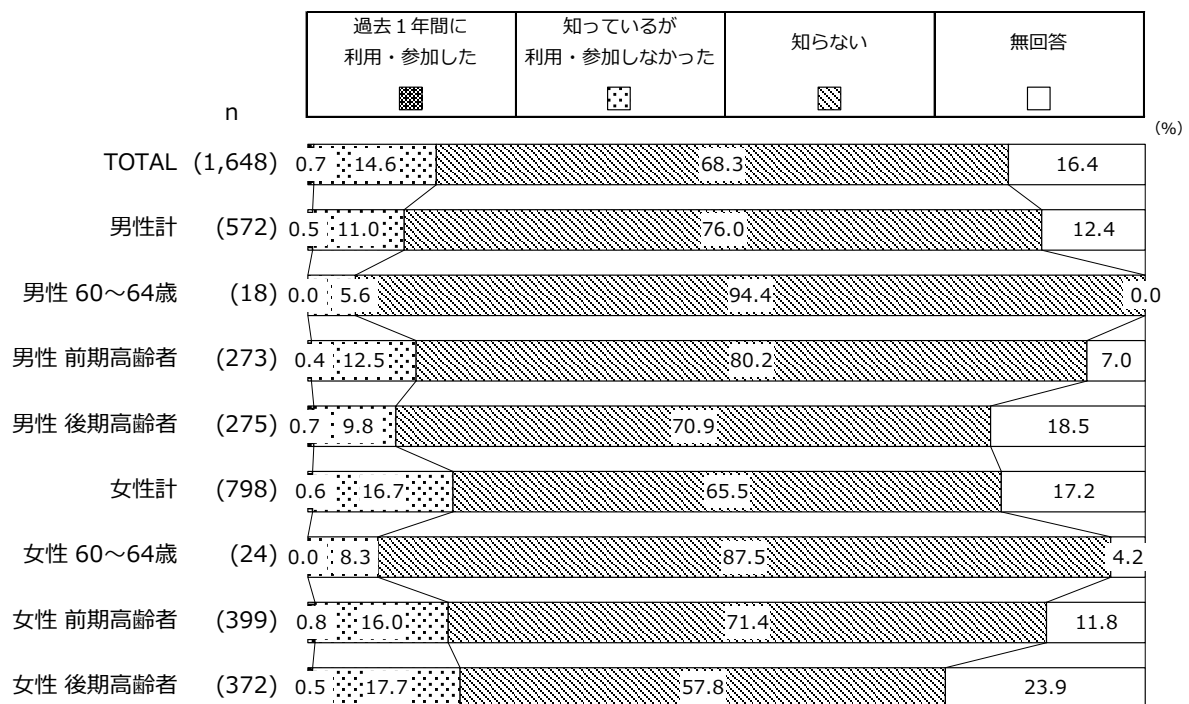


⑫コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールについては、『認知度』が15.3%、「過去1年間に利用・参加した」が0.7%となっている。

性別で見ると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（18.2%）、女性前期高齢者（16.8%）、男性前期高齢者（12.9%）、男性後期高齢者（10.5%）、女性60～64歳（8.3%）、男性60～64歳（5.6%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（0.8%）、男性後期高齢者（0.7%）、女性後期高齢者（0.5%）、男性前期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-13 コミュニティ・スクールに対する認知度・利用状況：性年代別

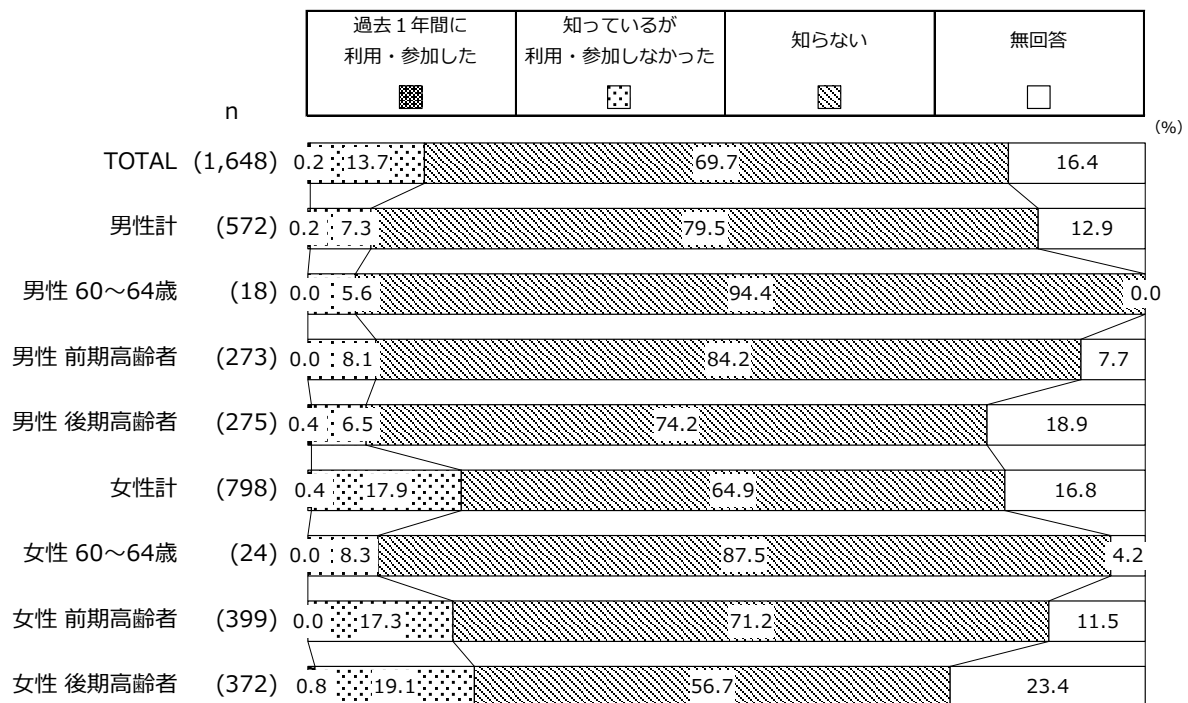


⑬認知症フレンドリーカフェ

認知症フレンドリーカフェについては、『認知度』が13.9%、「過去1年間に利用・参加した」が0.2%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（18.3%）の方が男性（7.5%）よりも10.8ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が0.2%で女性が0.4%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（19.9%）、女性前期高齢者（17.3%）、女性60～64歳（8.3%）、男性前期高齢者（8.1%）、男性後期高齢者（6.9%）、男性60～64歳（5.6%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（0.8%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳・男性前期高齢者・女性前期高齢者ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-14 認知症フレンドリーカフェに対する認知度・利用状況：性年代別

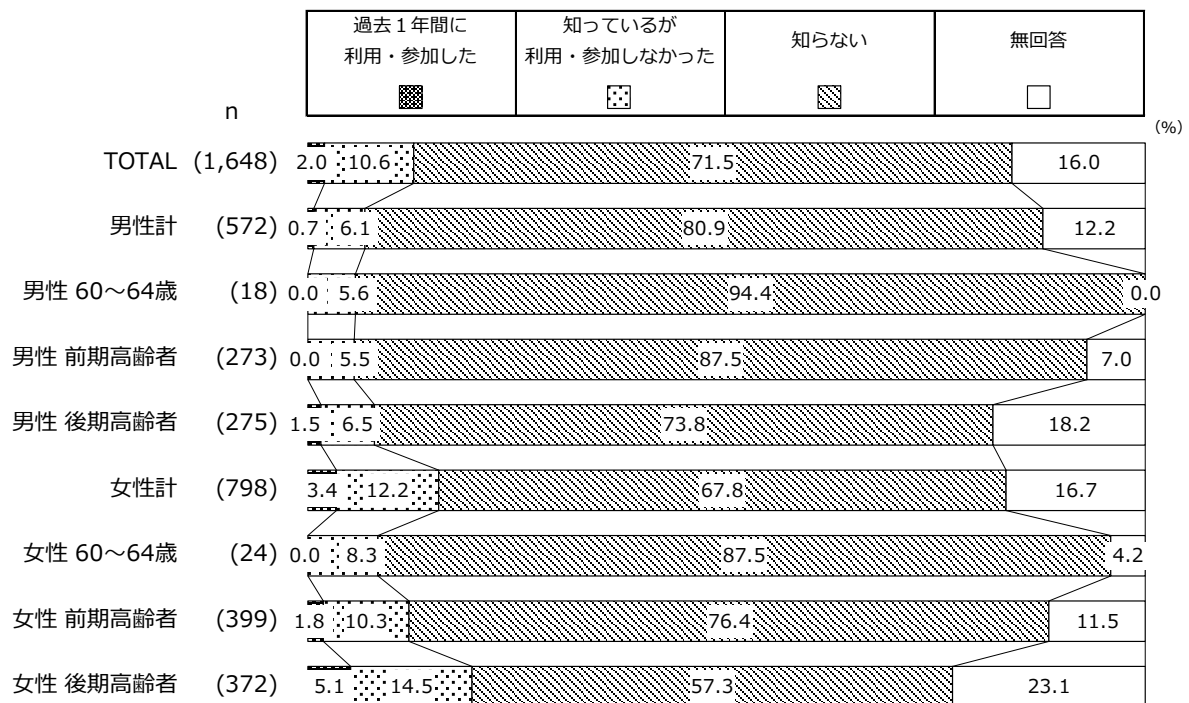


⑭住民運営通いの場（「高齢者の暮らしを拓げる10の筋トレグループ」など）

住民運営通いの場については、『認知度』が12.6%、「過去1年間に利用・参加した」が2.0%となっている。

性別でみると、『認知度』では女性（15.6%）の方が男性（6.8%）よりも8.8ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が0.7%で女性が3.4%と大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性後期高齢者（19.6%）、女性前期高齢者（12.1%）、女性60～64歳（8.3%）、男性後期高齢者（8.0%）、男性60～64歳（5.6%）、男性前期高齢者（5.5%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（5.1%）、女性前期高齢者（1.8%）、男性後期高齢者（1.5%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳・男性前期高齢者ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-15 住民運営通いの場に対する認知度・参加状況：性年代別

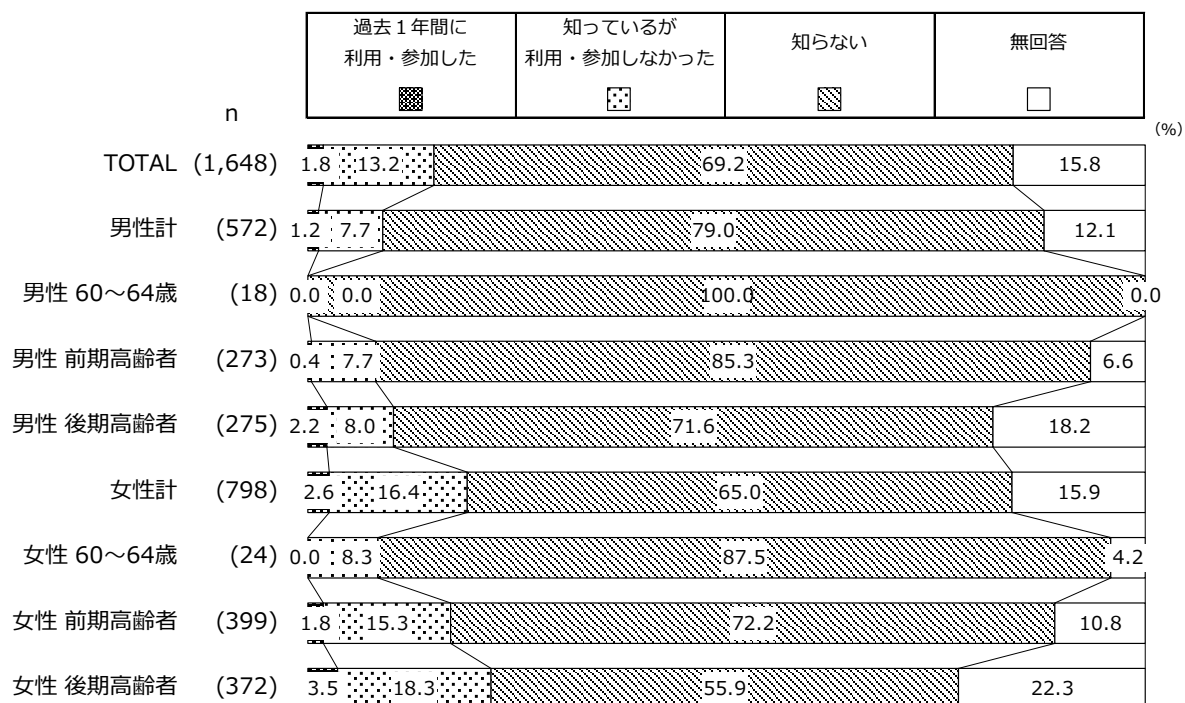


⑮福祉の森サロン

福祉の森サロンについては、『認知度』が15.0%、「過去1年間に利用・参加した」が1.8%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（19.0%）の方が男性（8.9%）よりも10.1ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男性が1.2%で女性が2.6%と大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（21.8%）、女性前期高齢者（17.1%）、男性後期高齢者（10.2%）、女性60～64歳（8.3%）、男性前期高齢者（8.1%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳では0.0%となっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（3.5%）、男性後期高齢者（2.2%）、女性前期高齢者（1.8%）、男性前期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。

図表3-7-16 福祉の森サロンに対する認知度・利用状況：性年代別

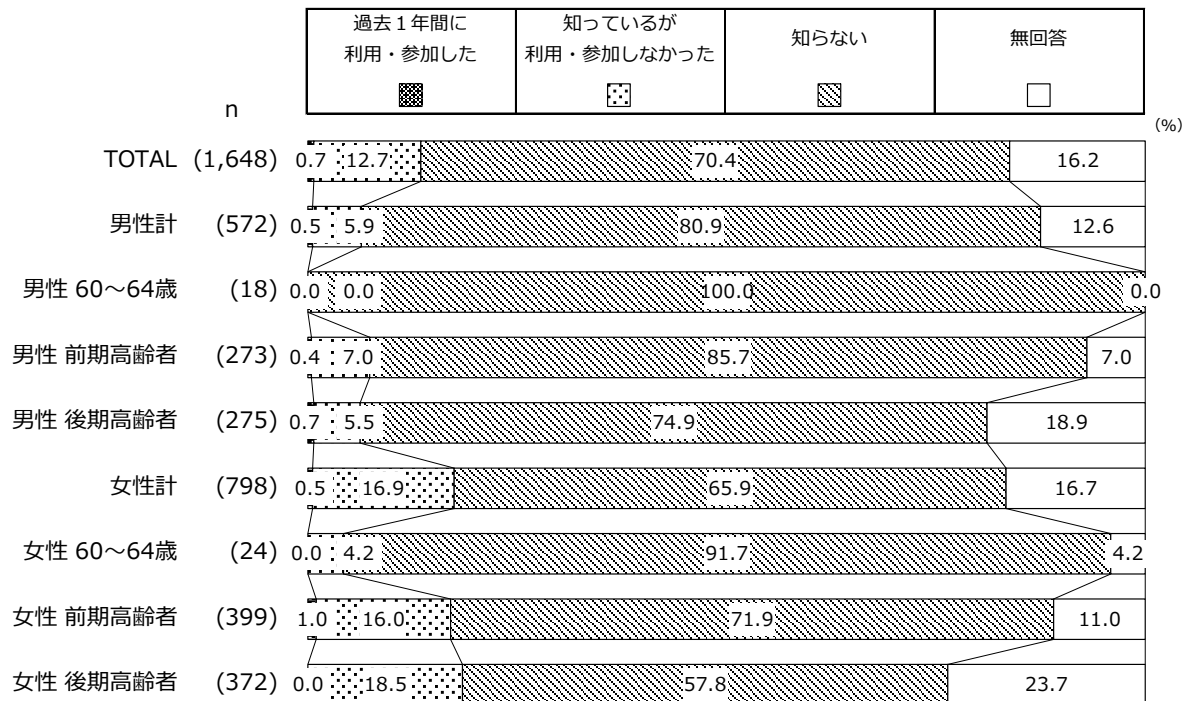


⑯シニアの絵本読み聞かせ講座

シニアの絵本読み聞かせ講座については、『認知度』が13.4%、「過去1年間に利用・参加した」が0.7%となっている。

性別でみると、『認知度』では女性（17.4%）の方が男性（6.4%）よりも11.0ポイント高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」では男女ともに0.5%であり大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性後期高齢者（18.5%）、女性前期高齢者（17.0%）、男性前期高齢者（7.4%）、男性後期高齢者（6.2%）、女性60～64歳（4.2%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳では0.0%となっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（1.0%）、男性後期高齢者（0.7%）、男性前期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳・女性後期高齢者ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-17 シニアの絵本読み聞かせ講座に対する認知度・利用状況：性年代別

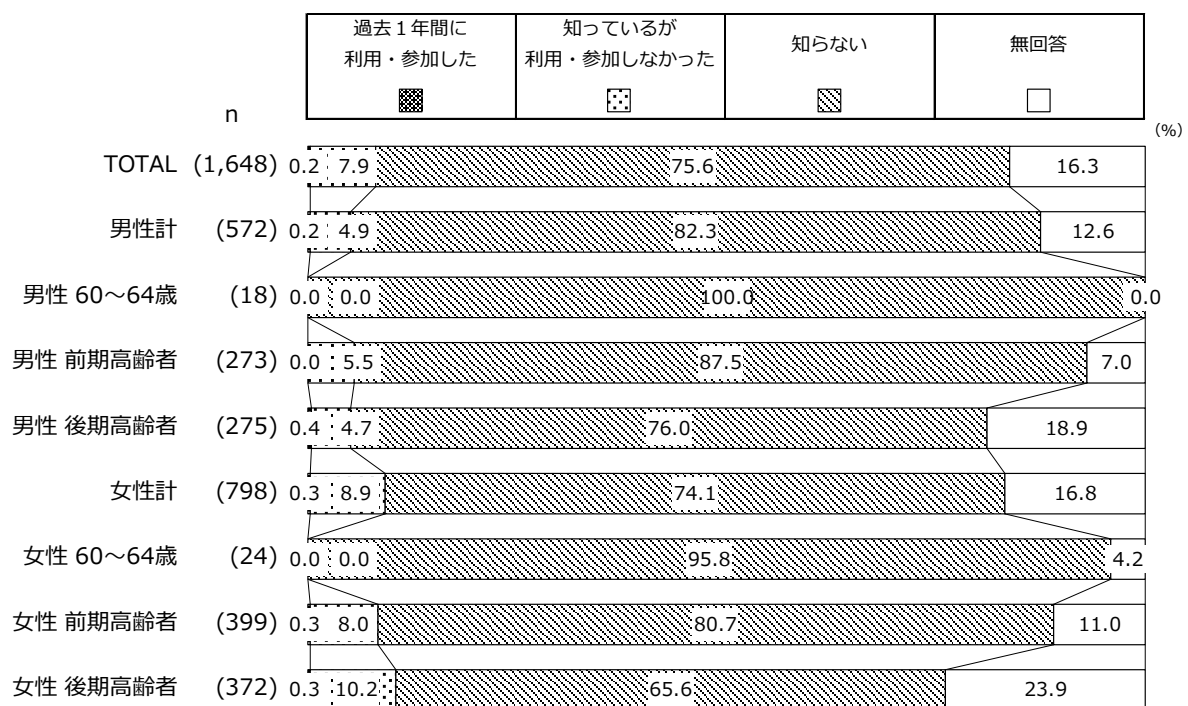


⑰シニア社会参画・社会貢献ニュース

シニア社会参画・社会貢献ニュースについては、『認知度』が8.1%、「過去1年間に利用・参加した」が0.2%となっている。

性別で見ると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（10.5%）、女性前期高齢者（8.3%）、男性前期高齢者（5.5%）、男性後期高齢者（5.1%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性後期高齢者（0.4%）、女性前期高齢者・女性後期高齢者（ともに0.3%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳・男性前期高齢者ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-18 シニア社会参画・社会貢献ニュースに対する認知度・利用状況：性年代別

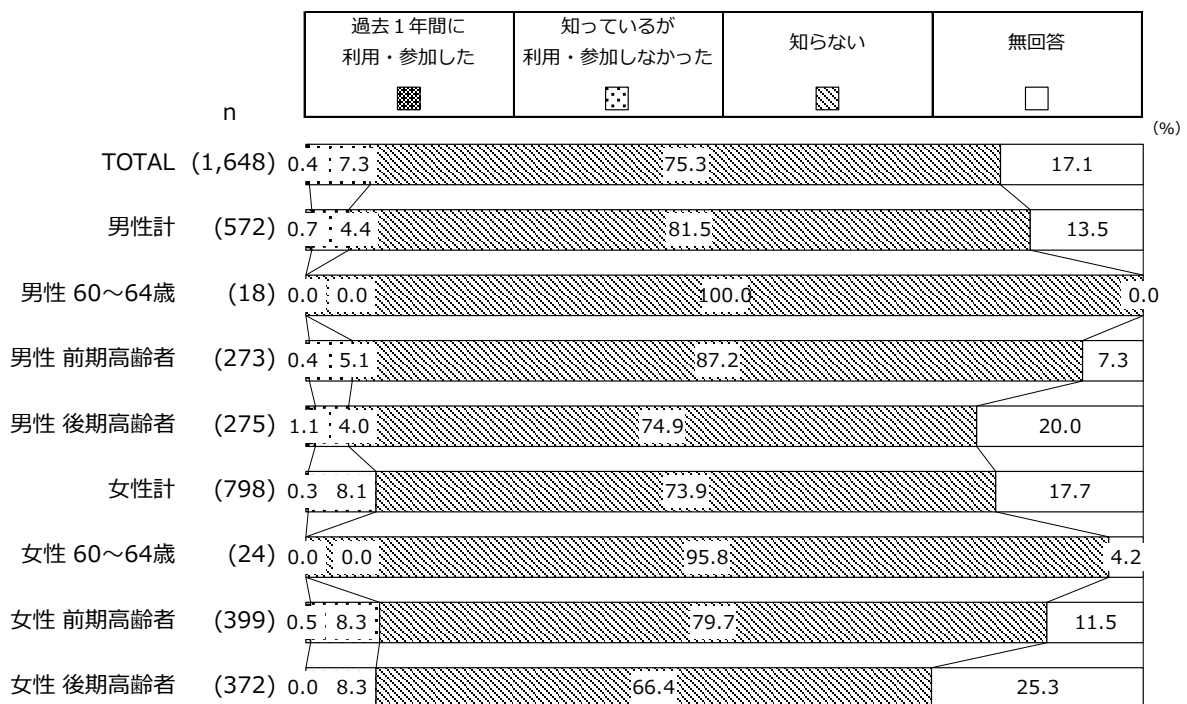


⑱ 50.60代のための地域活動入門講座

50.60代のための地域活動入門講座については、『認知度』が7.7%、「過去1年間に利用・参加した」が0.4%となっている。

性別でみると、『認知度』「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。性年代別でみると、『認知度』は女性前期高齢者（8.8%）、女性後期高齢者（8.3%）、男性前期高齢者（5.5%）、男性後期高齢者（5.1%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳ではともに0.0%となっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は男性後期高齢者（1.1%）、女性前期高齢者（0.5%）、男性前期高齢者（0.4%）の順に高くなっているのに対して、男性60～64歳・女性60～64歳・女性後期高齢者ではすべて0.0%となっている。

図表3-7-19 50.60代のための地域活動入門講座に対する認知度・利用状況：性年代別



(2) 区の事業を知った情報源

【問31で1つ以上「1」と回答した方におうかがいします。】

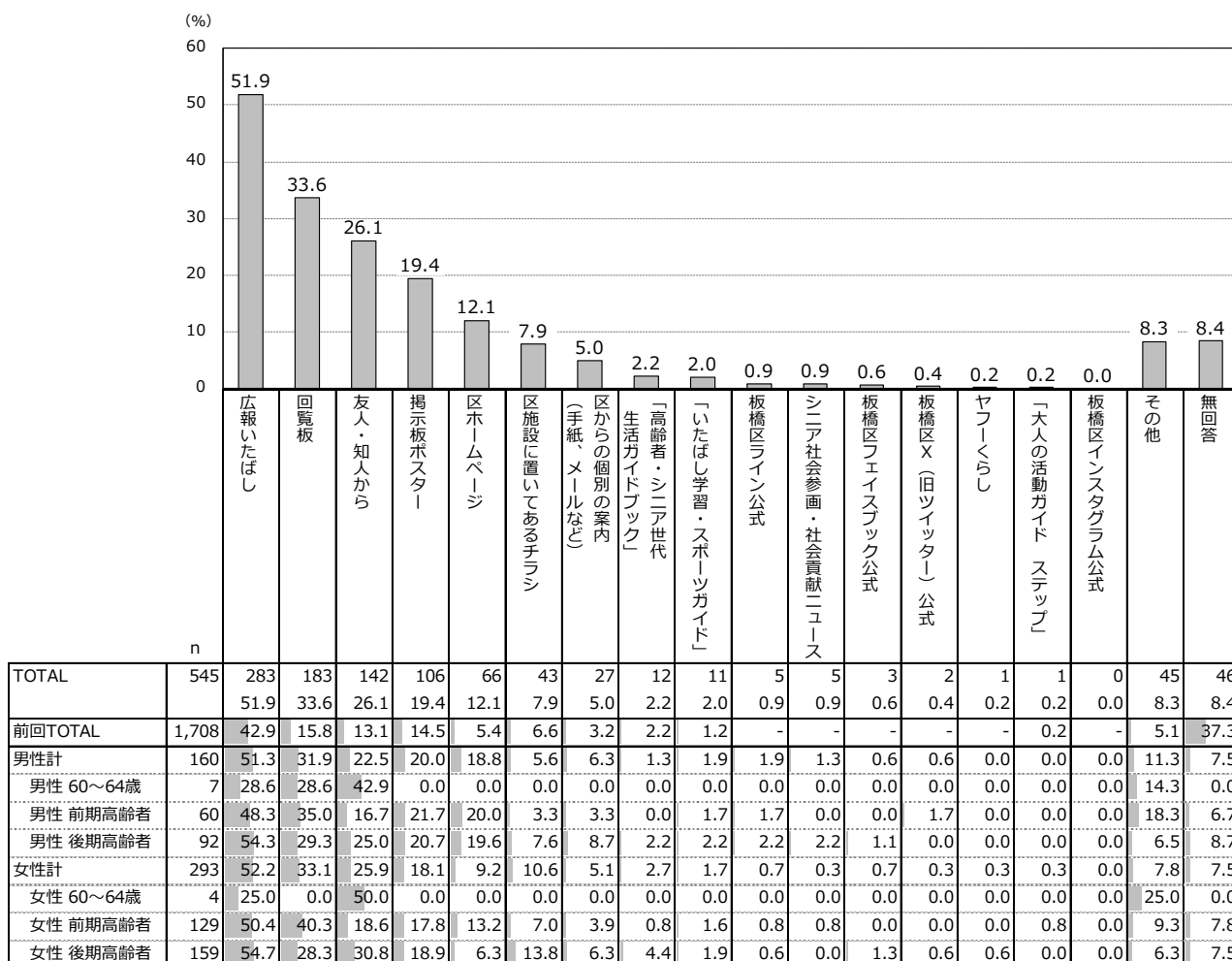
問31-1 あなた（宛名のご本人）は、利用・参加した区の事業を何で知りましたか。

（あてはまるものすべてに○）

区の事業を知った情報源については、「広報いたばし」が51.9%と最も高く、次いで「回覧板」が33.6%、「友人・知人から」が26.1%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「区ホームページ（18.8%）」が高く、女性では男性よりも「区施設に置いてあるチラシ（10.6%）」が高くなっている。また、性年代別でみると、男性60～64歳では「友人・知人から（42.9%）」が、男性前期高齢者では「その他（18.3%）」が、女性60～64歳では「友人・知人から（50.0%）」「その他（25.0%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「広報いたばし（男性60～64歳28.6%・女性60～64歳25.0%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-7-20 区の事業を知った情報源：性年代別



※前回調査では有効回答者全員を集計対象としていたが、今回調査では「問31 区の事業に対する認知度・利用または参加状況」において1項目でも「過去1年間に利用・参加した」と回答した545名を集計対象としている。そのため経年比較は行っておらず、上記図表に数値のみ掲載している。

※今回調査から「板橋区フェイスブック公式」「板橋区X (旧ツイッター) 公式」「板橋区インスタグラム公式」「板橋区ライン公式」「ヤフーくらし」「シニア社会参画・社会貢献ニュース」の選択肢を追加している。



詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・男性60～64歳では「友人・知人から（60～64歳45.5%・男性60～64歳42.9%）」が、男性65～69歳では「区ホームページ（27.3%）」が、男性70～74歳では「その他（21.1%）」が、男性80～84歳では「広報いたばし（62.5%）」が、女性60～64歳では「友人・知人から（50.0%）」「その他（25.0%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「広報いたばし」が加齢に伴って上昇している。

図表3-7-21 区の事業を知った情報源：性年代別（詳細）

	n	広報いたばし	回覧板	友人・知人から	掲示板ポスター	区ホームページ	区施設に置いてあるチラシ (手紙、メールなど)	「高齢者・シニア世代生活ガイドブック」 区からの個別の案内	「いたばし学習・スポーツガイド」	板橋区ライン公式	シニア社会参画・社会貢献ニュース	板橋区フェイスブック公式	板橋区X(旧ツイッター)公式	ヤフークラシ	「大人の活動ガイド ステップ」	板橋区インスタグラム公式	その他	無回答
TOTAL	545	51.9	33.6	26.1	19.4	12.1	7.9	5.0	2.2	2.0	0.9	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	8.3	8.4
60～64歳	11	27.3	18.2	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
65～69歳	68	48.5	36.8	17.6	20.6	20.6	5.9	4.4	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	7.4
70～74歳	157	50.3	38.9	21.7	17.2	12.7	4.5	2.5	0.6	1.9	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	9.6
75～79歳	165	52.1	32.7	26.7	21.2	9.7	10.3	6.7	4.2	2.4	1.2	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	3.6	10.3
80～84歳	136	58.1	28.7	30.9	19.9	11.8	11.0	6.6	2.2	2.2	0.7	2.2	1.5	0.0	0.0	0.0	8.8	6.6
男性60～64歳	7	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
男性65～69歳	22	45.5	36.4	22.7	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	13.6	4.5
男性70～74歳	38	50.0	34.2	13.2	18.4	15.8	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	7.9
男性75～79歳	44	45.5	36.4	15.9	18.2	18.2	9.1	9.1	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6
男性80～84歳	48	62.5	22.9	33.3	22.9	20.8	6.3	8.3	2.1	4.2	2.1	4.2	2.1	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2
女性60～64歳	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
女性65～69歳	46	50.0	37.0	15.2	17.4	17.4	4.3	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	8.7
女性70～74歳	83	50.6	42.2	20.5	18.1	10.8	8.4	4.8	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	9.6	7.2
女性75～79歳	90	54.4	26.7	33.3	20.0	6.7	14.4	7.8	5.6	2.2	1.1	0.0	1.1	1.1	1.1	0.0	3.3	6.7
女性80～84歳	69	55.1	30.4	27.5	17.4	5.8	13.0	4.3	2.9	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	10.1	8.7

### 第3章 調査結果の詳細

今年（2023年）のインターネット利用状況別では、「ほぼ毎日利用する」と「全く利用しない」とを比較すると、「広報いたばし」「区ホームページ」では「ほぼ毎日利用する」人の方が高い割合になっているものの、それ以外の項目では大きな違いがみられない。「広報いたばし」に着目すると、「ほぼ毎日利用する」「2～3日おきに利用する」「週に1回程度利用する」「月に1回程度利用する」人では50.0%を超えているのに対して、「年に数回程度利用する」人では20.0%と顕著に低くなっている。また、「ほぼ毎日利用する」「月に1回程度利用する人」では多くの媒体から情報を入手している傾向があるのに対して、「週に1回程度利用する」人は「広報いたばし（62.5%）」「回覧板（28.1%）」といった紙媒体に集中している傾向がみられ、インターネットの利用頻度によって情報源の種類だけでなくその数も異なるということが伺える。

図表3-7-22 区の事業を知った情報源：今年（2023年）のインターネット利用状況別

	n	広報いたばし	回覧板	友人・知人から	掲示板ポスター	区ホームページ	区施設に置いてあるチラシ	区からの個別の案内（手紙、メールなど）	「高齢者・シニア世代生活ガイドブック」	「いたばし学習・スポーツガイド」	板橋区ライン公式	シニア社会参画・社会貢献ニュース	板橋区フェイスブック公式	板橋区X（旧ツイッター）公式	ヤフーくらし	「大人の活動ガイド ステップ」	板橋区Instagram公式	その他	無回答
TOTAL	545	51.9	33.6	26.1	19.4	12.1	7.9	5.0	2.2	2.0	0.9	0.9	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	8.3	8.4
ほぼ毎日利用する	306	54.6	31.4	23.9	20.3	17.3	8.8	3.6	2.6	2.3	1.6	1.0	0.7	0.7	0.3	0.3	0.0	8.8	8.8
2～3日おきに利用する	42	52.4	38.1	42.9	19.0	9.5	11.9	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8
週に1回程度利用する	32	62.5	28.1	15.6	15.6	12.5	9.4	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3
月に1回程度利用する	13	53.8	46.2	46.2	30.8	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
年に数回程度利用する	10	20.0	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
全く利用しない	110	44.5	35.5	27.3	19.1	1.8	2.7	10.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	7.3

### (3) 区の事業への参加による効果

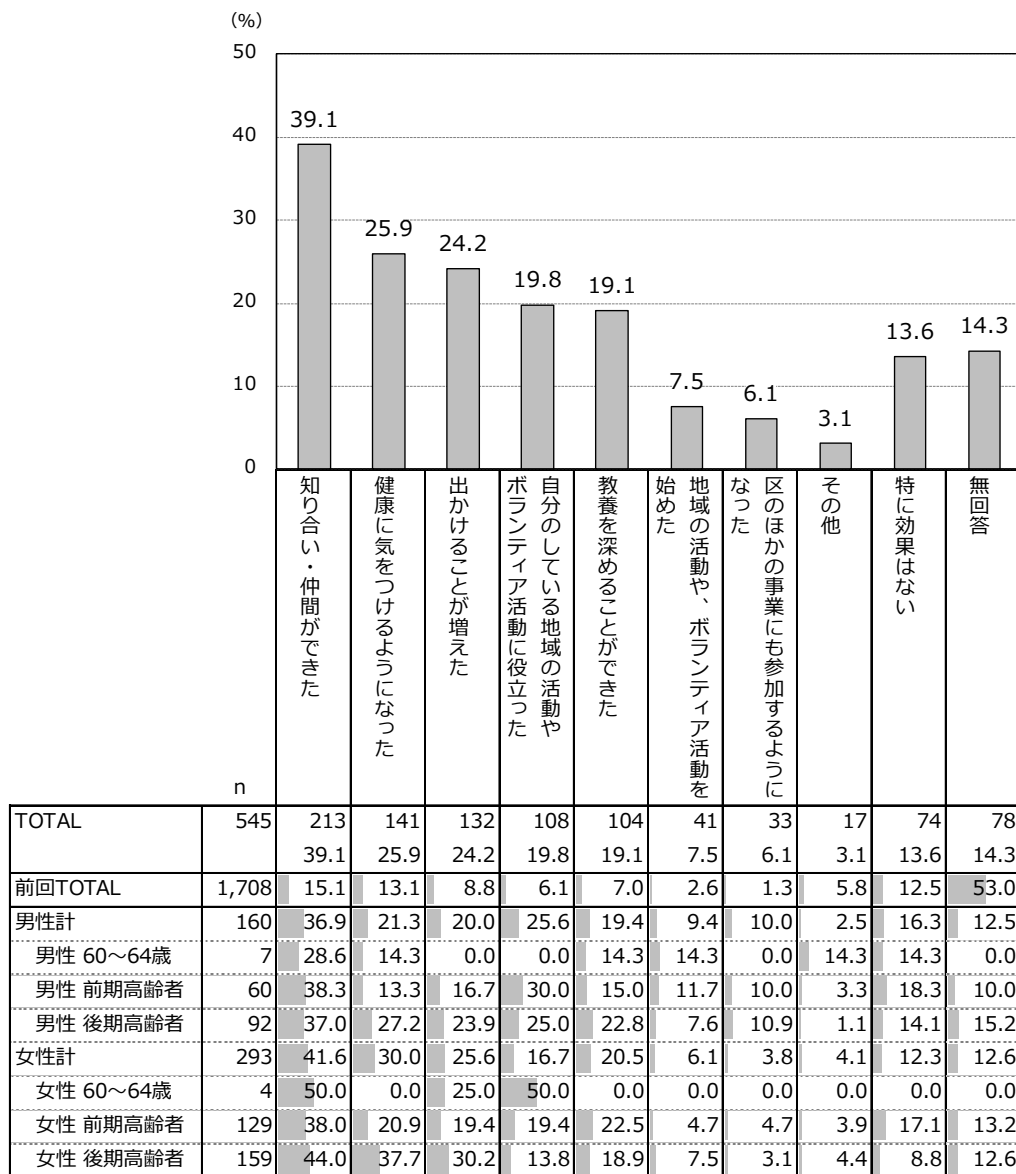
【問31で1つ以上「1」と回答した方におうかがいします。】

問31-2 あなた（宛名のご本人）は、区の事業に参加することでどんな効果があったと思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

区の事業への参加による効果については、「知り合い・仲間ができた」が39.1%と最も高く、次いで「健康に気をつけるようになった」が25.9%、「出かけることが増えた」が24.2%の順となっている。一方、「特に効果はない」は13.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自分のしている地域の活動やボランティア活動に役立った（25.6%）」「区のほかの事業にも参加するようになった（10.0%）」が高く、女性では男性よりも「健康に気をつけるようになった（30.0%）」「出かけることが増えた（25.6%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「その他（14.3%）」が、男性前期高齢者では「自分のしている地域の活動やボランティア活動に役立った（30.0%）」が、女性60～64歳では「自分のしている地域の活動やボランティア活動に役立った」「知り合い・仲間ができた」（ともに50.0%）が、女性後期高齢者では「健康に気をつけるようになった（37.7%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「知り合い・仲間ができた（28.6%）」「健康に気をつけるようになった（14.3%）」が、男性前期高齢者では「健康に気をつけるようになった（13.3%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-7-23 区の事業への参加による効果：性年代別



※前回調査では有効回答者全員を集計対象としていたが、今回調査では「問31 区の事業に対する認知度・利用または参加状況」において1項目でも「過去1年間に利用・参加した」と回答した545名を集計対象としている。そのため経年比較は行っておらず、上記図表に数値のみ掲載している。

#### (4) 区の事業に参加しない理由

【問31ですべて「2」と回答した方におうかがいします。】

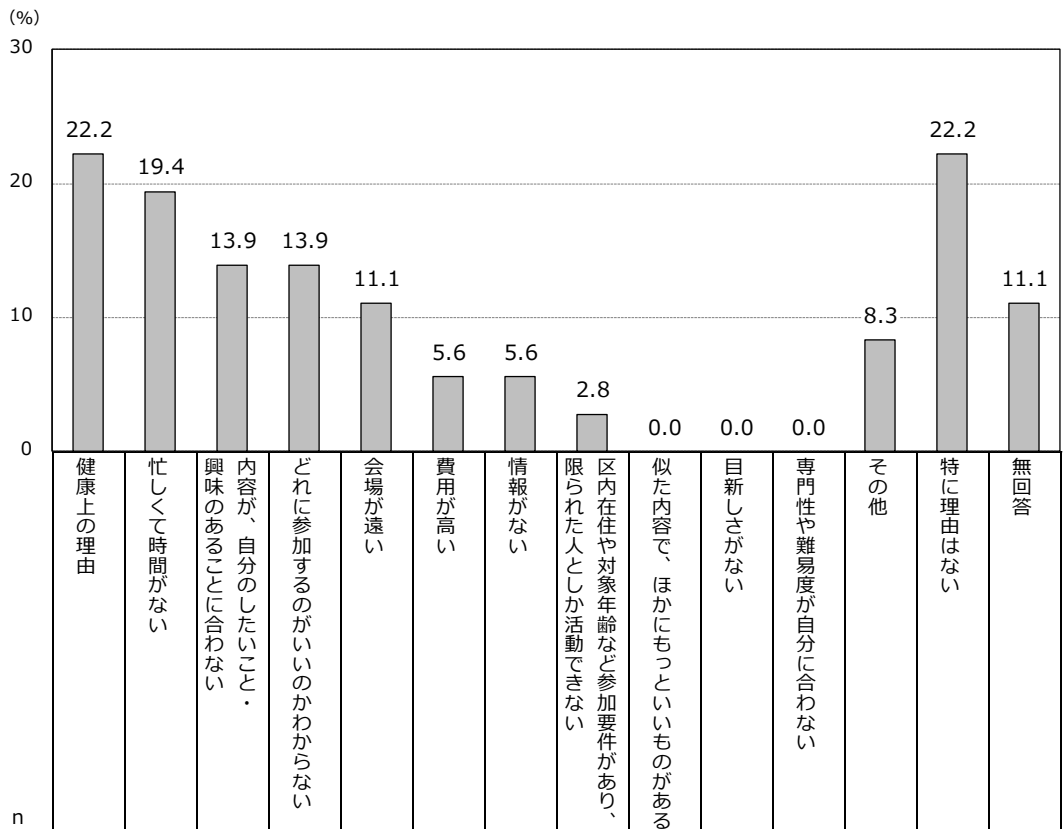
問31-3 あなた（宛名のご本人）が区の事業に参加しない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

区の事業に参加しない理由については、「特に理由はない（22.2%）」を除くと、「健康上の理由」が22.2%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が19.4%、「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」「どれに参加するのがいいのかわからない」がともに13.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「どれに参加するのがいいのかわからない」「特に理由はない」（ともに40.0%）が高く、女性では男性よりも「健康上の理由（26.3%）」「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」「会場が遠い」（左記2項目はともに15.8%）「費用が高い（10.5%）」「区内在住や対象年齢など参加要件があり、限られた人としてしか活動できない」「情報が無い」「その他」（左記3項目はすべて5.3%）が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性前期高齢者では「どれに参加するのがいいのかわからない」「特に理由はない」（ともに50.0%）が、男性後期高齢者では「忙しくて時間がない」「どれに参加するのがいいのかわからない」「特に理由はない」（すべて33.3%）が、女性前期高齢者では「忙しくて時間がない（44.4%）」「会場が遠い」「費用が高い」（左記2項目はともに22.2%）が全体の傾向よりも高く、また女性前期高齢者では「特に理由はない（11.1%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-7-24 区の事業に参加しない理由：性年代別



	n	健康上の理由	忙しくて時間がない	興味のあることに合わない	内容が、自分のしたいこと・どれに参加するのがいいのかわからない	会場が遠い	費用が高い	情報がない	限られた人としてしか活動できない	区内在住や対象年齢など参加要件があり、似た内容で、ほかにもっといいものがある	目新しさがない	専門性や難易度が自分に合わない	その他	特に理由はない	無回答
TOTAL	36	8	7	5	5	4	2	2	1	0	0	0	3	8	4
		22.2	19.4	13.9	13.9	11.1	5.6	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	8.3	22.2	11.1
前回TOTAL	1,708	13.4	16.3	17.5	12.3	8.9	2.2	14.3	2.8	1.4	2.4	2.6	4.9	22.7	16.9
男性計	5	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
男性 60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 前期高齢者	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
男性 後期高齢者	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
女性計	19	26.3	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	15.8	15.8
女性 60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 前期高齢者	9	22.2	44.4	22.2	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1
女性 後期高齢者	10	30.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

※前回調査では有効回答者全員を集計対象としていたが、今回調査では「問31 区の事業に対する認知度・利用または参加状況」において全ての項目で「知っているが利用・参加しなかった」と回答した36名を集計対象としている。そのため経年比較は行っておらず、上記図表に数値のみ掲載している。

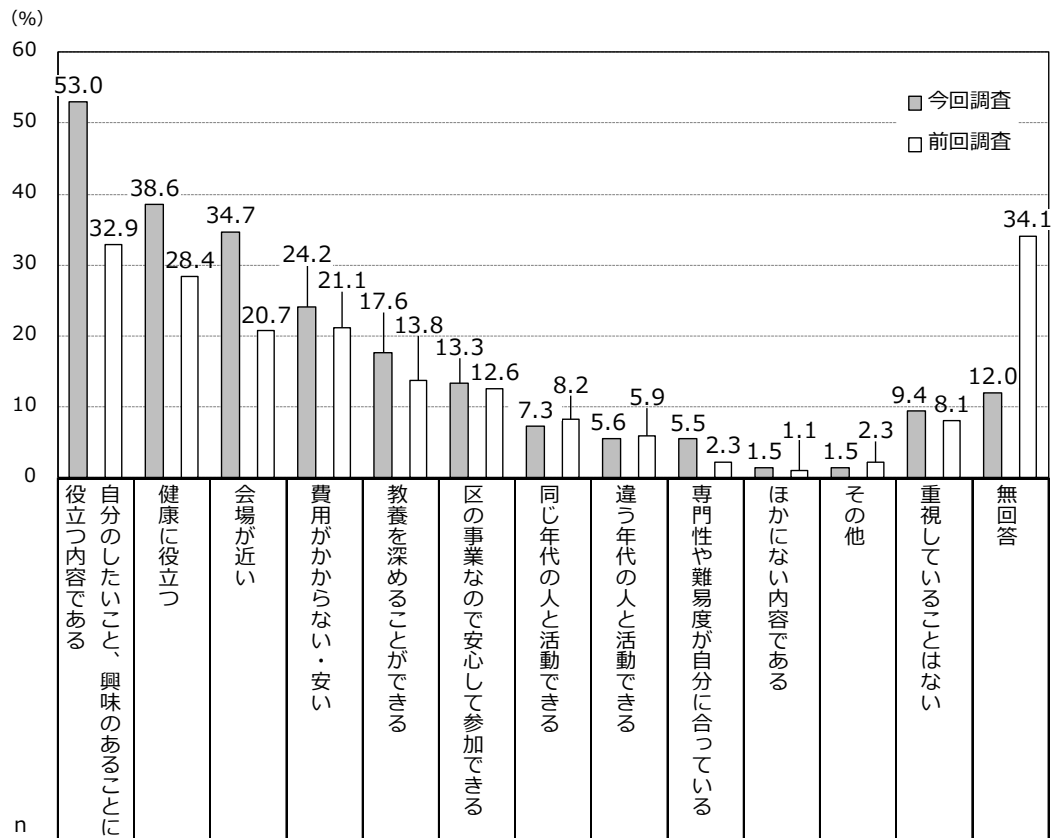
**(5) 区の事業に参加するときに重視すること****問32 あなた（宛名のご本人）は区の事業に参加するとき、どんなことを重視しますか。****上位3つに○をつけてください。（○は3つまで）**

区の事業に参加するときに重視することについて、重視することがあると回答している人の中では、「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が53.0%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が38.6%、「会場が近い」が34.7%の順となっている。一方、「重視していることはない」は9.4%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「重視していることはない（13.1%）」が高く、女性では男性よりも「会場が近い（40.0%）」「費用がかからない・安い（27.2%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である（72.2%）」が、女性60～64歳では「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である（70.8%）」「費用がかからない・安い（58.3%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「会場が近い（16.7%）」が、女性60～64歳では「健康に役立つ（12.5%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「自分のしたいこと、興味のあることに役立つ内容である」が20.1ポイント、「会場が近い」が14.0ポイント、「健康に役立つ」が10.2ポイント、それぞれ上昇している。

図表3-7-25 区の事業に参加するときに重視すること：性年代別



n	重視すること														
	役立った内容である	自分のしたいこと、興味のあることに健康に役立つ	会場が近い	費用がかからない・安い	教養を深めることができる	区の事業なので安心して参加できる	同じ年代の人と活動できる	違う年代の人と活動できる	専門性や難易度が自分に合っている	ほかにはない内容である	その他	重視していることはない	無回答		
TOTAL	1,648	874	636	572	399	290	219	120	93	90	24	24	155	198	
		53.0	38.6	34.7	24.2	17.6	13.3	7.3	5.6	5.5	1.5	1.5	9.4	12.0	
前回TOTAL	1,708	32.9	28.4	20.7	21.1	13.8	12.6	8.2	5.9	2.3	1.1	2.3	8.1	34.1	
男性計	572	54.5	37.2	28.5	22.0	19.8	11.2	6.5	6.1	7.0	1.4	1.6	13.1	9.3	
男性 60～64歳	18	72.2	44.4	16.7	33.3	11.1	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	
男性 前期高齢者	273	58.6	35.2	30.0	22.0	19.8	8.4	7.3	7.7	8.8	0.7	1.5	15.4	5.5	
男性 後期高齢者	275	49.5	38.5	27.6	21.1	20.7	14.9	5.8	4.4	5.5	2.2	1.5	11.3	13.5	
女性計	798	54.5	40.9	40.0	27.2	17.0	15.5	7.6	4.9	4.9	1.3	1.5	7.5	11.5	
女性 60～64歳	24	70.8	12.5	41.7	58.3	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	4.2	4.2	8.3	8.3	
女性 前期高齢者	399	59.4	41.6	39.6	30.8	18.0	12.8	5.5	4.8	7.0	1.3	1.8	8.3	9.0	
女性 後期高齢者	372	48.1	41.9	40.1	21.2	16.1	19.1	9.9	5.4	2.2	1.1	1.1	6.7	14.5	



## 8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて

## (1) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による「社会参加」への影響

**問33 社会参加に関して、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に2類感染症から5類感染症に移行したことで、どのような影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)**

※「5類感染症への移行」…感染症陽性者の行動制限の緩和される、濃厚接触者の行動制限が不要となるなど、感染症法上の位置づけが変更された。

※「社会参加」…仕事、町会・自治会やシニア（老人）クラブなど地域での活動、ボランティア、学習、芸能の伝承、趣味・習い事など、他の人と一緒に行うことであれば、すべて「社会参加」としてください。

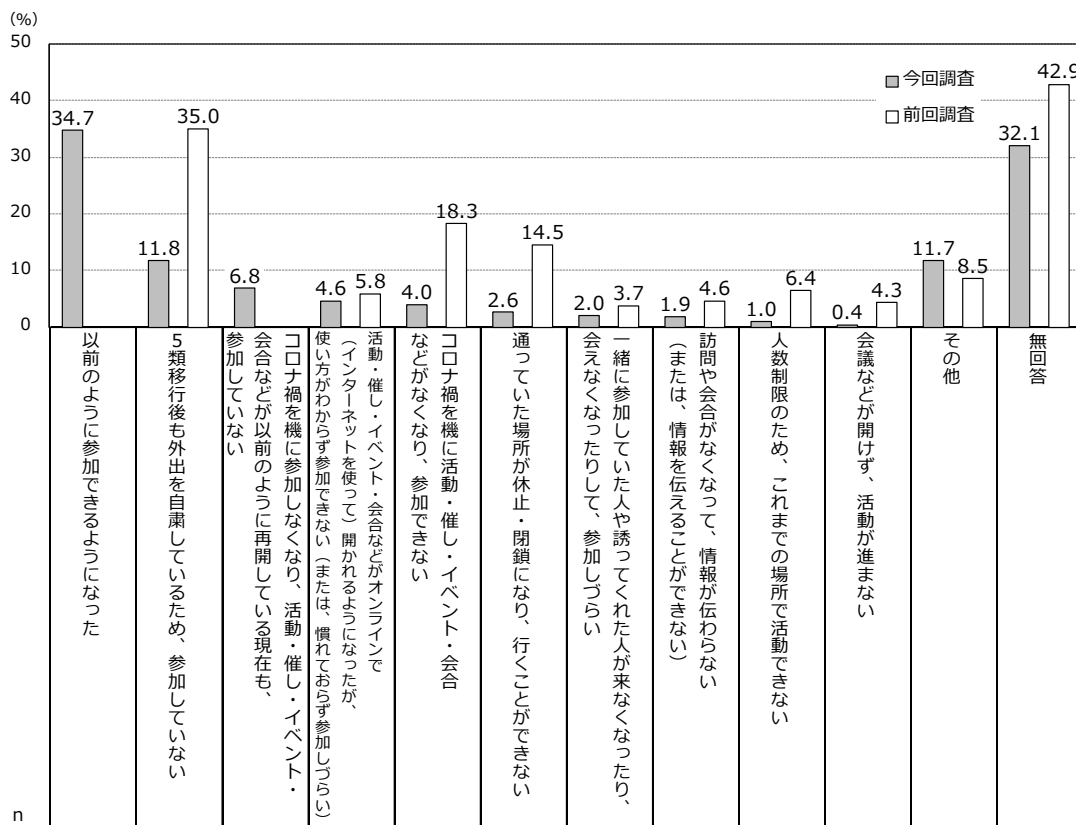
新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による「社会参加」への影響については、「以前のように参加できるようになった」が34.7%と最も高く、次いで「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」が11.8%、「コロナ禍を機に参加しなくなり、活動・催し・イベント・会合などが以前のように再開している現在も、参加していない」が6.8%の順となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。性年代別で見ると、「以前のように参加できるようになった」は男女ともに加齢に伴い低下、「一緒に参加していた人や誘ってくれた人が来なくなったり、会えなくなったりして、参加しづらい」は男女ともに加齢に伴い上昇している。また、「コロナ禍を機に活動・催し・イベント・会合などがなくなり、参加できない」「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「通っていた場所が休止・閉鎖になり、行くことができない」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」が23.2ポイント、「コロナ禍を機に活動・催し・イベント・会合などがなくなり、参加できない」が14.3ポイント、「通っていた場所が休止・閉鎖になり、行くことができない」が11.9ポイント、「人数制限のため、これまでの場所で活動できない」が5.4ポイント、それぞれ低下している。

図表3-8-1 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことによる「社会参加」への影響：

性年代別



	n	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	今回調査 (%)	前回調査 (%)
TOTAL	1,648	34.7	11.8	6.8	4.6	4.0	2.6	2.0	1.9	1.0	0.4	11.7	32.1
前回TOTAL	1,708	-	35.0	-	5.8	18.3	14.5	3.7	4.6	6.4	4.3	8.5	42.9
男性計	572	33.0	13.8	7.9	4.4	4.4	2.3	1.7	2.1	1.0	0.7	14.2	29.4
男性 60～64歳	18	44.4	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	22.2
男性 前期高齢者	273	35.9	14.7	7.0	2.9	4.0	1.5	1.1	1.1	0.7	1.1	17.9	22.7
男性 後期高齢者	275	30.2	13.5	8.4	5.8	4.4	3.3	2.5	3.3	1.5	0.4	10.5	35.6
女性計	798	37.5	11.0	6.5	4.5	3.5	3.3	2.1	1.9	0.9	0.0	11.2	32.1
女性 60～64歳	24	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	16.7	16.7
女性 前期高齢者	399	41.4	11.0	4.5	5.0	3.0	2.3	1.8	0.5	1.0	0.0	14.5	27.6
女性 後期高齢者	372	33.1	11.0	8.6	4.3	4.3	4.3	2.7	3.2	0.8	0.0	7.0	37.9

※前回調査では「外出を自粛しており、以前のように参加できない」

「活動・催し・イベント・会合などがなくなり、参加できない」としていた選択肢を、今回調査では「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」

「コロナ禍を機に活動・催し・イベント・会合などがなくなり、参加できない」にそれぞれ変更している。

※また、今回調査では「以前のように参加できるようになった」

「コロナ禍を機に参加しなくなり、活動・催し・イベント・会合などが以前のように再開している現在も、参加していない」の選択肢を追加している。

## (2) 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの

問34 あなた（宛名のご本人）は、今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものはありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものについて、取り組みたい・心がけたいものがあると回答している人の中では、「体を動かす（ウォーキングや体操など）」が43.4%と最も高く、次いで「友人・知人との交流」が40.8%、「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流」が33.9%の順となっている。一方、「特になし」は12.7%となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「インターネットの活用（15.6%）」「仕事、就職活動（14.3%）」が高く、女性では男性よりも「体を動かす（ウォーキングや体操など）（46.7%）」「友人・知人との交流（46.6%）」が高くなっている。また、性年代別でみると、男性60～64歳では「友人・知人との交流」「体を動かす（ウォーキングや体操など）」「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）」（左記3項目はすべて55.6%）「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流（50.0%）」「仕事、就職活動（44.4%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護（33.3%）」「新しい仲間やネットワークづくり」「学習活動（講座・講習会、学習サークルなど）」「インターネットの活用」（左記3項目は全て22.2%）が、女性60～64歳では「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）（41.7%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護（29.2%）」が、女性前期高齢者では「友人・知人との交流（51.1%）」が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「友人・知人との交流（29.8%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-8-2 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの：性年代別

n	体を動かす (ウォーキングや体操など)	友人・知人との交流	子や孫など、家族・親族 (同居していない場合を含む)との交流	旅行やイベントなど	趣味の活動(主に外出して行うもの… 習い事、趣味のサークル活動、 旅行やイベントなど)	読書、オンラインで行うものなど	ご近所のおつきあい	ケア、介護	配偶者や親など、家族・親族 (同居していない場合を含む)の	家屋や庭の維持、メンテナンス (日曜大工、庭いじりなど)	インターネットの活用	学習活動(講座・講習会、 学習サークルなど)
												11.1
TOTAL	1,648	43.4	40.8	33.9	31.3	14.9	13.8	11.7	11.5	11.2	11.1	
前回TOTAL	1,708	43.3	36.6	30.3	30.0	14.7	13.5	11.0	10.2	7.3	10.4	
男性計	572	41.3	34.3	34.4	29.2	15.4	12.8	13.8	13.5	15.6	9.4	
男性 60~64歳	18	55.6	55.6	50.0	55.6	16.7	22.2	33.3	16.7	22.2	22.2	
男性 前期高齢者	273	42.9	37.7	37.0	31.1	16.8	10.6	14.7	13.6	19.4	11.0	
男性 後期高齢者	275	38.9	29.8	31.6	25.8	14.2	14.5	12.0	12.7	11.3	6.9	
女性計	798	46.7	46.6	34.5	33.6	15.4	14.8	10.7	10.7	8.5	11.8	
女性 60~64歳	24	41.7	37.5	37.5	41.7	12.5	12.5	29.2	12.5	16.7	12.5	
女性 前期高齢者	399	51.9	51.1	36.8	38.1	16.5	13.5	11.0	10.5	10.3	14.0	
女性 後期高齢者	372	41.4	42.2	31.5	28.2	14.2	16.1	8.9	10.8	6.2	9.1	

n	仕事、就職活動	ボランティア活動	住んでいる地域での、町会・自治会、 老人クラブなどの活動	町会・自治会の活動	新しい仲間やネットワークづくり	シニア(老人)クラブの活動	資格の取得	左記以外で取り組んでみたい、 やりたいもの・こと	特にな	無回答
TOTAL	1,648	10.0	8.0	-	6.0	5.6	5.0	1.5	0.7	12.7
前回TOTAL	1,708	8.0	8.5	6.6	-	4.7	-	2.0	1.6	14.0
男性計	572	14.3	6.8	-	7.5	6.8	3.3	1.6	1.4	14.0
男性 60~64歳	18	44.4	11.1	-	11.1	22.2	0.0	5.6	0.0	5.6
男性 前期高齢者	273	18.3	7.3	-	6.2	9.2	2.6	1.8	1.8	11.4
男性 後期高齢者	275	8.7	6.2	-	8.7	3.6	4.4	1.1	1.1	16.4
女性計	798	8.9	8.5	-	5.0	4.9	5.9	1.6	0.5	11.2
女性 60~64歳	24	16.7	0.0	-	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5
女性 前期高齢者	399	13.0	9.5	-	4.5	7.5	1.8	2.5	0.5	9.0
女性 後期高齢者	372	3.8	8.1	-	5.6	2.4	10.5	0.5	0.5	13.4

※前回調査では「住んでいる地域での、町会・自治会、老人クラブなどの活動」としていた選択肢を、  
今回調査では「町会・自治会の活動」「シニア(老人)クラブの活動」に変更している。

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）（47.6%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護（31.0%）」「仕事、就職活動（28.6%）」が、65～69歳では「仕事、就職活動（22.1%）」が、男性60～64歳では「友人・知人との交流」「体を動かす（ウォーキングや体操など）」「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）」（左記3項目はすべて55.6%）「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流（50.0%）」「仕事、就職活動（44.4%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護（33.3%）」「新しい仲間やネットワークづくり」「学習活動（講座・講習会、学習サークルなど）」「インターネットの活用」（左記3項目はすべて22.2%）が、男性65～69歳では「仕事、就職活動（24.2%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護」「インターネットの活用」（左記2項目はともに23.3%）が、女性60～64歳では「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）（41.7%）」「配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護（29.2%）」が、女性65～69歳では「友人・知人との交流（57.9%）」「体を動かす（ウォーキングや体操など）（56.1%）」「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流（43.9%）」「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）（42.1%）」「仕事、就職活動（20.7%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「シニア（老人）クラブの活動」が加齢に伴って上昇、「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流」「仕事、就職活動」「学習活動（講座・講習会、学習サークルなど）」「インターネットの活用」「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）」が加齢に伴って低下している。一方、「仕事、就職活動」「町会・自治会の活動」「インターネットの活用」「家屋や庭の維持、メンテナンス（日曜大工、庭いじりなど）」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-8-3 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの：性年代別（詳細）

	n	体を動かす (ウォーキングや体操など)	友人・知人との交流	子や孫など、家族・親族 (同居していない場合を含む)との交流	旅行やイベントなど	趣味の活動(主に外出して行うもの: 習い事、趣味のサークル活動)	読書、オンラインで行うものなど	趣味の活動(主に自宅で行うもの: 読書、オンラインで行うものなど)	ご近所とおつきあい	配偶者や親など、家族・親族 (同居していない場合を含む)の ケア、介護	家屋や庭の維持、メンテナンス (日曜大工、庭いじりなど)	インターネットの活用	学習活動(講座・講習会、 学習サークルなど)
TOTAL	1,648	43.4	40.8	33.9	31.3	14.9	13.8	11.7	11.5	11.2	11.1	11.1	
60~64歳	42	47.6	45.2	42.9	47.6	14.3	16.7	31.0	14.3	19.0	16.7	16.7	
65~69歳	289	52.2	49.1	41.2	37.7	18.3	9.7	17.6	12.5	16.6	13.5	13.5	
70~74歳	481	44.9	42.4	33.9	33.3	15.2	14.1	9.1	11.4	12.3	12.5	12.5	
75~79歳	456	44.3	38.6	33.8	27.6	14.0	14.3	9.6	11.8	9.6	10.1	10.1	
80~84歳	353	33.7	34.6	26.9	25.8	13.3	16.1	10.5	10.2	6.8	7.9	7.9	
男性60~64歳	18	55.6	55.6	50.0	55.6	16.7	22.2	33.3	16.7	22.2	22.2	22.2	
男性65~69歳	120	46.7	35.8	37.5	30.8	14.2	6.7	23.3	14.2	23.3	10.8	10.8	
男性70~74歳	153	39.9	39.2	36.6	31.4	19.0	13.7	7.8	13.1	16.3	11.1	11.1	
男性75~79歳	150	40.7	29.3	38.0	27.3	15.3	12.0	11.3	13.3	13.3	6.0	6.0	
男性80~84歳	125	36.8	30.4	24.0	24.0	12.8	17.6	12.8	12.0	8.8	8.0	8.0	
女性60~64歳	24	41.7	37.5	37.5	41.7	12.5	12.5	29.2	12.5	16.7	12.5	12.5	
女性65~69歳	164	56.1	57.9	43.9	42.1	20.7	12.2	14.0	11.6	12.2	15.2	15.2	
女性70~74歳	235	48.9	46.4	31.9	35.3	13.6	14.5	8.9	9.8	8.9	13.2	13.2	
女性75~79歳	204	51.0	47.5	33.3	29.4	14.7	15.7	8.3	10.8	8.3	12.3	12.3	
女性80~84歳	168	29.8	35.7	29.2	26.8	13.7	16.7	9.5	10.7	3.6	5.4	5.4	

	n	仕事、 就職活動	ボランティア活動	町会・自治会の活動	新しい仲間やネットワーキング	シニア(老人)クラブの活動	資格の取得	左記以外で取り組んでみたい、 やりたいもの・こと	特 に な い	無 回 答
TOTAL	1,648	10.0	8.0	6.0	5.6	5.0	1.5	0.7	12.7	10.7
60~64歳	42	28.6	4.8	7.1	9.5	0.0	4.8	0.0	9.5	2.4
65~69歳	289	22.1	9.7	5.5	9.3	1.4	4.2	0.7	6.2	4.2
70~74歳	481	8.7	7.7	5.0	7.1	2.7	0.8	1.0	13.7	9.1
75~79歳	456	7.5	8.6	7.2	3.3	7.5	1.1	0.2	14.5	11.2
80~84歳	353	2.8	6.8	6.5	3.7	8.2	0.3	1.1	14.2	18.4
男性60~64歳	18	44.4	11.1	11.1	22.2	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0
男性65~69歳	120	24.2	6.7	7.5	10.0	2.5	3.3	1.7	7.5	5.0
男性70~74歳	153	13.7	7.8	5.2	8.5	2.6	0.7	2.0	14.4	9.2
男性75~79歳	150	12.0	5.3	7.3	4.0	2.0	2.0	0.0	18.0	8.0
男性80~84歳	125	4.8	7.2	10.4	3.2	7.2	0.0	2.4	14.4	19.2
女性60~64歳	24	16.7	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5	4.2
女性65~69歳	164	20.7	11.6	4.3	8.5	0.6	4.9	0.0	4.9	3.7
女性70~74歳	235	7.7	8.1	4.7	6.8	2.6	0.9	0.9	11.9	10.6
女性75~79歳	204	6.4	9.3	6.9	1.5	11.3	1.0	0.5	12.3	9.8
女性80~84歳	168	0.6	6.5	4.2	3.6	9.5	0.0	0.6	14.9	20.2

### (3) 行政で行ってほしいと思う支援施策

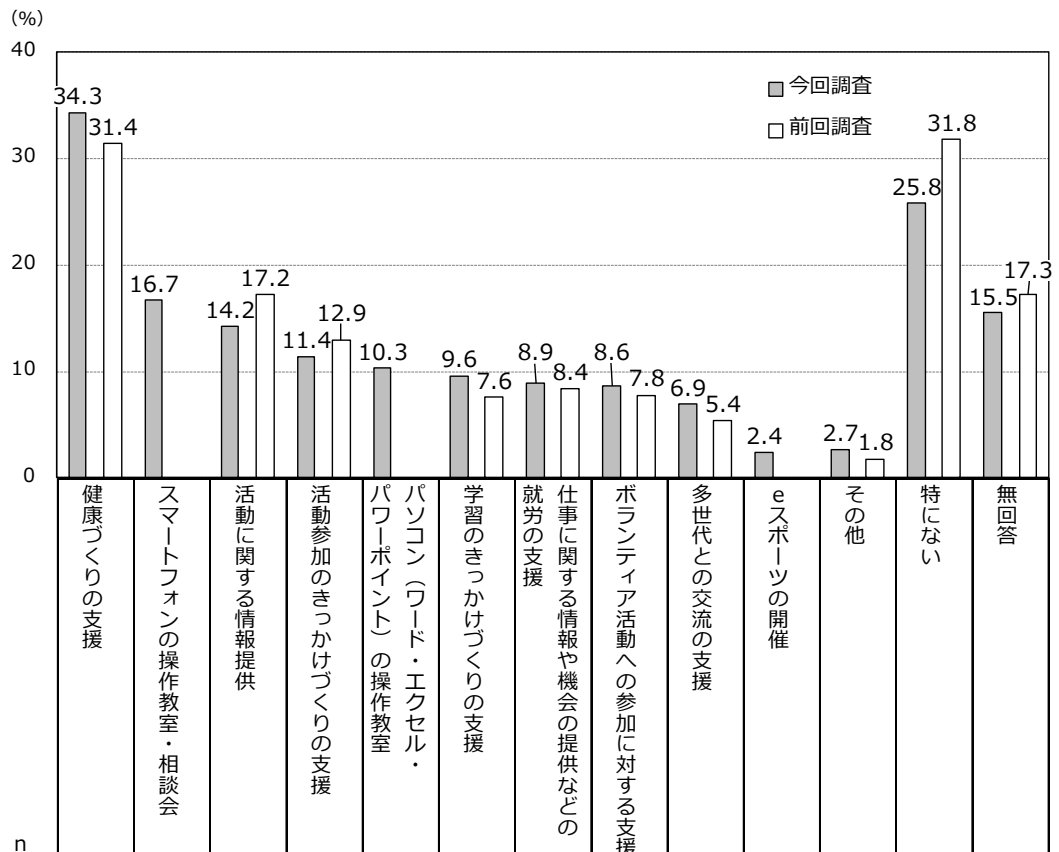
#### 問35 行政で行ってほしいと思う支援施策はありますか。(あてはまるものすべてに○)

行政で行ってほしいと思う支援施策について、行ってほしいと思う支援施策があると回答している人の中では、「健康づくりの支援」が34.3%と最も高く、次いで「スマートフォンの操作教室・相談会」が16.7%、「活動に関する情報提供」が14.2%の順となっている。一方、「特にない」は25.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「仕事に関する情報や機会の提供などの就労の支援（12.9%）」が高く、女性では男性よりも「健康づくりの支援（37.5%）」が高くなっている。性年代別で見ると、男性60～64歳では「健康づくりの支援（50.0%）」が、女性60～64歳では「学習のきっかけづくりの支援（20.8%）」が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では「スマートフォンの操作教室・相談会（4.2%）」が全体の傾向よりも低くなっている。また、「健康づくりの支援」「eスポーツの開催」は男女ともに加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、「特にない」が6.0ポイント低下している。

図表3-8-4 行政で行ってほしいと思う支援施策：性年代別



	n	健康づくりの支援	スマートフォンの操作教室・相談会	活動に関する情報提供	活動参加のきっかけづくりの支援	パソコン（ワード・エクセル・パワーポイント）の操作教室	学習のきっかけづくりの支援	就労の支援	仕事に関する情報や機会の提供などの支援	ボランティア活動への参加に対する支援	多世代との交流の支援	eスポーツの開催	その他	特になし	無回答
TOTAL	1,648	566	276	234	188	169	158	147	142	114	40	44	425	255	
前回TOTAL	1,708	34.3	-	17.2	12.9	-	7.6	8.4	7.8	5.4	-	1.8	31.8	17.3	
男性計	572	32.2	16.8	13.6	10.5	12.1	8.2	12.9	9.1	7.9	2.8	2.4	27.1	11.9	
男性 60～64歳	18	50.0	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	16.7	5.6	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	
男性 前期高齢者	273	33.3	13.9	16.5	12.1	11.4	12.1	17.2	11.0	10.3	2.6	2.9	25.6	8.4	
男性 後期高齢者	275	29.5	20.7	11.6	9.1	13.1	4.7	8.4	7.6	6.2	2.5	2.2	28.0	16.0	
女性計	798	37.5	16.8	15.3	12.0	8.6	10.9	7.3	8.4	6.5	2.5	3.3	23.8	17.0	
女性 60～64歳	24	41.7	4.2	8.3	8.3	4.2	20.8	16.7	8.3	4.2	4.2	8.3	33.3	4.2	
女性 前期高齢者	399	39.1	18.0	17.0	13.8	10.5	13.3	11.3	9.5	5.8	2.8	3.8	23.3	11.5	
女性 後期高齢者	372	35.2	16.1	13.7	9.9	7.0	7.8	2.2	7.0	7.3	1.9	2.4	23.9	23.7	

※今回調査から「スマートフォンの操作教室・相談会」「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイント）の操作教室」「eスポーツの開催」の選択肢を追加している。



(4) 生きがいについて

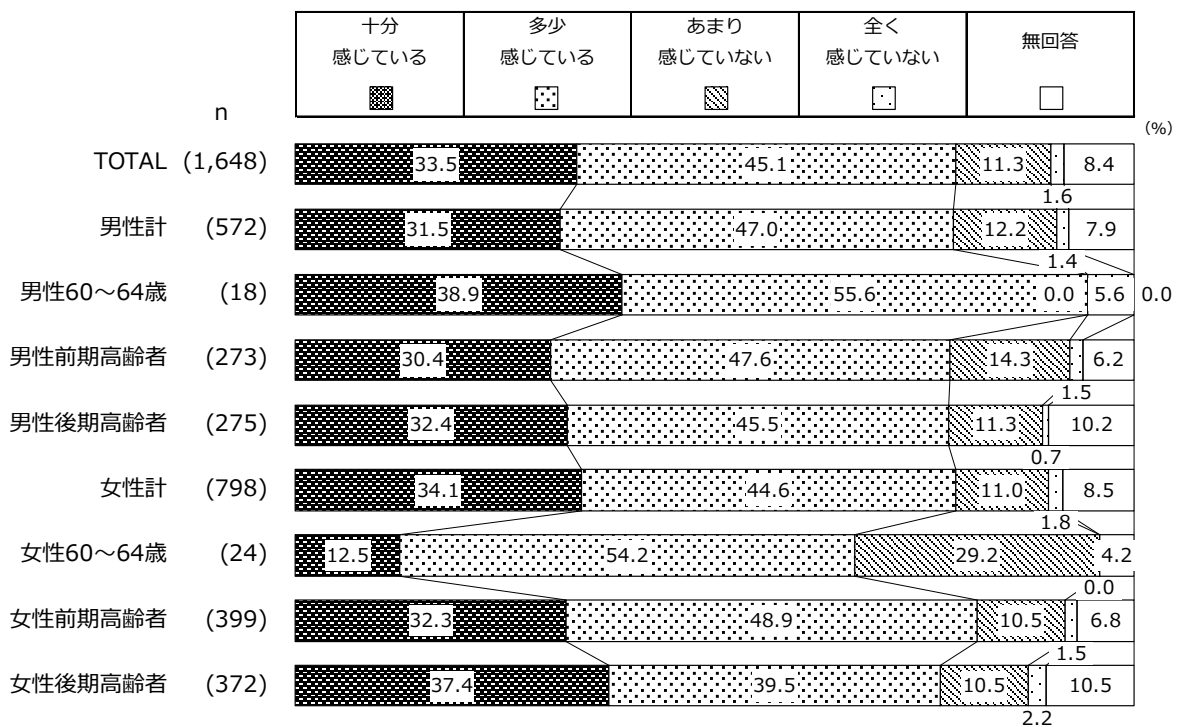
①現在感じている生きがいの程度

問37 あなた（宛名のご本人）は、現在、どの程度生きがいを感じていますか。（○は1つのみ）

現在感じている生きがいの程度について、「十分感じている」の33.5%と「多少感じている」の45.1%を合わせた『感じている』が78.6%、「あまり感じていない」の11.3%と「全く感じていない」の1.6%を合わせた『感じていない』が12.9%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。また、性年代別でみると、男性60～64歳では『感じている（94.5%）』が、女性60～64歳では『感じていない（29.2%）』が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では『感じている（66.7%）』が全体の傾向よりも低くなっている。

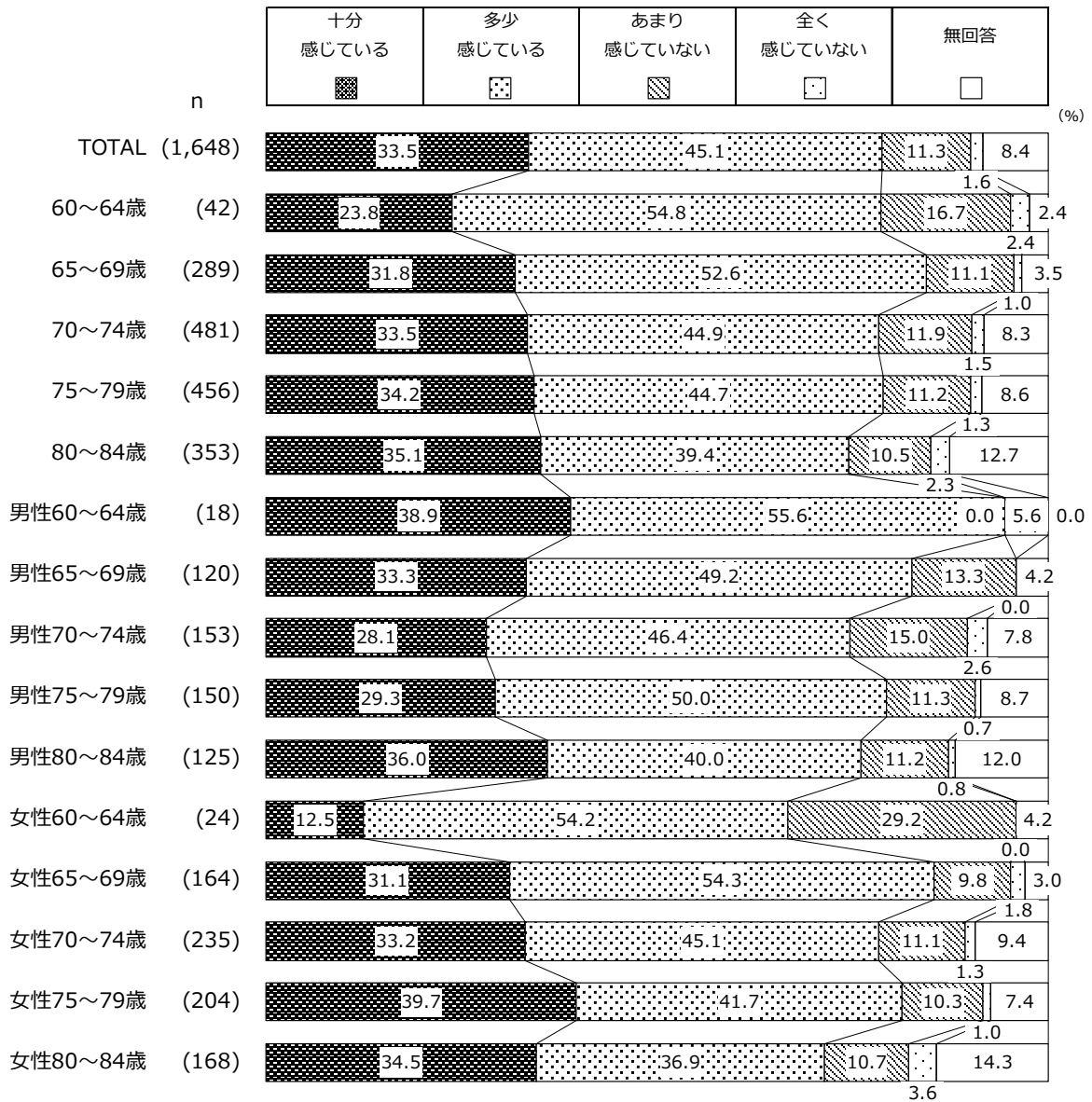
図表3-8-5 現在感じている生きがいの程度：性年代別



第3章 調査結果の詳細

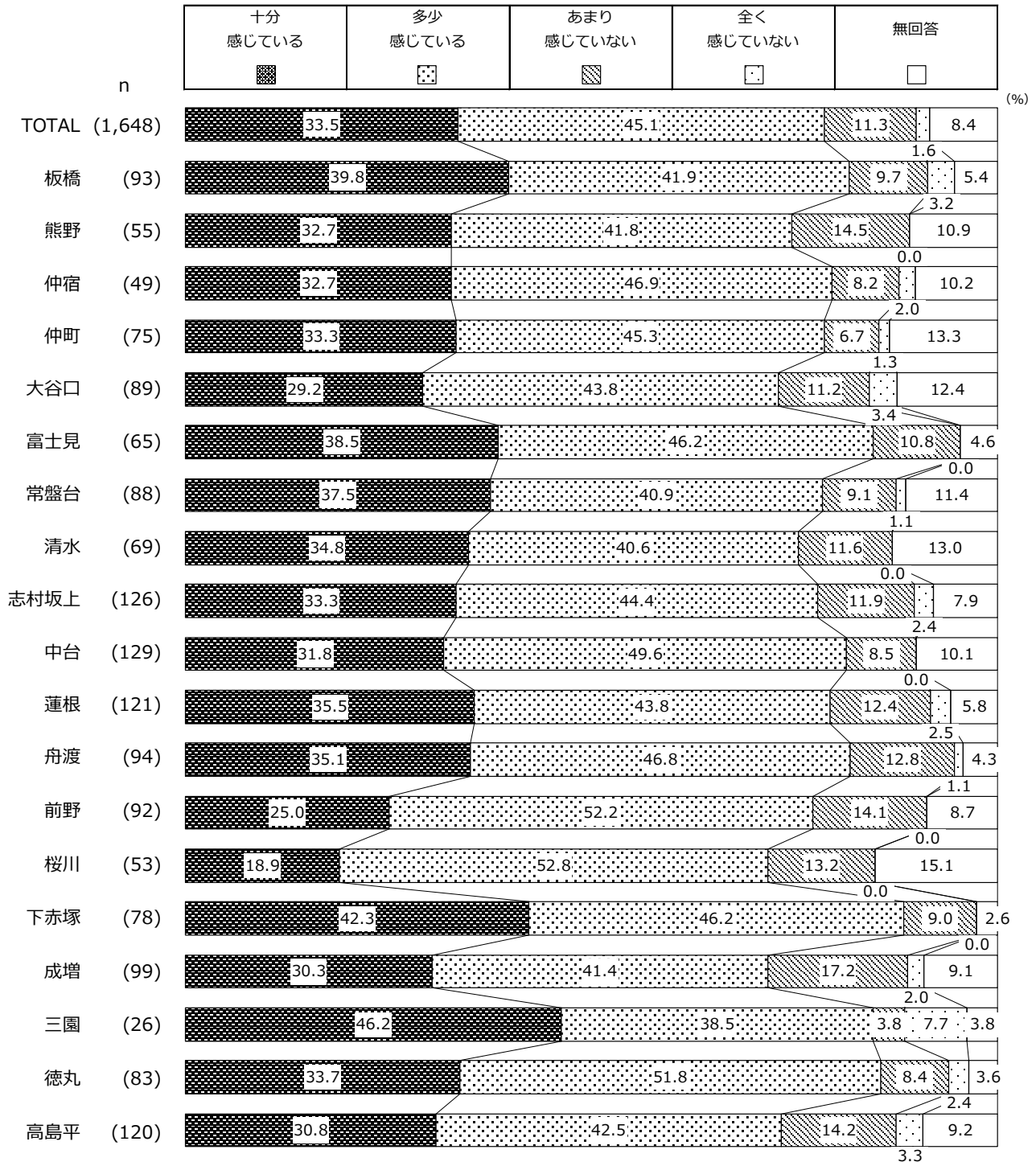
詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・女性60～64歳では『感じていない（60～64歳19.1%・女性60～64歳29.2%）』が、65～69歳・男性60～64歳では『感じている（65～69歳84.4%・男性60～64歳94.5%）』が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-8-6 現在感じている生きがいの程度：性年代別（詳細）



地区別でみると、『感じている』は下赤塚(88.5%)・徳丸(85.5%)・富士見(84.7%)・三園(84.7%)で、他の地区と比べて高くなっている。

図表3-8-7 現在感じている生きがいの程度：地区別



②生きがいを感じる時

【問37で今年「1. 十分感じている」「2. 多少感じている」とお答えの方におうかがいします。】

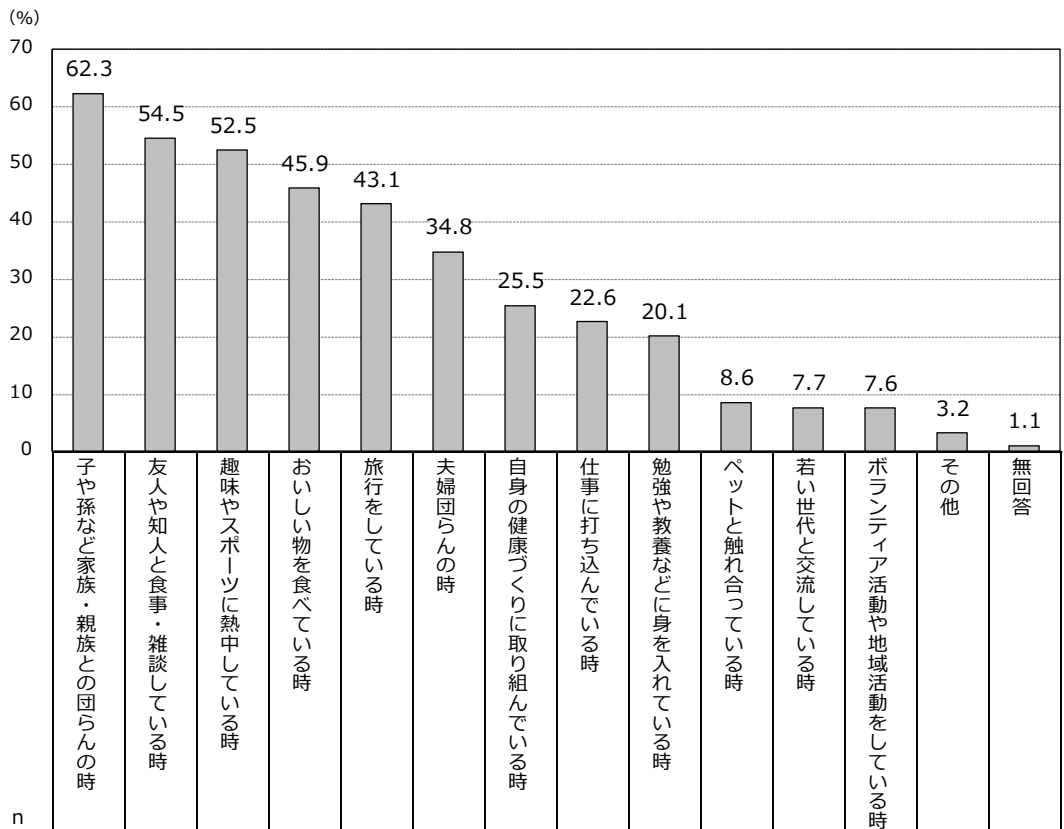
問37-1 あなた（宛名のご本人）はどんな時に生きがいを感じますか。

（あてはまるものすべてに○）

生きがいを感じる時については、「子や孫など家族・親族との団らんの時」が62.3%と最も高く、次いで「友人や知人と食事・雑談している時」が54.5%、「趣味やスポーツに熱中している時」が52.5%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「趣味やスポーツに熱中している時（55.2%）」「夫婦団らんの時（45.0%）」「仕事に打ち込んでいる時（29.0%）」が高く、女性では男性よりも「子や孫など家族・親族との団らんの時（66.9%）」「友人や知人と食事・雑談している時（64.5%）」「おいしい物を食べている時（52.2%）」「旅行をしている時（49.2%）」が高くなっている。また、性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「夫婦団らんの時（男性60～64歳52.9%・男性前期46.0%）」「仕事に打ち込んでいる時（男性60～64歳35.3%・男性前期35.7%）」が、女性60～64歳では「ペットと触れ合っている時（18.8%）」が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「友人や知人と食事・雑談している時（女性前期64.8%・女性後期64.7%）」が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・男性前期高齢者では「友人や知人と食事・雑談している時（男性60～64歳29.4%・男性前期42.3%）」が、男性後期高齢者では「友人や知人と食事・雑談している時（43.0%）」「おいしい物を食べている時（33.6%）」が、女性60～64歳では「夫婦団らんの時（18.8%）」が、女性後期高齢者では「夫婦団らんの時（24.8%）」「仕事に打ち込んでいる時（11.9%）」が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-8-8 生きがいを感じる時：性年代別



	n	子や孫など家族・親族との団らんの時	友人や知人と食事・雑談している時	趣味やスポーツに熱中している時	おいしい物を食べている時	旅行をしている時	夫婦団らんの時	自身の健康づくりに取り組んでいる時	仕事に打ち込んでいる時	勉強や教養などに身を入れている時	ペットと触れ合っている時	若い世代と交流している時	ボランティア活動や地域活動をしている時	その他	無回答
TOTAL	1,296	807 62.3	706 54.5	680 52.5	595 45.9	559 43.1	451 34.8	331 25.5	293 22.6	261 20.1	111 8.6	100 7.7	98 7.6	41 3.2	14 1.1
男性計	449	57.5	41.6	55.2	36.1	37.9	45.0	24.3	29.0	18.3	7.8	6.9	8.5	2.9	1.8
男性 60～64歳	17	58.8	29.4	52.9	47.1	52.9	52.9	29.4	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0
男性 前期高齢者	213	56.8	42.3	61.0	37.6	38.0	46.0	21.1	35.7	18.3	8.5	7.0	8.9	2.3	0.9
男性 後期高齢者	214	57.5	43.0	49.5	33.6	36.4	43.9	26.6	21.0	18.2	7.0	7.0	8.4	3.3	2.8
女性計	628	66.9	64.5	50.2	52.2	49.2	28.3	25.6	19.4	22.0	8.9	7.8	7.3	3.7	0.6
女性 60～64歳	16	62.5	50.0	56.3	50.0	43.8	18.8	25.0	18.8	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0
女性 前期高齢者	324	65.4	64.8	50.9	53.7	50.9	31.8	23.5	25.9	24.1	9.3	6.5	5.9	1.2	0.3
女性 後期高齢者	286	68.5	64.7	49.0	50.7	47.6	24.8	28.0	11.9	19.6	8.0	9.4	9.1	6.3	1.0

### 第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「旅行をしている時（48.5%）」「ペットと触れ合っている時（15.2%）」が、65～69歳・男性65～69歳では「仕事に打ち込んでいる時（65～69歳33.6%・男性65～69歳41.4%）」が、男性60～64歳では「夫婦団らんの時（52.9%）」「仕事に打ち込んでいる時（35.3%）」が、男性70～74歳・男性75～79歳では「夫婦団らんの時（男性70～74歳47.4%・男性75～79歳46.2%）」が、女性60～64歳では「ペットと触れ合っている時（18.8%）」が、女性65～69歳では「友人や知人と食事・雑談している時（67.1%）」「おいしい物を食べている時（57.9%）」が、女性80～84歳では「友人や知人と食事・雑談している時（68.3%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。また、「夫婦団らんの時」「仕事に打ち込んでいる時」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「子や孫など家族・親族との団らんの時」「友人や知人と食事・雑談している時」「おいしい物を食べている時」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-8-9 生きがいを感じる時：性年代別（詳細）

	n	子や孫など家族・親族との団らんの時	友人や知人と食事・雑談している時	趣味やスポーツに熱中している時	おいしい物を食べている時	旅行をしている時	夫婦団らんの時	自身の健康づくりに取り組んでいる時	仕事に打ち込んでいる時	勉強や教養などに身を入れている時	ペットと触れ合っている時	若い世代と交流している時	ボランティア活動や地域活動をしている時	その他	無回答
TOTAL	1,296	62.3	54.5	52.5	45.9	43.1	34.8	25.5	22.6	20.1	8.6	7.7	7.6	3.2	1.1
60～64歳	33	60.6	39.4	54.5	48.5	48.5	36.4	27.3	27.3	21.2	15.2	6.1	6.1	6.1	0.0
65～69歳	244	61.9	56.1	56.1	48.0	44.3	35.7	18.9	33.6	20.5	9.8	5.3	8.2	1.2	0.0
70～74歳	377	61.5	56.2	54.6	47.7	45.6	37.9	25.7	25.5	23.1	8.0	8.2	6.1	2.1	1.1
75～79歳	360	60.6	50.8	50.8	43.1	40.3	33.9	26.7	20.0	19.7	8.3	7.5	8.1	4.2	0.8
80～84歳	263	65.0	57.8	47.9	45.2	42.2	30.4	30.0	10.6	16.7	8.4	9.9	8.7	4.9	2.7
男性60～64歳	17	58.8	29.4	52.9	47.1	52.9	52.9	29.4	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0
男性65～69歳	99	53.5	38.4	59.6	35.4	35.4	44.4	17.2	41.4	16.2	8.1	7.1	10.1	1.0	0.0
男性70～74歳	114	59.6	45.6	62.3	39.5	40.4	47.4	24.6	30.7	20.2	8.8	7.0	7.9	3.5	1.8
男性75～79歳	119	52.9	39.5	54.6	33.6	38.7	46.2	24.4	24.4	20.2	6.7	6.7	5.9	4.2	0.0
男性80～84歳	95	63.2	47.4	43.2	33.7	33.7	41.1	29.5	16.8	15.8	7.4	7.4	11.6	2.1	6.3
女性60～64歳	16	62.5	50.0	56.3	50.0	43.8	18.8	25.0	18.8	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0
女性65～69歳	140	67.1	67.1	53.6	57.9	50.7	30.0	20.0	27.9	23.6	10.7	4.3	7.1	1.4	0.0
女性70～74歳	184	64.1	63.0	48.9	50.5	51.1	33.2	26.1	24.5	24.5	8.2	8.2	4.9	1.1	0.5
女性75～79歳	166	68.1	62.0	48.8	48.2	44.6	24.7	27.7	16.3	21.1	7.2	7.8	9.6	4.8	1.2
女性80～84歳	120	69.2	68.3	49.2	54.2	51.7	25.0	28.3	5.8	17.5	9.2	11.7	8.3	8.3	0.8

地区別でみると、「夫婦団らんの時」は蓮根（47.9%）で、「趣味やスポーツに熱中している時」は桜川（63.2%）で、「自身の健康づくりに取り組んでいる時」は熊野（41.5%）で、「友人や知人と食事・雑談している時」は熊野（78.0%）で、「おいしい物を食べている時」は桜川（65.8%）・熊野（56.1%）で、「ボランティア活動や地域活動をしている時」は桜川（21.1%）で、「その他」は三園（13.6%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-8-10 生きがいを感じる時：地区別

	n	子や孫など家族・親族との団らんの時	友人や知人と食事・雑談している時	趣味やスポーツに熱中している時	おいしい物を食べている時	旅行をしている時	夫婦団らんの時	自身の健康づくりに取り組んでいる時	仕事に打ち込んでいる時	勉強や教養などに身を入れている時	ペットと触れ合っている時	若い世代と交流している時	ボランティア活動や地域活動をしている時	その他	無回答
TOTAL	1,296	62.3	54.5	52.5	45.9	43.1	34.8	25.5	22.6	20.1	8.6	7.7	7.6	3.2	1.1
板橋	76	60.5	51.3	43.4	53.9	39.5	30.3	21.1	28.9	23.7	13.2	9.2	6.6	5.3	2.6
熊野	41	68.3	78.0	61.0	56.1	51.2	31.7	41.5	22.0	22.0	7.3	12.2	17.1	2.4	0.0
仲宿	39	43.6	38.5	51.3	46.2	38.5	23.1	30.8	23.1	17.9	10.3	0.0	10.3	5.1	0.0
仲町	59	66.1	55.9	49.2	47.5	45.8	35.6	27.1	20.3	22.0	3.4	8.5	8.5	3.4	0.0
大谷口	65	67.7	63.1	46.2	41.5	40.0	26.2	20.0	27.7	13.8	9.2	9.2	10.8	1.5	0.0
富士見	55	52.7	56.4	60.0	45.5	50.9	40.0	23.6	16.4	16.4	12.7	5.5	7.3	0.0	1.8
常盤台	69	60.9	49.3	60.9	50.7	44.9	37.7	26.1	27.5	24.6	10.1	8.7	4.3	5.8	1.4
清水	52	59.6	48.1	46.2	44.2	48.1	34.6	28.8	21.2	15.4	7.7	5.8	5.8	1.9	3.8
志村坂上	98	62.2	51.0	49.0	49.0	42.9	41.8	20.4	27.6	20.4	10.2	7.1	7.1	2.0	0.0
中台	105	71.4	60.0	59.0	45.7	50.5	34.3	23.8	24.8	26.7	3.8	5.7	3.8	1.0	0.0
蓮根	96	67.7	54.2	53.1	46.9	34.4	47.9	29.2	17.7	17.7	11.5	3.1	7.3	2.1	1.0
舟渡	77	70.1	57.1	54.5	50.6	51.9	36.4	19.5	28.6	16.9	5.2	10.4	6.5	1.3	0.0
前野	71	57.7	59.2	52.1	43.7	46.5	42.3	23.9	19.7	19.7	7.0	9.9	5.6	0.0	1.4
桜川	38	60.5	63.2	63.2	65.8	47.4	21.1	34.2	21.1	21.1	13.2	10.5	21.1	2.6	0.0
下赤塚	69	66.7	49.3	55.1	37.7	31.9	34.8	23.2	21.7	20.3	7.2	8.7	8.7	2.9	0.0
成増	71	56.3	47.9	62.0	32.4	42.3	28.2	21.1	16.9	21.1	8.5	8.5	7.0	5.6	1.4
三園	22	45.5	31.8	31.8	36.4	36.4	31.8	31.8	18.2	9.1	18.2	13.6	13.6	13.6	4.5
徳丸	71	62.0	49.3	39.4	39.4	38.0	39.4	29.6	22.5	22.5	12.7	9.9	5.6	5.6	4.2
高島平	88	59.1	61.4	53.4	44.3	43.2	28.4	33.0	18.2	25.0	5.7	5.7	6.8	4.5	0.0

## 9. 自由意見

### 問38 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

高齢者向けのサービスなどに関する自由意見については、259人からの回答があった。

主な内容としては、「生活について」が56人と最も多く、次いで「前掲以外の行政への要望・相談・意見等、その他」が51人、「生きがい・社会参加について」が42人、「健康について」が36人の順となっている。

図表3-9 自由意見

番号	記入内容	件数
(1)	就労・仕事について	7
(2)	健康について	36
(3)	生きがい・社会参加について	42
(4)	介護保険制度・介護について	20
(5)	生活について	56
(6)	情報提供・デジタル化について	31
(7)	新型コロナウイルス感染症について	2
(8)	アンケートに関すること	14
(9)	前掲以外の行政への要望・相談・意見等、その他	51
計		259

### 主な意見（抜粋）

#### （1）就労・仕事について

- 健康な高齢者が出来る仕事を増やして欲しい。仕事を通じて、脳の活性化が期待出来ると思います。
- シニア向けの仕事情報を詳しく知りたいです。
- 高齢者でも出来る起業や副業の講座を開催してほしい。
- 高齢者になっても一人暮らしは辛いです。生活にとっても不安になります。まだまだ少ない時間でも働きたいです。
- 高齢者になっても、身近な場所で小さいことでも仕事が出来れば、意外と元気でいられるかと思えます。元気な人に働かせて欲しいです。

#### （2）健康について

- 自分でできるフレイル対策の運動内容の紹介などをして欲しい。
- 健康の為、区の体育館・プールを利用しています。高齢者割引の回数券は大変ありがたいです。
- ケガをした人への支援が欲しい。
- 板橋区としては十分福祉など充実していると感じている。



- 今後担当人手不足で介護が充分受けられない時、頑張って生きていけるように心がけたい。
- 高齢者向けの健康体操やヨガ教室の開催を増やしてほしい。
- 元気力向上教室に参加しているが、期間が3か月で終わり、囲碁で頭の体操も参加しているが、これも3か月で終わり、もっと長い期間を望みます。
- 介護予防やフレイル等の測定会や、元気力測定会などが有り、行政的縦割りしている様に見受けられます。同じ健康長寿を勧めるなら、横のつながりを密にして頂き、文字通りの健康長寿社会として頂きたいと願います。
- 体が動けなくなった時どうしたら良いか、気軽に相談できる様な機関が身近にあったらと思います。
- ケガや病気の時のサポートを充実させてほしい。運動している人にサポートのお金を出してほしい。
- 近所に軽くスポーツができる場がほしい。
- 健康維持（食事・運動）が大切だと思います。
- 週一度くらいでフレイル予防の体操を教えてくれる場所を設けてほしい。
- 健康な老人が増えると社会に役立つことにもなるでしょう。
- 地元の公園にも健康器具の設置があると良いと思います。散歩がてら、利用して健康増進にもつながると思います。
- 高齢者といっても幅があり、体力の差などがあり、難しいと思いますが、参加したい内容のものがありましたら参加させて頂きたいです。
- 体操だけでなく脳トレの場をつくっていただきたいです。シニアは職人さん、専門職の方が多いのでそういう方の技能を生かせる場をつくっていただきたいです。
- 体育館や地域センター等で体操教室（できればヨガ）を月1～週1回程度行ってほしい。
- 出来る限り元気に生活していきたいと思う方々は健康に対する意識・関心は高いと思います。住居地域に気軽に行けて運動が出来る場所が増えるといいなと思います。
- 軽い運動など教えていただきたい。
- 半年前に外で転び手首を骨折。その後、足腰をきたえるために、デイサービスに通って外出できることが目標です。親切に指導していただき楽しく通っています。家では出来る限り動いて家事をして協力しています。

### (3) 生きがい・社会参加について

- 人生100年時代と言われるようになりましたが高齢者が健康で幸せで生きがいの持てる世の中に役立つサービス事業を展開して頂けたらと思います。
- 活動行事を増やし充実させてほしい。
- 同じ価値観の友人と一緒に、趣味、またボランティアなどをしたいと思います。
- 地域センターなどを使いシニア世代が集まって交流が持てる場所、例えば500円位支払ってお茶など飲めれば良いと思います。
- 「ひとり暮らしイコール孤独」という考えは捨てるべき。特定の固定された深い人間関係を求める人ばかりではない。多世代との交流があれば、はつらつとした生活が送れると思う。年齢は関係ない。
- 大原社会教育会館（現まなぼーと大原）を利用していますが、大学講座を再開してほしい。

- グリーンカレッジ、高齢者スポーツ大学等いろいろな行事に参加させていただき、感謝しております。これからも広報やふれあい館等を利用させていただき楽しく充実した人生にしたいと思っています。
- シニア学習プラザのシニア向けの事業を充実させてほしい。
- 住んでる近くでシニアのスポーツができる情報が、もっと知りたいです。
- 学習の機会やメニューをもう少し増やしてほしいです。定員枠に入れなかったり、興味のあるメニューが少ないので、地域センターなどで提案、募集をしたらどうでしょうか。地域活動やボランティアグループには、特定の人達で運営・固定化（悪いことではなく、こうした人々に支えられていることは理解できますが）されていて、新規に入るには躊躇してしまう場合があります。入りやすい、活動しやすい環境作りも必要だと思います。
- 老人だけでなく、乳児、幼児、小学生など色々な年代の人が楽しめる広場があったら良いと思っています。楽しみも増すと思います。
- 元気な高齢者をもっと活用出来る仕組みを作ってくれたら良いと思います。サービスも大事だけど「元気な高齢者」をどう作っていくのかを考えた方が良いと思います。結果これも高齢者向けのサービスになるのだと思います。
- 自宅近く（徒歩圏内）で学習活動・趣味のサークル活動の場が増えることを望んでいます。
- 家の近くに夏は涼しく、冬は暖かいフリースペースがあったら良いと思います。ただイスが置いてあり、本を読んだり、イヤホンで音楽を聞いたりできるところ。図書館はゆっくりと座っていることができないので長時間は居づらいです。
- 場所が遠くて行く気にならない。近くで気軽に参加できるものがあると良いと思います。
- 私の住んでいるマンションは、町会に入ってなく、率先して町会を作り、会長を引き受けてくれる人はいません。そんな事で老人会としての活動もまったくしておらず、残念です。他のマンションの老人会を作って活動しているのを見聞きすると羨ましいです。
- 高齢者のスポーツ、カラオケ、ボクシングなどのサークルがほとんど有りません。広報、ホームページ等で紹介、検索できれば良いと思います。
- ぬくもりサービスに協力しています。
- グリーンカレッジの講座を受講しました。又、機会があれば受けたいと思っています。とても楽しかったです。また、予防医学に沿った楽しいイベントをたくさん作ってください。
- 多世代と交流ができ生活感を実感できるような有意義で楽しい場を作ってほしい。
- 低料金で参加できる趣味、スポーツ体操教室他、数を増やしてもらいたい。
- 近場でいろいろな講座などやってほしい。無料の観劇などあればうれしい。
- 高齢者が孤立しないための社会参加へのきっかけ作り、働きかけが必要だと思います。
- アートなどを媒介にした楽しいコミュニティづくり。
- 「ふれあい館」のような施設を増やしてほしい。

#### (4) 介護保険制度・介護について

- この頃は高齢者に対して増々きびしい政策になってきています。介護保険料の上限がどんどん上がり、頂ける事はどんどん少なくなり1割の人が2割～3割負担になるのは納得できません。少子化も問題ですが、私達の子育ての時はまったく手当がなく、幼稚園私立、中・高・大私立2人の子育てが大変でした。
- 介護が必要になった時、順番待ちせず施設に入所できるようにしてほしい。子供たちが働いているので、迷惑をかけたくない。
- 介護施設の充実（特養施設の増設）。

- 身体活動に不自由な高齢者向けのタクシー券を、月2～3回分に増やして下さい。
- 介護を受けるようになる時の手続き・心得を知りたい。
- 自分で身の回りのことが出来なくなった時が心配です。人員訪問介護の充実や、家事ヘルパーさんの派遣の増加、区内の施設（老人ホーム）の充実を望みます。
- 健康でいようと努力しているが、今元気な人も健康を維持するためのデイサービスがあれば良いと思う。
- 自分が介護を必要となった際に入所出来る施設は整備されているのか、又安価で利用できるのか。ヘルパーさん不足な在宅での介護保険を利用してのサービスで、十分足りるのか。今後要介護1、2の方は包括センターの方に軸がなりサービス受けられなくなるのか？ 色々不安です。介護保険料が高く年金のみでは生活がやれない。
- 今、一番不安なのは、介護が必要になった時に十分な利用が出来るかどうかです。
- 高齢者の介護に関して、介護される側だけでなく、介護する側（家族）を支援する仕組みを作って欲しいです。現行のシステムではその点が手薄です。さらに言えば、高齢者の介護を家族に任せるのではなく社会全体で行えるようなシステム作りをお願いします。

## (5) 生活について

- 同居する人がいないので見守りサービスを充実させてほしい。
- 最近の子供世代（家族）が優先され、高齢者は生きづらい世の中になっています。赤字国債は増える一方で、国民一人当たりの借金はいったいいか程になってしまうのでしょうか。少なくとも板橋区には頑張って東京で一番住みやすい区になってほしい。
- 現在は、区が行っている事業やサービスを求めておりませんが、生活パターンが変わったらお世話になると思います。色々用意して下さいている事有難く思います。
- 高齢者が詐欺にあわない為の勉強会を開催してほしい。
- 独居老人になった時の身元保証などのサービスは、公的機関ではあるのでしょうか、知りたいです。
- ふれあい館遠いので、もっと近くにあるといいなと思いますが、むずかしいですね。独居老人の私は、この後どう生きるか生活するかを考えると暗くなるので、そういう話をできる所があるといいです。
- 賃貸契約の保証人・入院や手術する時の保証人、老人ホームへ入る時の保証人、死亡時の手続き・届出・火葬・その後の事務処理・身辺整理など託せる、公的なサービスはありますか？
- 賃貸アパートなどへの入居支援をしてほしい。（高齢になるほど借りられなくなる）
- 年金生活者への経済的な支援をして欲しい。
- 一人暮らしの高齢者への声かけ見守り等があったらうれしいです。
- 今まで意識してこなかったシニア世代向けサービスに目をむけたいと思います。
- 地域の民生委員がどなたなのか知りません。一人で住まいの方だけでなく、2人共年寄りの家にも見守りや声掛けなどが欲しいです。
- バリアフリーの完備をしてほしい。
- 健康増進に散歩を勧めているが、歩道には危険な箇所もあるため、整備をお願いしたい。
- 特にまだサービスを受けていないが、今後活用したいので、サービスに期待しつつ生活したい。
- 施設などは、充分にあると思います。交通・移動手段の提供が課題と思います。

- バスなどの交通が減便になり、通院などに困っている。自家用車で通院しているが免許を返納してしまうと、都会なのに足回りか不自由です。コミュニティバスや乗り合いタクシーの導入をお願いします。
- 高齢者を考慮した、災害時の支援（家族の連絡、被害状況の把握、支援物資の配布等の情報の伝達等）のわかりやすいネットワークづくりを期待します。
- 商店街などで、お年寄りがつらそうにお買い物をされております。付き添い等、区が支援できませんか。
- eスポーツを普及してほしい。（大会、イベント、教育、施設支援、機材貸出）
- 終活に関しての相談所がほしい。

#### （6）情報提供・デジタル化について

- パソコン、ネットのトラブル対応を充実して頂きたい。
- いたばしPayなどのシステムは、高齢者には使いにくい。お店の方も、困っていました。
- パソコンができないため、不慣れなスマホで心配事やわからないことを調べていますが、気持ちが悪くありません。
- 催物の情報発信をもっと分かりやすく広範囲にしてください。
- 現在の区の情報活動の継続（パンフレット等も多くあり充実していると思う）。
- デジタルに対応できない人がまだ多くいます。紙での発行の「広報いたばし」やちらしの継続を希望します。
- スマホの操作の勉強を開催してほしい。
- スマホの相談に対応して下さるサービスが、ふれあい館に時々来ていただいています。助かっています。今後も続けてほしい。
- 高齢者向けサービスがどのようなものがあるのか自体が良くわからない。その点をもう少し改善して頂きたい。
- スマートフォンの操作教室、相談会をもっとわかりやすいよう情報提供してほしい。
- 趣味毎の講座みたいなものの情報を発信して欲しい。
- 区のホームページを見ました、シニア世代への取り組みいろいろありますね、出来れば冊子やガイド等配布していただきたいです。

#### （7）新型コロナウイルス感染症について

- 医療関連サービスを押し付けないでほしい。
- 転居してまもなくコロナ渦でステイホームとなり、近隣の友人もなく、気力が萎えていく感じがします。何をどう進めるのが良いのかと、考えるのも、煩わしくなっていました。

**(8) アンケートに関すること**

- アンケートの結果が知りたい。
- このようなアンケートをなさってください、どうしたら高齢者をより助けることができるのか考えてくださり、本当にありがとうございます。
- この様なアンケートに意味があるのか？ 質問の回答が極端で回答しづらい。
- このようなアンケートは有意義とは思いますが、高齢者にとっては読むだけで負担が大きいのではないのでしょうか。項目の精査をした方がいいと思います。
- 就労支援、高齢者を募集している会社の一覧等、ただの形だけのアンケートにならない様お願いしたいと思う。
- このアンケートは、答えるのに大変難しかったです。介護の時間にとられているからです。時間のない者がどの様に答えて良いのか、難しかったです。

**(9) 前掲以外の行政への要望・相談・意見等、その他**

- いろいろ課題を抱えての事大変だとは思いますが、心おだやかに一生を終える事の出来るシステムが心からの希望です。
- 現在、やる事が多いので、参加はあまりしていません。あと数年したら、いろいろな行事等に参加するつもりです。
- これからも応援します。
- 板橋区ではこれ程の心配りをして下さり有難うございます。私もまたその時は利用させて頂きたいと思います。
- 高齢者向けサービス、よくわかっているわけではないけれど、板橋区は福祉関係が良いと報道されて区の福祉の負担が大きいと聞いています。何とか減らす事は出来ないだろうか？
- 高齢者には、あまり税金を使わないで、若い人のために使っていただきたい。
- 現在のサービスが低下する事のないようお願いします。
- 社会福祉協議会に全面的に協力します。
- 今は解らない。動けなくなったら、動くための支援（資金も含めて）が欲しくなると思う。
- 健康でさえあれば、単独あるいは友人と出かけるので、行政のサービスなど必要ない。
- 区立の図書館に、大きな活字の本をたくさん入れてほしい。
- 歩道の段差をなくしてほしい。
- ウォーキングしようと思うのだが、洋式トイレやベンチがないので困る。(商店街にも)
- 費用対効果を重視すべき。
- 現状維持で良いと思ってます。
- 高齢に向かう中、健康面に不安が出てきますので、色々と区の方でも考えて頂けることは、ありがたいですが、現在の若者や子育て世代の未来に向けた施策にもぜひ力を入れて頂きたいと思います。
- 高齢者より若者・子育て世代に力を入れてほしいです。
- 23区内で板橋区は地域行政は進んでいると感じています。今後とも宜しくお願い致します。
- 病院にお世話になった時、大変丁寧な対応に感謝しております。ありがとうございました。
- 上からの押し付けではない、自発的な面を大事にしてほしい。
- そもそも高齢者向けサービスにどのようなものがあるか解っていない。
- 今後とも高齢者向けサービスの向上に期待します。
- 60歳になったばかりで、また、定年延長にもなり、まだまだシニア世代と感じない。

### 第3章 調査結果の詳細

- 高齢者に住みよい街とサービスの充実が良いと思います。
- 退職したばかりで高齢者支援サービスの内容を把握出来ていません。これから知りたいと思います。
- 区のサービスが多様化し過ぎており、サービス内容の重複が多くなっているような印象があります。

## 第4章 調査結果の分析

### 1. 現在の暮らし向きについて

- 現在の暮らし向きについて、『悪くなった』と感じている人が急増している。
- 1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由で最も多いのは圧倒的に「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」。ただし、定期的な収入源の違いによって詳細は異なる。

現在の暮らし向きについては、「変わらない」が51.2%と最も高く、『よくなった』が2.6%、『悪くなった』が44.2%となっている。前回調査と比較すると、『よくなった』では大きな違いがみられず、「変わらない」が13.0ポイント低下、『悪くなった』が12.1ポイント上昇しており、『悪くなった』と感じている人のみ増えているということになる。性年代別でみると、『よくなった』は男女ともに加齢に伴い低下、つまり、若い年代の人ほど『よくなった』とは感じられていない。ただし、定期的な収入源別でみると、「株式の配当」「不動産」では全体の傾向と比べて、「変わらない（株式の配当61.8%・不動産61.3%）」が高く、『悪くなった（34.2%・33.6%）』が低くなっている。（問10：図表3-1-22・図表3-1-24）

また、1年前と比べて暮らし向きが悪くなった理由については、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」が79.6%と最も高く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたため」が26.7%、「特別の事情による（病気、怪我など）」が20.3%の順となっている。性別でみると、男性では女性よりも「税金や保険料の支払いが増えたため（29.2%）」「特別の事情による（病気、怪我など）（24.5%）」「賃金などの収入が減ったため（21.4%）」が全体の傾向よりも高くなっている。定期的な収入源別でみると、「給与など」では「賃金などの収入が減ったため（40.0%）」、「株式の配当」では「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため（100.0%）」「税金や保険料の支払いが増えたため（38.5%）」、「不動産」では「税金や保険料の支払いが増えたため（50.0%）」「事業などの経費が増えたため（22.5%）」、「親族などからの仕送り」では「特別の事情による（病気、怪我など）（42.9%）」「事業などの経費が増えたため（14.3%）」が、それぞれ全体の傾向と比べて高くなっている。（問10-1：図表3-1-25・図表3-1-26）

これらのことから、全体的な傾向としては暮らし向きが『悪くなった』、その原因は「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」である、との回答が多いものの、定期的な収入源の違いというのが無視できない要因ではないかと考えられる。定期的な収入源が「株式の配当」「不動産」である人は『悪くなった』と感じることが比較的少なくなっている。また、暮らし向きが悪くなった理由も、「給与など」では収入減、「株式の配当」「不動産」「親族などからの仕送り」では支出増が主となっている。物価の上昇が生活難の主原因であっても、根本原因はそれ以外にもありうる、ということを考える必要があるといえる。

## 2. 仕事、働くことについて

- 現在の仕事・雇用形態・働き方において、男性はフルタイムで働く、女性はパートで働くなど、男女差がみられる。
- 今年（2023年）、仕事の量が増えたのは「調理、洗い場」。また、自分の暮らし向きが良くなったと  
思っている人ほど「仕事の量が多くなった」と回答している。
- 男性では後期高齢者の方が、女性では前期高齢者の方が、現在の仕事に「生きがい」を感じている  
割合が高い。また、自分を健康だと思っている人ほど仕事への「生きがい」を感じている。
- 今後も働き続けるとしたら、男性はあと10年、女性はあと5年、との傾向がみられる。  
また、今後も働く上で重視するのは「体力的に無理なく続けられること」に加え、男性では「能力の  
発揮」、女性では「環境面の良さ」。その上で、現在の職種で引き続き働くことを希望する人が多い。
- 仕事を探す方法は紹介や求人広告が主。情報を提供する施設などの認知度・利用状況は  
「シルバー人材センター」「ハローワーク」「インターネット（求人情報サイトなど）」の割合が高い。

現在何らかの仕事をしていると回答している人は計33.4%で、このうち、男性のみ回答している職業が「輸送、運転（3.7%）」「建設、電気、土木（2.6%）」「警備（1.9%）」「農業（0.2%）」、男性の方が比較的割合が高いのが「会社・団体の役員、管理職（9.3%）」となっており、大きな差ではないものの性別による職業の違いがあることがわかる。（問11：図表3-2-1）

また、現在の仕事の主な雇用形態においては、男性では女性よりも「自営業主、自由業（21.4%）」「正社員・正規職員・正規従業員（10.9%）」「会社や団体などの役員・管理職（10.5%）」が、女性では男性よりも「パート・アルバイト・契約社員（46.9%）」「家族従業（家業などの手伝い）（6.6%）」が高く、性別による明確な違いが生じている。（問11-1：図表3-2-3）

現在の働き方においても、男性では女性よりも「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）（40.9%）」が高く、女性では男性よりも「定期的に働いているが、週に35時間より少ない（53.1%）」が高くなっている。（問11-2：図表3-2-4）

したがって、男性は長時間仕事に集中し、女性は生活と仕事を両立させている、という役割分担があることがうかがえる。

現在の仕事の量が1年前からどう変わったかについて、全体の傾向としては「変わらない」が57.0%と最も高く、『増えた』が11.0%、『減った』が27.2%となっている。現在の職業別でも、仕事の量が『減った』は「調理、洗い場（41.7%）」「理・美容、その他サービス（36.8%）」「販売、営業（35.3%）」で高くなっている。その中で、「調理、洗い場」では仕事の量が『増えた』との回答も25.0%と顕著に高くなっている。また、現在の暮らし向き別でみると、『よくなった』では『増えた』が18.8%、『悪くなった』では『減った』が37.2%となっている。（問11-3：図表3-2-7・図表3-2-8・図表3-2-9）

これらのことから、社会情勢が就労状況に与えている影響が業種によって異なること、そして仕事量の増減と暮らし向きの良し悪しとは直結しているということがわかる。

現在の仕事に「生きがい」を感じているかについて、全体の傾向としては、『感じる』が69.3%、『感じない』が25.6%となっている。その中で性年代別でみると、男性では後期高齢者で、女性では前期高齢者で、それぞれ『感じる』が高くなっているため、男性の方が女性よりも長い期間仕事に「生きがい」を求めるとことがうかがえる。また、健康に対する自己認識別でみると、仕事に「生きが



い』を『感じる』は『健康 (72.8%)』の方が『不健康 (51.8%)』よりも21.0ポイント高くなっており、仕事をする事そのものではなく「元気に仕事ができる」ということが生きがいにつながるということがいえる。(問11-4: 図表3-2-10・図表3-2-12)

今後の就業意向については、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が54.5%と最も高くなっているものの、「今も働いており、今後も働き続けたい」が27.1%、「今は働いていないが、今後働きたい」が6.4%となっている。性年代別でみると、男性では60～64歳と前期高齢者で、女性では前期高齢者で、「今も働いており、今後も働き続けたい (男性60～64歳50.0%・男性前期44.3%・女性60～64歳41.7%)」が高くなっている。(問12: 図表3-2-14)

加えて、何歳まで働きたいかについて、全体の傾向では「75～79歳」が29.9%と最も高くなっており、性年代別でも、男性60～64歳では「65～69歳 (25.0%)」「60～64歳 (16.7%)」が、男性前期高齢者では「75～79歳 (42.9%)」が、男性後期高齢者では「80～84歳 (38.5%)」「85歳以上 (21.8%)」が、女性60～64歳では「65～69歳 (46.2%)」「わからない (30.8%)」が、女性前期高齢者では「70～74歳 (35.6%)」が、女性後期高齢者では「80～84歳 (39.7%)」が高くなっている。このことから、男性はあと10年程度、女性はあと5年程度、働き続けたいと考えている人が多い傾向にあるといえる。(問12-1: 図表3-2-15)

なお、現在の働く場所の定年については、「70歳以上」が62.5%と最も高く、次いで「65歳」が10.5%、「65～69歳」が7.1%の順となっており、現在の職業別でみると、「販売、営業」では「60歳 (17.2%)」、「専門技術者、教員、医療職」では「65歳 (20.6%)」、「調理、洗い場」「管理人」「警備」「理・美容、その他サービス」「農業」「清掃、配達」などでは「70歳以上」が、それぞれ他の職業に比べて高くなっている。(問12-6: 図表3-2-24・図表3-2-26)

働くことを決めるときに重視することについては、「体力的に無理なく続けられること」が69.7%と最も高く、次いで「自宅から近いこと」が40.6%、「自分のペースで進められること」が33.5%の順となっている。詳細な年齢区分別でみると、男性60～64歳と80～84歳では「自分のペースで進められること (男性60～64歳58.3%・男性80～84歳43.5%)」、男性65～69歳では「自分の能力を發揮できること (42.3%)」、男性75～79歳では「体力的に無理なく続けられること (81.8%)」が高く、女性60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること (53.8%)」、女性65～69歳・女性70～74歳・女性75～79歳では「自宅から近いこと (女性65～69歳50.6%・女性70～74歳51.3%・女性75～79歳63.0%)」が高くなっている。(問12-3: 図表3-2-18・図表3-2-19)

また、希望する職種についてを現在の職業別でみると、「会社・団体の役員、管理職」「その他」以外の職業で、現在の職業をそのまま継続して続けたいという回答が6割以上となっている。(問12-5: 図表3-2-23)

これらのことから、肉体的・精神的にストレスを感じることなく働ける環境であるかどうかということ、加えて、男性では自分の能力を發揮できるかどうか、女性では通勤や勤務時間も含めて働きやすい環境かどうかを、仕事を決める上で重視しているということがわかる。

現在の仕事をどこで探したかについては、現在就業している人の中では、「友人・知人・家族などの紹介」が20.7%と最も高く、次いで「求人情報誌や求人広告」が16.0%、「その他」が9.6%、「ハローワーク」が8.2%の順となっている。一方、「再雇用」は8.0%となっている。(問11-5: 図表3-2-13)

また、仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況については、『認知度』は「シルバー人材センター (認知度69.9%・利用状況6.5%・利用して就労につながった3.4%)」が最も高く、

次いで「ハローワーク (69.3%・16.9%・7.4%)」、「インターネット (求人情報サイトなど) (43.3%・6.5%・3.0%)」の順となっている。一方、施設などを実際に利用して就労につながった割合を「利用して就労につながった」÷『利用状況』で算出すると、「シルバー人材センター」が52.3% (利用して就労につながった3.4%/『利用状況』6.5%)、「インターネット」が46.2% (3.0%/6.5%)、「ハローワーク」が43.8% (7.4%/16.9%)、「東京しごと財団」が41.7% (0.5%/1.2%)、「WORK'S(ワークス)高島平」が33.3% (0.1%/0.3%)、「はつらつシニアいたばし」が27.8% (0.5%/1.8%)の順となっており、認知度が高い上に実際に就労につなげることができたという意味で最も優れているのは「シルバー人材センター」であるということがいえる。(問13 : 図表3-2-28)

### 3. 健康について

- 「介護予防・生活支援サービス事業対象者」の該当率は60.0%。特に女性はすべての年代で「運動」リスクが高くなっている。また、健康の自己認識やフレイルに対しても、女性の方が「心配である」と感じている人が多い。
- 心配ごとや悩みごととして多いのは「自分の健康のこと」。前回調査からは「自宅や外出先での転倒・事故」「地震など災害時の避難のこと」が上昇。また、男性は配偶者に、女性は子どもや友人に、悩みを相談する傾向がある。なお、自分を不健康だと感じている人の相談相手は「友人・知人」が低下。

「介護予防・生活支援サービス事業対象者」の該当率は60.0%となっており、そのうち、「運動」該当者は14.2%、「栄養」は1.5%、「口腔」は23.1%、「閉じこもり」は3.9%、「認知症」は33.9%、「うつ」は29.3%、「総合」は3.6%となっている。性年代別でみると、「運動」該当者はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。(問17・問18 : 図表3-3-9)

健康に対する自己認識については、『健康』が75.5%、『不健康』が22.3%となっており、性年代別でみると、男女ともに加齢に伴って『健康』の割合が低下している。(問14 : 図表3-3-1)

フレイルの認知度については、『知っている』が全体では54.3%となっており、性年代別でみると男女ともに加齢に伴い『知っている』割合が上昇し、男性よりも女性の方が『知っている』が高くなっている(男性43.7%・女性63.4%)。また、自身がフレイルになることについて『心配である』が全体では55.5%となっており、男性よりも女性の方が『心配である』が高くなっている(男性49.8%・女性62.2%)。(問15 : 図表3-3-2、問15-1 : 図表3-3-4)

したがって、男性よりも女性の方が、自己認識においても実際の生活上においても、健康に不安を感じている人が多い、ということがいえる。

現在の心配ごとや悩みごとについては、「自分の健康のこと」が62.6%と最も高く、次いで「家族・親族の健康のこと」が43.6%、「生活費など経済的なこと」が28.9%の順となっている。前回調査と比較すると、「自宅や外出先での転倒・事故」が8.1ポイント上昇、「地震など災害時の避難のこと」が5.7ポイント上昇している。また、男性では「自分の健康のこと (66.6%)」「家族・親族の健康のこと (47.9%)」が、女性では「地震など災害時の避難のこと (28.7%)」「自宅や外出先での転倒・事故 (28.4%)」が、それぞれ高くなっている。(問16 : 図表3-3-6)

心配ごとや悩みごとの相談先について、全体の傾向としては「配偶者」が50.4%と最も高く、次いで「子ども」が48.8%、「友人・知人」が35.6%、「その他の家族・親族」が26.4%、「かかりつけ医 (医師・歯科医師・看護師など)」が17.6%の順となっている。ただし、性別でみると、「配偶者」が

男性では64.4%であるのに対して女性では42.1%に留まっており、また、女性では男性よりも「子ども（54.8%）」「友人・知人（42.8%）」「その他の家族・親族（31.8%）」が高くなっているなど、明確な男女差がみられる。前回調査と比較すると、「子ども」が9.3ポイント上昇している。この理由としては、前回調査時には新型コロナウイルス感染症の影響で遠方に住む子どもに相談する機会が減っていたのが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、遠方との行き来に抵抗がなくなったのではないかと考えられる。また、健康に対する自己認識別でみると、『不健康』では『健康』よりも「友人・知人」が10.8ポイント低下しており、健康状態が悪いということを友人・知人にはますます相談しづらくなっている、という傾向がうかがえる。（問16-1：図表3-3-7）

#### 4. 外出・人とのつきあいについて

- 外出頻度は「毎日2回程度」が前回調査（2020年度）から一貫して低下しているものの、全く外出しないという人は少ない。
- 外出の目的は去年（2022年）と今年（2023年）とで変わらない。最も多い目的は「買い物」。
- 「予定がなくても気軽に行ける場所がある」と回答している人の割合は65.6%。その場所としては「公園」「図書館」「喫茶店」が挙げられ、移動手段としては「徒歩」「自転車」「鉄道（地下鉄を含む）」が多い。
- 男性よりも女性、前期高齢者よりも後期高齢者の方が、そして現在の地区での居住年数が長い人ほど、近所とのつき合いが深い傾向となっている。また、同居家族がいる場合、配偶者と同居している人は「あいさつをする程度の人がいる」、配偶者と同居していない人は「お互いに訪問しあう人がある」が高くなっている。近所づきあいが無い理由として多いのは「機会がないから」「あまり関わりを持ちたくないから」。
- 友人・知人・別居の家族などと会ったり連絡をとったりする頻度はやや増しており、新型コロナ以前の水準に回復してきている。

外出頻度について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、「毎日2回程度」が一貫して低下しているものの、大きな違いはみられない。新型コロナウイルスの影響があるとしても、外出そのものを控えているのではなく、出かける機会を絞って外出しているという傾向がうかがえる。（問19：図表3-4-1～図表3-4-3）

外出の主な目的は、去年（2022年）から今年（2023年）にかけては大きな違いはみられず、「買い物（去年87.9%・今年86.8%）」「運動、散歩（53.2%・53.1%）」「通院・リハビリ（35.0%・34.9%）」の順で高い割合となっている。しかし前回調査（2019年・2020年）と比較すると、2020年から去年（2022年）にかけてはすべての項目で上昇しており、特に「仕事」「その他」以外の項目では10ポイント以上の上昇となっている。このことから、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛という考えからの脱却がうかがえる。（問19：図表3-4-5～図表3-4-7）

特に予定がなくても『気軽に行ける場所がある』と回答している人の割合は65.6%となっており、前回調査（71.3%）から5.7ポイント低下している。（問24：図表3-4-21）

気軽に行ける具体的な場所については、「公園」が286件と最も多く、次いで「図書館」が264件、「喫茶店」が99件、「家族、親類の家」が93件、「デパート、大型商業施設」が84件の順となっている。前回調査と比較すると、上位3位は変わらないものの、「家族、親類の家」が前回7位から今回4位に

上がり、一方、「店舗・買い物施設」が前回5位から今回8位に下がっており、外出自粛の緩和に伴い遠方の家族・親族と会えるようになったこと、前回は感染症対策で食料や衣料品等を備蓄する必要があったのが最近ではそこまで緊急性を感じなくても済むようになったこと、などといった理由があるのではないかと考えられる。(問24-1：図表3-4-22)

気軽に行ける場所への交通手段については、「徒歩」が64.5%と最も高く、次いで「自転車」が34.4%、「鉄道（地下鉄を含む）」が28.6%の順となっている。性別でみると、男性では「自転車（37.6%）」「自家用車（17.4%）」が、女性では男性よりも「バス（27.6%）」が、それぞれ高くなっている。(問24-2：図表3-4-23)

近所づきあいの程度について、全体の傾向としては「立ち話をする程度の人がいる」が37.4%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が31.2%、「お互いに訪問しあう人がある」が10.6%の順となっている。一方、「つきあいはない」は12.0%となっている。男性では女性よりも「あいさつをする程度の人がいる（44.2%）」「つきあいはない（17.0%）」が高く、女性では男性よりも「立ち話をする程度の人がいる（43.7%）」「お互いに訪問しあう人がある（14.4%）」が高くなっており、女性の方が近所づきあいの程度が深いことがわかる。性年代別でみると、男女ともに加齢に伴って「お互いに訪問しあう人がある」「立ち話をする程度の人がいる」が高く、「あいさつをする程度の人がいる」「つきあいはない」が低くなっており、高齢者の方が深い近所づきあいをしているという結果となっている。現在の地区での居住年数別でみると、居住年数が長くなるのにしたがって、「お互いに訪問しあう人がある」「立ち話をする程度の人がいる」が高く、「あいさつをする程度の人がいる」「つきあいはない」が低くなる傾向となっている。また、世帯構成別でみると、「配偶者や子、孫など同居」では「あいさつをする程度の人がいる（37.2%）」が、「配偶者を除く、子や孫など同居」では「お互いに訪問しあう人がある（17.9%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっており、同居家族がいる場合には配偶者の有無が近所づきあいの深さと関連していることが推察できる。(問21：図表3-4-10・図表3-4-12・図表3-4-13)

近所づきあいが無い理由としては、「ふだんつきあう機会がないから」が58.9%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」が38.1%、「あまり関わりを持ちたくないから」が25.9%の順となっており、機会がないからつきあいをしていないという人と、そもそもつきあいをする気がない人との、二極化している傾向がうかがえる。(問21-1：図表3-4-14)

友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度については、去年（2022年）から今年（2023年）にかけては大きな違いはみられず、「週に2回以上（去年23.3%・今年24.3%）」「月に1回程度（18.2%・16.6%）」「週に1回程度（17.1%・15.8%）」の順で高い割合となっている。また、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、大きな違いはみられないものの「月に1回程度」が一貫して低下しており、つまり会う頻度がやや増えているのではないかとということがうかがえる。(問22：図表3-4-15～図表3-4-17)

友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度についても、去年（2022年）から今年（2023年）にかけては大きな違いはみられず、「週に2回以上（去年39.3%・39.7%）」「月に2～3回（15.4%・15.5%）」「週に1回程度（14.9%・14.3%）」の順で高い割合となっている。一方、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年から今年にかけて、「週に2回以上」が34.6%から39.7%と5.1ポイント上昇している。(問23：図表3-4-18～図表3-4-20)

会うことと連絡を取ることとがともに頻度がやや増えている傾向にあり、こうした傾向からも新型コロナウイルスの影響からの脱却しつつあることがうかがえる。

## 5. インターネットなどの利用について

- よく使う電子端末は、「スマートフォン」「パソコン」「携帯電話」「タブレット」の順となっている。携帯電話・スマートフォン・タブレットでの利用率では男女差はみられないが、パソコンでは男性の方が高い利用率となっている。  
携帯電話とスマートフォンの両方を同時に利用している人は少なく、どちらか片方だけを利用。また、携帯電話のみを利用している人の割合は2.9%。
- インターネットの利用頻度は前回調査（2020年度）から一貫して上昇しており、「全く利用しない」を「ほぼ毎日利用する」が上回る。
- インターネットで現在行っていること・今後新しく始めたいことは、共通して「インターネットのニュースを読むこと」「メールでやりとりすること」「ラインでやりとりすること」。
- インターネットの利用に関して教わりたいことは、「スマートフォンの使い方」「インターネットの利用上の注意」「パソコンの使い方」。

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況について、『使っている』との回答は、「スマートフォン」が78.9%と最も高く、次いで「パソコン」が40.4%、「携帯電話」が29.6%、「タブレット」が18.7%の順となっている。また、性別による電子端末の利用状況は下記のようになっており、携帯電話・スマートフォン・タブレットでの利用率では男女差はみられないが、パソコンでは男性の方が高い利用率となっている。（問25：図表3-5-1・図表3-5-2・図表3-5-9・図表3-5-16・表3-5-23）

- ・携帯電話 （『使っている』男性28.4%・『使っている』女性29.7%）
- ・スマートフォン （80.4%・80.0%）
- ・タブレット （19.4%・19.0%）
- ・パソコン （55.6%・32.6%）

利用端末別にみると、スマートフォンを『使っている』人は全体で78.9%だが、タブレット・パソコンを『使っている』人が同時にスマートフォンも『使っている』割合が全体よりも高い（タブレット93.2%・パソコン92.2%）のに対して、携帯電話を『使っている』人がスマートフォンも『使っている』割合は58.6%と全体よりも低くなっており、タブレットやパソコンの利用者がスマートフォンを同時に使うことはあっても、携帯電話の利用者はスマートフォンをあまり使わない傾向にあるということがうかがえる。（問25：図表3-5-11）

また、携帯電話を「今年（2023年）から」または「それより前から」使っていると回答し、スマートフォン・タブレット・パソコンについては「使っていない」と回答した対象者を「携帯電話のみ使用者」とすると、携帯電話のみの使用者は2.9%となっており、前回調査（8.5%）と比較すると、5.6ポイント低下している。（問25：図表3-5-4・図表3-5-30）

インターネットの利用状況について、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年までは「全く利用しない」の方が「ほぼ毎日利用する」よりも高くなっていたのに対して、「ほぼ毎日利用する」は一貫して上昇しており、去年（2022年）には「ほぼ毎日利用する」の方が高い割合となっていた。新型コロナウイルス感染症予防に関連してリモートワークの動きが広まったことなどもその背景として考えられる。（問26：図表3-5-31）

インターネットの利用に関して、現在行っていることについては、「インターネットのニュースを読むこと」が75.6%と最も高く、次いで「メールでやりとりすること」が71.4%、「ラインでやりとりすること」が71.0%の順となっている。性別で見ると、男性では「インターネットのニュースを読むこと（81.3%）」「インターネットで買い物をすること（42.8%）」が高く、女性では「ラインでやりとりすること（81.6%）」が高くなっている。前回調査と比較すると、「インターネットのニュースを読むこと」が9.3ポイント上昇、「インターネットで買い物をすること」が6.6ポイント上昇している。（問26-1：図表3-5-36）

また、今後、インターネットの利用で増やしたいこと・新しく始めたいことについては、「インターネットのニュースを読むこと」が24.2%と最も高く、次いで「ラインでやりとりすること」が23.9%、「メールでやりとりすること」が22.1%の順であり、ラインとメールの順位が入れ替わっている以外は現在行っていることと同様の傾向となっている。性別で見ると、男性では女性よりも「インターネットのニュースを読むこと（29.9%）」が高くなっている。前回調査と比較すると、「インターネットのニュースを読むこと」が6.3ポイント上昇している。（問27：図表3-5-37）

インターネットの利用に関する希望については、「スマートフォンの使い方を教えてほしい（15.7%）」「インターネットの利用上の注意を教えてほしい（11.6%）」「パソコンの使い方を教えてほしい（10.7%）」の割合が高くなっている。また、今年（2023年）のインターネット利用状況別で見ると、「2～3日おきに利用する」では「特に希望することはない（37.4%）」がその他の利用頻度と比べて低く、「スマートフォンの使い方を教えてほしい（32.5%）」「オンライン会議システム（ズームなど）の使い方を教えてほしい（9.8%）」が高くなっている。また、「月に1回程度利用する」では「スマートフォンの使い方を教えてほしい」が29.0%、「年に数回程度利用する」では「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」が21.7%と、その他の利用頻度と比べて高くなっており、このことから、インターネットの利用頻度によって希望する項目が明確に異なっていることがうかがえる。（問28 図表3-5-38・図表3-5-39）

## 6. 地域活動などへの参加状況について

- 過去1年間に参加した活動や今後新たに参加したい活動で多いのは「健康・スポーツの活動、習いごと」「趣味や学習の活動・習いごと」「スポーツジム」。今後新たに参加したいものとしては「何らかのボランティア活動」「大学やカルチャーセンターなどの講座」も多くなっている。
- 活動への参加頻度は、前回調査において2020年に急低下していたのが、今回調査では急速に回復。「何も参加していない」という回答が、2020年では19.9%であったのが、2022年には5.9%に。
- 活動に参加していない人の理由としては、「あまり関わりを持ちたくない」「仕事や家事で忙しく時間がない」「やりたい活動がない」が多く挙げられている。もし活動に参加するとしたら、そのきっかけになりそうだと思うものは、「自分がやりたいことをみつけること」「友人・知人の勧め」で、これらは既に活動を始めている人の活動を始めたきっかけと共通している。
- シニア（老人クラブ）に加入しているのは9.3%で、特に男性前期高齢者で「加入していない」が高くなっている。加入していない理由で最も多いのは「シニア(老人)クラブ」を知らないから。

過去1年間に参加した活動・最も多く参加した活動・今後新たに参加したい活動については、下記の項目の割合が高くなっている。

- ・健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）  
（過去21.8%・最多24.0%・今後17.8%）
- ・趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）  
（21.5%・23.8%・15.2%）
- ・スポーツジム（13.3%・15.0%・13.4%）
- ・町会・自治会の役員、事務局活動（11.0%・7.5%・2.5%）
- ・ボランティア活動（上記以外の活動）（6.3%・4.1%・12.7%）
- ・大学やカルチャーセンターなどの講座（5.3%・2.6%・13.8%）

時系列順にみると、スポーツ活動や学習活動については、過去1年間だけでなく今後も続けていきたいという傾向が強くなっている。また、「ボランティア活動（上記以外の活動）」「大学やカルチャーセンターなどの講座」は過去1年間の活動では5%前後に留まっているのに対して今後参加したい活動では1割以上に上昇しており、ボランティア活動や講座受講を行っていききたい意識が高まっている状況がうかがえる。一方、「町会・自治会の役員、事務局活動」は過去1年間での11.0%から今後参加したいの2.5%へと急激に低下しており、人気のある活動と不人気な活動とに二分化されていることがわかる。（問29：図表3-6-1、問29-1①：図表3-6-18）

最も多く参加した活動への参加頻度については、去年（2022年）・今年（2023年）と前回調査（2019年・2020年）とを比較すると、2020年から去年（2022年）にかけて、「去年／今年は参加していない」が19.9%から5.9%と14.0ポイント低下しており、2020年における参加頻度の急低下からの回復傾向にあることが伺える。（問29-1②：図表3-6-19）

活動に参加していない理由については、「あまり関わりを持ちたくない」が33.4%と最も高く、次いで「仕事や家事で忙しく時間がない」が24.8%、「やりたい活動がない」が23.2%の順となっている。（問29-2①：図表3-6-23）

また、活動に参加するきっかけになると思うことについては、「自分がやりたいことをみつけること（20.2%）」「友人・知人の勧め（14.2%）」の割合が高くなっている。（問29-2②：図表3-6-24）

ちなみに、前述の最も多く参加した活動を始めたきっかけについては、「個人的意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」が33.2%と最も高く、次いで「友人・知人の勧め」が18.1%、「町会・自治会からの誘い」が8.5%の順となっている。（問29-1③：図表3-6-22）

これらのことから、活動に参加するきっかけとしては、「自分のやりたいことと合致する活動を見つけること」と「人からの勧められること」という2要因が重要になる、ということがわかる。ただし、不参加理由で最も多いのが「あまり関わりを持ちたくない」であるため、そうした人に活動への参加を促すのであるのであれば、人からの勧めよりも活動内容と広報をより充実させる方向に注力するのが望ましいのではないかと考えられる。

シニア（老人）クラブへの加入状況については、「加入している」が9.3%となっている。性別で見ると、男性は女性よりも「加入していない（88.1%）」が高く、特に男性前期高齢者では94.9%と高くなっている。また、「加入していない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。（問30：図表3-6-25）

シニア（老人）クラブに加入していない理由については、「シニア（老人）クラブ」を知らないから」が26.0%と最も高く、次いで「仕事などで忙しいから」が23.9%、「会員同士の間関係がわずらわしいから」が22.8%の順となっている。忙しくて時間がとれないという理由を改善するのは難しいため、それ以外の理由に着目する必要があると考える。例えば、性別・性年代別で見ると、男性60～64歳では「シニア（老人）」という名称に抵抗があるから（18.8%）」、男性70～74歳では「活動内容に魅力を感じないから（29.6%）」、女性60～64歳では「シニア（老人）クラブ」を知らないから」「会員同士の間関係がわずらわしいから」（ともに38.1%）」が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっているなど、性別・年代別で非加入理由が異なるため、老人クラブへの加入を促すためには、各性別・各年代に合わせた個別のアプローチが必要となると考えられる。（問30-1：図表3-6-27・図表3-6-28）

## 7. 区の事業について

- 区の事業で認知度が高いのは「町会・自治会」「民生委員」「ふれあい館」。ただし、「住民運営通いの場」「福祉の森サロン」など、認知度が低くても、認知している人の利用参加率が比較的高い事業もある。
- 事業を知る上での情報源として最も多いのは「広報いたばし」。男性では「区ホームページ」、女性では「区施設に置いてあるチラシ」も多くなっている。
- 事業に参加したことによる効果としては「知り合い・仲間ができた」「健康に気をつけるようになった」が挙げられる。
- 事業に参加する際に重視するのは、自分のしたいことや興味のあることに役立つ内容であること。一方、事業に参加していない人の不参加理由も同様に「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」、加えて「どれに参加するのがいいのかわからない」。

区の事業に対する認知度・利用または参加状況について、『認知度』は、「町会・自治会」が72.3%と最も高く、次いで「民生委員」が62.3%、「ふれあい館」が46.5%の順となっている。また、「過去1年間に利用・参加した」では、「町会・自治会」が21.9%と最も高く、次いで「ふれあい館」が7.9%、「住民防災組織」が6.7%の順となっている。

なお、知っている施設などを実際に利用・参加した割合を「過去1年間に利用・参加した」÷『認知



度』で算出すると下記の順となっており、認知度の高さがそのまま利用・参加につながるわけではないということがわかる。(問31：図表3-7-1)

順位	項目	過去1年間に 利用・参加 ÷認知度	過去1年間に 利用・参加	認知度
1	町会・自治会	30.3%	21.9%	72.3%
2	住民防災組織	17.6%	6.7%	38.0%
3	ふれあい館	17.0%	7.9%	46.5%
4	住民運営通いの場（「高齢者の暮らしを 広げる10の筋トレグループ」など）	15.9%	2.0%	12.6%
5	まなぼと（生涯学習センター）	12.9%	3.6%	27.9%
6	福祉の森サロン	12.0%	1.8%	15.0%
7	フレイルチェック測定会	11.5%	2.5%	21.7%
8	グリーンカレッジホール（シニア学習 プラザ）でのイベント・講座	10.0%	3.6%	36.1%
9	いたばし総合ボランティアセンター	6.4%	1.4%	21.9%
10	グリーンカレッジ（高齢者大学校）教 養課程・専門課程・大学院	5.7%	2.2%	38.7%
11	シニアの絵本読み聞かせ講座	5.2%	0.7%	13.4%
12	50.60代のための地域活動入門講座	5.2%	0.4%	7.7%
13	コミュニティ・スクール	4.6%	0.7%	15.3%
14	「いたばし学習・スポーツガイド」	4.0%	0.7%	17.4%
15	「大人の活動ガイド ステップ」（冊子 版またはWEB版）	3.3%	0.3%	9.2%
16	民生委員	2.7%	1.7%	62.3%
17	シニア社会参画・社会貢献ニュース	2.5%	0.2%	8.1%
18	認知症フレンドリーカフェ	1.4%	0.2%	13.9%

区の事業を知った情報源については、「広報いたばし」が51.9%と最も高く、次いで「回覧板」が33.6%、「友人・知人から」が26.1%の順となっている。性別で見ると、男性では女性よりも「区ホームページ（18.8%）」が高く、女性では男性よりも「区施設に置いてあるチラシ（10.6%）」が高くなっている。(問31-1：図表3-7-20)

区の事業への参加による効果については、「知り合い・仲間ができた」が39.1%と最も高く、次いで「健康に気をつけるようになった」が25.9%、「出かけることが増えた」が24.2%の順となっている。(問31-2：図表3-7-23)

区の事業に参加するときに重視することについては、「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が53.0%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が38.6%、「会場が近い」が34.7%の順となっている。(問32：図表3-7-25)

一方、区の事業に参加しない理由については、「健康上の理由」が22.2%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が19.4%、「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」「どれに参加

するのがいいのかわからない」がともに13.9%の順となっている。

これらのことから、事業への参加理由としては自分のしたいことや興味のあることに役立つ内容であることかどうかが重要視されており、また事業の内容に関する詳しい情報も求められているということがわかる。(問31-3：図表3-7-24)

## 8. 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の意向・希望する支援施策・生きがいについて

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことによる「社会参加」への影響として、「コロナ以前のように参加できるようになった」との意見が最も多いが、「5類移行後も外出自粛継続」「コロナ禍を機に参加しなくなったので、活動が再開しようとも関係ない」との意見も。
- 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものは、「体を動かすこと」と「人との交流」。また、生きがいを感じるのも「人と交流している時」「趣味やスポーツに熱中している時」。
- 行政に望む支援施策は「健康づくりの支援」「スマートフォンの操作教室・相談会」「活動に関する情報提供」が多くなっている。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による「社会参加」への影響については、「以前のように参加できるようになった」が34.7%と最も高く、次いで「5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない」が11.8%、「コロナ禍を機に参加しなくなり、活動・催し・イベント・会合などが以前のように再開している現在も、参加していない」が6.8%の順となっている。(問33：図表3-8-1)

今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものについては、「体を動かす（ウォーキングや体操など）(43.4%)」「友人・知人との交流(40.8%)」「子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流(33.9%)」が高くなっている。(問34：図表3-8-2)

また、現在の生きがいの程度については、『感じている』が78.6%、『感じていない』が12.9%となっており、生きがいを感じる時については、「子や孫など家族・親族との団らんの時」が62.3%と最も高く、次いで「友人や知人と食事・雑談している時」が54.5%、「趣味やスポーツに熱中している時」が52.5%の順となっている。(問36：図表3-8-5、問36-1：図表3-8-8)

これらのことから、「取り組みたい・心がけたいもの」と「生きがい」とには強い関係がみられ、「趣味やスポーツへの打ち込み」「人との交流」という2つの方向性があるということがわかる。

行政で行ってほしいと思う支援施策については、「健康づくりの支援」が34.3%と最も高く、次いで「スマートフォンの操作教室・相談会」が16.7%、「活動に関する情報提供」が14.2%の順となっている。(問35：図表3-8-4)

このことから、何らかの活動をしたい・新たに始めたいと思っており、具体的にやりたいのは「健康づくり」や「スマートフォンの利用」なのだが、情報が不足しているので行政からの情報提供や支援が必要である、と考えている人が一定数いることがうかがえる。

## シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についてのアンケート

### 調 査 票

板橋区では、シニア世代の皆様が生き生きと活躍されることを目指し、地域活動や就労を支援する「シニア世代活動支援プロジェクト」を推進しています。皆様の生活・健康・生きがい・仕事などの状況やご意見をお聞きし、今後のプロジェクトに活かしていくため、この調査を実施いたします。

実施にあたり、区内在住の60歳から84歳の方（11月6日現在）3,000名を無作為に選ばせていただきました。皆様からの回答は統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に利用いたしません。

お手数をおかけし誠に恐縮でございますが、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年12月

板橋区 長寿社会推進課

《 ご回答にあたってのお願い 》

- できる限り宛名のご本人がご回答ください。

ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の意思に基づき、代理の方がご記入くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

- 回答が終わりましたら、**同封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、

**12月22日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください。

※返信用封筒に、住所・氏名の記入は必要ありません。

#### 【インターネットによるご回答のご案内】

- 本調査は、インターネットによるご回答も可能です。

以下のURLを直接ご入力いただくか二次元コードを読み込み、画面の指示に従って、

下記の『ID』と『パスワード』を入力後、各設問にご回答ください。

■ URL : <https://lgn.research-ccng.com/index.php/339775?lang=ja>

■ ID : ●●●●●●●●  
ゼロイチディーワイオーユーエスエー

■ パスワード : 01tyousa



※パスワードは半角英数字です。

※インターネットでご回答いただいた場合は、**紙の調査票の返送は不要**です。

#### 【この調査についてのお問い合わせ先】

板橋区役所 健康生きがい部 長寿社会推進課 シニア活動支援係

電話：03-3579-2376 FAX：03-3579-4153

# 【1】あなたの年齢、お住まいの地区、世帯の状況などについて

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。○をつけてください。(○は1つのみ)

1. あなた(宛名のご本人)	2. ご家族	3. その他
----------------	--------	--------

問2 あなた(宛名のご本人)は現在、どちらに住んでいますか。(○は1つのみ)

1. ご自宅(ショートステイ利用を含む) 2. 区内の親族などの家	問3へお進みください。
3. 施設に入所 4. その他(入院中、区外転出、亡くなったなど)	3, 4はここでアンケートは終了です。 ご協力ありがとうございました。 同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

問3 あなた(宛名のご本人)の性別と、令和5年12月1日現在の満年齢をお答えください。(それぞれ○は1つ)

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 60~64歳	2. 65~69歳	3. 70~74歳
	4. 75~79歳	5. 80~84歳	

問4 あなた(宛名のご本人)のお住まいはどちらですか。あてはまる地区に○をつけてください。丁目がある場合は、あてはまる丁目にも○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

1. 相生町	13. 大山金井町	25. 志村	37. 成増	49. 三園
2. 赤塚	14. 大山西町	26. 新河岸	38. 西台	50. 南町
3. 赤塚新町	15. 大山東町	27. 大門	39. 蓮沼町	51. 南常盤台
4. 小豆沢	16. 加賀	28. 高島平	40. 蓮根	52. 宮本町
5. 泉町	17. 上板橋	29. 東新町	41. 東坂下	53. 向原
6. 板橋	18. 熊野町	30. 常盤台	42. 東山町	54. 大和町
7. 稲荷台	19. 小茂根	31. 徳丸	43. 氷川町	55. 弥生町
8. 大原町	20. 幸町	32. 中板橋	44. 富士見町	56. 四葉
9. 大谷口	21. 柴町	33. 仲宿	45. 双葉町	57. 若木
10. 大谷口上町	22. 坂下	34. 中台	46. 舟渡	
11. 大谷口北町	23. 桜川	35. 仲町	47. 本町	
12. 大山町	24. 清水町	36. 中丸町	48. 前野町	

丁目がある場合は、あてはまる丁目にも○をつけてください。	1. 一丁目	4. 四丁目	7. 七丁目
	2. 二丁目	5. 五丁目	8. 八丁目
	3. 三丁目	6. 六丁目	9. 九丁目

問5 あなた（宛名のご本人）は、問4でお答えの地区にどのくらい住んでいますか。

※同じ地区内で転居や増改築などをされた場合は、通算してお答えください。

（○は1つのみ）

- |             |             |            |             |
|-------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 1年未満     | 2. 1～5年未満   | 3. 5～10年未満 | 4. 10～15年未満 |
| 5. 15～20年未満 | 6. 20～30年未満 | 7. 30年以上   |             |

問6 あなた（宛名のご本人）の世帯の状況をお選びください。（○は1つのみ）

- |                    |              |                 |
|--------------------|--------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし          | 2. 配偶者と二人暮らし | 3. 配偶者や子、孫などと同居 |
| 4. 配偶者を除く、子や孫などと同居 | 5. その他       |                 |

問7 あなた（宛名のご本人）は現在、ご家族などの介護をしていますか。（○は1つのみ）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 現在介護をしている | 2. 現在介護をしていない |
|--------------|---------------|

問8 あなた（宛名のご本人）の年収をお答えください。（○は1つのみ）

- |                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| 1. 80万円未満      | 2. 80～120万円未満    | 3. 120～200万円未満 |
| 4. 200～300万円未満 | 5. 300～400万円未満   | 6. 400～550万円未満 |
| 7. 550～700万円未満 | 8. 700～1,000万円未満 | 9. 1,000万円以上   |
| 10. 答えたくない     |                  |                |

問9 あなた（宛名のご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- |           |               |           |
|-----------|---------------|-----------|
| 1. 公的年金など | 2. 給与など       | 3. 株式の配当  |
| 4. 不動産    | 5. 親族などからの仕送り | 6. その他（ ） |

問10 あなた（宛名のご本人）の世帯の現在の暮らし向きは、1年前と比べていかがですか。

（○は1つのみ）

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. とてもよくなった | 2. ややよくなった  | 3. 変わらない |
| 4. やや悪くなった  | 5. とても悪くなった |          |

【1, 2, 3は4ページの「問11」へお進みください。】

問10で「4. やや悪くなった」「5. とても悪くなった」とお答えの方にお伺いします。

問10-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 賃金などの収入が減ったため            | 2. 退職・失業などのため        |
| 3. 事業などの経費が増えたため            |                      |
| 4. 物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため |                      |
| 5. 家や自動車を購入したため             | 6. 税金や保険料の支払いが増えたため  |
| 7. 低金利が続いているため              | 8. 特別の事情による（病気、怪我など） |
| 9. その他（ ）                   | 10. 特に理由はない、わからない    |



問11-5 現在の仕事は、どこで探しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                      |                      |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. 友人・知人・家族などの紹介                     | 2. 求人情報誌や求人広告        |
| 3. アクティブシニア就業支援センター<br>「はつらつシニアいたばし」 | 4. シルバー人材センター        |
| 6. ハローワーク                            | 5. WORK'S (ワークス) 高島平 |
| 8. インターネット (求人情報サイトなど)               | 7. 東京しごと財団           |
| 10. 就職活動はしていない<br>(自営業、定年前など)        | 9. 再雇用               |
|                                      | 11. その他<br>( )       |

【 すべての方におうかがいします。 】

問12 あなた(宛名のご本人)は今後、働こうと思っていますか。(○は1つのみ)

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 今も働いており、今後も働きたい           | 2. 今は働いていないが、今後働きたい        |
| 3. 今は働いているが、できるだけ早く引退<br>したい | 4. 今は働いておらず、今後も働く予定は<br>ない |

↳【3, 4は7ページの「問13」へお進みください。】

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問12-1 何歳まで働きたいと思いますか。現在の仕事とは違う仕事をする場合を含みません。(○は1つのみ)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 60～64歳 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 | 4. 75～79歳 |
| 5. 80～84歳 | 6. 85歳以上  | 7. わからない  |           |

問12-2 あなた(宛名のご本人)は現在、仕事(就職・転職先)を探していますか。(○は1つのみ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 仕事を探している | 2. 仕事を探していない |
|-------------|--------------|

問12-3 あなた(宛名のご本人)は、働くことを決めるとき、どんなことを重視しますか。上位3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 体力的に無理なく続けられること       | 2. 自分のペースで進められること    |
| 3. 自分の能力を発揮できること         | 4. 勤務日や勤務時間を選べること    |
| 5. 経験したことがある職種であること      | 6. 経験したことがない職種であること  |
| 7. 気心の知れた仲間がいること         | 8. 以前と同じ勤務先であること     |
| 9. 経験したことがある業界であること      | 10. 経験したことがない業界であること |
| 11. 事業目的・経営ビジョンに共感が持てること | 12. 給料が良いこと          |
| 13. 自宅から近いこと             | 14. 社会の役に立つ仕事であること   |





【 すべての方におうかがいします。 】

問13 仕事に関する情報を提供している施設などについておうかがいします。

それぞれあてはまる番号をお選びください。(それぞれ○は1つ)

(それぞれの項目にお答えください)	利用して就労に つながった	就労のため 利用中	就労につながら なかった	利用したが ない	知っているが 利用したことは ない	知らない
ア. アクティブシニア就業支援センター 「はつらつシニアいたばし」	1	2	3	4	5	
イ. シルバー人材センター	1	2	3	4	5	
ウ. WORK'S (ワークス) 高島平	1	2	3	4	5	
エ. ハローワーク	1	2	3	4	5	
オ. 東京しごと財団	1	2	3	4	5	
カ. インターネット (求人情報サイトなど)	1	2	3	4	5	

### 【3】健康について

問14 あなた(宛名のご本人)は、ふだん、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つのみ)

- |          |           |             |          |
|----------|-----------|-------------|----------|
| 1. とても健康 | 2. まあまあ健康 | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|----------|-----------|-------------|----------|

問15 あなた(宛名のご本人)は“フレイル”という言葉を知っていますか。(○は1つのみ)

※フレイル：年を取り、心身の活力が低下し、要介護状態に至る前段階の状態のこと。

- |              |             |         |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|--------------|-------------|---------|

問15-1 自身がフレイルになることについてどのくらい心配ですか。(○は1つのみ)

- |             |          |             |          |
|-------------|----------|-------------|----------|
| 1. 非常に心配である | 2. 心配である | 3. あまり心配でない | 4. 心配でない |
|-------------|----------|-------------|----------|

問16 あなた(宛名のご本人)には、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の健康のこと	2. 家族・親族の健康のこと
3. 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと	4. ひとり暮らしや孤独になること
5. 生活費など経済的なこと	6. 安心して住める場所がないこと
7. 趣味や生きがいがないこと	8. 自宅や外出先での転倒・事故
9. 地震など災害時の避難のこと	10. その他
11. 心配ごとや悩みはない	( )

↳【11は8ページの「問17」へお進みください。】



ケ. 現在の身長・体重をご記入ください。※小数点第1位まで記入 身長 ( _____ . _____ cm)                      体重 ( _____ . _____ kg)		
コ. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
サ. お茶や汁物などでむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
シ. 口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
ス. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われますか	1. はい	2. いいえ
セ. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
ソ. 今日が何月何日か、わからない時がありますか	1. はい	2. いいえ
タ. 友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ
チ. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ
ツ. 新聞を読んでいますか (スマートフォンなどのニュースを含む)	1. はい	2. いいえ
テ. 本や雑誌を読んでいますか (スマートフォンなどの電子書籍を含む)	1. はい	2. いいえ
ト. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ
ナ. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ
ニ. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	2. いいえ
ヌ. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめ なくなった	1. はい	2. いいえ
ネ. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに 感じられる	1. はい	2. いいえ
ノ. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	2. いいえ
ハ. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	2. いいえ
ヒ. ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気を付けた食事を心がけて いますか	1. はい	2. いいえ
フ. 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べ ていますか	1. はい	2. いいえ
ヘ. 1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していま すか	1. はい	2. いいえ
ホ. 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施 していますか	1. はい	2. いいえ
マ. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	1. はい	2. いいえ
ミ. 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	1. はい	2. いいえ
ム. 自分が活気に溢れていると思いますか	1. はい	2. いいえ

## 【4】外出、活動などについて

問19 あなた（宛名のご本人）が、ふだん、仕事・買い物・散歩・通院などで外出する頻度はどれくらいですか。また、外出の主な目的は何ですか。去年と今年についてお答えください。

### 《去年（2022年）》

【外出する頻度】（○は1つのみ）

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 毎日2回以上    | 2. 毎日1回     |
| 3. 2～3日に1回程度 | 4. 1週間に1回程度 |
| 5. ほとんど外出しない |             |

【1～4の場合、外出の主な目的】（あてはまるものすべてに○）

- |                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 仕事                           | 2. 買い物      |
| 3. 運動、散歩                        | 4. 友人・知人と会う |
| 5. 家族・親族と会う                     | 6. 町会・自治会   |
| 7. シニア（老人）クラブ                   | 8. ボランティア活動 |
| 9. 趣味や学習の活動                     | 10. 通院やリハビリ |
| 11. その他（                      ） |             |

### 《今年（2023年）》

【外出する頻度】（○は1つのみ）

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 毎日2回以上    | 2. 毎日1回     |
| 3. 2～3日に1回程度 | 4. 1週間に1回程度 |
| 5. ほとんど外出しない |             |

【1～4の場合、外出の主な目的】（あてはまるものすべてに○）

- |                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 仕事                           | 2. 買い物      |
| 3. 運動、散歩                        | 4. 友人・知人と会う |
| 5. 家族・親族と会う                     | 6. 町会・自治会   |
| 7. シニア（老人）クラブ                   | 8. ボランティア活動 |
| 9. 趣味や学習の活動                     | 10. 通院やリハビリ |
| 11. その他（                      ） |             |

問20 あなた（宛名のご本人）のやっていることと、今後やりたいことについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

【やっていること】

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 1. 園芸・庭いじり                      | 2. 旅行・ドライブ |
| 3. 散歩                           | 4. 犬などと散歩  |
| 5. 手芸・茶道・華道・踊り                  | 6. スポーツ    |
| 7. 登山                           | 8. カラオケ    |
| 9. 映画鑑賞                         | 10. 読書     |
| 11. テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞       |            |
| 12. パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用） |            |
| 13. その他（ )                      |            |

【やりたいこと】

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 1. 園芸・庭いじり                      | 2. 旅行・ドライブ |
| 3. 散歩                           | 4. 犬などと散歩  |
| 5. 手芸・茶道・華道・踊り                  | 6. スポーツ    |
| 7. 登山                           | 8. カラオケ    |
| 9. 映画鑑賞                         | 10. 読書     |
| 11. テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞       |            |
| 12. パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用） |            |
| 13. その他（ )                      |            |

問21 あなた（宛名のご本人）は、近所の人との程度おつきあいをされていますか。  
（○は1つのみ）

- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 1. お互いに訪問しあう人がいる  | → 【1, 2, 3は12ページの「問22」へお進みください。】 |
| 2. 立ち話をする程度の人がいる  |                                  |
| 3. あいさつをする程度の人がいる |                                  |
| 4. つきあいはない        |                                  |

【問21で「4. つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問21-1 おつきあいのない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ふだんつきあう機会がないから     | 2. あまり関わりを持ちたくないから   |
| 3. 気の合う人が近くにいないから     | 4. ご近所と知り合うきっかけがないから |
| 5. 仕事や家事などで忙しく時間がないから | 6. 引っ越してきて間もないから     |
| 7. 同世代の人が近くにいないから     | 8. その他（ )            |
| 9. 特に理由はない            | 10. わからない            |

【 すべての方におうかがいします。 】

問22 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。去年と今年についてお答えください。(それぞれ○は1つ)

《去年(2022年)》

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上    | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回    | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない   |

《今年(2023年)》

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上    | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回    | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない   |

問23 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度はどれくらいですか。去年と今年についてお答えください。(それぞれ○は1つ)

《去年(2022年)》

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上    | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回    | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない   |

《今年(2023年)》

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上    | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回    | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない   |

問24 あなた(宛名のご本人)は、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。(○は1つのみ)

- |          |          |            |       |
|----------|----------|------------|-------|
| 1. 1か所ある | 2. 2か所ある | 3. 3か所以上ある | 4. ない |
|----------|----------|------------|-------|

【4は13ページの「問25」へお進みください。】←

【問24で「1. 1か所ある」「2. 2か所ある」「3. 3か所以上ある」とお答えの方に、その場所についておうかがいします。】

問24-1 それはどのような場所ですか。1か所だけ具体的にご記入ください。

記入例：○○喫茶、△△図書館、□□公園など

--

問24-2 問24-1でお答えになった場所に行くのに、ふだん使われている交通手段はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1. 徒歩   | 2. 自転車        |
| 3. 自家用車 | 4. 鉄道(地下鉄を含む) |
| 5. バス   | 6. その他( )     |







問29 あなた（宛名のご本人）は過去1年間に、個人・団体で次のような活動に参加したことがありますか（手伝いも含む）。また、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

（それぞれの項目にお答えください）	過去1年間に参加したもの	今後新たに参加したいもの	参加していない・したくない
ア. 趣味や学習の活動・習いごと （語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）	1	2	3
イ. 大学やカルチャーセンターなどの講座	1	2	3
ウ. 健康・スポーツの活動、習いごと （体操・ゲートボール・ダンスなど）	1	2	3
エ. スポーツジム	1	2	3
オ. 町会・自治会の役員、事務局活動	1	2	3
カ. シニア（老人）クラブの役員、事務局活動	1	2	3
キ. NPO団体などの役員、事務局活動	1	2	3
ク. 祭りなど地域行事の世話役 としての活動	1	2	3
ケ. 環境美化、緑化推進、まちづくり などの活動	1	2	3
コ. 子どもの学習支援、子ども会の活動、 郷土芸能の伝承などの活動	1	2	3
サ. 交通安全、防犯・防災などの活動	1	2	3
シ. 高齢者の支援活動（話し相手、見守り、 家事援助、移動支援など）	1	2	3
ス. 障がいのある人への支援活動	1	2	3
セ. 子どもを育てている親への支援活動 （保育の手伝いなど）	1	2	3
ソ. ボランティア活動（上記以外の活動）	1	2	3
タ. その他 （ )	1	2	3

【ア～タすべてに「3」とお答えの方は、17ページの「問29-2①」へお進みください。】

【問29で「過去1年間に参加したもの」についておうかがいします。】

問29-1① 最も多く参加したものはどれですか。前ページ問29の記号ア～タまでのいずれか1つをご記入ください。

--

② その活動にどのくらいの頻度で参加しましたか。  
去年と今年についてお答えください。(それぞれ○は1つ)

《去年(2022年)》

1. 週に4回以上	2. 週に2～3回	3. 週に1回
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回
7. 不定期	8. 去年は参加していない	

《今年(2023年)》

1. 週に4回以上	2. 週に2～3回	3. 週に1回
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回
7. 不定期	8. 今年は参加していない	

③ その活動を始めたきっかけは何ですか。(○は1つのみ)

1. 友人・知人の勧め
2. 家族の勧め
3. 町会・自治会からの誘い
4. シニア(老人)クラブからの誘い
5. 活動団体からの呼びかけ
6. 区からの情報(「広報いたばし」、区ホームページその他)
7. 町会・自治会、シニア(老人)クラブ、活動団体からの情報 (広報紙、ホームページその他)
8. 個人の意味(自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある)
9. その他( )
10. 特にない

【問29-1の次は、17ページの「問30」へお進みください。】

【問29でア～タのすべてに「3」と回答した方におうかがいします。】

問29-2① 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しく時間がない | 2. 何をしたいのか、わからない |
| 3. あまり関わりを持ちたくない  | 4. やりたい活動がない     |
| 5. 自分や家族が健康ではない   | 6. 家族の介護や世話がある   |
| 7. 気の合う人がいない      | 8. その他 ( )       |

② 参加をするきっかけになると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 友人・知人の勧め                                       |
| 2. 家族の勧め  |
| 3. 町会・自治会からの誘い                                    |
| 4. シニア(老人)クラブからの誘い                                |
| 5. 活動団体からの呼びかけ                                    |
| 6. 区からの情報(「広報いたばし」、区ホームページその他)                    |
| 7. 町会・自治会、シニア(老人)クラブ、活動団体からの情報<br>(広報紙、ホームページその他) |
| 8. 自分がやりたいことをみつけること                               |
| 9. その他 ( )  |
| 10. きっかけになりそうなものはない                               |

【すべての方におうかがいします。】

問30 あなた(宛名のご本人)は現在、シニア(老人)クラブ(区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上・健康の増進・社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。)に加入していますか。(○は1つのみ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

↳【1は18ページの「問31」へお進みください。】

【問30で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

問30-1 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 「シニア(老人)クラブ」を知らないから   | 2. 仕事などで忙しいから   |
| 3. 他の団体・サークル活動で忙しいから     | 4. 健康上の理由       |
| 5. 加入の仕方がわからないから         |                 |
| 6. シニア(老人)という名称に抵抗があるから  |                 |
| 7. 活動内容に魅力を感じないから        | 8. 同年代の会員が少ないから |
| 9. 若い世代と交流できないから         |                 |
| 10. 会員同士の間人間関係がわずらわしいから  |                 |
| 11. 役員などを引き受けるのがわずらわしいから |                 |
| 12. その他 ( )              |                 |

【 すべての方におうかがいします。 】

問31 あなた（宛名のご本人）は、区が行っている次の事業を知っていますか。また、過去1年間に利用・参加したものはありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

(それぞれの項目にお答えください)	過去1年間に 利用・参加 した	知っているが 利用・参加 しなかつた	知らない
ア. ふれあい館	1	2	3
イ. 住民防災組織	1	2	3
ウ. 町会・自治会	1	2	3
エ. グリーンカレッジ（高齢者大学校） 教養課程・専門課程・大学院	1	2	3
オ. グリーンカレッジホール（シニア学習 プラザ）でのイベント・講座	1	2	3
カ. 民生委員	1	2	3
キ. まなぼーと（生涯学習センター）	1	2	3
ク. フレイルチェック測定会	1	2	3
ケ. 「大人の活動ガイド ステップ」 （冊子版またはWEB版）	1	2	3
コ. 「いたばし学習・スポーツガイド」	1	2	3
サ. いたばし総合ボランティアセンター	1	2	3
シ. コミュニティ・スクール	1	2	3
ス. 認知症フレンドリーカフェ	1	2	3
セ. 住民運営通いの場（「高齢者の暮らしを 広げる10の筋トレグループ」など）	1	2	3
ソ. 福祉の森サロン	1	2	3
タ. シニアの絵本読み聞かせ講座	1	2	3
チ. シニア社会参画・社会貢献ニュース	1	2	3
ツ. 50.60代のための地域活動入門講座	1	2	3

【ア～ツすべてに「3」とお答えの方は、20ページの「問32」へお進みください。】





**問33 社会参加に関して、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に2類感染症から5類感染症に移行したことで、どのような影響がありましたか。**

(あてはまるものすべてに○)

※「5類感染症への移行」…感染症陽性者の行動制限の緩和される、濃厚接触者の行動制限が不要となるなど、感染症法上の位置づけが変更された。

※「社会参加」…仕事、町会・自治会やシニア（老人）クラブなど地域での活動、ボランティア、学習、芸能の伝承、趣味・習い事など、他の人と一緒に行うことであれば、すべて「社会参加」としてください。

1. 以前のように参加できるようになった
2. コロナ禍を機に活動・催し・イベント・会合などがなくなり、参加できない
3. 5類移行後も外出を自粛しているため、参加していない
4. コロナ禍を機に参加しなくなり、活動・催し・イベント・会合などが以前のように再開している現在も、参加していない。
5. 活動・催し・イベント・会合などがオンラインで（インターネットを使って）開かれるようになったが、使い方がわからず参加できない  
(または、慣れておらず参加しづらい)
6. 通っていた場所が休止・閉鎖になり、行くことができない
7. 一緒に参加していた人や誘ってくれた人が来なくなったり、会えなくなったりして、参加しづらい
8. 訪問や会合がなくなって、情報が伝わらない  
(または、情報を伝えることができない)
9. 人数制限のため、これまでの場所で活動できない
10. 会議などが開けず、活動が進まない
11. その他 ( )

**問34 あなた（宛名のご本人）は、今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものはありますか。（あてはまるものすべてに○）**

1. 子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流
2. 配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護
3. 仕事、就職活動
4. ご近所とのおつきあい
5. 友人・知人との交流
6. 新しい仲間やネットワークづくり
7. 町会・自治会の活動
8. シニア（老人）クラブの活動
9. ボランティア活動
10. 学習活動（講座・講習会、学習サークルなど）
11. インターネットの活用
12. 体を動かす（ウォーキングや体操など）
13. 家屋や庭の維持、メンテナンス（日曜大工、庭いじりなど）
14. 趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）
15. 趣味の活動（主に自宅で行うもの：読書、オンラインで行うものなど）
16. 資格の取得
17. 前掲1～16以外で取り組んでみたい、やりたいもの・こと  
( )
18. 特にない

**問35 行政で行ってほしいと思う支援施策はありますか。（あてはまるものすべてに○）**

1. 仕事に関する情報や機会の提供などの就労の支援
2. ボランティア活動への参加に対する支援
3. 多世代との交流の支援
4. 学習のきっかけづくりの支援
5. 健康づくりの支援
6. 活動に関する情報提供
7. 活動参加のきっかけづくりの支援
8. スマートフォンの操作教室・相談会
9. パソコン（ワード・エクセル・パワーポイント）の操作教室
10. eスポーツの開催
11. その他 ( )
12. 特にない





**ご協力ありがとうございました。**

**お名前、ご住所は記入不要**です。

同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らず**にポストに投函して下さい。

※返信用封筒の郵便番号「101-8795」「325」、承認番号「2289」、  
バーコードは、アンケートの回答を株式会社CCNグループ「板橋区シニア  
アンケート調査」事務局に郵送するためのもので、個人を特定するものでは  
ありません。



**板橋区高齢者ニーズ調査**

**シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についての  
アンケート調査報告書**

**令和6年3月発行**

発行：板橋区健康生きがい部長寿社会推進課シニア活動支援係

〒173-8501 板橋区板橋2丁目66番1号

TEL 03(3579)2376

FAX 03(3579)4153

刊行物番号

R05-140